

平成 29 年度

#8000情報収集分析事業報告書

公益社団法人日本小児科医会

2018 年 3 月

平成29年度#8000情報収集分析事業 分析結果の概要

1. 事業の趣旨

- 子ども医療電話相談事業（#8000事業）は、全都道府県で実施され、相談件数は年々増加しており（平成28年度：約86万件）、保護者の不安軽減とともに、時間外外来受診による医師の負担の軽減に役立っている。
- しかし、これまで、相談事例情報の全国的な集計がなされていなかった。
- 相談対応者の質の向上と保護者への啓発等を目的に、相談内容や対応等に関する情報を収集・分析するために、本事業を開始した。

2. 事業の概要

(1) 情報収集期間

- 平成30年2月1日～平成30年3月1日（28日間）

(2) 情報収集対象自治体

- 北海道、埼玉県、富山県、岐阜県、広島県の5道県

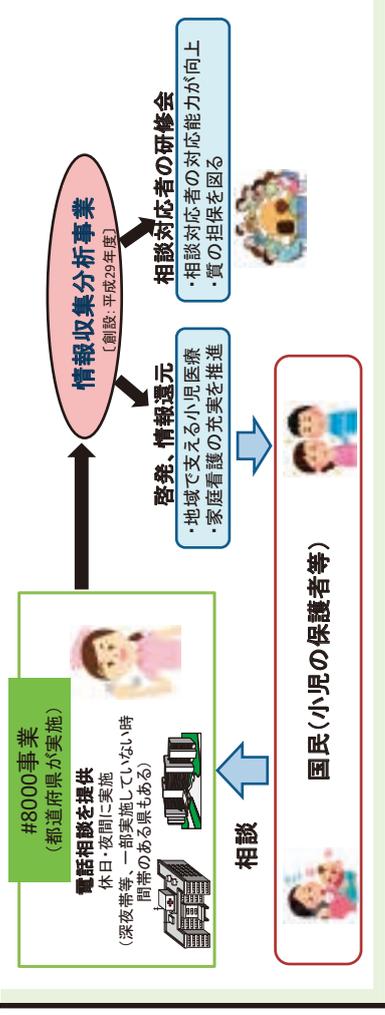
(3) 情報収集項目の例

- 基本情報 : 相談件数、相談日時・曜日
 - 相談対象児の情報 : 性別、年齢、主訴、相談の分類、兄や姉の有無（※弟・妹ではない）、発症時期、相談前の受診の有無
 - 相談者の情報 : 続柄、年代、満足度（相談対応者からの印象）
 - 相談対応者の情報 : 相談業務経験年数、相談対応時間、緊急度判定、医師による助言の有無、受診すべきと考えた診療科、対応感想 等
- ※ 情報収集項目の決定に際しては、各道県の#8000事業担当者や看護師等と検討会を行い、短時間で容易に聴取可能であること、各道県のこれまでの記録項目を網羅すること、自治体の政策に資すると考えられる項目が含まれること等に留意した。

(4) 情報収集方法

- 情報収集・分析システムの作成
 - ・ 全都道府県の#8000事業における相談対応記録を、クラウド上で収集し、分析が可能となるシステム（以下「本システム」。）を構築した。
 - ・ タブレット端末からの入力も可能とした。
 - ・ 各道府県の管理者は、本システムにアクセスすることで、集計結果をいつでも確認することが可能である。
- システム使用が難しい相談対応者への配慮
 - ・ パソコン等の利用に慣れていない相談対象者に対し、入力に慣れるための研修を行うとともに、マークシートの利用（後に、分析ソフトを用いて本システムへデータを一括入力。）を可能とした。

事業イメージ



3. 主な結果(5道県のまとめ)

(1) 相談件数

事業報告書より引用改変

(※1)看護協会の対応した相談のみ情報収集

都道府県	北海道(※1)	埼玉県(※1)	富山県	岐阜県	広島県(※1)
実施者	①道看護協会 ②民間事業者	①県看護協会 ②民間事業者	民間事業者	民間事業者	①県看護協会 ②民間事業者
実施体制	①19時～23時 ②23時～8時	(月～土) 19時～23時 (日) 9時～23時	19時～9時	(月～金) 18時～8時 (土・休日) 8時～8時	①19時～23時 ②23時～8時
回線数	①1回線 ②1回線	①2回線 ②1回線	2回線	1回線	①2回線 ②1回線
相談件数(件)	761	2,898	503	1,412	742
年少人口(※2)1万人当たり相談件数(件)	12.5	31.4	38.8	52.8	19.4
小児科医師(※3)1人当たり相談件数(件)	1.2	3.9	3.1	5.7	2.0

(2) 曜日・時間帯

曜日	月(※4)	火	水	木	金	土	日
相談件数(件)	1,042	700	755	766	752	765	1,547
時間帯(時)	0 16	16 17	17 18	18 19	19 20	20 21	21 22
相談件数の割合(%)	20.1	2.6	2.5	3.6	22.2	20.8	15.8
						11.1	1.5

(※4)祝日を含む(※5)0～16時の合計値

(3) 相談対象児の性別・年齢

相談対象児性別	割合(%)
男性	32.4
女性	26.7
不明・未記入	40.9

相談対象児年齢	割合(%)
1歳未満	13.8
1歳～2歳未満	12.4
2歳～3歳未満	7.7
3歳～4歳未満	6.1
4歳以上	23.2
未記入	36.9

(4) 主訴

発熱:39.2%、嘔気・嘔吐:11.0%、頭部以外の外傷:8.0%、咳:7.9%
頭部打撲:5.4%、発疹:4.9%、等 (外科系の主訴が合計25.5%)

(5) 相談の分類

救急医療相談(a):19.1%、医療機関案内(b):8.0%、a+b:15.9%
医療全般:8.6%、ホームケア:5.7%、薬:2.1%、育児相談:0.4%

(6) 相談者の続柄・年代、相談対象児の兄姉の有無

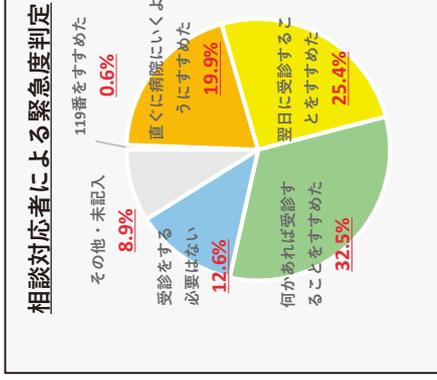
○相談者の続柄:母親:73.8%、父親:11.2%、祖母:0.5%、その他:未記入:14.4%
○相談者の年代:30代:28.4%、20代:8.8%、40代:6.6%、その他:未記入:56.1%
○兄姉の有無:「いる」:12.5%、「いない」:12.7%、不明:未記入:74.8%

(7) 発症時期、相談前の受診の有無

○発症時期:「さつきから」:39.3%、「昼頃から」:5.0%、「朝から」:0.5%
「それ以前から」:19.8%、未記入:30.7%
○相談前の受診:あり:23.8%、なし:48.5%、未記入:27.7%

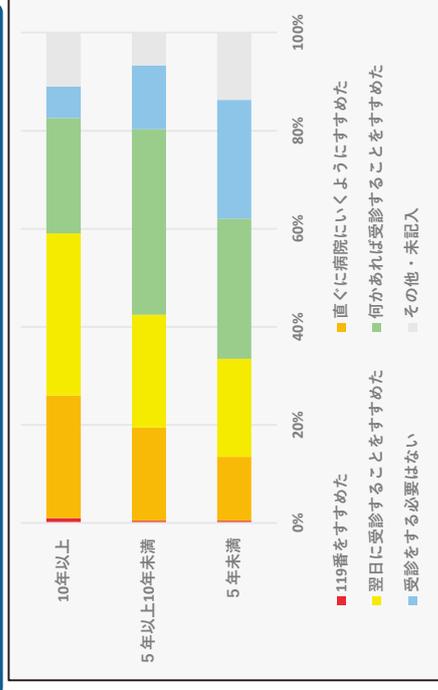
(8) 相談対応時間、相談対応者による緊急度判定、医師による助言の有無

相談対応時間	割合(%)
2分未満	5.3
2～3分未満	14.0
3～4分未満	20.0
4～5分未満	18.4
5～6分未満	14.0
6～7分未満	9.0
7～10分未満	13.1
10分以上	5.6
その他・未記入	0.5



医師の助言	割合(%)
なし	25.1
あり	0.3
医師が対応	0.0 (1件)
未記入	74.6

(9) 相談対応者の相談業務経験年数別の緊急度判定



(10) 満足度 (相談対応者の印象)

満足度	割合(%)
満足した	60.3
普通	36.2
不満気	0.6
不明・未記入	2.9

4. 結果の分析及び考察

(1) 相談内容に関する分析及び考察

① 相談件数

- ・ 今年度は対象が5道県と少なく、各道県の実施時間帯も異なることから、曜日ごと・時間帯ごとの相談件数について、精緻な検討は困難であった。本事業に協力いただけた都道府県数を増やした上で、分析する必要がある。
- ・ 各道県の「年少人口1万人当たり相談件数」には差があり、各道県内においても、「二次医療圏別の年少人口1万人当たり相談件数」に地域差が認められた。各地域における小児医療提供体制の違いの他に、#8000事業に係る普及・啓発活動の取組状況等が影響している可能性も考えられた。

② 曜日・時間帯

- ・ 日曜・祝日以外は曜日による相談件数の差を認めなかった。
- ・ 時間帯については、18～23時に相談が集中しており、時間帯毎の相談件数を踏まえて、必要な回線数・相談対応者数について検討する必要がある。

③ 相談対象児の性別・年齢

- ・ 性別については、「未記入」が多く、性別による主訴の違い等の分析は困難であった。
- ・ 年齢については、3歳未満の割合が高く、「未記入」を除くと半数以上。）、共働きの保護者の子育て支援の意義もあるため、普及・啓発に際して、保育機関等との連携が有効な可能性もある。

④ 主訴

- ・ 発熱や嘔気・嘔吐等の内科系主訴の他に、頭部打撲や頭部以外の外傷を含む外科系主訴が約4分の1あり、今後、電話相談マニュアルや相談対応者研修における外科系主訴に関する内容の充実が重要である。

⑤ 相談の分類

- ・ 症状、薬、ホームケア等の相談以外に、医療機関案内のニーズも多く、#8000事業のみではなく、各自自治体における医療機関案内のウェブサイトや「こども救急ガイドブック」等も一層周知していく必要がある。

⑥ 相談前の受診の有無

- ・ 約3分の1の相談対象児は、#8000利用前に医療機関を受診しており、その多くは内科系主訴であった。医療機関においては、患者、保護者等に対し、時間経過とともに予想される状況やその対応についての十分な説明を行うとともに、各自自治体においては、急な病気やケガ等への対応に関する情報について、「こども救急ガイドブック」等を通じて、啓発していく必要性が示唆された。

(2) 相談対応者に関する分析及び考察

① 相談対応時間

- ・ 相談対応時間は、3～5分未満が多かったが、20分以上を要した事例も24例(0.4%)あった。相談対応に長時間を要する事例において、どのような特徴があるのか等を、事例数を増やして検討する必要がある。

② 緊急度判定

- ・ 相談対応者による緊急度判定について、各道県による差及び相談経験年数による差が認められ、均てん化の必要性が示唆された。
- ・ 相談業務経験年数が長い相談対応者は、マニュアルのみに拠らず、経験に即した緊急度判定を行っている可能性があった。質の向上のため、判定の差が生じやすい主訴を把握するとともに、自治体又は事業者内における相談対応者同士の事例検討等が必要ではないかという分析者の意見もあった。

5. 課題と目標

- 「未記入」を減少させる必要がある。
- 対象都道府県数を増加させる必要がある。
- 相談対応者の質の均てん化に資する情報を得る必要がある。
- 入力方法の周知、必須項目と非必須項目の明確化
- 全都道府県の約半数を目標とする
- 分析対象件数を増やし、判定の差が生じやすい主訴を把握する等、より詳細な分析を行う。

目 次

I. 事業概要	1
I-1. はじめに	1
I-2. 事業内容	1
I-3. 事業の実施体制	1
II. 情報収集・分析方法	2
II-1. 調査方法概略	2
II-2. 情報収集・分析システム	4
III. 道県別の分析結果	6
III-1. 北海道	6
III-2. 埼玉県	31
III-3. 富山県	56
III-4. 岐阜県	81
III-5. 広島県	106
III-6. 1道4県のまとめ	131
IV. 全データの分析結果と考察	158
IV-1 相談内容に関する分析および考察	158
IV-2 相談対応者に関する分析および考察	172
V. 情報収集分析システムの検討	173
VI. 今後の課題	175
VII. 結語	176
VIII. 引用資料	177

I. 事業概要

I-1. はじめに

子ども医療電話相談事業（以下「#8000 事業」という）は、平成 16 年から国庫補助事業として開始され、平成 22 年から全国の都道府県で実施されている。#8000 事業の体制整備のためには、国および都道府県のみならず、#8000 事業の実務を担う小児科医・看護師・保健師・民間事業者などの協力が不可欠である。これまでは、相談内容の記録は年齢・主訴・緊急度など基本的項目のみであった。また、都道府県事業であるため、記録方法が各都道府県で異なり、収集された情報が活用されていなかった。

そこで、#8000 情報収集分析事業（以下「本事業」という）は、#8000 事業における相談内容等の情報を収集し、子どもの病気やけが等のリスク評価、家庭看護の実態等について分析し、#8000 事業における相談対応者の質の向上及び均てん化を図るとともに、分析結果を保護者等に広報するなど、けがや病気などの発生や対処についての啓発を行うことを目的として、平成 29 年度に厚生労働省からの補助を受け、公益社団法人日本小児科医学会が事業実施団体として実施した事業である。

I-2. 事業内容

本事業では上記目的を達成するために、#8000 事業における必要不可欠と思われる事例毎の記録項目を定め、これらの情報を容易に入力可能な情報収集システムを構築して、実際に情報収集することとした。さらに、収集した情報から、けがや病気などの発生状況や対処の必要性について分析し、国民へ啓発すべき情報や、相談対応者の対応技術の向上や均てん化のために必要な情報、医療体制の整備に資する情報を抽出することとした。

I-3. 事業の実施体制

- (1) 事業主体：公益社団法人日本小児科医学会
- (2) 小児救急電話相談情報収集分析事業ワーキンググループの体制
 - ・総括担当：吉澤穰治
 - ・分析担当：渡部誠一、桑原正彦、柳 忠道、渡邊徹、藤田克寿、小山典久、清澤伸幸、森泰二郎、福井聖子
- (3) 会議日程等の事業の過程
 - ・平成 29 年 4 月 2 日 #8000 データセンター準備会議
 - ・平成 29 年 5 月 21 日 #8000 データセンター準備会議、事業概要
 - ・平成 29 年 7 月 30 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 1 回システム構築会議
 - ・平成 29 年 9 月 3 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 2 回システム構築会議

- ・平成 29 年 10 月 22 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 3 回システム構築会議
- ・平成 29 年 11 月 19 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 4 回システム構築会議
- ・平成 29 年 11 月 28 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 1 回情報収集会議
- ・平成 29 年 12 月 3 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 2 回情報収集会議
- ・平成 29 年 12 月 21 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 3 回情報収集会議
- ・平成 30 年 1 月 28 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 4 回情報収集会議
- ・平成 30 年 2 月 1 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 5 回情報収集会議
- ・平成 30 年 2 月 23 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 1 回情報分析会議
- ・平成 30 年 2 月 25 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 2 回情報分析会議
- ・平成 30 年 3 月 11 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 3 回情報分析会議
- ・平成 30 年 3 月 27 日 #8000 情報集積分析事業 WG 会議、第 4 回情報分析会議

II. 情報収集・分析方法

II-1. 調査方法

(1) 調査期間：

平成 30 年 2 月 1 日 17 時から 3 月 1 日 9 時まで (28 日間)

(2) 調査対象自治体：

5 道県 (北海道・埼玉県・富山県・岐阜県・広島県)

(3) 調査項目：

表 1 に示す調査項目に加え、相談対応者の相談業務経験年数・看護師経験年数情報を収集した。なお、個人情報に関しては、匿名化处理し、個人情報の保護に留意した。また、本事業を実施するにあたり、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従っていることを第三者である東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、承認された。

表1
相談対応記録項目

No	大項目	データ項目	内容
1	管理番号	相談管理番号	
2	郵便府県	都道府県名	
3	相談対応者	相談対応者	
4	相談対応者ID	相談対応者ID	
5		相談日	
6	認知	相談開始時刻	
7		相談終了時刻	
8		相談対応時間	
9		選択肢	
9	相談者の情報	母親	相談者の情報
10	相談者の年代	10代	相談者の年代
11	相談者の性別	男	相談者の性別
13	相談対象者の郵便番号		相談対象者の郵便番号
14	相談対象者の市区町村名		相談対象者の市区町村名
15	相談対象者の生年月日		相談対象者の生年月日
16	年齢	1~3か月	年齢
17	兄弟の有無	8歳	兄弟の有無
17	いる	いない	いる
18	相談対象者の性別	女	相談対象者の性別
19	誕生レベルの有無(複数選択)	呼吸をしていない・止まりそう 全身が紫色	誕生レベルの有無(複数選択)
20	主訴(複数選択)	発熱 嘔吐 腹痛 歯科・口腔外科	主訴(複数選択)
21	相談対象児の状態	擦り傷・切り傷(創的) 骨折(創的) たばこ 電池 耳痛 さつきから あり	相談対象児の状態
22	異物誤飲	頭部以外の外傷	異物誤飲
23	耳鼻咽喉科	頭部以外の外傷	耳鼻咽喉科
24	発症時期	頭部以外の外傷	発症時期
25	相談前の受診の有無	頭部以外の外傷	相談前の受診の有無
26	看護師による緊急度判定	119番をすすめた 医師の助言なし	看護師による緊急度判定
27	医師の助言	医師から助言を受けた 直ぐに病院にいくようにすすめた 119番をすすめた 小児科 整形外科 小児科 整形外科	医師の助言
28	緊急度判定	医師から助言を受けた 直ぐに病院にいくようにすすめた 119番をすすめた 小児科 整形外科 小児科 整形外科	緊急度判定
29	受診すべき診療科	眼科 皮膚科 小児科 整形外科	受診すべき診療科
30	実際にすすめた診療科	眼科 皮膚科 救急医療相談(緊急助言) 医療機関案内	実際にすすめた診療科
31	相談の結果	救急医療相談(緊急助言) 医療機関案内	相談の結果
32	調査事項	看護師の印象としての相談者の満足度 自信をもって対応できた	調査事項
33	看護師の対応感想	対応に不安が残った 医師の判断に従った どちらともいえない その他()	看護師の対応感想

Ⅱ-2. 情報収集・分析システム

今回の事業において、今後、全都道府県の#8000 事業における相談対応記録を収集分析可能なクラウド (Salesforce) システム (National Database System #8000: 以下「NDS-8000」という) を構築した。本事業で作成した情報入力システムは、本事業終了後も継続して使用できるシステムである。

(1) National Database System #8000 (NDS-8000)

NDS-8000 は Salesforce 社が提供するクラウドサービスである「Salesforce」を活用して構築したシステムである。#8000 相談対応者は、インターネット環境下で、本システムにアクセスして相談対応内容を直接入力し、入力データはクラウド環境に蓄積される。各都道府県の管理者は入力されたデータの集計結果をいつでも見ることができる。本事業において入力するデータの項目については、これまでに各都道府県が入力してきた項目を再検討し、本事業に有用と考えられる項目とした。

NDS-8000 は、相談対応者が自宅においても業務ができるように、iPad 等のタブレット端末からの入力も可能とした。また、本システムを利用することにより、毎月実施するデータ集計作業が不要となるので、報告書作成に要する作業時間や、人件費などの経費を削減することが可能である。

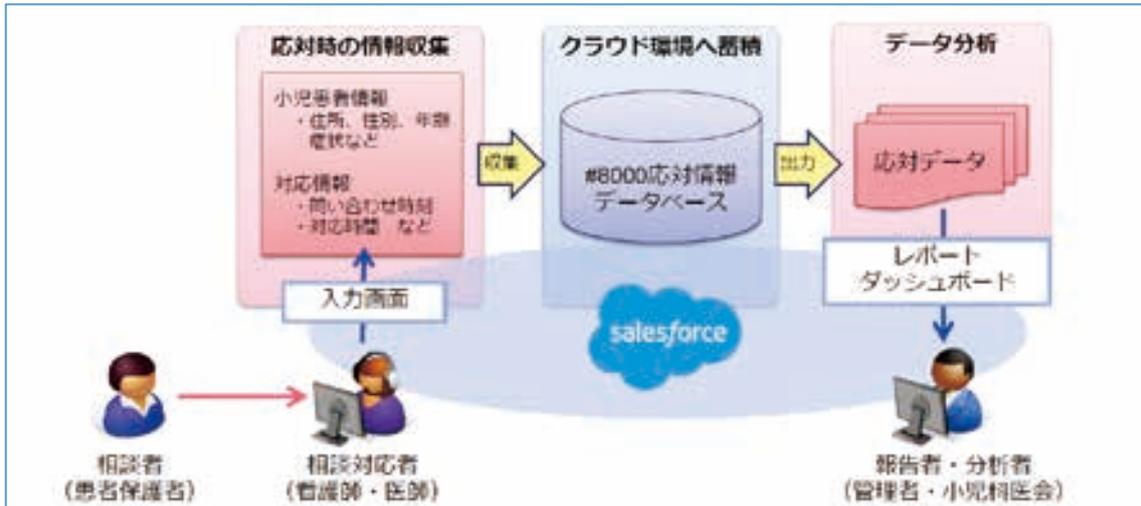


図1 NDS-8000 のイメージ図

(2) 作製過程

本事業を実施するにあたり、北海道・埼玉県・広島県における看護協会の#8000 事業相談対応者 (看護師・保健師)、および、各道県の#8000 事業担当者との検討会を実施した。また、民間事業者の#8000 事業相談対応管理者から、これまでの相談対応情報の収集項目や入力方法などを聴取した。これらから、NDS-8000 に求められる条件は以下の項目を満たすも

のと考え、これらの項目に配慮して NDS-8000 を構築した。

1. 電話対応しながら、簡単に入力できること。
2. 紙媒体への入力から、電子媒体への入力に移行しやすいこと。
3. これまでに記録していた項目を網羅していること。
4. 今後の医療政策に必要な項目が含まれること。
5. 相談内容のみならず、相談対応に関する保護者の評価・感想や、将来的には、医療機関を受診した場合に、医療者による受診の妥当性の評価についても把握できること。
6. 相談対応時間を十分かつ最短時間とするために、聴取・記録する項目は医学的に必要かつ十分な項目であること。

(3) マークシート入力

紙媒体への入力を続けてきた相談対応者が、電子媒体への入力に十分慣れるための研修期間を十分に確保することが必要である。特に、タブレット端末やパソコンを使用したことのない相談対応者には、長期の研修期間が必要となる。十分な研修期間の確保ができない場合や、クラウドシステムエラーが発生した場合に備えて、電子入力システムに入力する項目と同じものをマークシート形式で記入できる方法も準備した。記録済みのマークシートは分析ソフトを用いて、NDS-8000 ヘデータを一括入力することを可能とした。

Ⅲ. 道県別の分析結果

Ⅲ-1. 北海道

(1) 基本情報

1. 二次医療圏別年少人口（15歳未満）¹⁾、小児科医師・小児外科医師数²⁾

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	小児科医師数 (人)	小児外科医師数 (人)	2科合計医師数 (人)	年少人口 (人)
北海道	101	南渡島	33	1	34	40,777
	102	南檜山	2	0	2	2,402
	103	北渡島檜山	4	0	4	3,789
	104	札幌	327	13	340	274,307
	105	後志	20	0	20	21,606
	106	南空知	14	0	14	16,138
	107	中空知	9	0	9	10,391
	108	北空知	1	0	1	2,958
	109	西胆振	19	0	19	20,072
	110	東胆振	22	0	22	26,142
	111	日高	4	0	4	8,294
	112	上川中部	81	2	83	44,087
	113	上川北部	7	0	7	7,195
	114	富良野	4	0	4	5,153
	115	留萌	3	0	3	4,914
	116	宗谷	6	0	6	7,907
	117	北網	22	0	22	25,331
	118	遠紋	4	1	5	7,654
	119	十勝	29	0	29	43,179
	120	釧路	22	0	22	26,624
	121	根室	6	0	6	10,261
		計	639	17	656	609,181

表 2. 北海道の二次医療圏別年少人口（15歳未満）、小児科医師・小児外科医師数

2. #8000 事業実施体制

北海道からの委託を受けて、北海道看護協会が19～23時まで1回線、および民間事業者が23～翌朝8時まで1回線で実施している。

調査実施期間における、北海道看護協会の相談対応者は14名であった。

相談内容の記録は、北海道独自で作成した記録用紙に手書きで記入して、これを道職員がまとめる作業を行った。本事業においては、これまでに使用していた記録用紙に本事業で収集する項目を追記し、これを道職員がNDS-8000に入力することにより情報収集を行った。

今年度は、北海道看護協会の協力を得て、19～23時の情報を収集した。

(2) 結果

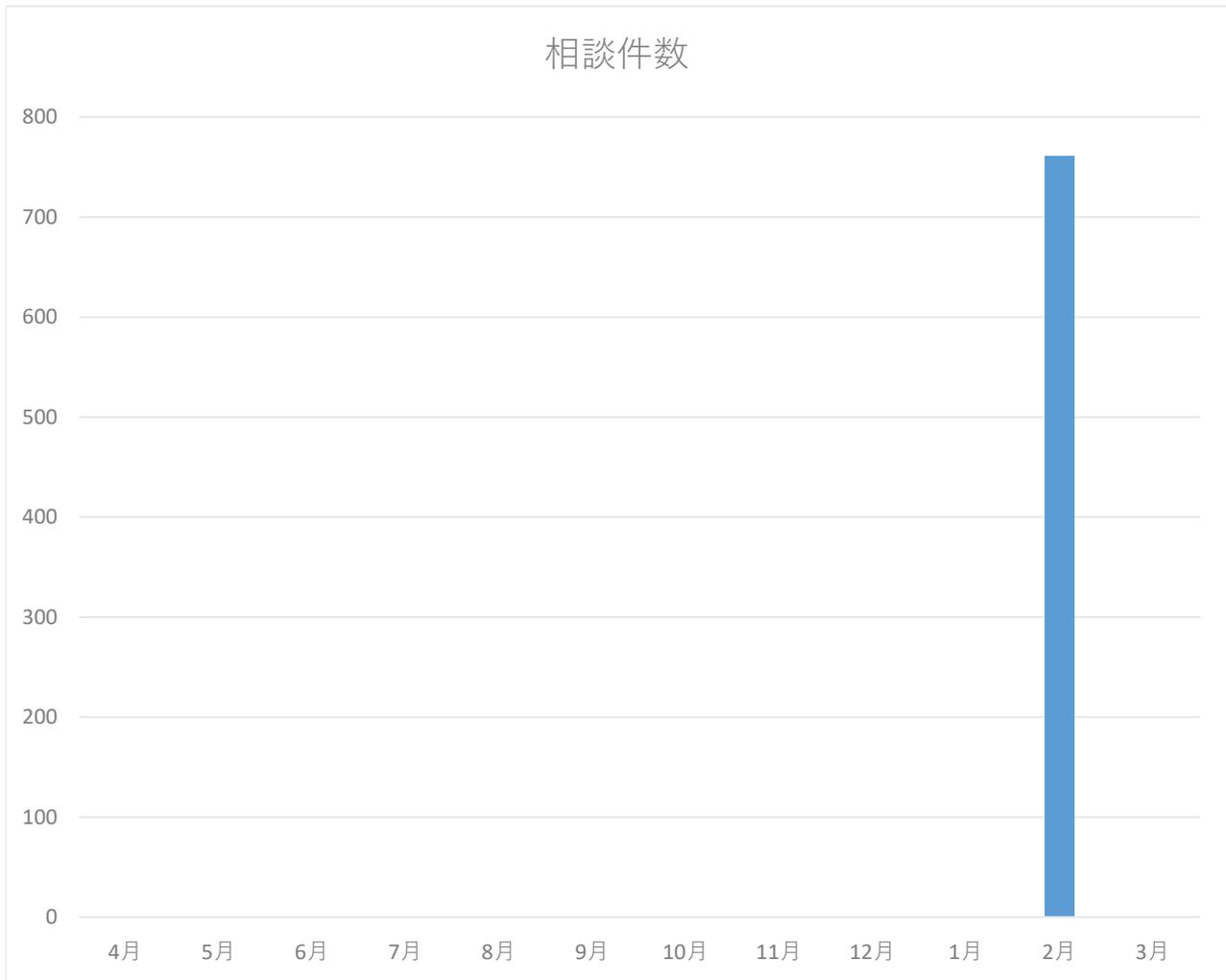
1. 相談件数：761件

2. 二次医療圏毎の相談件数：札幌が最多で 306 件（40.2%）
3. 曜日・相談時間帯別相談件数：19～20 時が最多で 231 件（30.4%）
4. 相談対象児数（男女・年齢別）：男児：女児＝391 件（51.4%）：307 件（40.3%）
1 歳未満は 210 件 27.6%（6 か月～1 歳未満は 133 件 17.5%）、1～2 歳未満が 147 件（19.3%）
5. 主訴別相談件数：発熱 308 件（40.5%）、咳 76 件（10.0%）、嘔気・嘔吐 74 件（9.7%）、
頭部以外の外傷 74 件（9.7%）
6. 相談の分類：未記入のみ
7. 相談者（続柄）：母親 667 件（87.6%）、父親 75 件（9.9%）
8. 相談者（年齢）：30 代が最多で 315 件（41.4%）
9. 兄弟の有無：「いる」が 251 件（33.0%）、「いない」が 248 件（32.6%）
10. 発症時期：「さっきから」が 388 件（51.0%）で最多、次いで「それ以前から」が 246
件（32.3%）
11. 相談前の受診の有無：「受診なし」が 497 件（65.3%）
12. 相談対応時間：4～5 分未満が最多で 133 件（17.5%）、また 10～15 分が 73 件（19.6%）
13. 相談対応者（看護師）による緊急度判定：「受診する必要はない」が最多で 257 件（33.8%）
14. 医師の対応：「助言を受けた」が 4 例（0.5%）
15. 満足度（相談対応者からの印象）：「満足した」が 728 件（95.7%）、「不満気」が 2 件
（0.3%）
16. 相談時間帯別相談者続柄：父親からの相談は 22～23 時に 20 件（14.7%）で最多で、時
間が遅くなると父親の比率が増す。
17. 相談対応時間帯別相談者続柄：相談者続柄の違いによる相談対応時間に概ね差はなかつ
たが、15 分以上は母親のみであった。
18. 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間帯）：未記入のみ
19. 相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定：5 年未満と 5 年以上
10 年未満では、「受診をする必要はない」の割合が 35.8%、38.7%と最も高く、10 年以上で
は「何かあれば受診することをすすめた」の割合が 34.4%と最も高かった。
20. 相談対応者（看護師）による対応感想：「自信を持って対応できた」が 671 件（88.2%）、
「対応に不安が残った」が 27 件（3.5%）であった。

1.相談件数

【北海道】

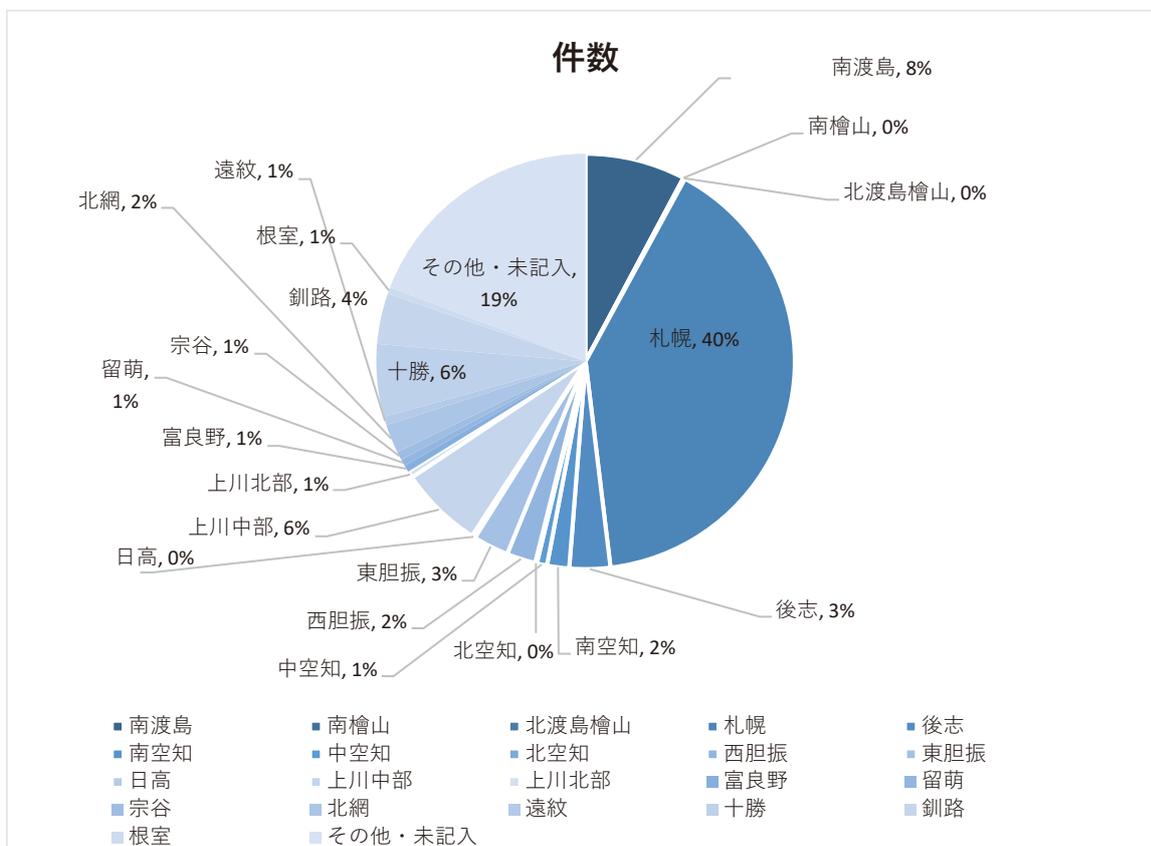
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	761	0	761



2.二次医療圏

【北海道】

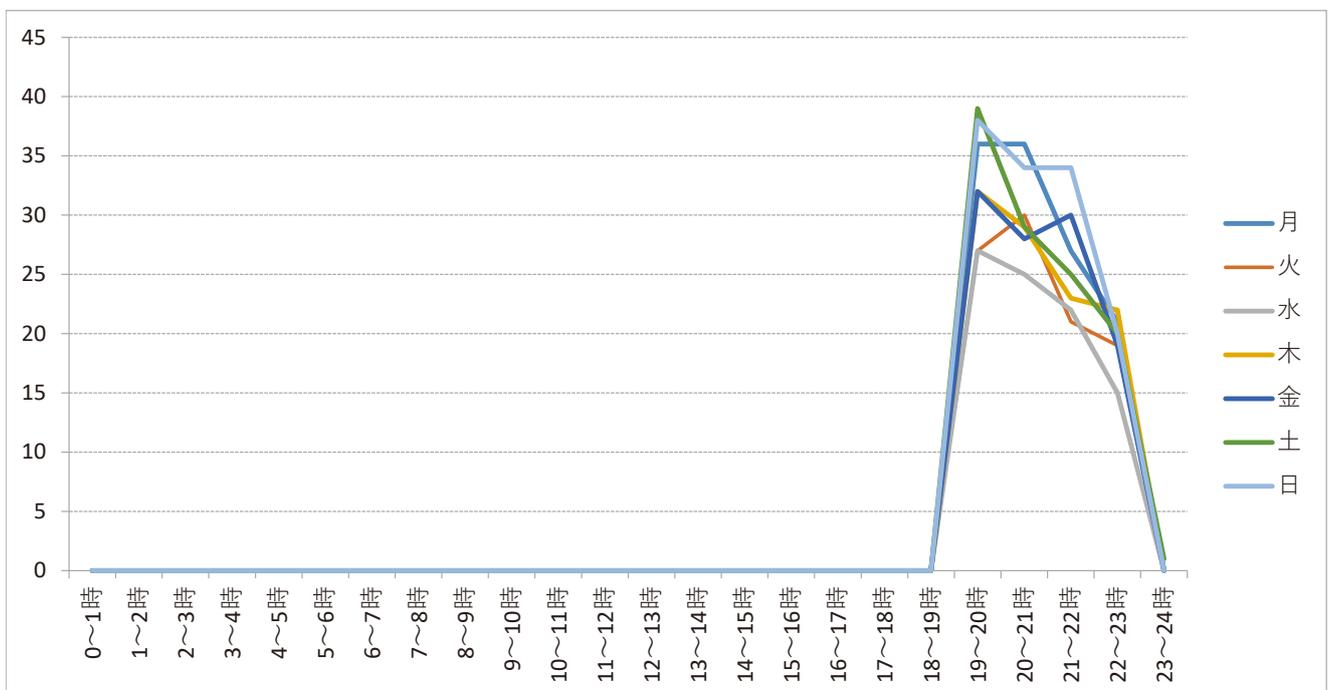
二次医療圏	件数	割合(%)
南渡島	59	7.8
南檜山	0	0.0
北渡島檜山	1	0.1
札幌	306	40.2
後志	24	3.2
南空知	13	1.7
中空知	6	0.8
北空知	1	0.1
西胆振	17	2.2
東胆振	21	2.8
日高	2	0.3
上川中部	49	6.4
上川北部	4	0.5
富良野	4	0.5
留萌	4	0.5
宗谷	5	0.7
北網	17	2.2
遠紋	5	0.7
十勝	43	5.7
釧路	30	3.9
根室	4	0.5
その他・未記入	146	19.2
計	761	100



3.曜日別相談時間帯

【北海道】

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合(%)
0～1時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2～3時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
3～4時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
4～5時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
5～6時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6～7時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
7～8時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
8～9時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
9～10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
10～11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
11～12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
12～13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
13～14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
14～15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
15～16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
16～17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
17～18時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
18～19時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
19～20時	36	27	27	32	32	39	38	231	30.4
20～21時	36	30	25	29	28	29	34	211	27.7
21～22時	27	21	22	23	30	25	34	182	23.9
22～23時	21	19	15	22	19	20	20	136	17.9
23～24時	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
計	120	97	89	106	109	114	126	761	100



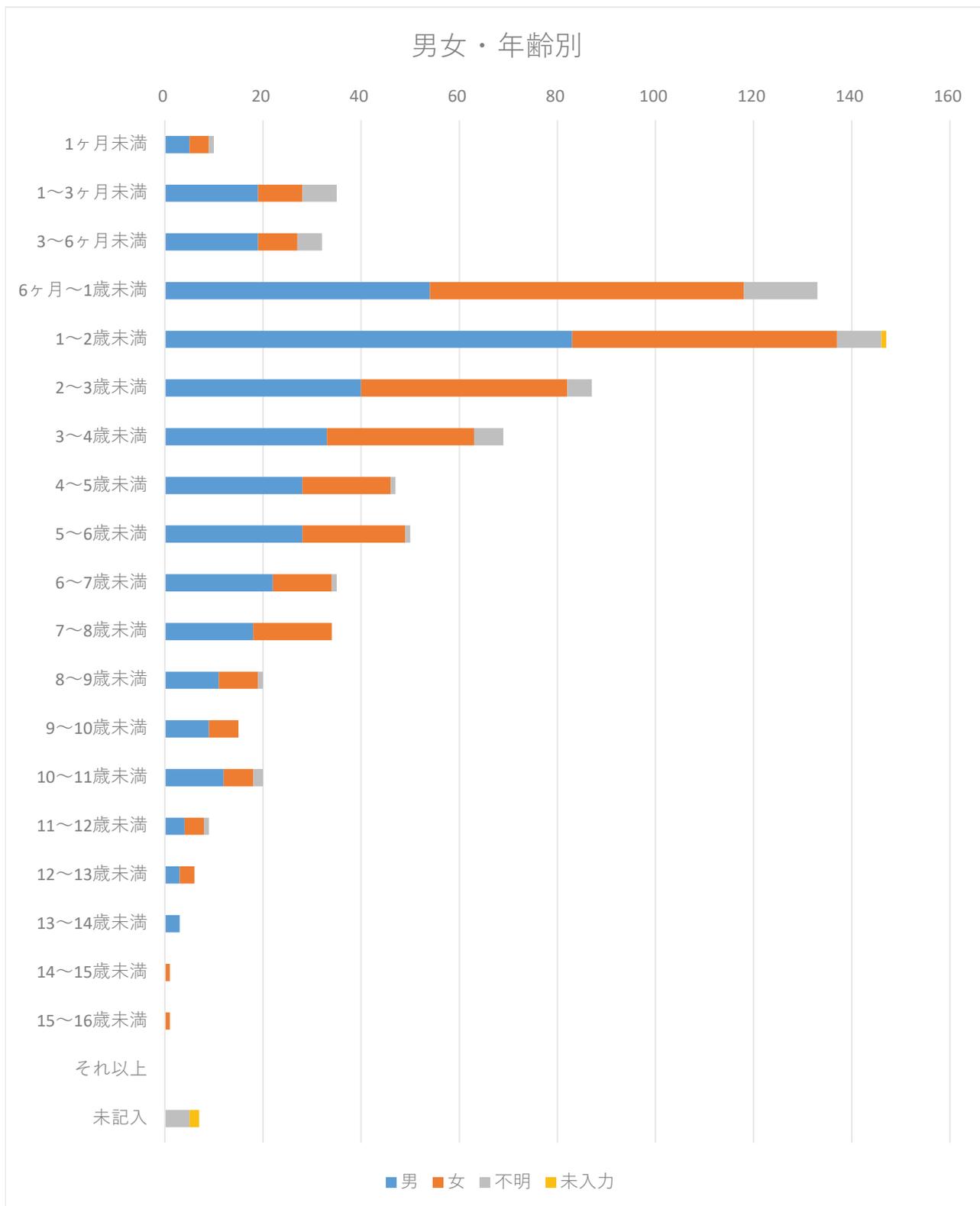
4.相談対象児（男女・年齢別）

【北海道】

相談対象児年齢	男	女	不明	未入力	計	割合(%)
1ヶ月未満	5	4	1	0	10	1.3
1～3ヶ月未満	19	9	7	0	35	4.6
3～6ヶ月未満	19	8	5	0	32	4.2
6ヶ月～1歳未満	54	64	15	0	133	17.5
1～2歳未満	83	54	9	1	147	19.3
2～3歳未満	40	42	5	0	87	11.4
3～4歳未満	33	30	6	0	69	9.1
4～5歳未満	28	18	1	0	47	6.2
5～6歳未満	28	21	1	0	50	6.6
6～7歳未満	22	12	1	0	35	4.6
7～8歳未満	18	16	0	0	34	4.5
8～9歳未満	11	8	1	0	20	2.6
9～10歳未満	9	6	0	0	15	2.0
10～11歳未満	12	6	2	0	20	2.6
11～12歳未満	4	4	1	0	9	1.2
12～13歳未満	3	3	0	0	6	0.8
13～14歳未満	3	0	0	0	3	0.4
14～15歳未満	0	1	0	0	1	0.1
15～16歳未満	0	1	0	0	1	0.1
それ以上	0	0	0	0	0	0.0
未記入	0	0	5	2	7	0.9
計（件数）	391	307	60	3	761	—
計（割合(%)）	51.4%	40.3%	7.9%	0.4%	—	100

4.相談対象児（男女・年齢別）

【北海道】



5.主訴別相談件数

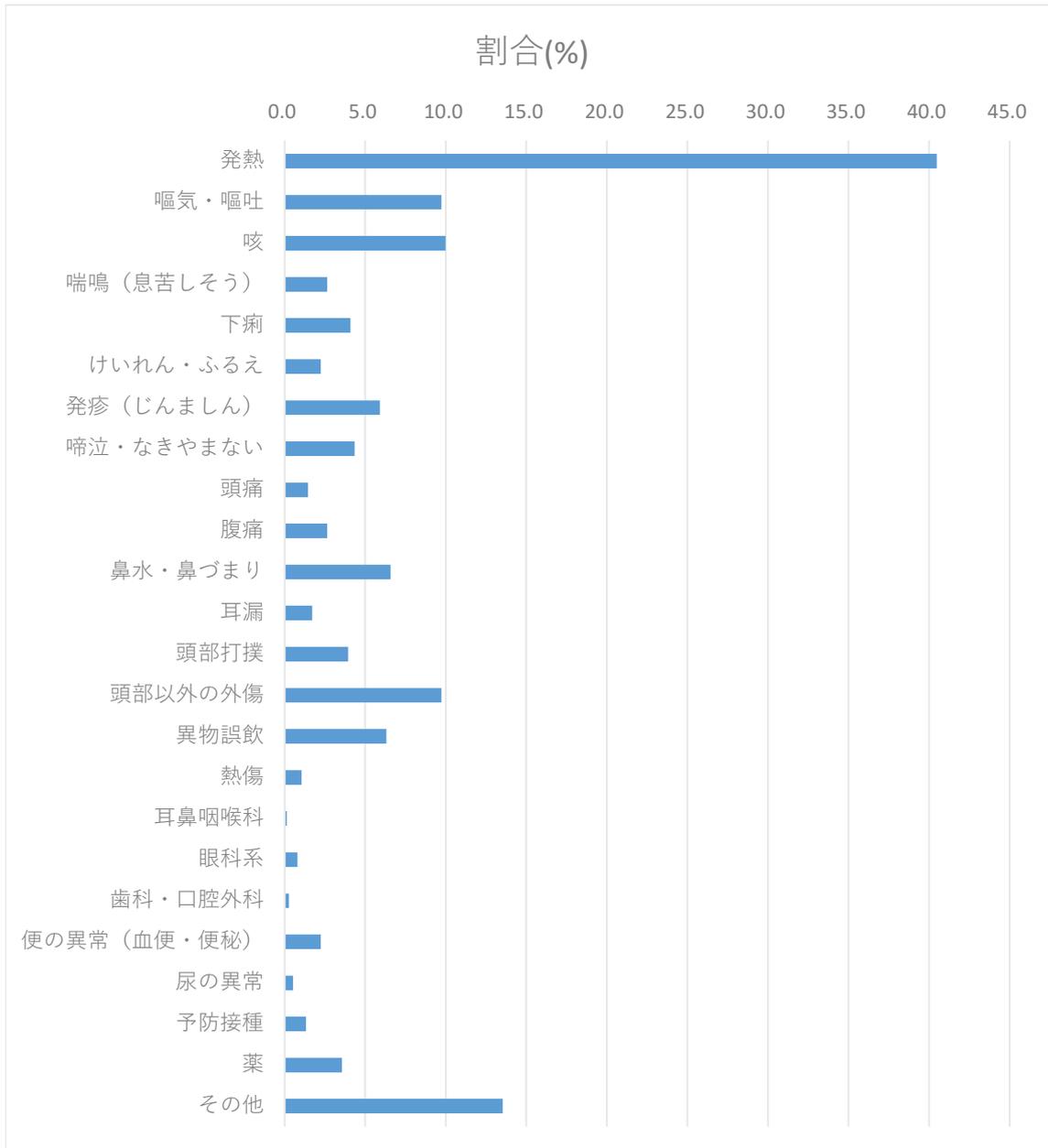
【北海道】

主訴	回答数	相談件数	割合(%)
発熱	308		40.5
嘔気・嘔吐	74		9.7
咳	76		10.0
喘鳴（息苦しそう）	20		2.6
下痢	31		4.1
けいれん・ふるえ	17		2.2
発疹（じんましん）	45		5.9
啼泣・なきやまない	33		4.3
頭痛	11		1.4
腹痛	20		2.6
鼻水・鼻づまり	50		6.6
耳漏	13		1.7
頭部打撲	30		3.9
頭部以外の外傷	74		9.7
異物誤飲	48		6.3
熱傷	8		1.1
耳鼻咽喉科	1		0.1
眼科系	6		0.8
歯科・口腔外科	2		0.3
便の異常（血便・便秘）	17		2.2
尿の異常	4		0.5
予防接種	10		1.3
薬	27		3.5
その他	103		13.5
計	1,028	761	135.1

※複数回答可

5.主訴別相談件数

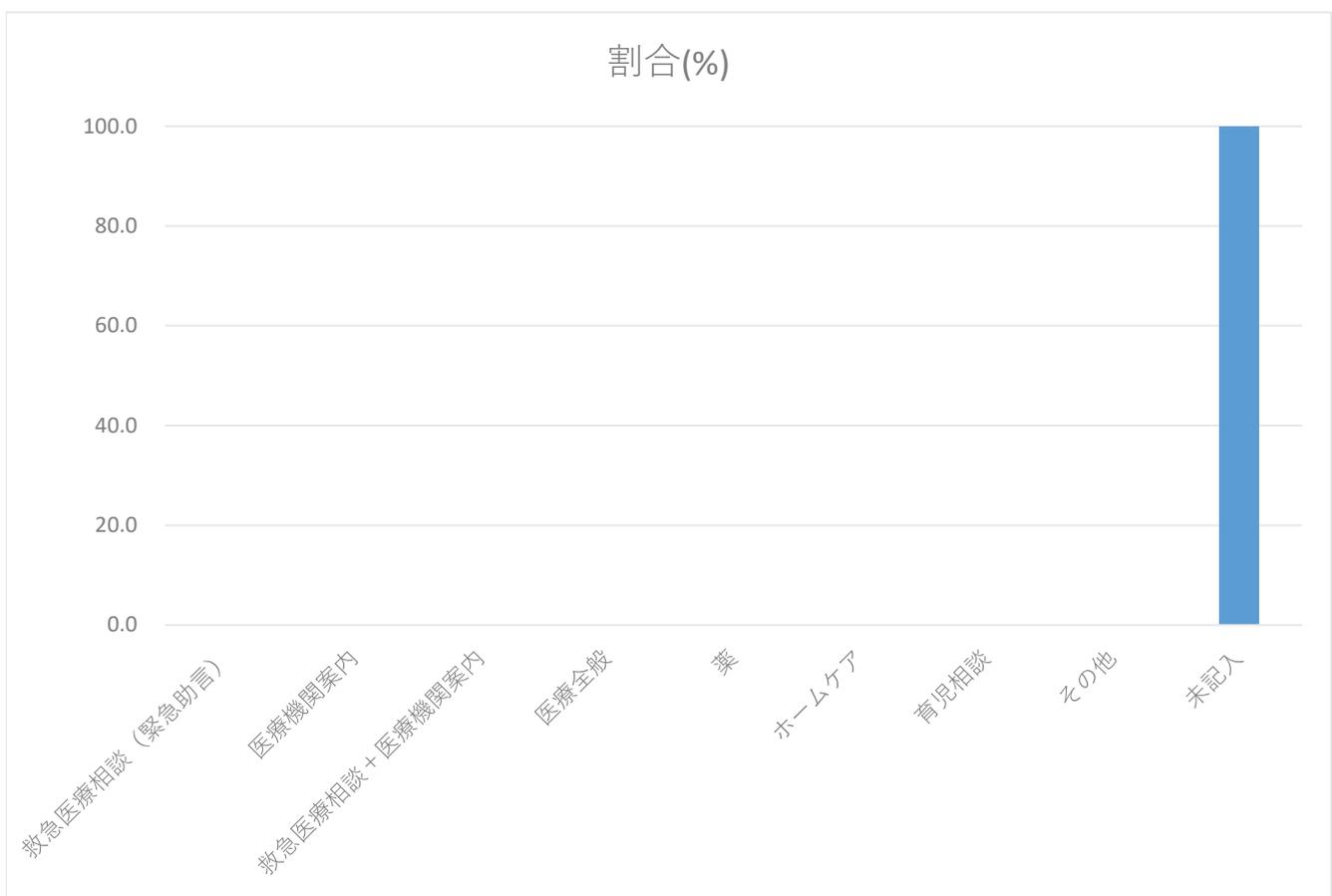
【北海道】



6.相談の分類

【北海道】

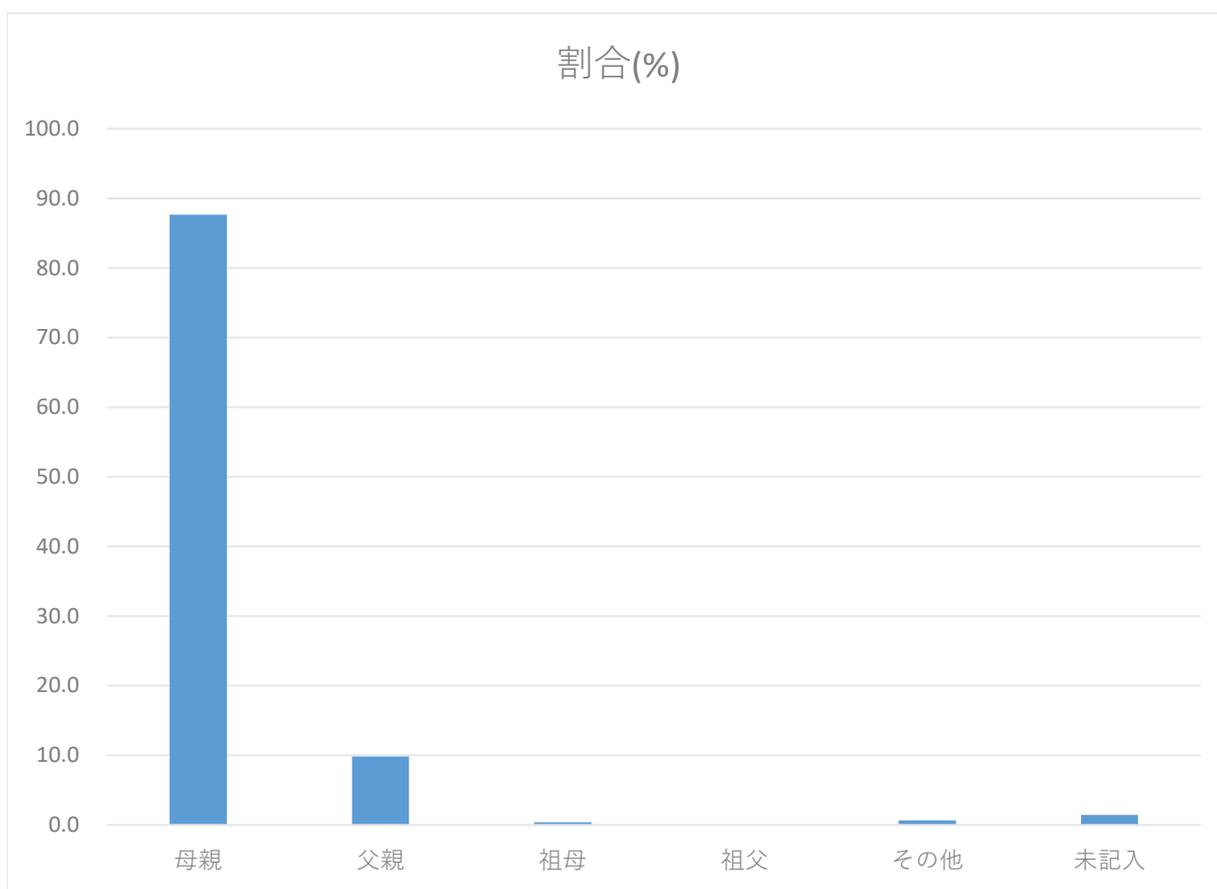
相談の分類	件数	割合(%)
救急医療相談（緊急助言）	0	0.0
医療機関案内	0	0.0
救急医療相談 + 医療機関案内	0	0.0
医療全般	0	0.0
薬	0	0.0
ホームケア	0	0.0
育児相談	0	0.0
その他	0	0.0
未記入	761	100.0
計	761	100



7.相談者（続柄）

【北海道】

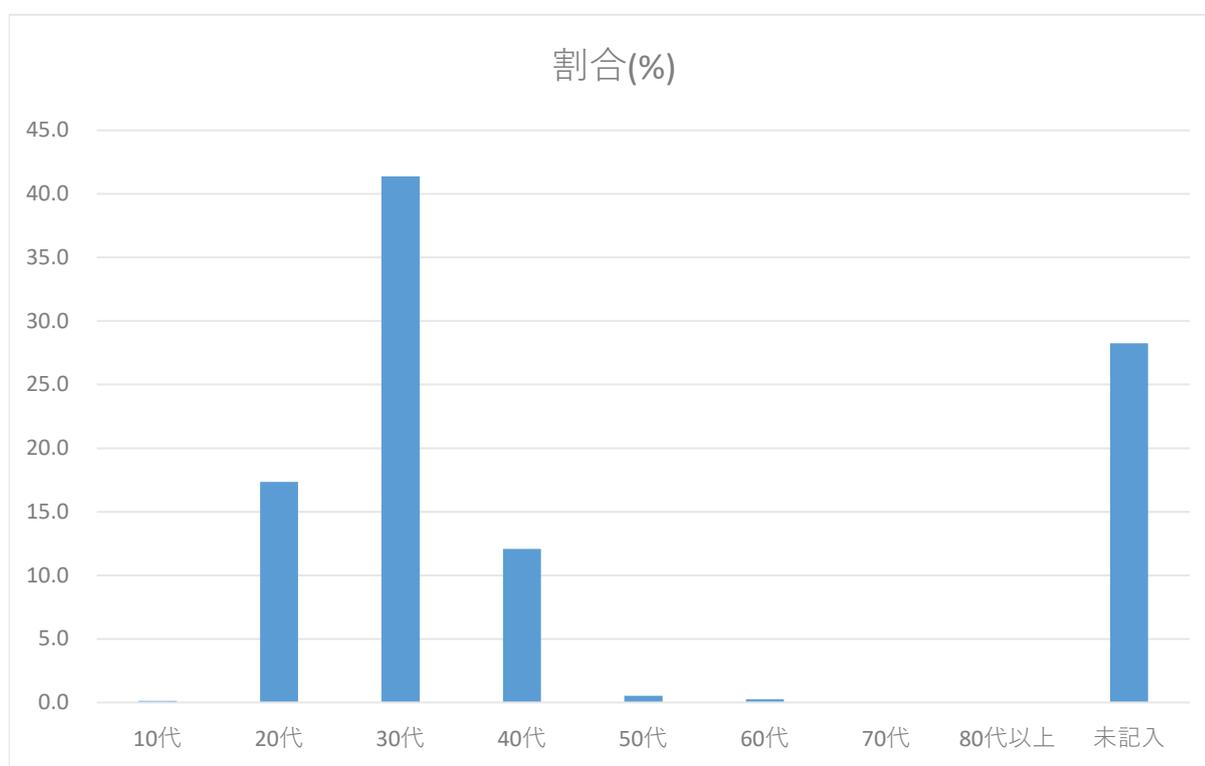
続柄	件数	割合(%)
母親	667	87.6
父親	75	9.9
祖母	3	0.4
祖父	0	0.0
その他	5	0.7
未記入	11	1.4
計	761	100



8.相談者（年齢）

【北海道】

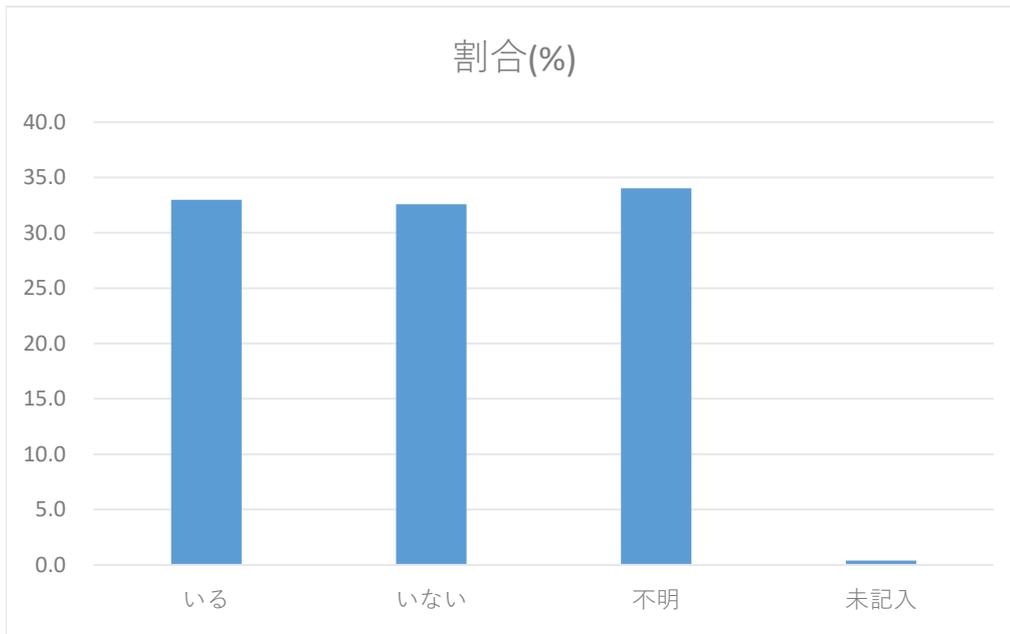
年齢	件数	割合(%)
10代	1	0.1
20代	132	17.3
30代	315	41.4
40代	92	12.1
50代	4	0.5
60代	2	0.3
70代	0	0.0
80代以上	0	0.0
未記入	215	28.3
計	761	100



9.兄弟の有無

【北海道】

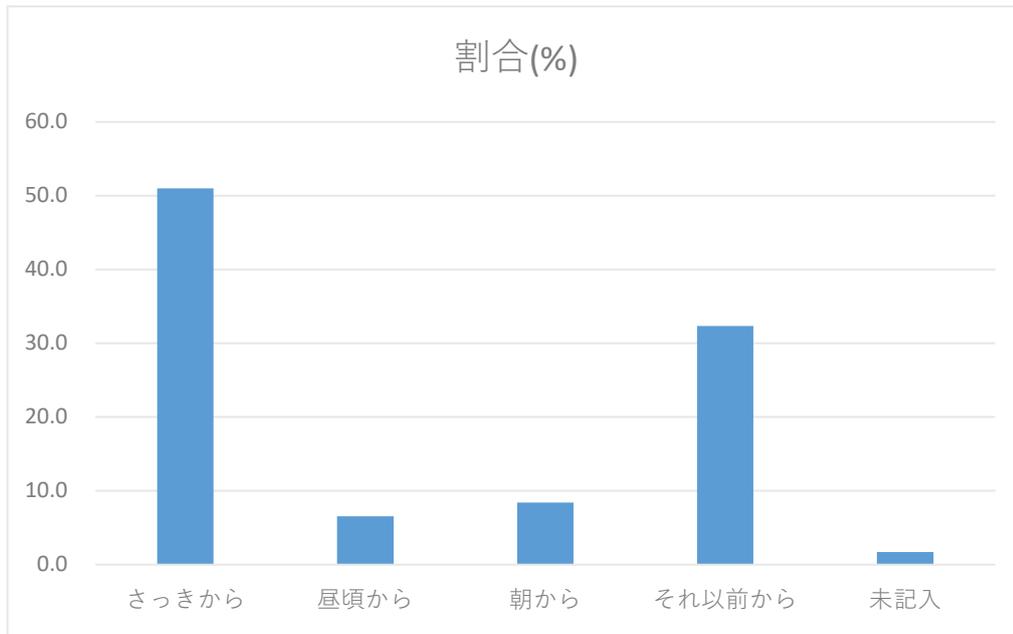
兄弟の有無	件数	割合(%)
いる	251	33.0
いない	248	32.6
不明	259	34.0
未記入	3	0.4
計	761	100



10.発症時期

【北海道】

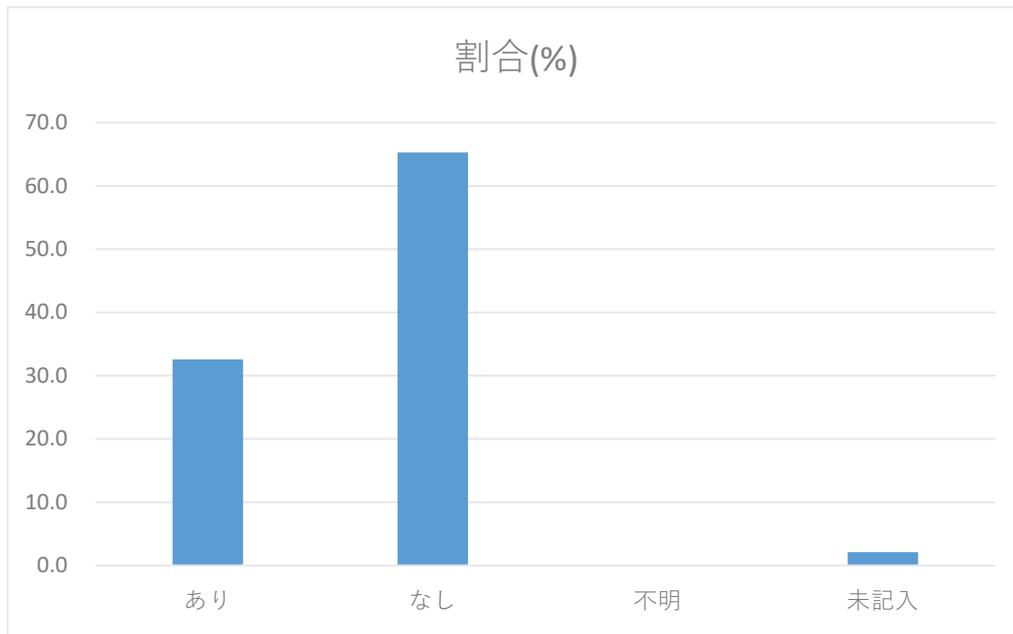
満足度	件数	割合(%)
さっきから	388	51.0
昼頃から	50	6.6
朝から	64	8.4
それ以前から	246	32.3
未記入	13	1.7
計	761	100



11.相談前の受診の有無

【北海道】

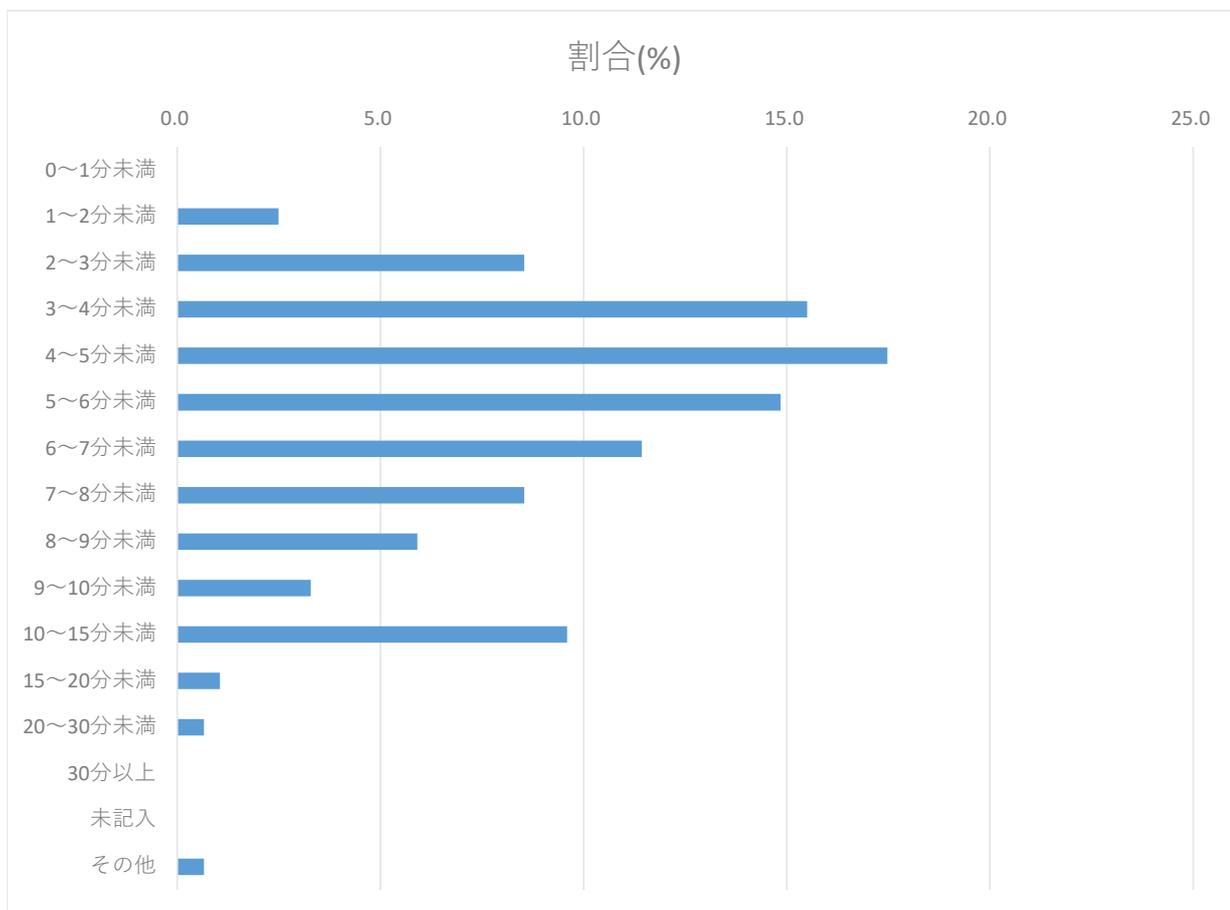
相談前の受診の有無	件数	割合(%)
あり	248	32.6
なし	497	65.3
不明	0	0.0
未記入	16	2.1
計	761	100



12.相談対応時間

【北海道】

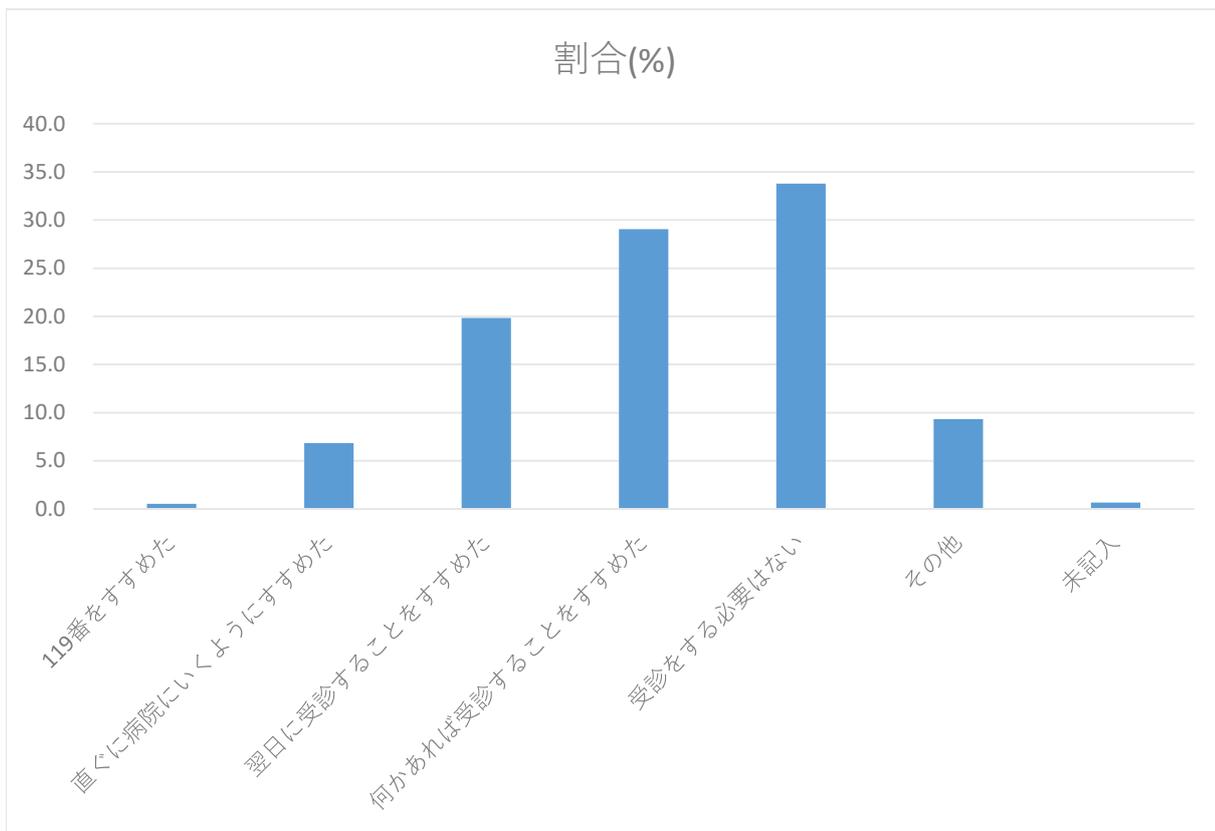
相談対応時間	件数	割合(%)
0～1分未満	0	0.0
1～2分未満	19	2.5
2～3分未満	65	8.5
3～4分未満	118	15.5
4～5分未満	133	17.5
5～6分未満	113	14.8
6～7分未満	87	11.4
7～8分未満	65	8.5
8～9分未満	45	5.9
9～10分未満	25	3.3
10～15分未満	73	9.6
15～20分未満	8	1.1
20～30分未満	5	0.7
30分以上	0	0.0
未記入	0	0.0
その他	5	0.7
計	761	100



13.相談対応者（看護師）による緊急度判定

【北海道】

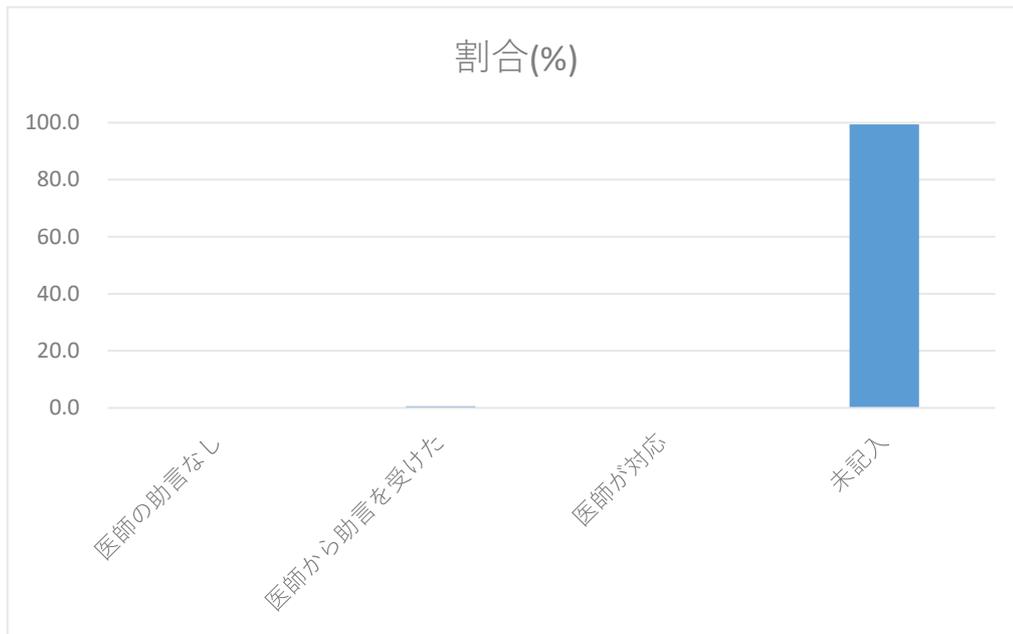
看護師による緊急度判定	件数	割合(%)
119番をすすめた	4	0.5
直ぐに病院に行くようにすすめた	52	6.8
翌日に受診することをすすめた	151	19.8
何かあれば受診することをすすめた	221	29.0
受診をする必要はない	257	33.8
その他	71	9.3
未記入	5	0.7
計	761	100



14.医師の対応

【北海道】

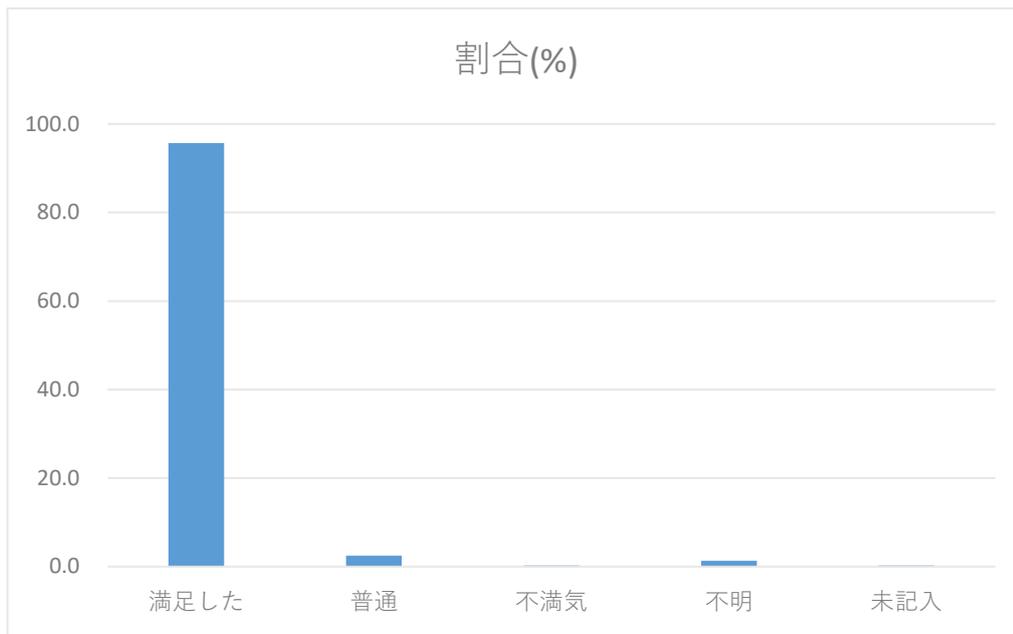
医師の助言	件数	割合(%)
医師の助言なし	0	0.0
医師から助言を受けた	4	0.5
医師が対応	0	0.0
未記入	757	99.5
計	761	100



15.満足度（相談対応者からの印象）

【北海道】

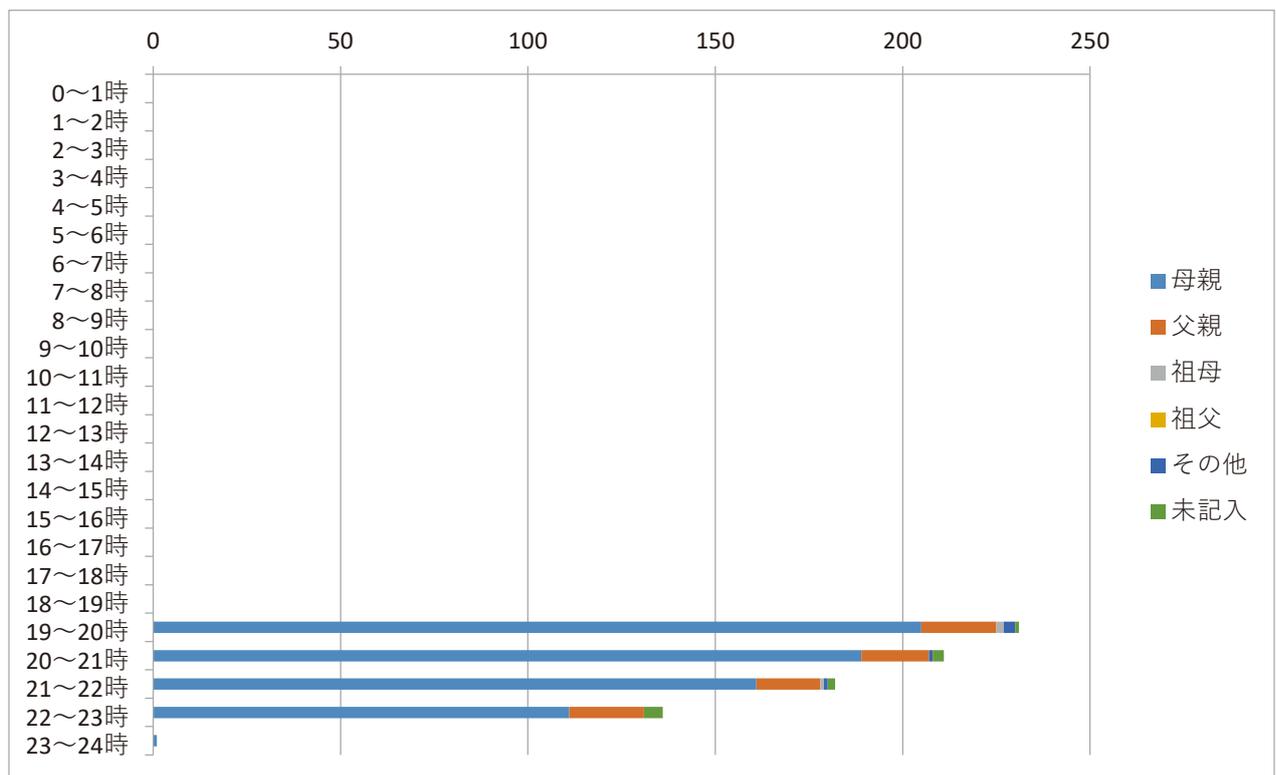
満足度	件数	割合(%)
満足した	728	95.7
普通	19	2.5
不満気	2	0.3
不明	10	1.3
未記入	2	0.3
計	761	100



16.相談時間帯別相談者続柄

【北海道】

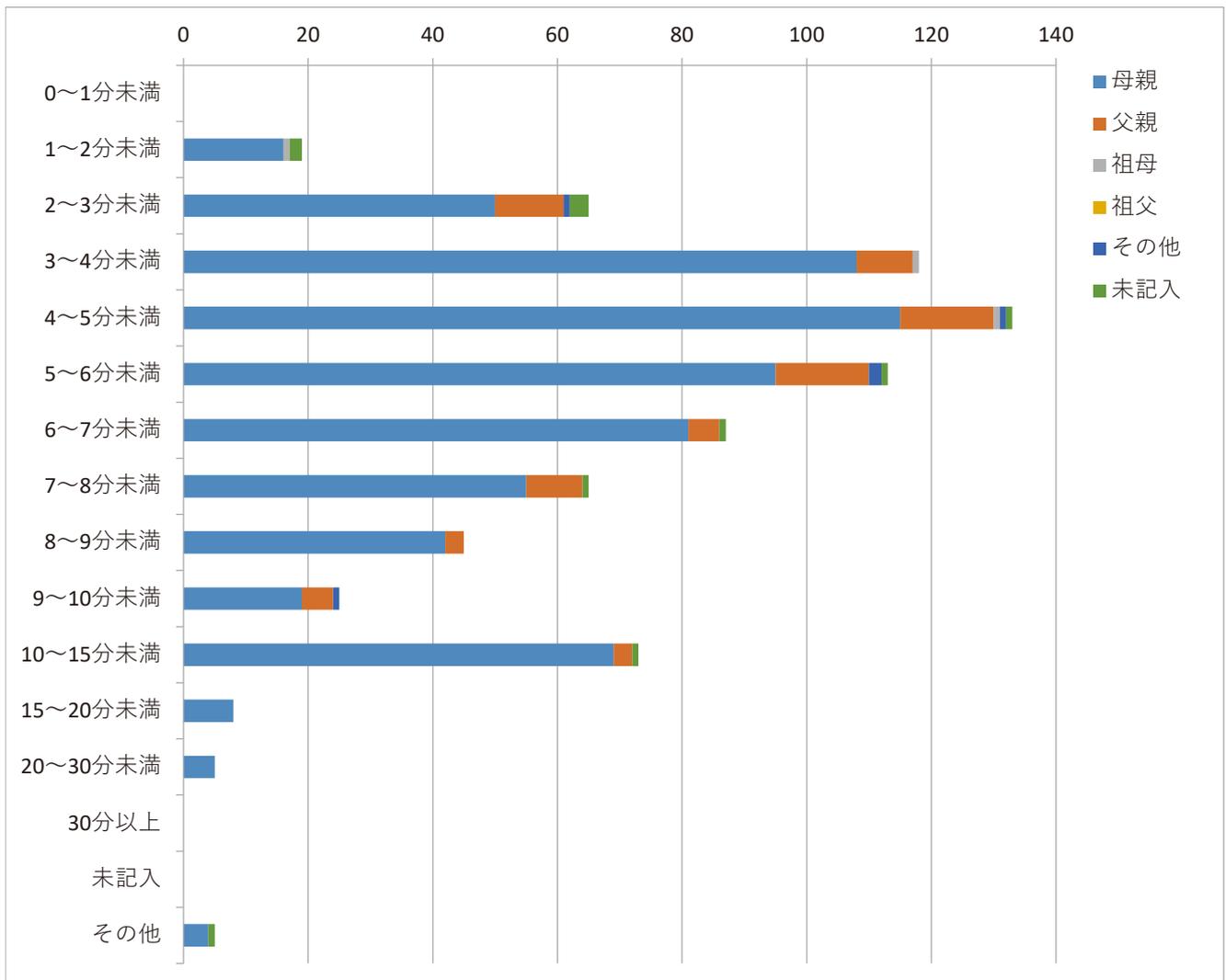
時間帯	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2～3時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
3～4時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
4～5時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
5～6時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6～7時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
7～8時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
8～9時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
9～10時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
10～11時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
11～12時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
12～13時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
13～14時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
14～15時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
15～16時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
16～17時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
17～18時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
18～19時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
19～20時	205	20	2	0	3	1	231	30.4
20～21時	189	18	0	0	1	3	211	27.7
21～22時	161	17	1	0	1	2	182	23.9
22～23時	111	20	0	0	0	5	136	17.9
23～24時	1	0	0	0	0	0	1	0.1
計	667	75	3	0	5	11	761	100



17.相談対応時間別相談者続柄

【北海道】

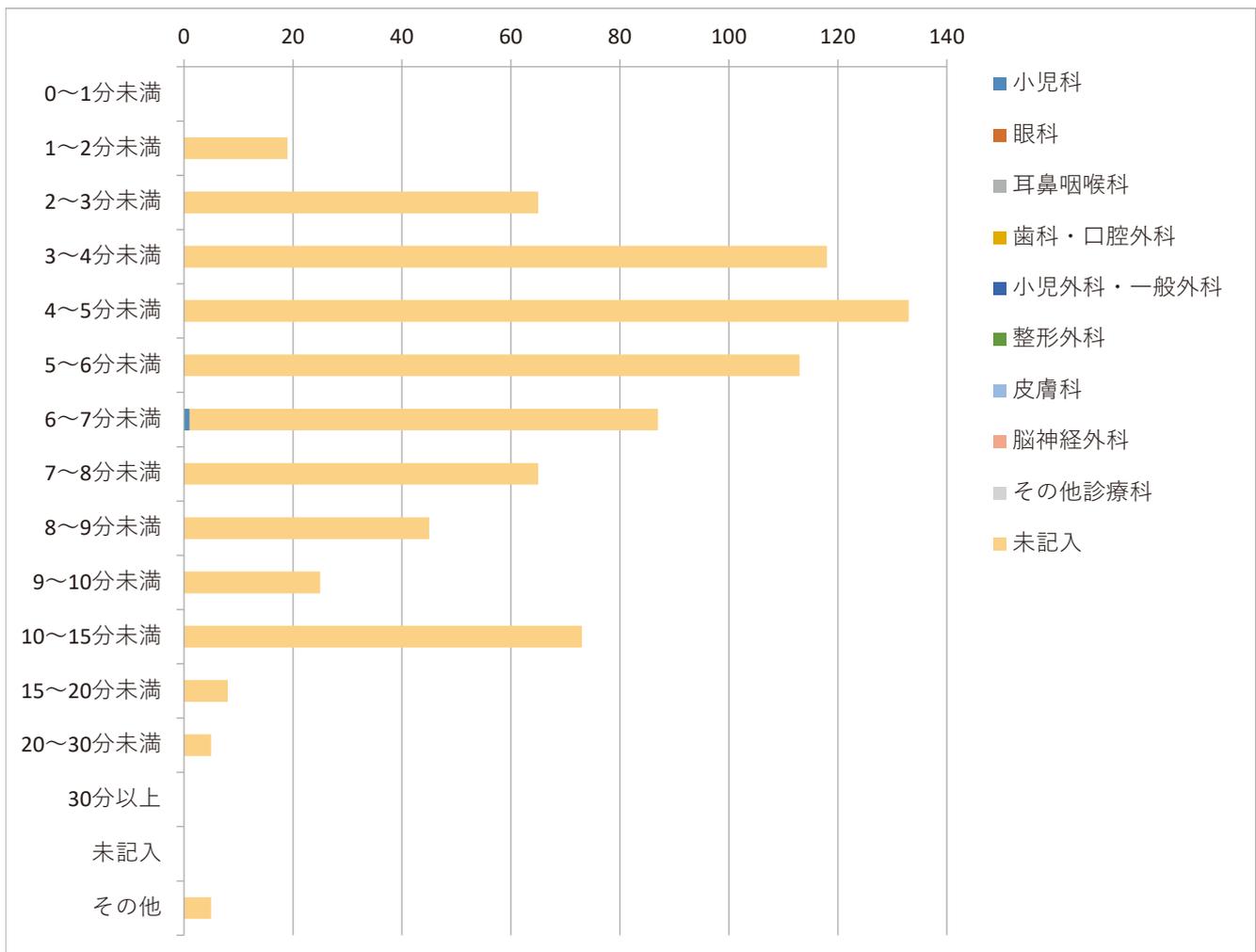
相談対応時間	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1分未満	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2分未満	16	0	1	0	0	2	19	2.5
2～3分未満	50	11	0	0	1	3	65	8.5
3～4分未満	108	9	1	0	0	0	118	15.5
4～5分未満	115	15	1	0	1	1	133	17.5
5～6分未満	95	15	0	0	2	1	113	14.8
6～7分未満	81	5	0	0	0	1	87	11.4
7～8分未満	55	9	0	0	0	1	65	8.5
8～9分未満	42	3	0	0	0	0	45	5.9
9～10分未満	19	5	0	0	1	0	25	3.3
10～15分未満	69	3	0	0	0	1	73	9.6
15～20分未満	8	0	0	0	0	0	8	1.1
20～30分未満	5	0	0	0	0	0	5	0.7
30分以上	0	0	0	0	0	0	0	0.0
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	4	0	0	0	0	1	5	0.7
計	667	75	3	0	5	11	761	100



18. 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）

【北海道】

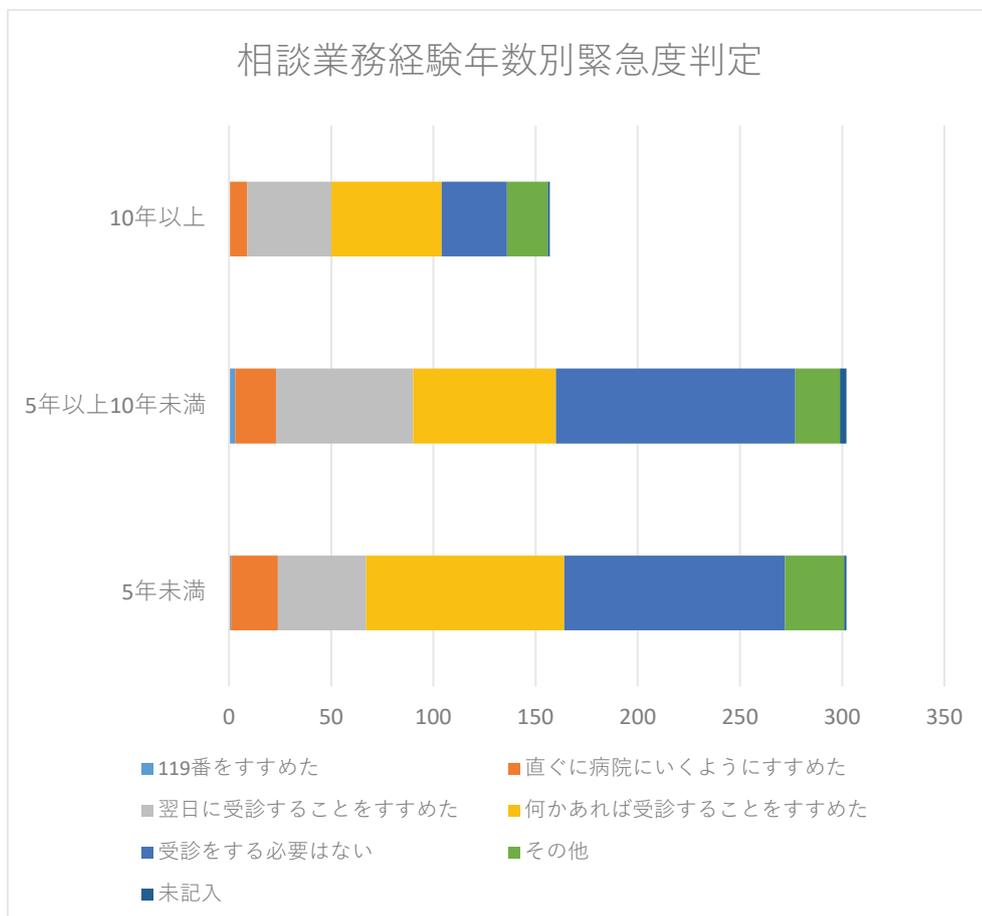
相談対応時間	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科・口腔外科	小児外科・一般外科	整形外科	皮膚科	脳神経外科	その他診療科	未記入	計	割合 (%)
0～1分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	2.5
2～3分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	65	8.5
3～4分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118	118	15.5
4～5分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133	133	17.5
5～6分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113	113	14.8
6～7分未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	86	87	11.4
7～8分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	65	8.5
8～9分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	45	5.9
9～10分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	3.3
10～15分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	73	9.6
15～20分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	1.1
20～30分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0.7
30分以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0.7
計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	760	761	100



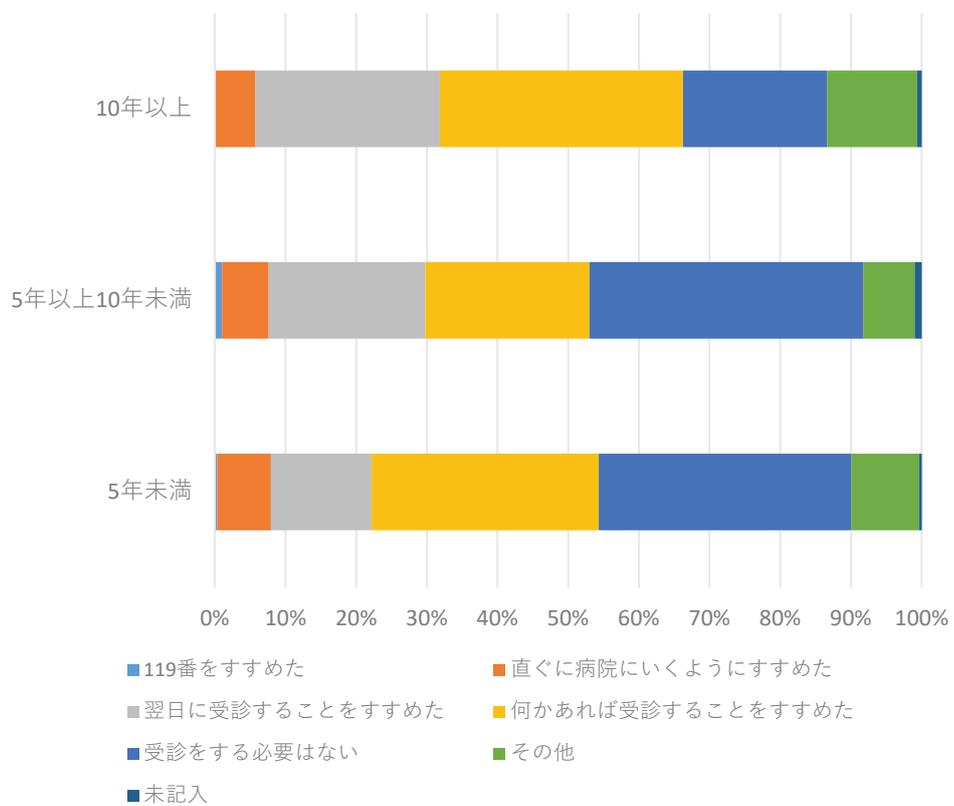
19.相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定

【北海道】

緊急度分類	相談業務経験年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上	計
		件数	1	3	
119番をすすめた	割合(%)	0.3	1.0	0.0	0.5
	件数	23	20	9	52
直ぐに病院に行くようにすすめた	割合(%)	7.6	6.6	5.7	6.8
	件数	43	67	41	151
翌日に受診することをすすめた	割合(%)	14.2	22.2	26.1	19.8
	件数	97	70	54	221
何かあれば受診することをすすめた	割合(%)	32.1	23.2	34.4	29.0
	件数	108	117	32	257
受診をする必要はない	割合(%)	35.8	38.7	20.4	33.8
	件数	29	22	20	71
その他	割合(%)	9.6	7.3	12.7	9.3
	件数	1	3	1	5
未記入	割合(%)	0.3	1.0	0.6	0.7
	件数	302	302	157	761
計	割合(%)	100	100	100	100



相談業務経験年数別緊急度判定



20. 相談対応者（看護師）の対応感想

【北海道】

看護師の対応感想	件数	割合(%)
自信をもって対応できた	671	88.2
対応に不安が残った	27	3.5
どちらともいえない	0	0.0
医師の判断に従った	3	0.4
その他	57	7.5
未記入	3	0.4
計	761	100

Ⅲ-2. 埼玉県

(1) 基本情報

1. 二次医療圏別年少人口（15歳未満）¹⁾、小児科医師・小児外科医師数²⁾

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	小児科医師数 (人)	小児外科医師数 (人)	2科合計医師数 (人)	年少人口 (人)
埼玉県	1101	南部	93	1	94	102,826
	1102	南西部	69	2	71	95,694
	1103	東部	94	10	104	145,424
	1104	さいたま	198	13	211	165,298
	1105	県央	24	1	25	66,843
	1106	川越比企	128	9	137	95,765
	1107	西部	55	2	57	91,832
	1108	利根	44	0	44	75,531
	1109	北部	31	2	33	62,444
	1110	秩父	7	1	8	12,000
			計	743	41	784

表 3. 埼玉県の二次医療圏別年少人口（15歳未満）、小児科医師・小児外科医師数

2. #8000 事業実施体制

埼玉県からの委託を受けて、埼玉県看護協会が月曜日から土曜日の19～23時まで2回線、および民間事業者が同時間に1回線で実施している。日曜日は9～23時まで3回線で実施している。

調査実施期間における、埼玉県看護協会の相談対応者は16名であった。

相談内容の記録は、埼玉県独自で作成した記録用紙に手書きで記入した。本事業においては、9割の相談対応者がNDS-8000にタブレット端末またはパソコンから入力することにより情報収集をおこなった。

今年度は、埼玉県看護協会の協力を得て、月曜日から土曜日の19～23時、日曜日は9～23時の情報収集をおこなった。

(2) 結果

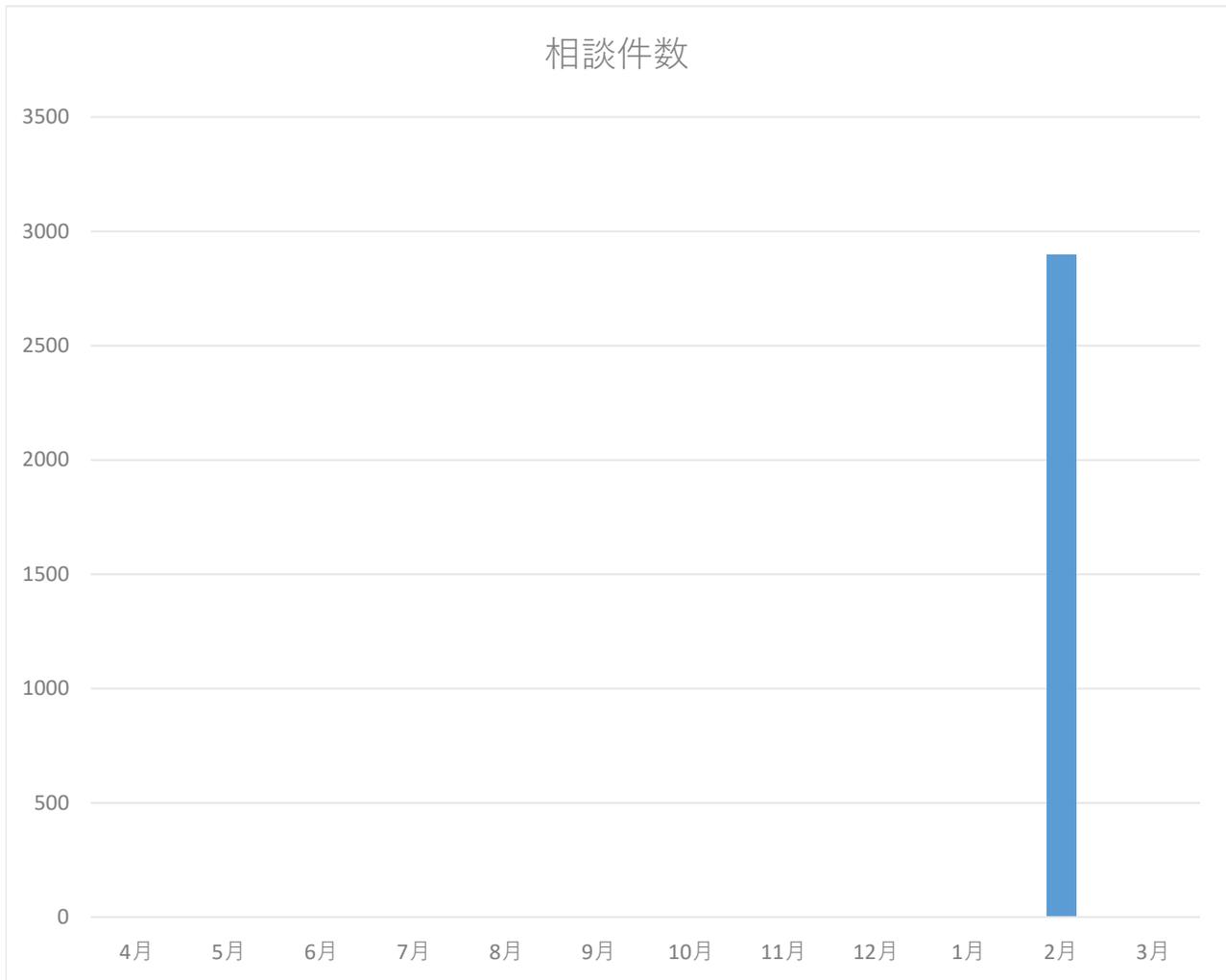
1. 全相談件数：2,898件
2. 二次医療圏毎の相談件数：東部が最多で487件（16.8%）
3. 曜日・相談時間帯別相談件数：19～20時が最多で608件（21.0%）
4. 相談対象児数（男女・年齢別）：男児：女児＝1,012件（34.9%）：846件（29.2%）
1歳未満が386件（13.3%）、1～2歳未満が347件（12.0%）
5. 主訴別相談件数：最も多い主訴は発熱1,142件（39.4%）で、次いで嘔気・嘔吐が310件（10.7%）、頭部以外の外傷が251件（8.7%）、咳239（8.2%）であった。

6. 相談の分類：救急医療相談＋医療機関案内が 783 件（27.0%）で最多、次いで救急医療相談 680 件（23.5%）、医療機関案内 495 件（17.1%）
7. 相談者（続柄）：母親 1,730 件（59.7%）、父親 334 件（11.5%）
8. 相談者（年齢）：未記入のみ
9. 兄弟の有無：「いる」が 475 件（16.4%）、「いない」が 556 件（19.2%）
10. 発症時期：「さっきから」が 1,402 件（48.4%）で最多、次いで「それ以前から」が 713 件（24.6%）
11. 相談前の受診の有無：「受診なし」1,044 件（36.0%）、「受診あり」562 件（19.4%）
12. 相談対応時間：3～4 分未満が最多で 689 件（23.8%）
13. 相談対応者（看護師）による緊急度判定：「何かあれば受診することをすすめた」が最多で 881 件（30.4%）
14. 医師の対応：「助言を受けた」が 4 例（0.5%）
15. 満足度（相談対応者からの印象）：「満足した」が 2,305 件（79.5%）、「不満気」が 23 件（0.8%）
16. 相談時間帯別相談者続柄：時間が遅くなるにつれて父親からの相談割合が増加していた。19～20 時では父親が 11.7%で、22～23 時では父親が 19.7%であった。
17. 相談対応時間別相談者続柄：母親・父親ともに 3～4 分未満が最多であった。
18. 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）：多くの診療科で 3～4 分未満が最多であった。歯科・口腔外科および整形外科では 2～3 分未満が最多であった。
19. 相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定：5 年未満と 5 年以上 10 年未満では「何かあれば受診することをすすめた」の割合が、それぞれ 22.5%、39.8%と最も多く、10 年以上では、「直ぐに病院に行くようにすすめた」の割合が 28.8%と最も多かった。
20. 相談対応者（看護師）による対応感想：「自信を持って対応できた」が 2,425 件（83.7%）、「どちらとも言えない」が 202 件（7.0%）、「対応に不安が残った」が 5 件（1.8%）であった。

1.相談件数

【埼玉県】

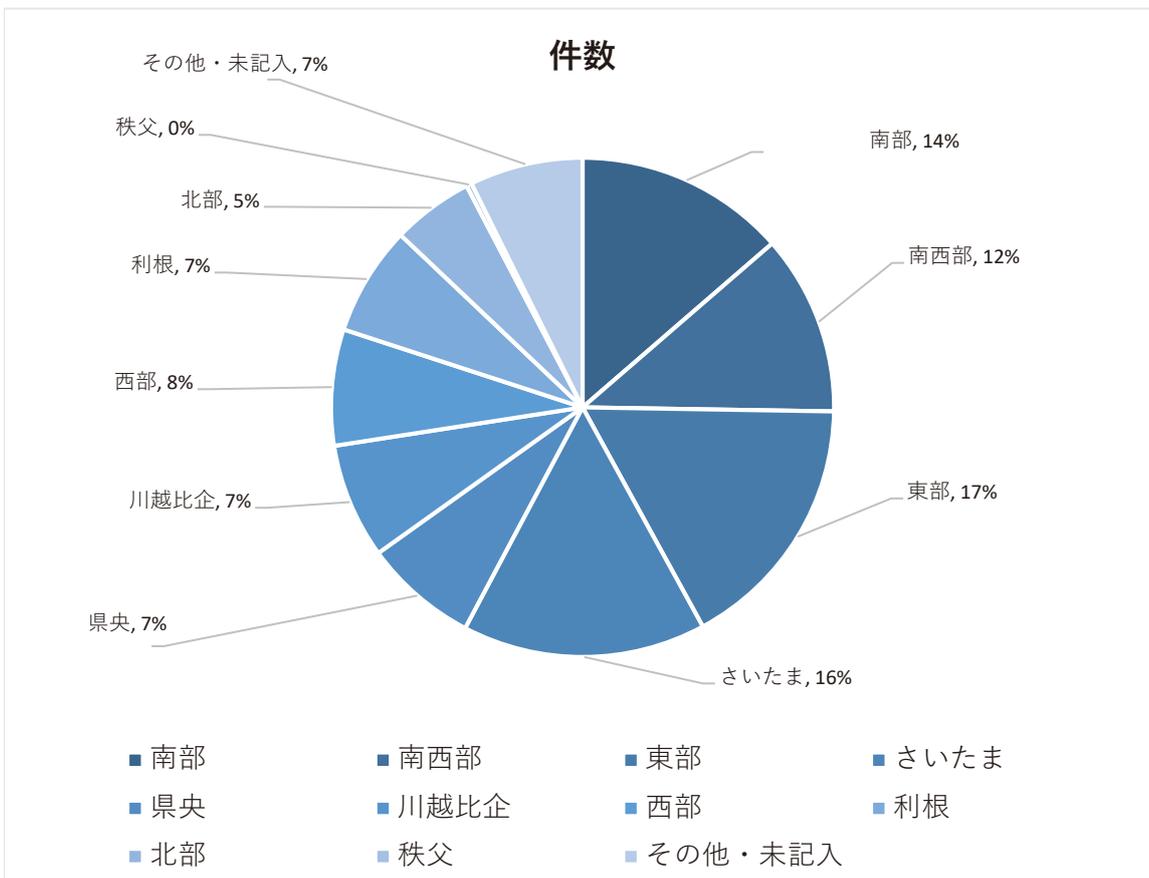
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,898	0	2,898



2.二次医療圏

【埼玉県】

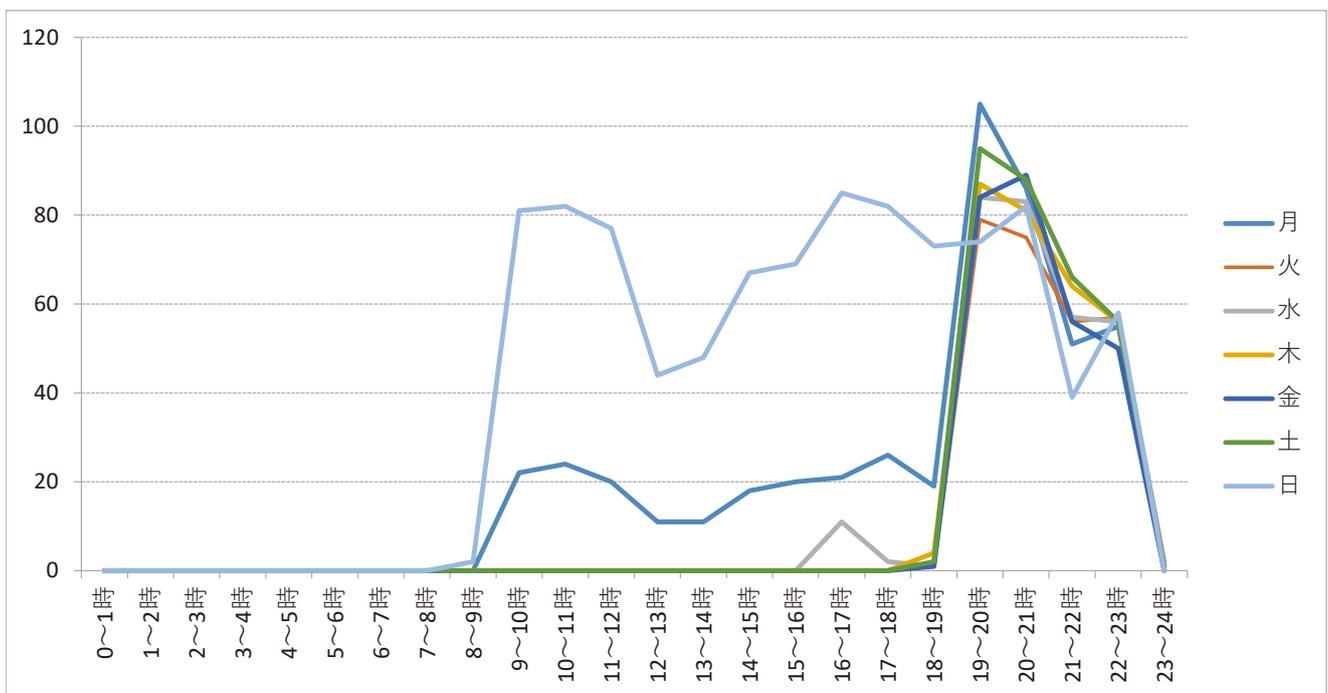
二次医療圏	件数	割合(%)
南部	394	13.6
南西部	338	11.7
東部	487	16.8
さいたま	454	15.7
県央	213	7.3
川越比企	216	7.5
西部	218	7.5
利根	205	7.1
北部	152	5.2
秩父	10	0.3
その他・未記入	211	7.3
計	2,898	100



3.曜日別相談時間帯

【埼玉県】

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合(%)
0～1時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2～3時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
3～4時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
4～5時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
5～6時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6～7時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
7～8時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
8～9時	0	0	0	0	0	0	2	2	0.1
9～10時	22	0	0	0	0	0	81	103	3.6
10～11時	24	0	0	0	0	0	82	106	3.7
11～12時	20	0	0	0	0	0	77	97	3.3
12～13時	11	0	0	0	0	0	44	55	1.9
13～14時	11	0	0	0	0	0	48	59	2.0
14～15時	18	0	0	0	0	0	67	85	2.9
15～16時	20	0	0	0	0	0	69	89	3.1
16～17時	21	0	11	0	0	0	85	117	4.0
17～18時	26	0	2	0	0	0	82	110	3.8
18～19時	19	1	1	4	1	2	73	101	3.5
19～20時	105	79	84	87	84	95	74	608	21.0
20～21時	86	75	83	81	89	88	82	584	20.2
21～22時	51	56	57	64	56	66	39	389	13.4
22～23時	55	57	56	56	50	56	58	388	13.4
23～24時	1	1	2	0	0	1	0	5	0.2
計	490	269	296	292	280	308	963	2,898	100



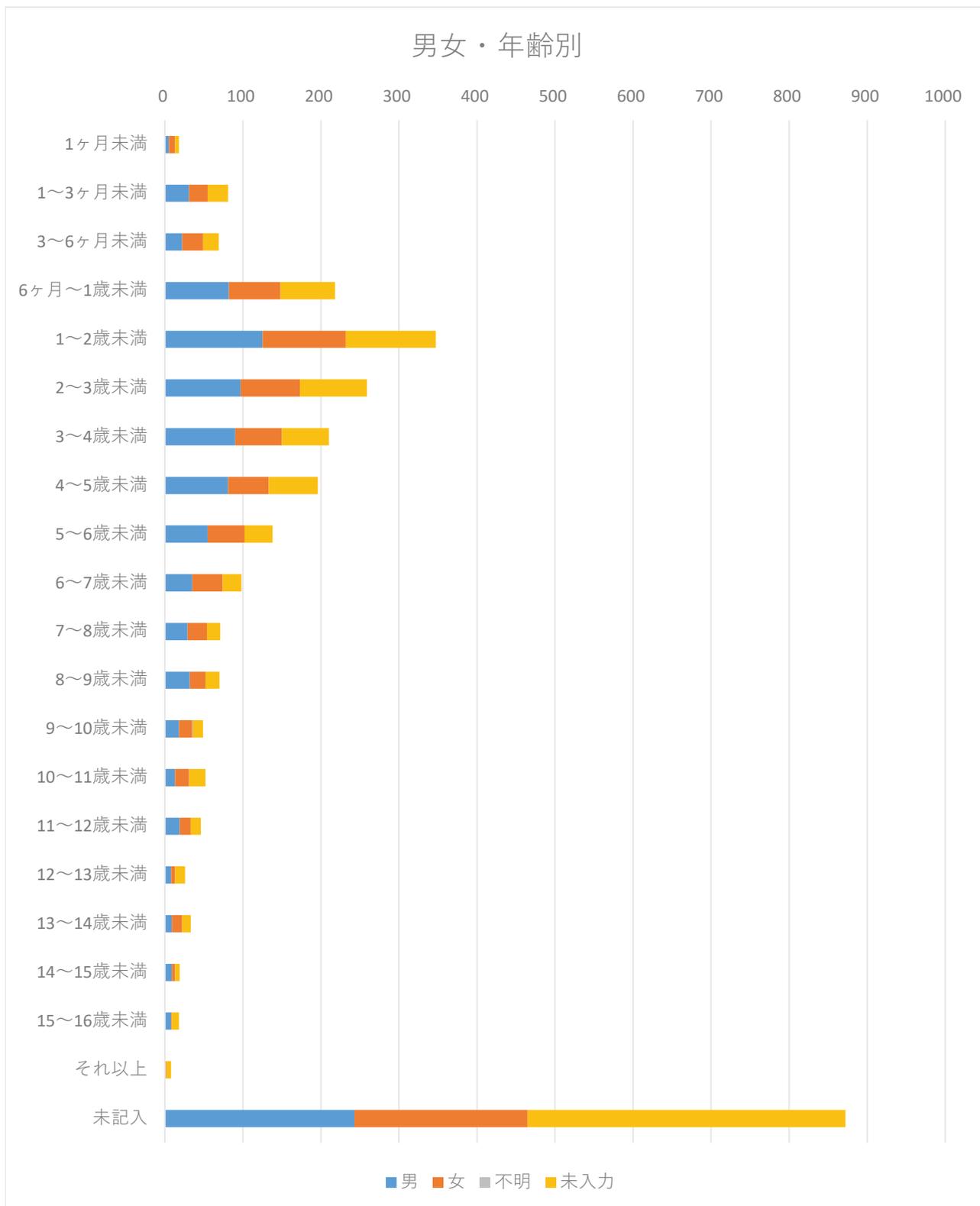
4.相談対象児（男女・年齢別）

【埼玉県】

相談対象児年齢	男	女	不明	未入力	計	割合(%)
1ヶ月未満	5	8	0	5	18	0.6
1～3ヶ月未満	31	24	0	26	81	2.8
3～6ヶ月未満	22	27	0	20	69	2.4
6ヶ月～1歳未満	82	66	0	70	218	7.5
1～2歳未満	125	107	0	115	347	12.0
2～3歳未満	97	76	0	86	259	8.9
3～4歳未満	90	60	0	60	210	7.2
4～5歳未満	81	52	0	63	196	6.8
5～6歳未満	55	47	0	36	138	4.8
6～7歳未満	35	39	0	24	98	3.4
7～8歳未満	29	25	0	17	71	2.4
8～9歳未満	32	20	0	18	70	2.4
9～10歳未満	18	17	1	13	49	1.7
10～11歳未満	13	18	0	21	52	1.8
11～12歳未満	19	14	0	13	46	1.6
12～13歳未満	8	5	0	13	26	0.9
13～14歳未満	9	13	0	11	33	1.1
14～15歳未満	9	4	0	6	19	0.7
15～16歳未満	8	1	0	9	18	0.6
それ以上	1	1	0	6	8	0.3
未記入	243	222	0	407	872	30.1
計（件数）	1,012	846	1	1,039	2,898	—
計（割合(%)）	34.9%	29.2%	0.0%	35.9%	—	100

4.相談対象児（男女・年齢別）

【埼玉県】

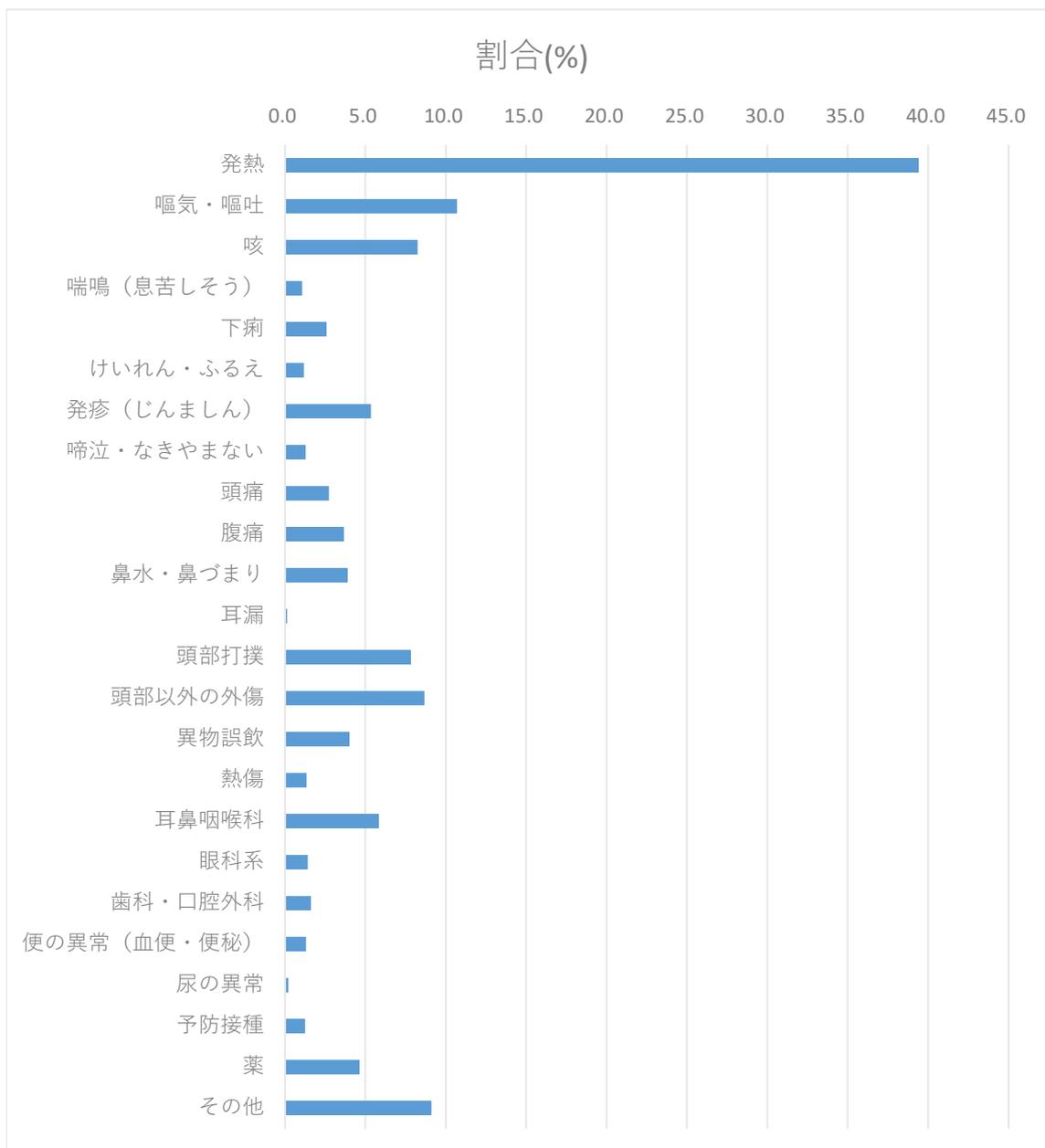


5.主訴別相談件数

【埼玉県】

主訴	回答数	相談件数	割合(%)
発熱	1,142		39.4
嘔気・嘔吐	310		10.7
咳	239		8.2
喘鳴（息苦しそう）	31		1.1
下痢	75		2.6
けいれん・ふるえ	34		1.2
発疹（じんましん）	155		5.3
啼泣・なきやまない	37		1.3
頭痛	79		2.7
腹痛	106		3.7
鼻水・鼻づまり	113		3.9
耳漏	4		0.1
頭部打撲	227		7.8
頭部以外の外傷	251		8.7
異物誤飲	116		4.0
熱傷	39		1.3
耳鼻咽喉科	169		5.8
眼科系	41		1.4
歯科・口腔外科	47		1.6
便の異常（血便・便秘）	38		1.3
尿の異常	6		0.2
予防接種	36		1.2
薬	134		4.6
その他	264		9.1
計	3,693	2,898	127.4

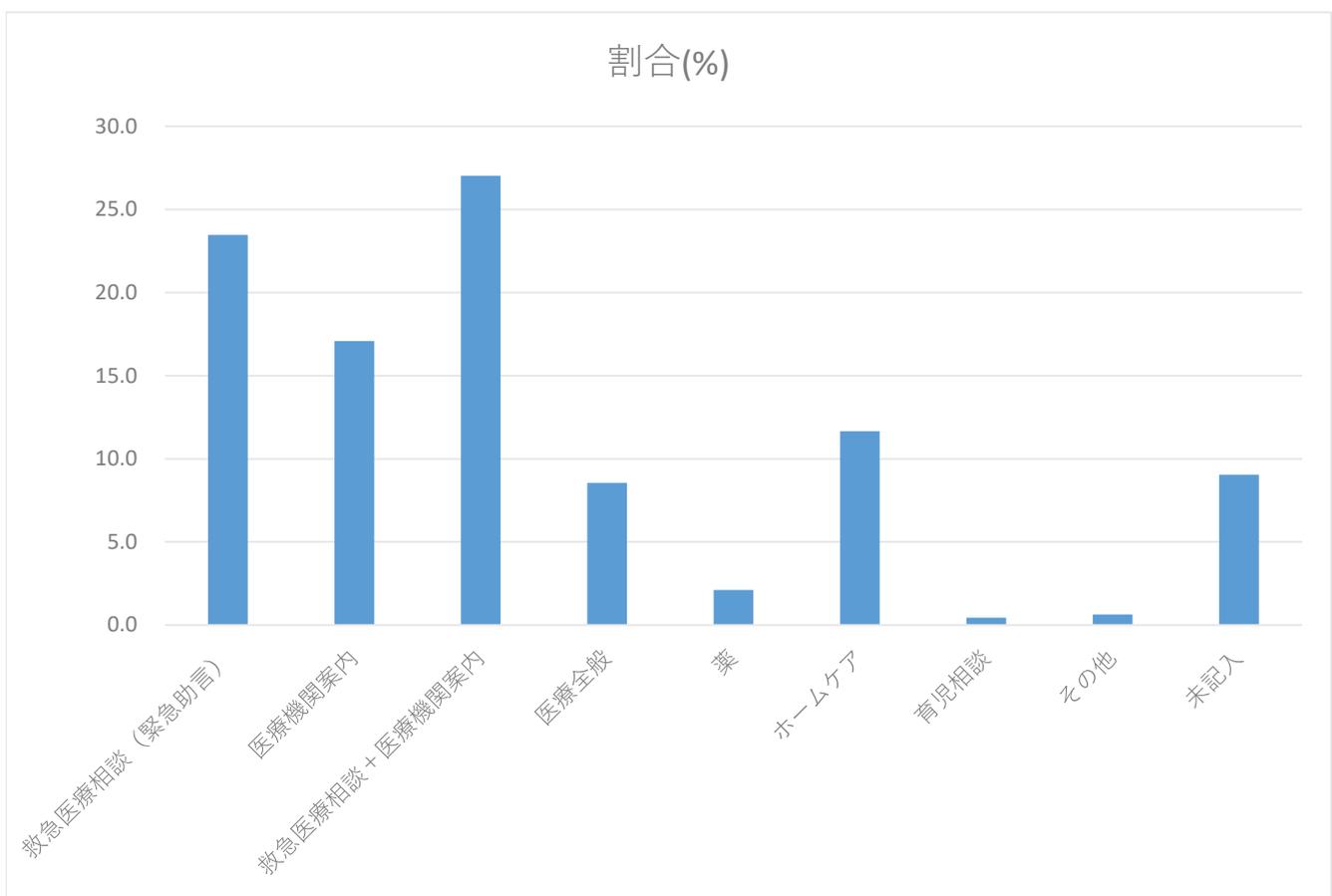
※複数回答可



6.相談の分類

【埼玉県】

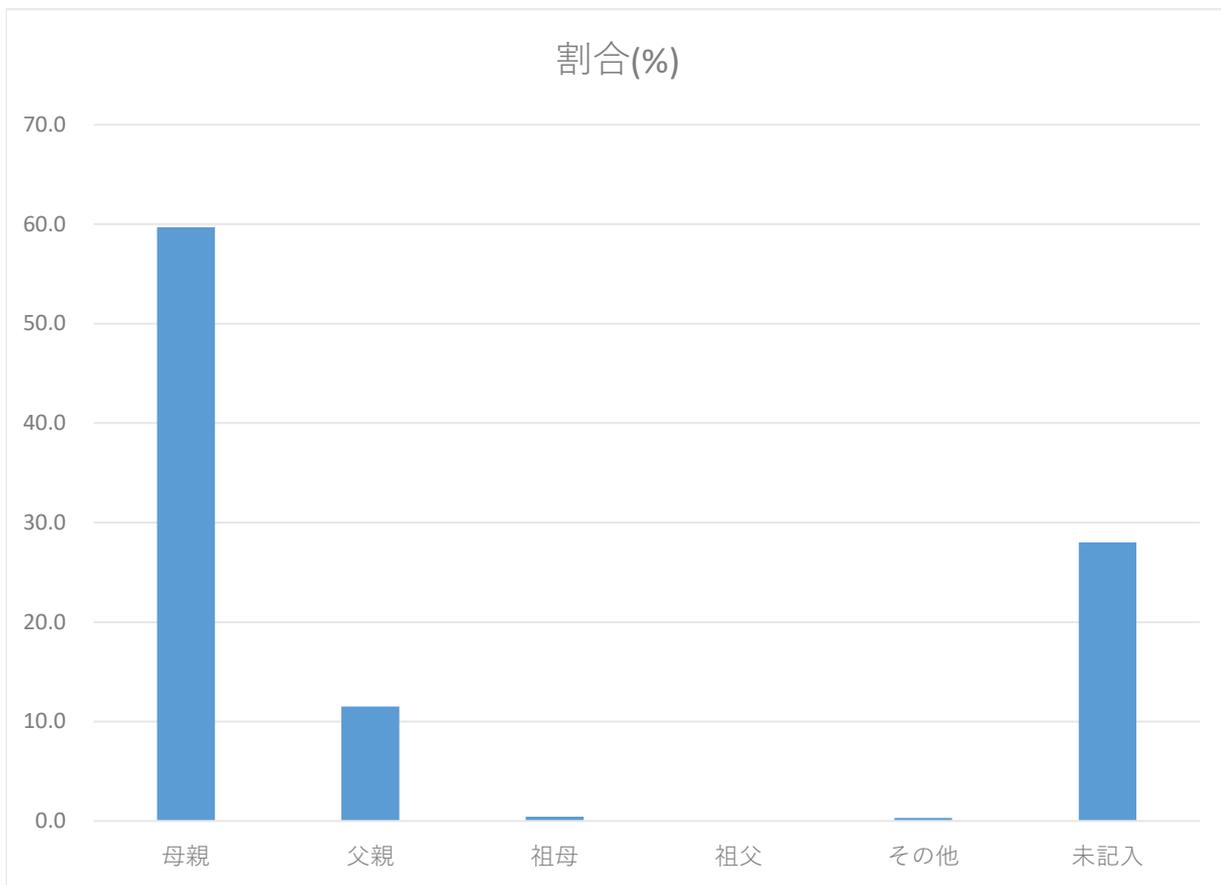
相談の分類	件数	割合(%)
救急医療相談（緊急助言）	680	23.5
医療機関案内	495	17.1
救急医療相談＋医療機関案内	783	27.0
医療全般	248	8.6
薬	61	2.1
ホームケア	338	11.7
育児相談	13	0.4
その他	18	0.6
未記入	262	9.0
計	2,898	100



7.相談者（続柄）

【埼玉県】

続柄	件数	割合(%)
母親	1,730	59.7
父親	334	11.5
祖母	13	0.4
祖父	0	0.0
その他	9	0.3
未記入	812	28.0
計	2,898	100



8.相談者（年齢）

【埼玉県】

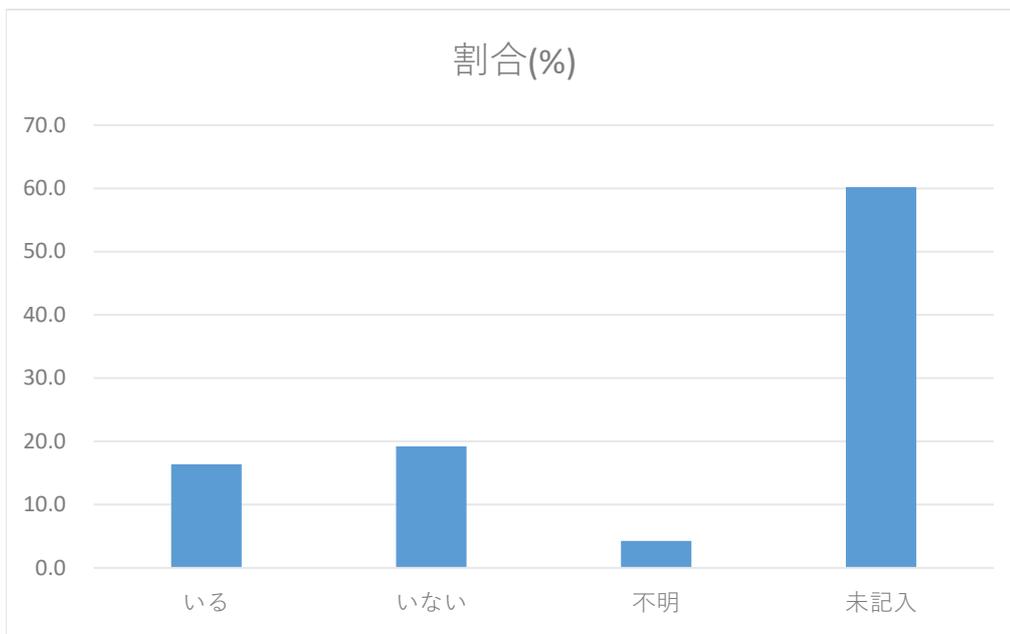
年齢	件数	割合(%)
10代	2	0.1
20代	9	0.3
30代	18	0.6
40代	1	0.0
50代	0	0.0
60代	0	0.0
70代	0	0.0
80代以上	0	0.0
未記入	2,868	99.0
計	2,898	100



9.兄弟の有無

【埼玉県】

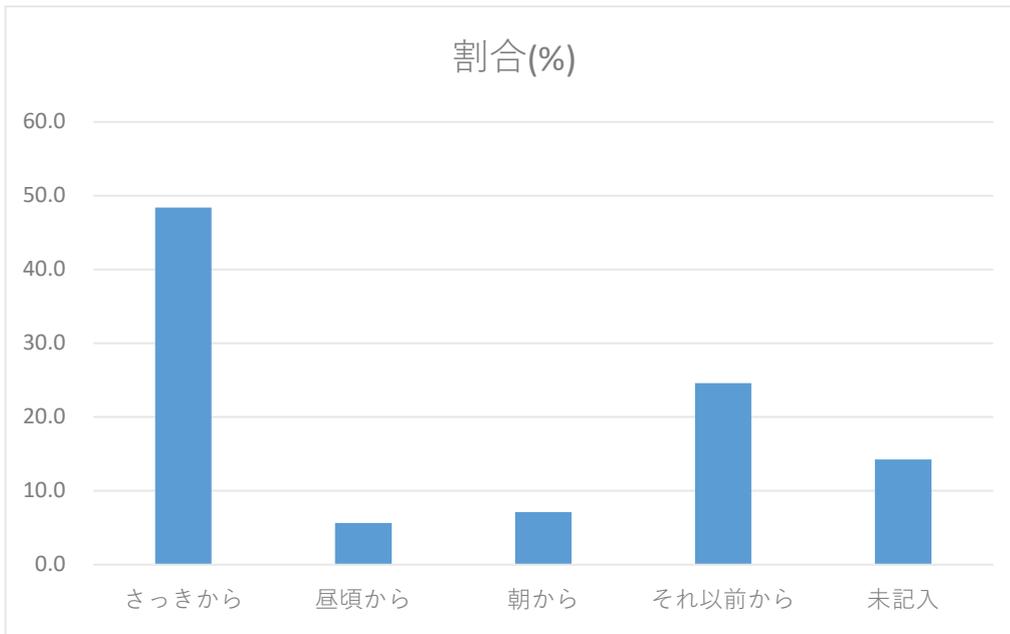
兄弟の有無	件数	割合(%)
いる	475	16.4
いない	556	19.2
不明	123	4.2
未記入	1,744	60.2
計	2,898	100



10.発症時期

【埼玉県】

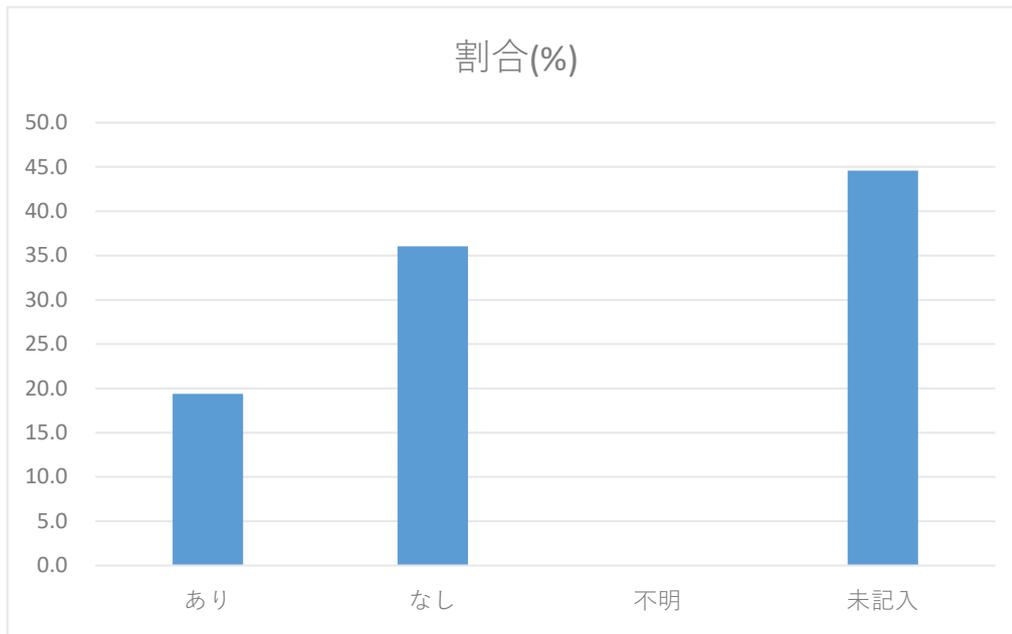
満足度	件数	割合(%)
さっきから	1,402	48.4
昼頃から	164	5.7
朝から	206	7.1
それ以前から	713	24.6
未記入	413	14.3
計	2,898	100



11.相談前の受診の有無

【埼玉県】

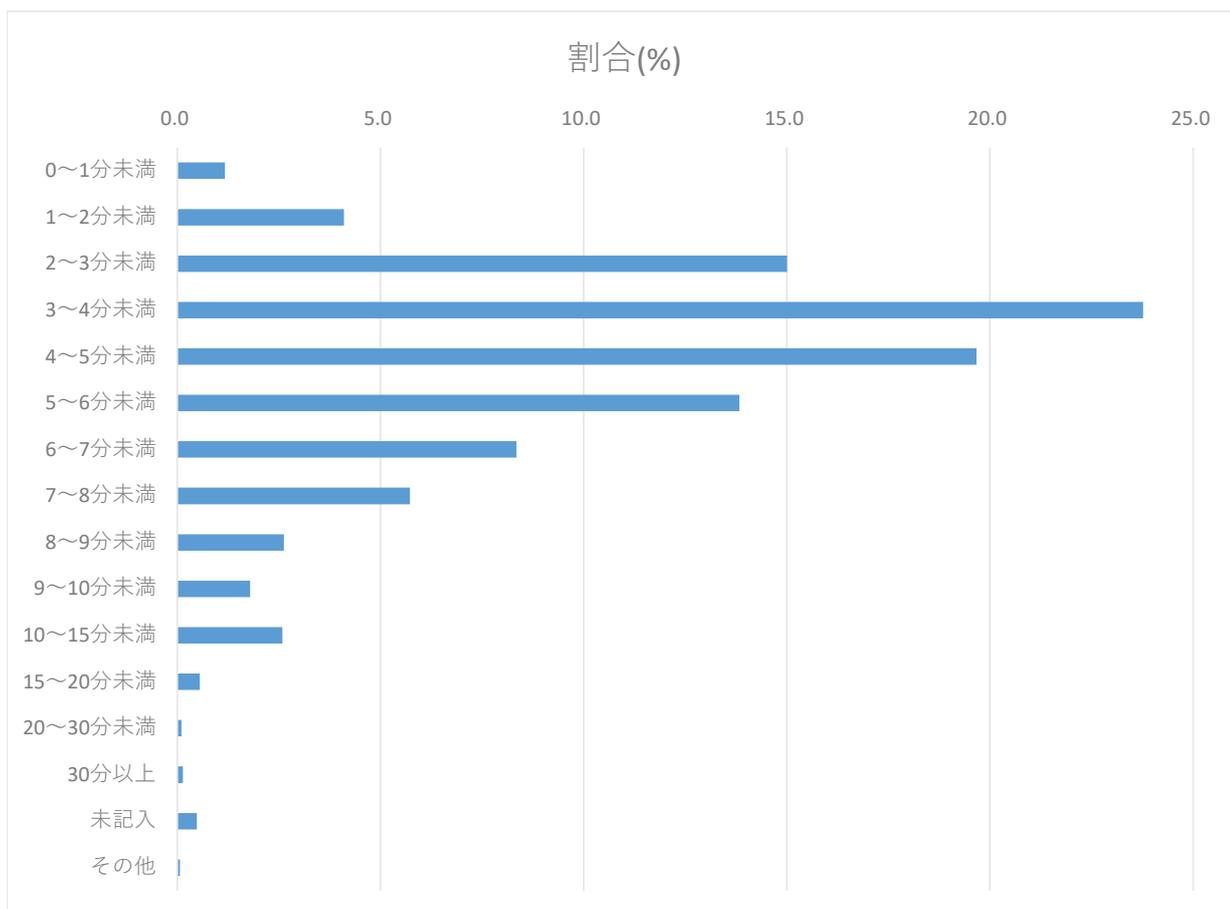
相談前の受診の有無	件数	割合(%)
あり	562	19.4
なし	1044	36.0
不明	0	0.0
未記入	1,292	44.6
計	2,898	100



12.相談対応時間

【埼玉県】

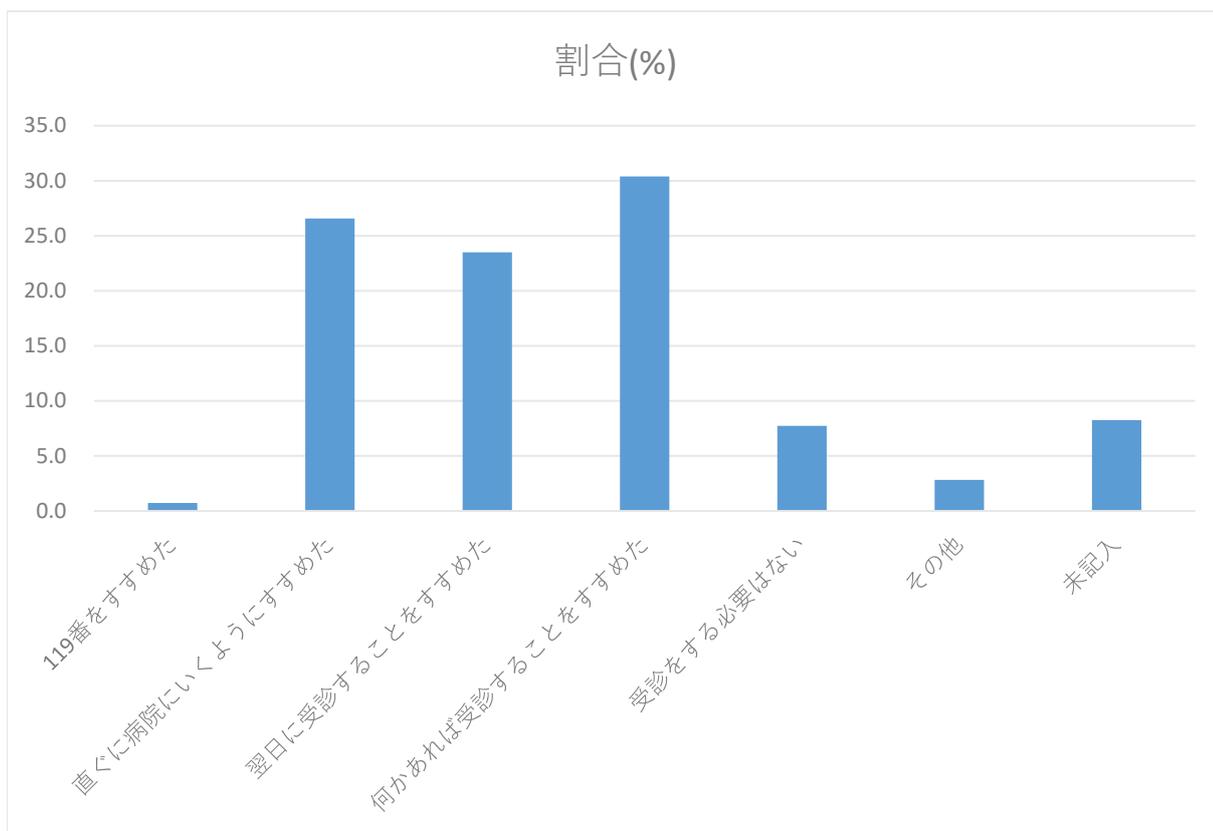
相談対応時間	件数	割合(%)
0～1分未満	34	1.2
1～2分未満	119	4.1
2～3分未満	435	15.0
3～4分未満	689	23.8
4～5分未満	570	19.7
5～6分未満	401	13.8
6～7分未満	242	8.4
7～8分未満	166	5.7
8～9分未満	76	2.6
9～10分未満	52	1.8
10～15分未満	75	2.6
15～20分未満	16	0.6
20～30分未満	3	0.1
30分以上	4	0.1
未記入	14	0.5
その他	2	0.1
計	2,898	100



13.相談対応者（看護師）による緊急度判定

【埼玉県】

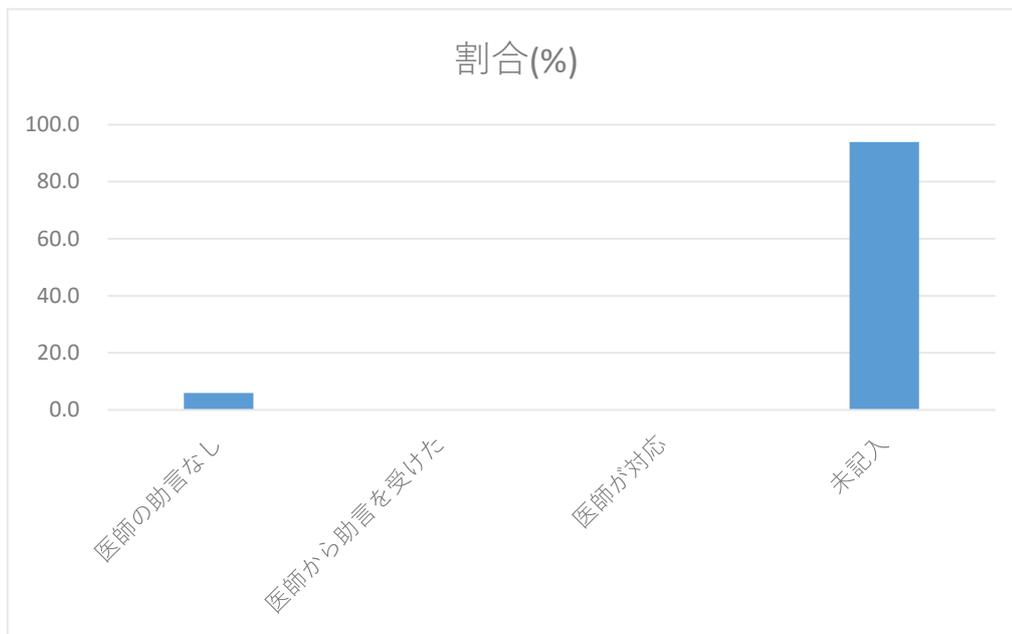
看護師による緊急度判定	件数	割合(%)
119番をすすめた	21	0.7
直ぐに病院に行くようにすすめた	770	26.6
翌日に受診することをすすめた	681	23.5
何かあれば受診することをすすめた	881	30.4
受診をする必要はない	224	7.7
その他	82	2.8
未記入	239	8.2
計	2,898	100



14. 医師の対応

【埼玉県】

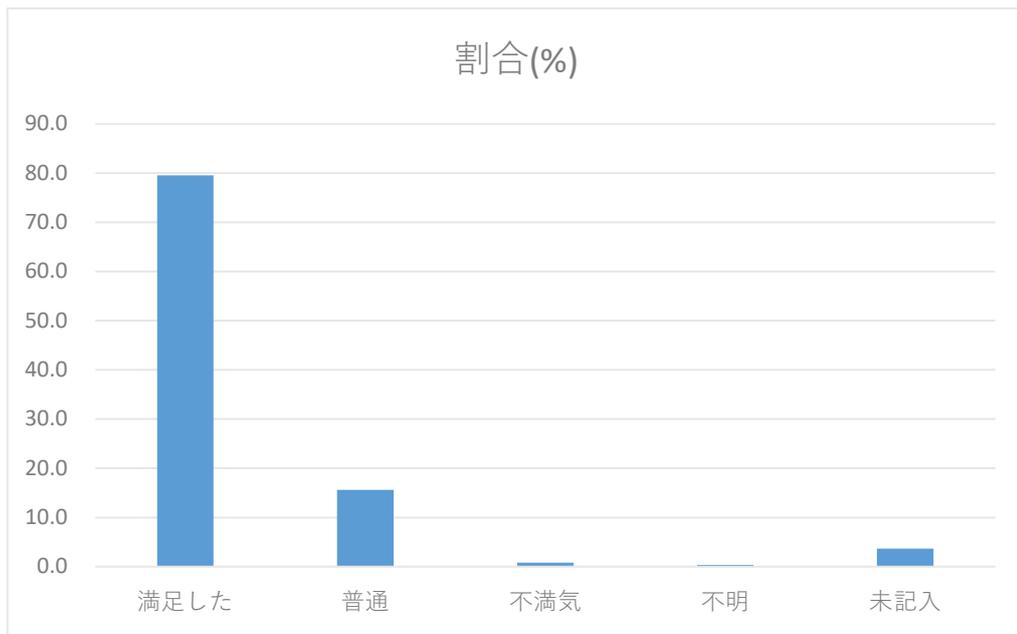
医師の助言	件数	割合(%)
医師の助言なし	173	6.0
医師から助言を受けた	4	0.1
医師が対応	0	0.0
未記入	2,721	93.9
計	2,898	100



15.満足度（相談対応者からの印象）

【埼玉県】

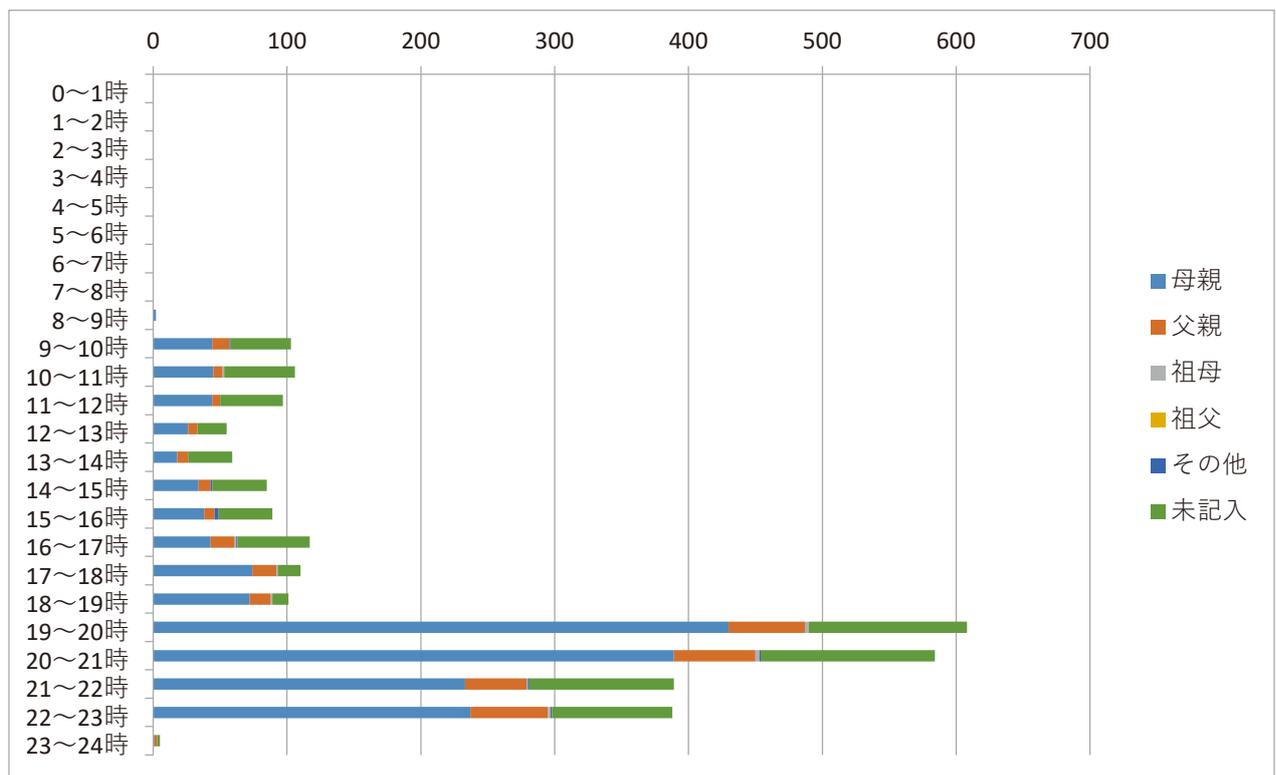
満足度	件数	割合(%)
満足した	2,305	79.5
普通	453	15.6
不満気	23	0.8
不明	10	0.3
未記入	107	3.7
計	2,898	100



16.相談時間帯別相談者続柄

【埼玉県】

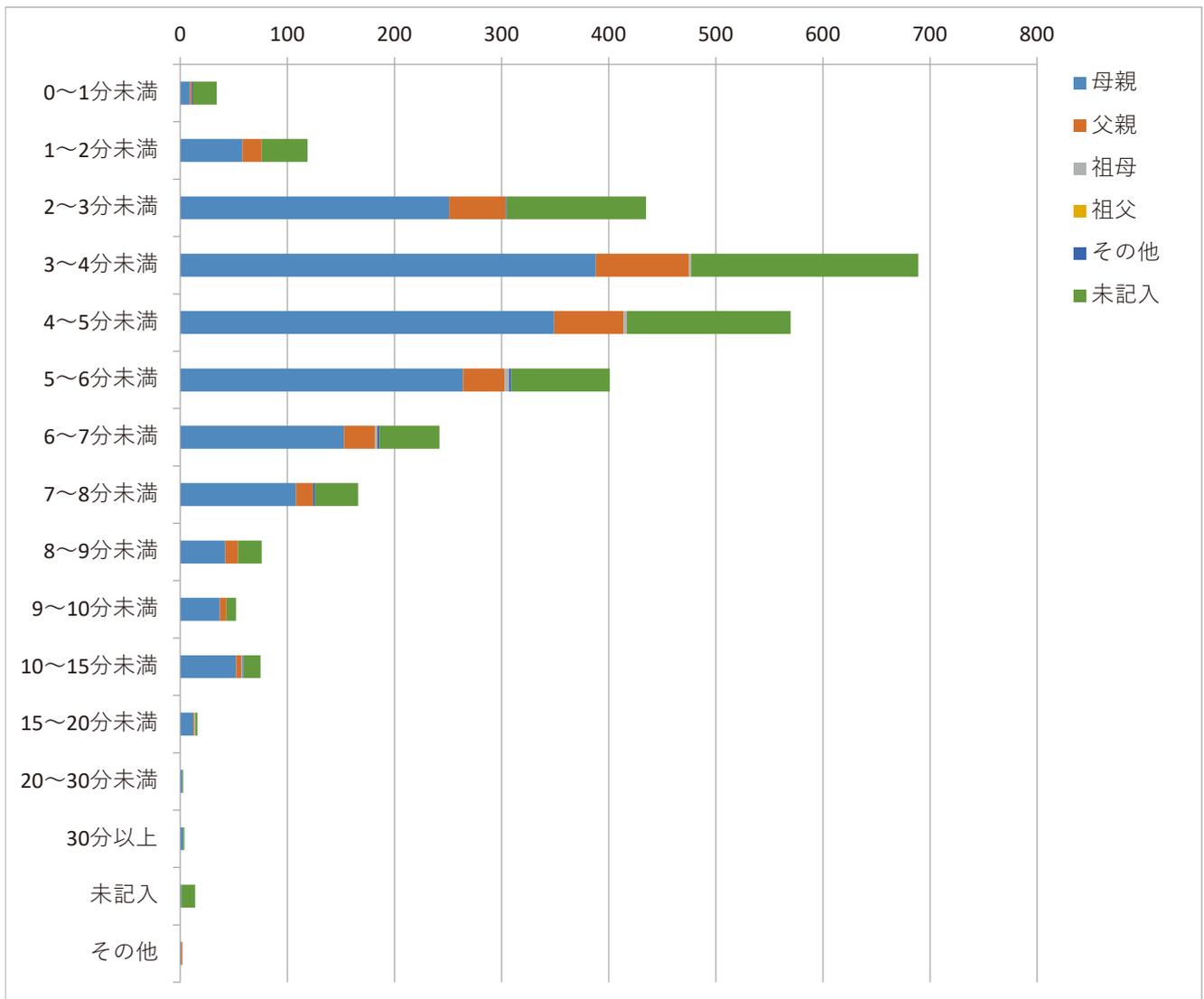
時間帯	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2～3時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
3～4時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
4～5時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
5～6時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6～7時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
7～8時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
8～9時	2	0	0	0	0	0	2	0.1
9～10時	44	13	0	0	1	45	103	3.6
10～11時	45	7	1	0	0	53	106	3.7
11～12時	44	6	0	0	0	47	97	3.3
12～13時	26	7	0	0	0	22	55	1.9
13～14時	18	8	0	0	0	33	59	2.0
14～15時	34	9	0	0	1	41	85	2.9
15～16時	38	8	0	0	3	40	89	3.1
16～17時	43	18	1	0	1	54	117	4.0
17～18時	74	18	1	0	0	17	110	3.8
18～19時	72	16	1	0	0	12	101	3.5
19～20時	430	57	3	0	0	118	608	21.0
20～21時	389	61	3	0	1	130	584	20.2
21～22時	233	46	1	0	1	108	389	13.4
22～23時	237	58	2	0	1	90	388	13.4
23～24時	1	2	0	0	0	2	5	0.2
計	1,730	334	13	0	9	812	2,898	100



17.相談対応時間別相談者続柄

【埼玉県】

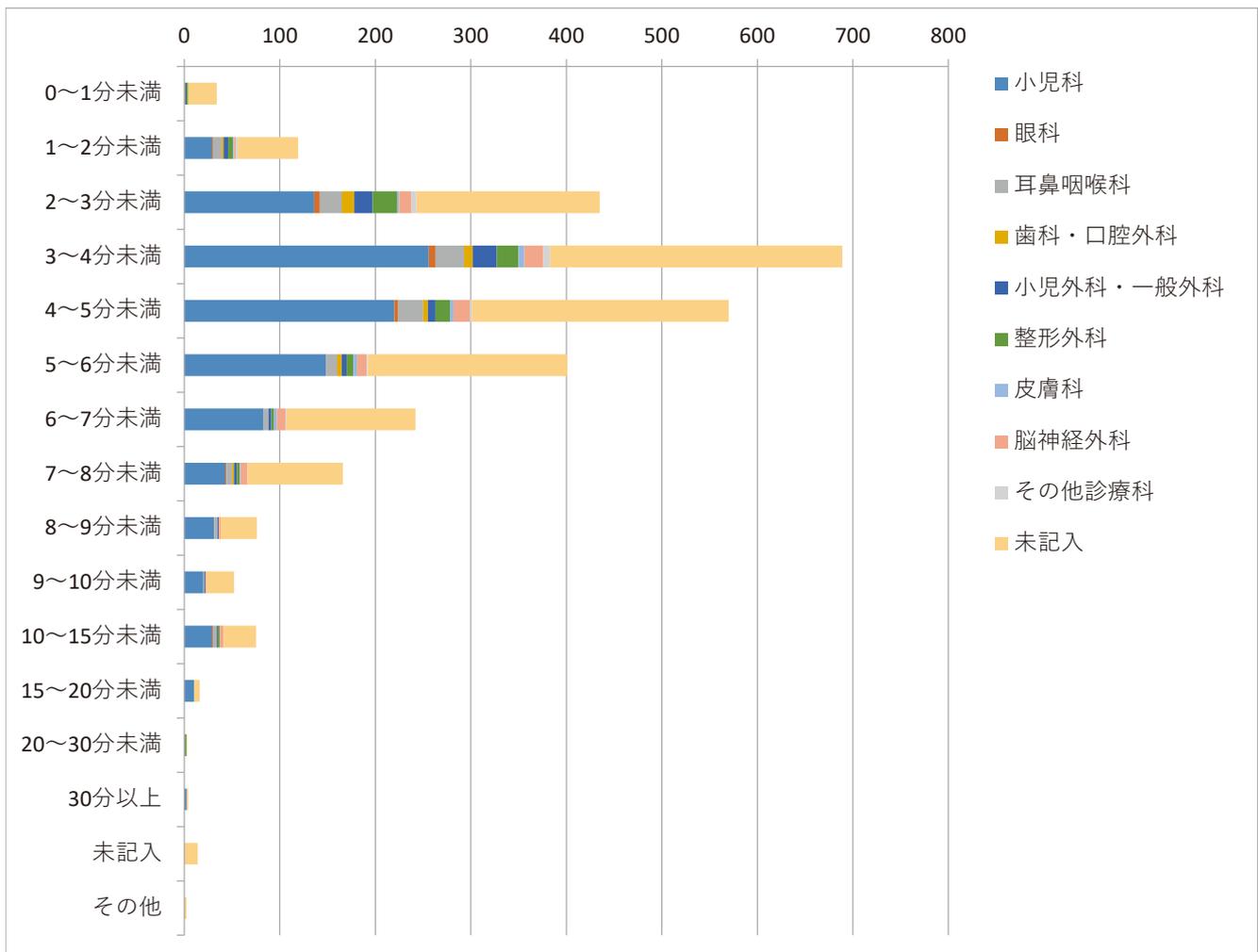
相談対応時間	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1分未満	9	2	0	0	1	22	34	1.2
1～2分未満	58	18	0	0	0	43	119	4.1
2～3分未満	251	53	0	0	1	130	435	15.0
3～4分未満	388	87	2	0	0	212	689	23.8
4～5分未満	349	65	3	0	0	153	570	19.7
5～6分未満	264	39	4	0	2	92	401	13.8
6～7分未満	153	29	2	0	2	56	242	8.4
7～8分未満	108	16	0	0	2	40	166	5.7
8～9分未満	42	12	0	0	0	22	76	2.6
9～10分未満	37	6	0	0	0	9	52	1.8
10～15分未満	52	5	1	0	1	16	75	2.6
15～20分未満	12	1	1	0	0	2	16	0.6
20～30分未満	2	0	0	0	0	1	3	0.1
30分以上	3	0	0	0	0	1	4	0.1
未記入	1	0	0	0	0	13	14	0.5
その他	1	1	0	0	0	0	2	0.1
計	1,730	334	13	0	9	812	2,898	100



18.相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）

【埼玉県】

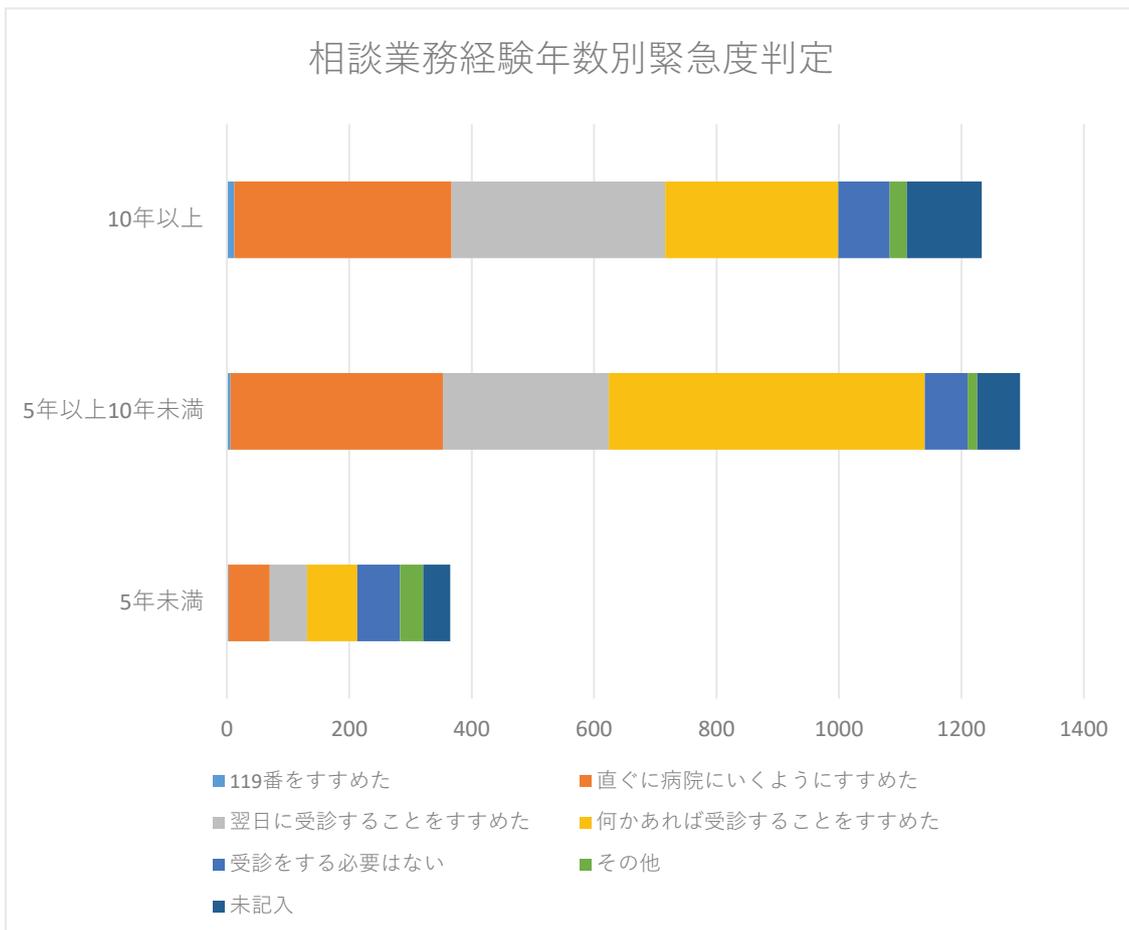
相談対応時間	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科・口腔外科	小児外科・一般外科	整形外科	皮膚科	脳神経外科	その他診療科	未記入	計	割合 (%)
0～1分未満	0	0	0	1	1	2	0	0	0	30	34	1.2
1～2分未満	29	1	9	2	5	5	1	2	2	63	119	4.1
2～3分未満	136	6	23	13	19	26	2	13	5	192	435	15.0
3～4分未満	256	7	30	9	25	23	6	20	7	306	689	23.8
4～5分未満	220	4	26	5	8	15	4	17	2	269	570	19.7
5～6分未満	148	0	12	5	5	7	4	10	1	209	401	13.8
6～7分未満	83	0	5	0	3	3	3	9	1	135	242	8.4
7～8分未満	43	1	6	2	3	3	1	7	0	100	166	5.7
8～9分未満	31	0	4	0	1	0	0	2	0	38	76	2.6
9～10分未満	20	0	1	0	1	0	0	1	0	29	52	1.8
10～15分未満	29	1	4	0	1	2	0	4	0	34	75	2.6
15～20分未満	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	16	0.6
20～30分未満	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0.1
30分以上	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0.1
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	0.5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0.1
計	1,008	20	120	37	72	87	21	86	18	1,429	2,898	100



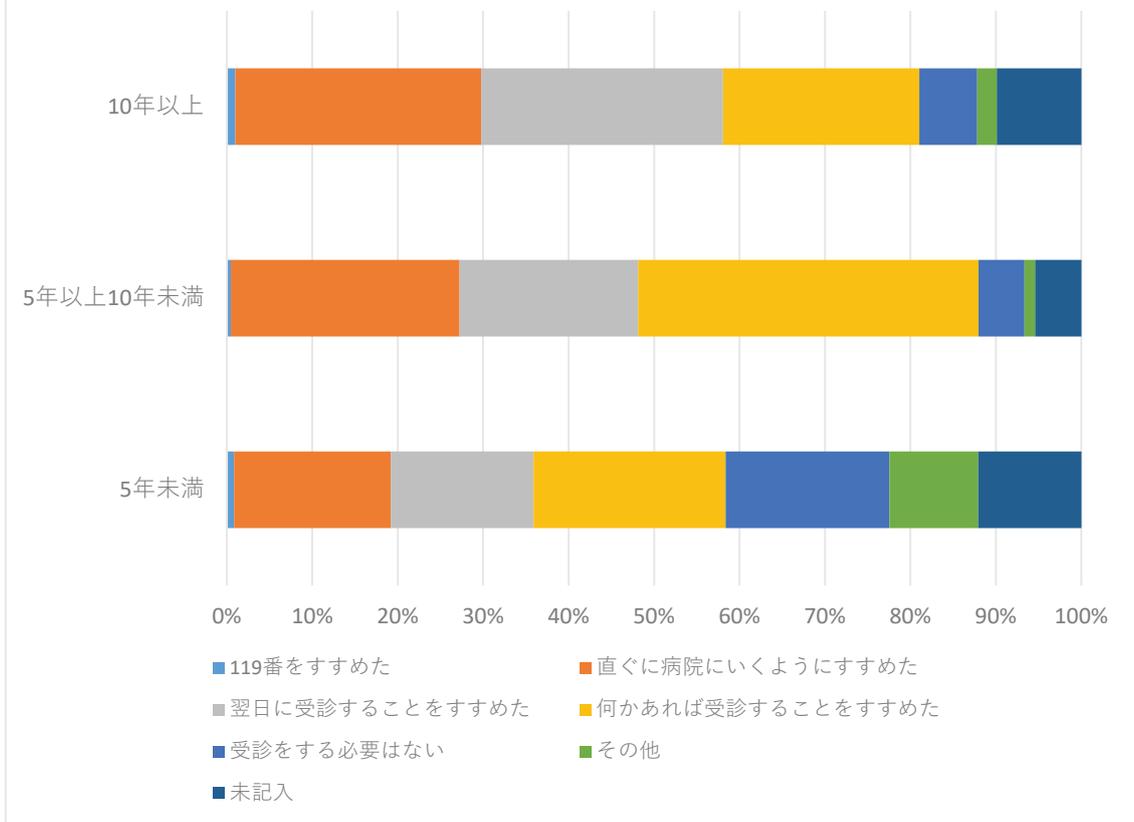
19.相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定

【埼玉県】

緊急度分類	相談業務経験年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上	その他	計
119番をすすめた	件数	3	6	12	0	21
	割合(%)	0.8	0.5	1.0	0.0	0.7
直ぐに病院に行くようにすすめた	件数	67	347	355	1	770
	割合(%)	18.4	26.8	28.8	25.0	26.6
翌日に受診することをすすめた	件数	61	271	349	0	681
	割合(%)	16.7	20.9	28.3	0.0	23.5
何かあれば受診することをすすめた	件数	82	516	283	0	881
	割合(%)	22.5	39.8	23.0	0.0	30.4
受診をする必要はない	件数	70	70	84	0	224
	割合(%)	19.2	5.4	6.8	0.0	7.7
その他	件数	38	16	28	0	86
	割合(%)	10.4	1.2	2.3	0.0	3.0
未記入	件数	44	70	122	3	239
	割合(%)	12.1	5.4	9.9	75.0	8.2
計	件数	365	1,296	1,233	4	2,898
	割合(%)	100	100	100	100	100



相談業務経験年数別緊急度判定



20. 相談対応者（看護師）の対応感想

【埼玉県】

看護師の対応感想	件数	割合(%)
自信をもって対応できた	2,425	83.7
対応に不安が残った	51	1.8
どちらともいえない	202	7.0
医師の判断に従った	1	0.0
その他	14	0.5
未記入	205	7.1
計	2,898	100

Ⅲ-3. 富山県

(1) 基本情報

1. 二次医療圏別年少人口（15歳未満）¹⁾、小児科医師・小児外科医師数²⁾

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	小児科医師数 (人)	小児外科医師数 (人)	2科合計医師数 (人)	年少人口 (人)
富山県	1601	新川	8	0	8	13,881
	1602	富山	103	3	106	63,055
	1603	高岡	39	0	39	36,843
	1604	砺波	12	0	12	15,674
		計	162	3	165	129,453

表 4. 富山県の二次医療圏別年少人口（15歳未満）、小児科医師・小児外科医師数

2. #8000 事業実施体制

富山県の委託を受けて、民間事業者が19時から翌朝9時まで2回線で実施している。

調査実施期間における、民間事業者の相談対応者は29名であった。

相談内容の記録は、民間事業者独自のシステムに入力し、この情報を後日、民間事業者がNDS-8000に入力することにより情報収集を行った。

(2) 結果

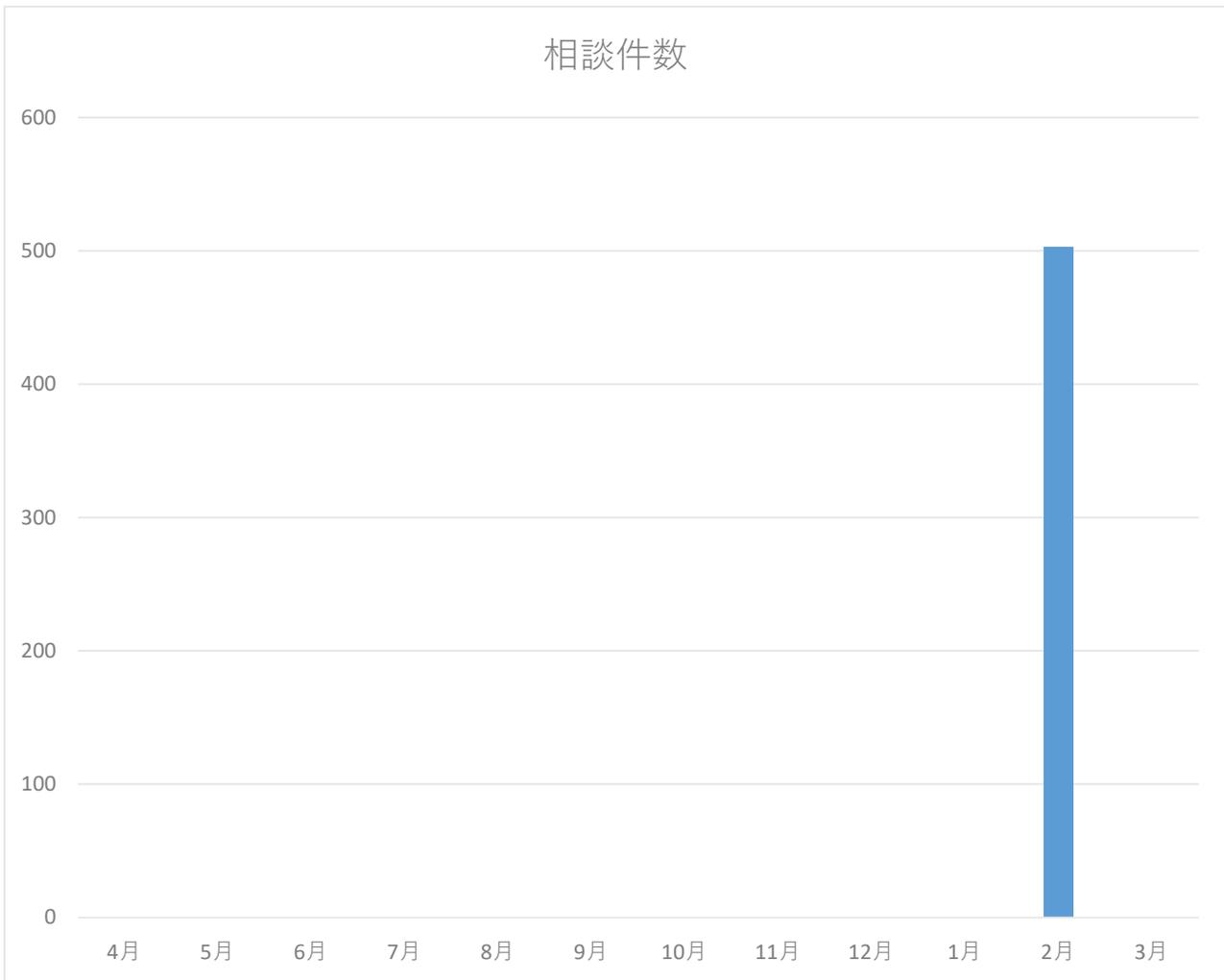
- 全相談件数：503件
- 二次医療圏毎の相談件数：富山が最多で258件（51.3%）
- 曜日・相談時間帯別相談件数：19～20時が最多で106件（21.1%）
- 相談対象児数（男女・年齢別）：男児：女児＝253件（50.3%）：237件（47.1%）
1歳未満と1～2歳未満が最多で、いずれも115件（22.9%）、6か月～1歳未満が60件（11.9%）であった。
- 主訴別相談件数：最も多い主訴は発熱218件（43.3%）で、次いで嘔気・嘔吐64件（12.7%）、咳51件（10.1%）、薬44件（8.7%）、頭部外傷37件（7.4%）であった。
- 相談の分類：救急医療相談368件（73.2%）、救急医療相談+医療機関案内118件（23.5%）であった。
- 相談者（続柄）：母親432件（85.9%）、父親58件（11.5%）
- 相談者（年齢）：30代が258件（51.3%）
- 兄弟の有無：「いる」が15件（3.0%）、「未記入」が248件（49.3%）、「不明」が240件（47.7%）
- 発症時期：「さっきから」が269件（53.5%）で最多、次いで「それ以前から」が124件（24.7%）
- 相談前の受診の有無：「受診なし」185件（36.8%）、「受診あり」94件（18.7%）

12. 相談対応時間：3～4分未満が最多で133件（26.4%）
13. 相談対応者（看護師）による緊急度判定：「翌日に受診することをすすめた」が最多で273件（54.3%）
14. 医師の対応：未記入のみ
15. 満足度（相談対応者からの印象）：「満足した」が483件（96.0%）、「不満気」が1件（0.2%）
16. 相談時間帯別相談者続柄：いずれの時間帯でも母親が85～90%であった。
17. 相談対応時間別相談者続柄：母親・父親ともに3～4分未満が最多であった。
18. 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）：整形外科・脳神経外科で対応に時間を要する傾向がある。
19. 相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定：いずれの経験年数においても「翌日に受診することをすすめた」の割合が高かった。
20. 相談対応者（看護師）による対応感想：「対応に不安が残った」が5件（1.0%）で、未記入が498件（99.0%）であった。

1.相談件数

【富山県】

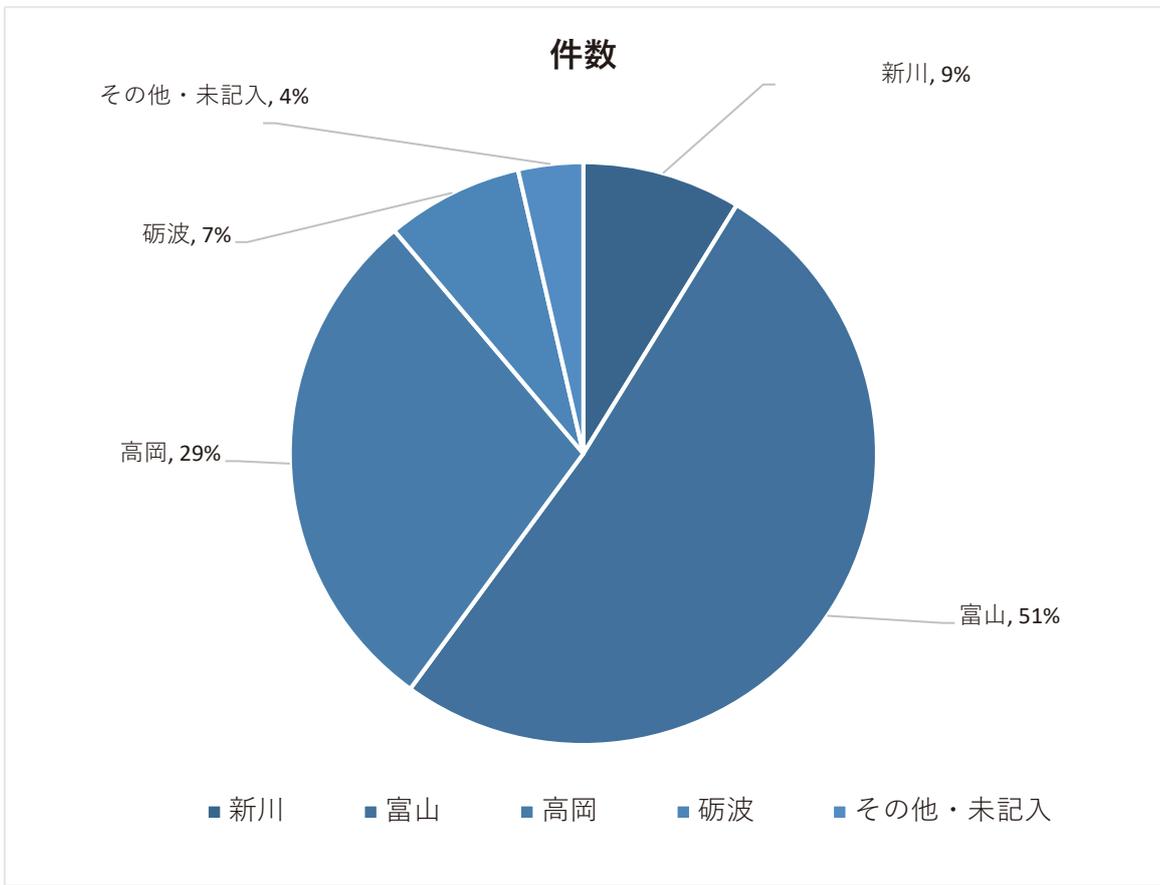
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	503	0	503



2.二次医療圏

【富山県】

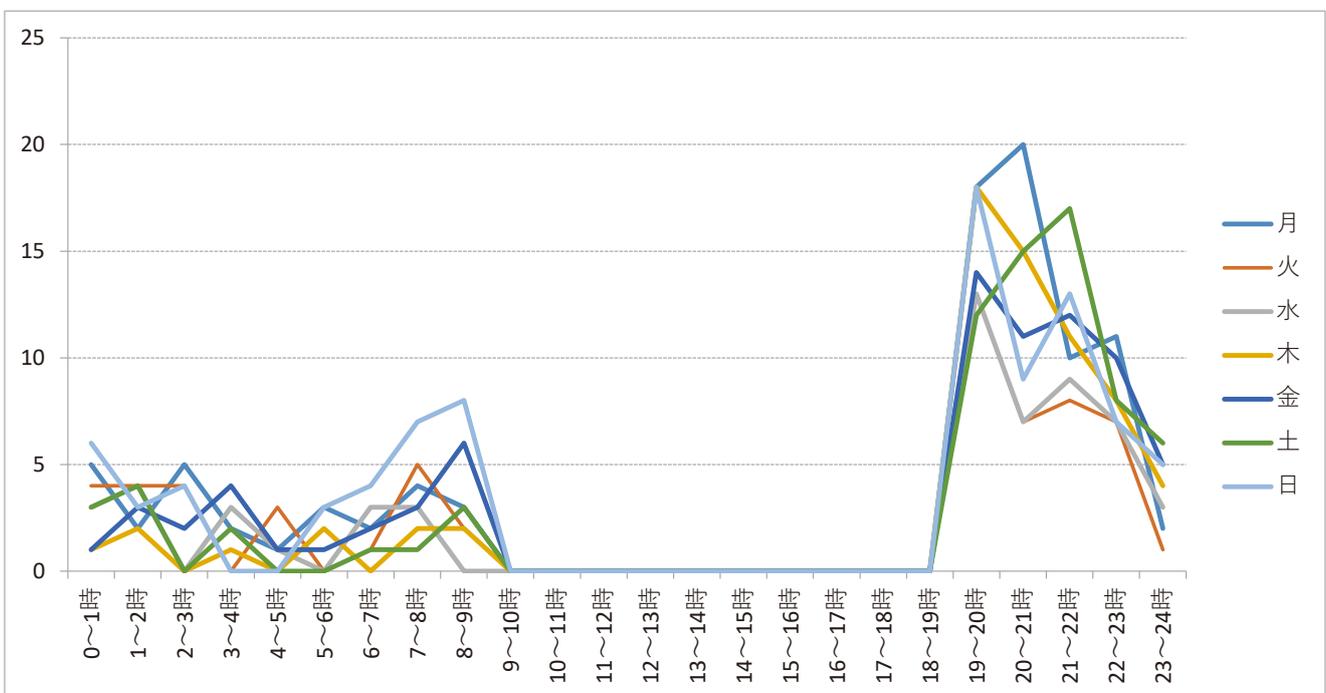
二次医療圏	件数	割合(%)
新川	44	8.7
富山	258	51.3
高岡	145	28.8
砺波	38	7.6
その他・未記入	18	3.6
計	503	100



3.曜日別相談時間帯

【富山県】

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合(%)
0～1時	5	4	3	1	1	3	6	23	4.6
1～2時	2	4	4	2	3	4	3	22	4.4
2～3時	5	4	0	0	2	0	4	15	3.0
3～4時	2	0	3	1	4	2	0	12	2.4
4～5時	1	3	1	0	1	0	0	6	1.2
5～6時	3	0	0	2	1	0	3	9	1.8
6～7時	2	1	3	0	2	1	4	13	2.6
7～8時	4	5	3	2	3	1	7	25	5.0
8～9時	3	2	0	2	6	3	8	24	4.8
9～10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
10～11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
11～12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
12～13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
13～14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
14～15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
15～16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
16～17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
17～18時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
18～19時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
19～20時	18	13	13	18	14	12	18	106	21.1
20～21時	20	7	7	15	11	15	9	84	16.7
21～22時	10	8	9	11	12	17	13	80	15.9
22～23時	11	7	7	8	10	8	7	58	11.5
23～24時	2	1	3	4	5	6	5	26	5.2
計	88	59	56	66	75	72	87	503	100



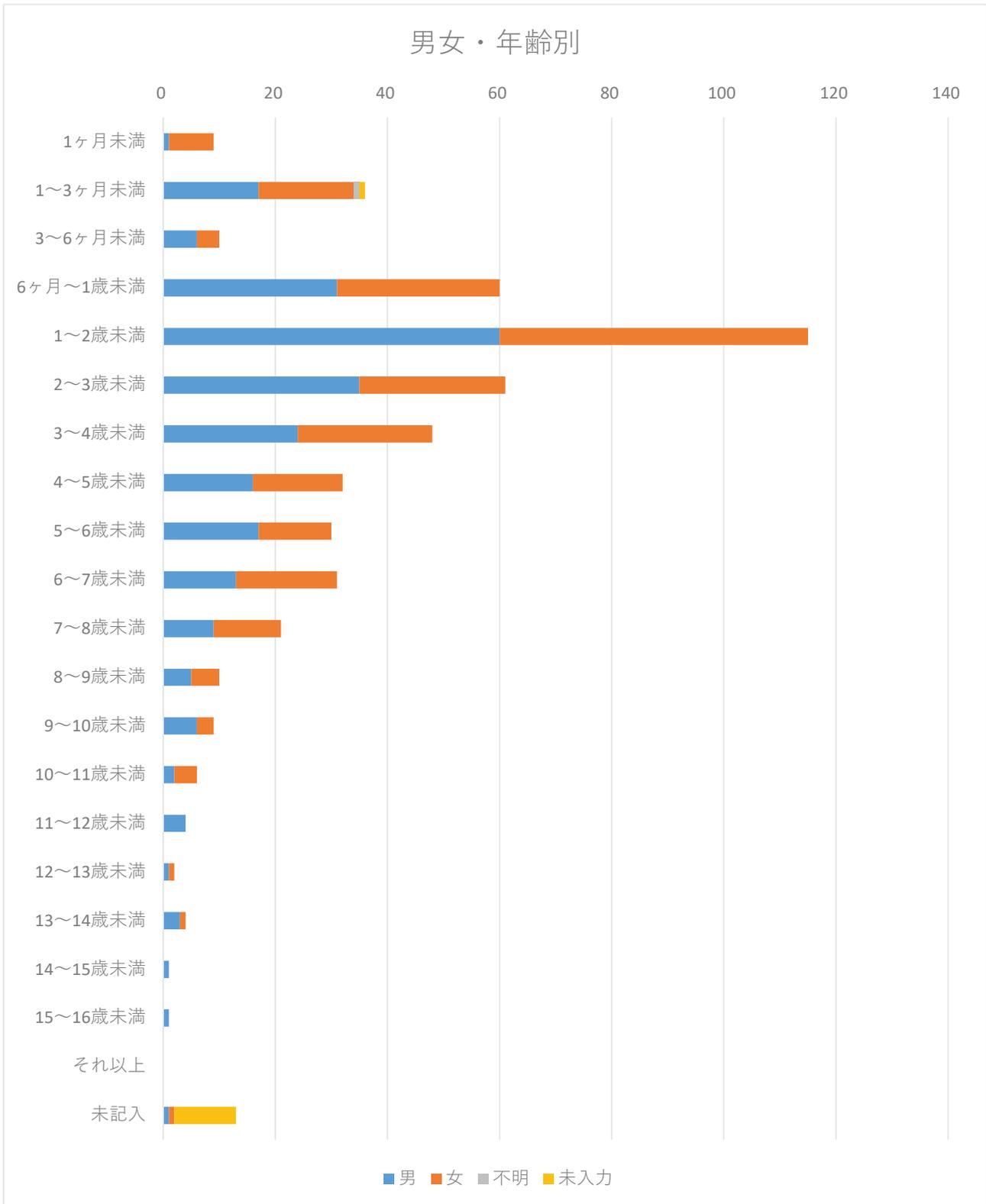
4.相談対象児（男女・年齢別）

【富山県】

相談対象児年齢	男	女	不明	未入力	計	割合(%)
1ヶ月未満	1	8	0	0	9	1.8
1～3ヶ月未満	17	17	1	1	36	7.2
3～6ヶ月未満	6	4	0	0	10	2.0
6ヶ月～1歳未満	31	29	0	0	60	11.9
1～2歳未満	60	55	0	0	115	22.9
2～3歳未満	35	26	0	0	61	12.1
3～4歳未満	24	24	0	0	48	9.5
4～5歳未満	16	16	0	0	32	6.4
5～6歳未満	17	13	0	0	30	6.0
6～7歳未満	13	18	0	0	31	6.2
7～8歳未満	9	12	0	0	21	4.2
8～9歳未満	5	5	0	0	10	2.0
9～10歳未満	6	3	0	0	9	1.8
10～11歳未満	2	4	0	0	6	1.2
11～12歳未満	4	0	0	0	4	0.8
12～13歳未満	1	1	0	0	2	0.4
13～14歳未満	3	1	0	0	4	0.8
14～15歳未満	1	0	0	0	1	0.2
15～16歳未満	1	0	0	0	1	0.2
それ以上	0	0	0	0	0	0.0
未記入	1	1	0	11	13	2.6
計（件数）	253	237	1	12	503	—
計（割合(%)）	50.3%	47.1%	0.2%	2.4%	—	100

4.相談対象児（男女・年齢別）

【富山県】



5.主訴別相談件数

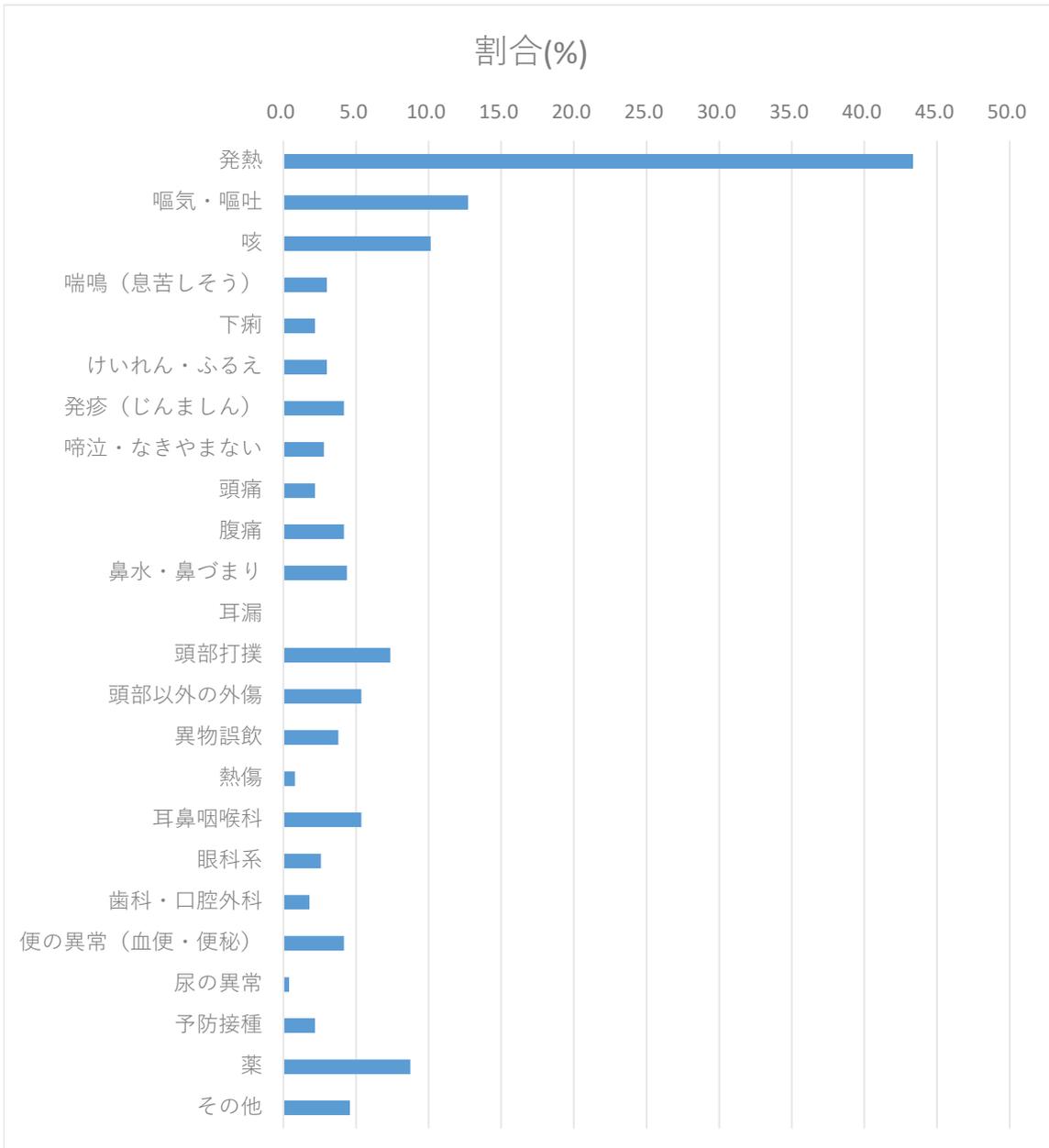
【富山県】

主訴	回答数	相談件数	割合(%)
発熱	218		43.3
嘔気・嘔吐	64		12.7
咳	51		10.1
喘鳴（息苦しう）	15		3.0
下痢	11		2.2
けいれん・ふるえ	15		3.0
発疹（じんましん）	21		4.2
啼泣・なきやまない	14		2.8
頭痛	11		2.2
腹痛	21		4.2
鼻水・鼻づまり	22		4.4
耳漏	0		0.0
頭部打撲	37		7.4
頭部以外の外傷	27		5.4
異物誤飲	19		3.8
熱傷	4		0.8
耳鼻咽喉科	27		5.4
眼科系	13		2.6
歯科・口腔外科	9		1.8
便の異常（血便・便秘）	21		4.2
尿の異常	2		0.4
予防接種	11		2.2
薬	44		8.7
その他	23		4.6
計	700	503	139.2

※複数回答可

5.主訴別相談件数

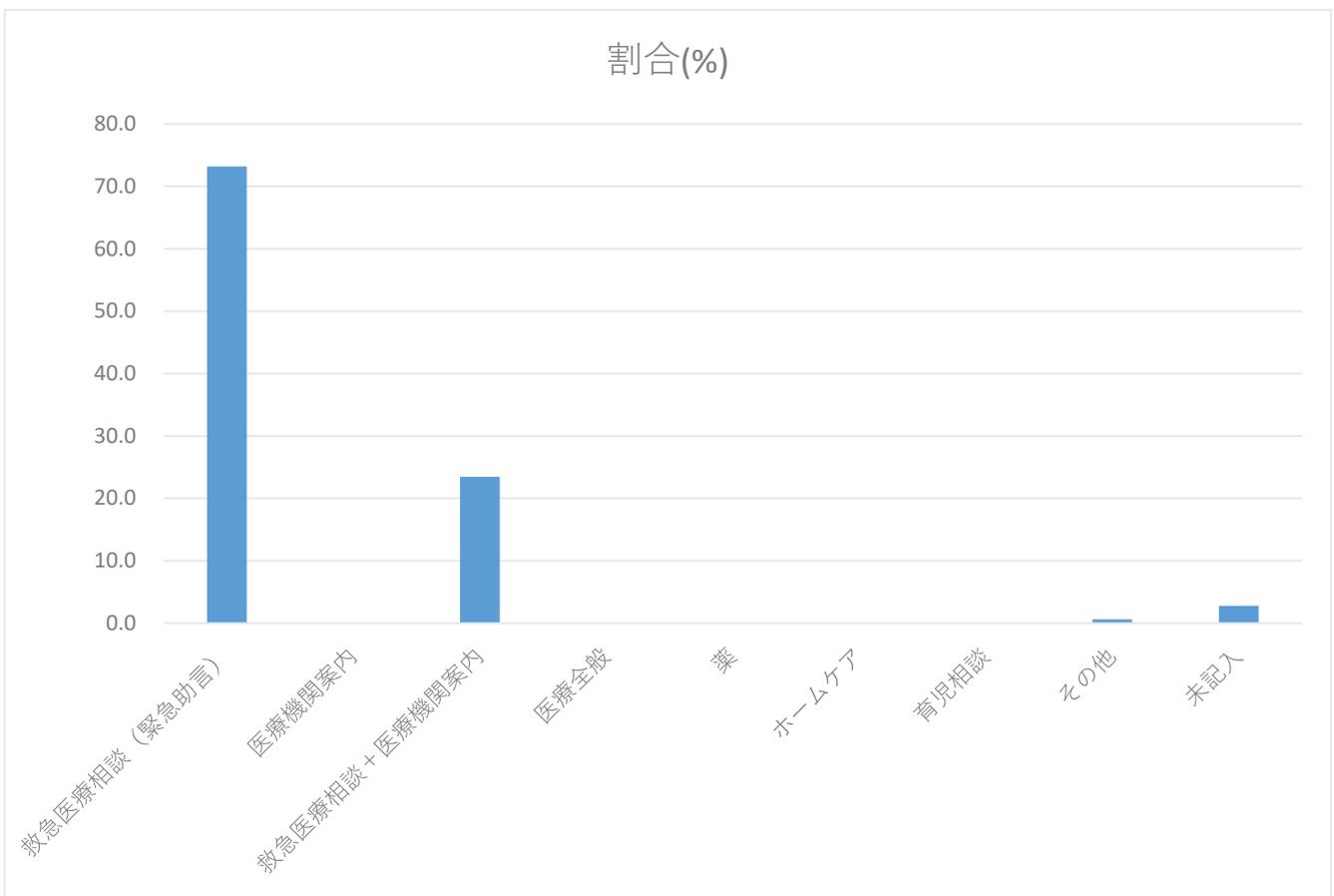
【富山県】



6.相談の分類

【富山県】

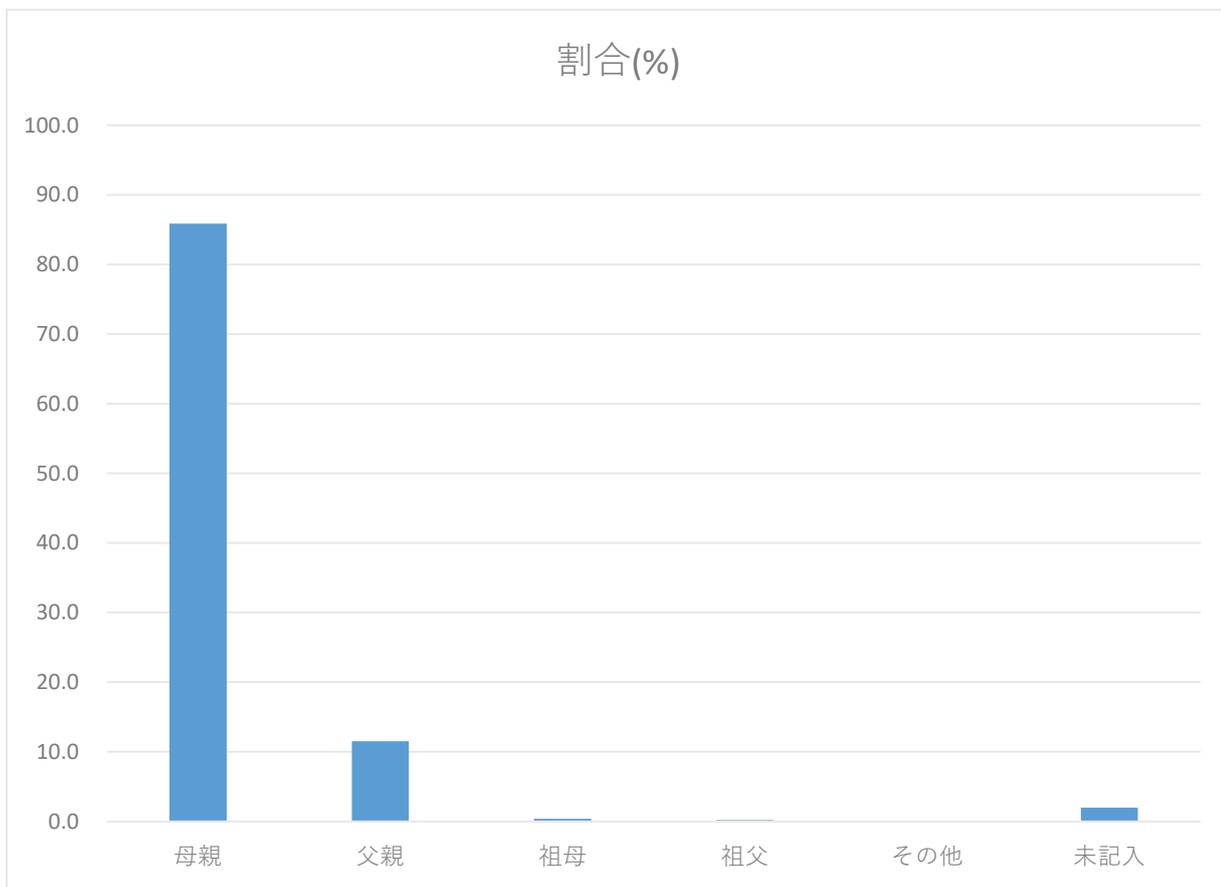
相談の分類	件数	割合(%)
救急医療相談（緊急助言）	368	73.2
医療機関案内	0	0.0
救急医療相談 + 医療機関案内	118	23.5
医療全般	0	0.0
薬	0	0.0
ホームケア	0	0.0
育児相談	0	0.0
その他	3	0.6
未記入	14	2.8
計	503	100



7.相談者（続柄）

【富山県】

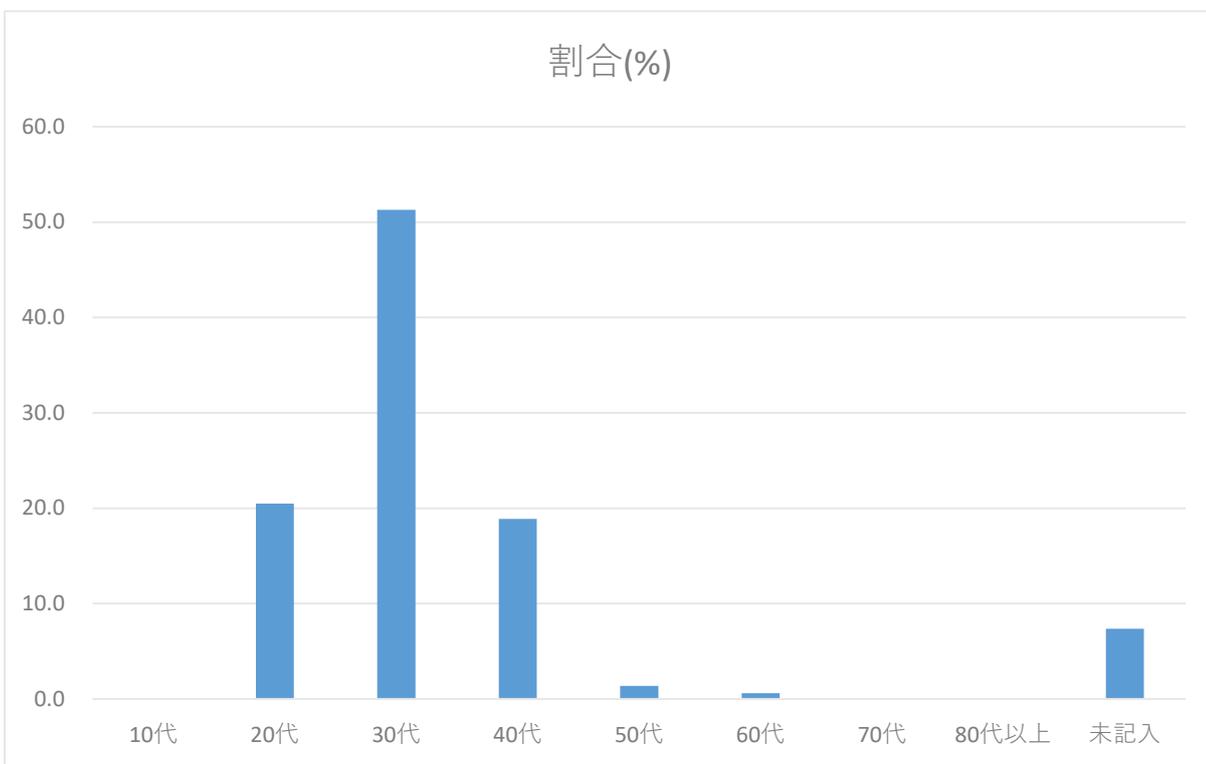
続柄	件数	割合(%)
母親	432	85.9
父親	58	11.5
祖母	2	0.4
祖父	1	0.2
その他	0	0.0
未記入	10	2.0
計	503	100



8.相談者（年齢）

【富山県】

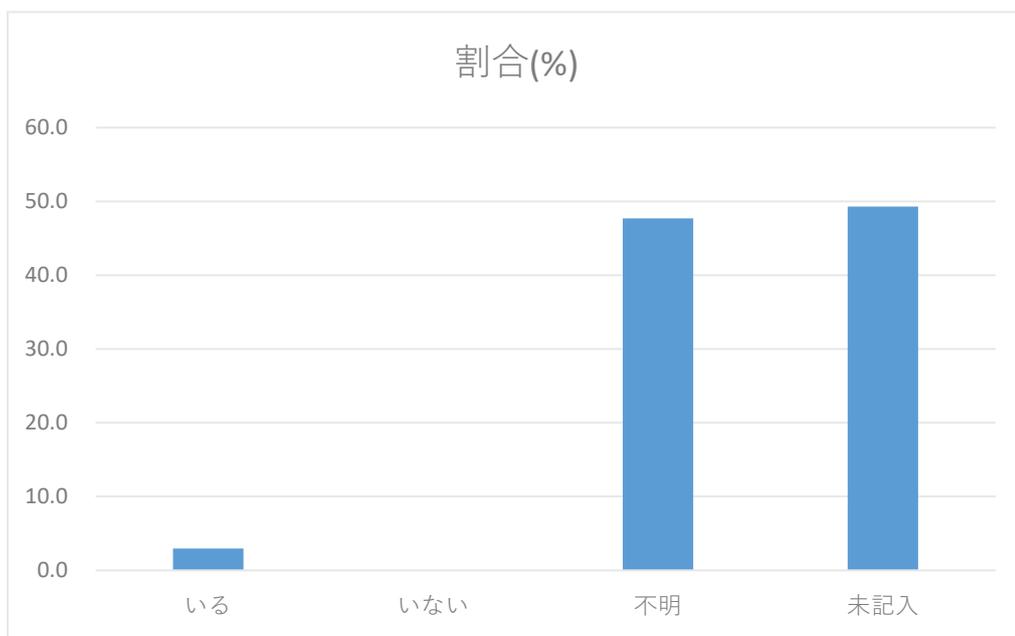
年齢	件数	割合(%)
10代	0	0.0
20代	103	20.5
30代	258	51.3
40代	95	18.9
50代	7	1.4
60代	3	0.6
70代	0	0.0
80代以上	0	0.0
未記入	37	7.4
計	503	100



9.兄弟の有無

【富山県】

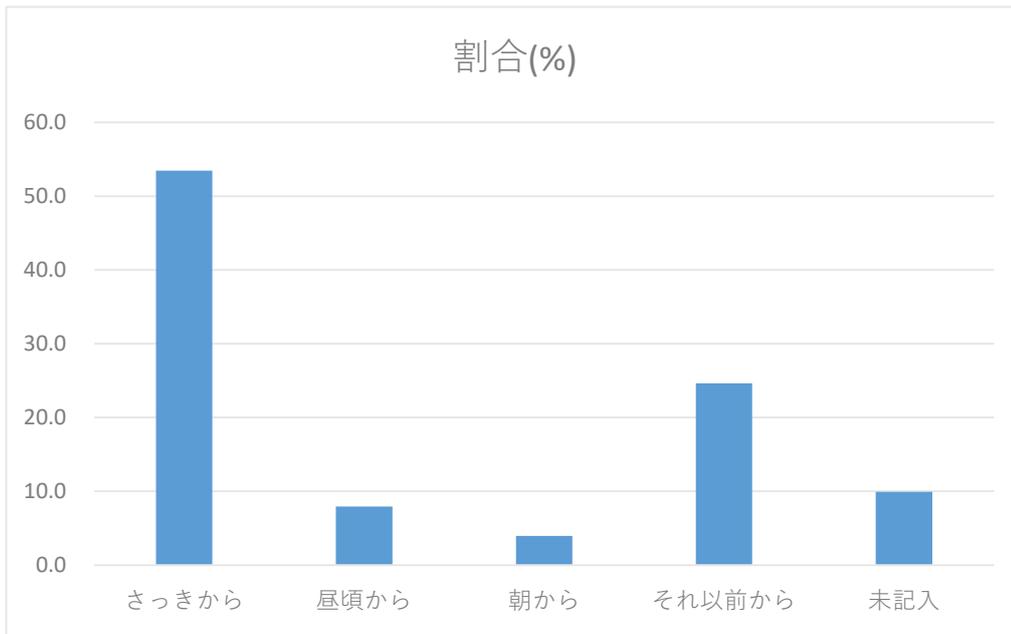
兄弟の有無	件数	割合(%)
いる	15	3.0
いない	0	0.0
不明	240	47.7
未記入	248	49.3
計	503	100



10.発症時期

【富山県】

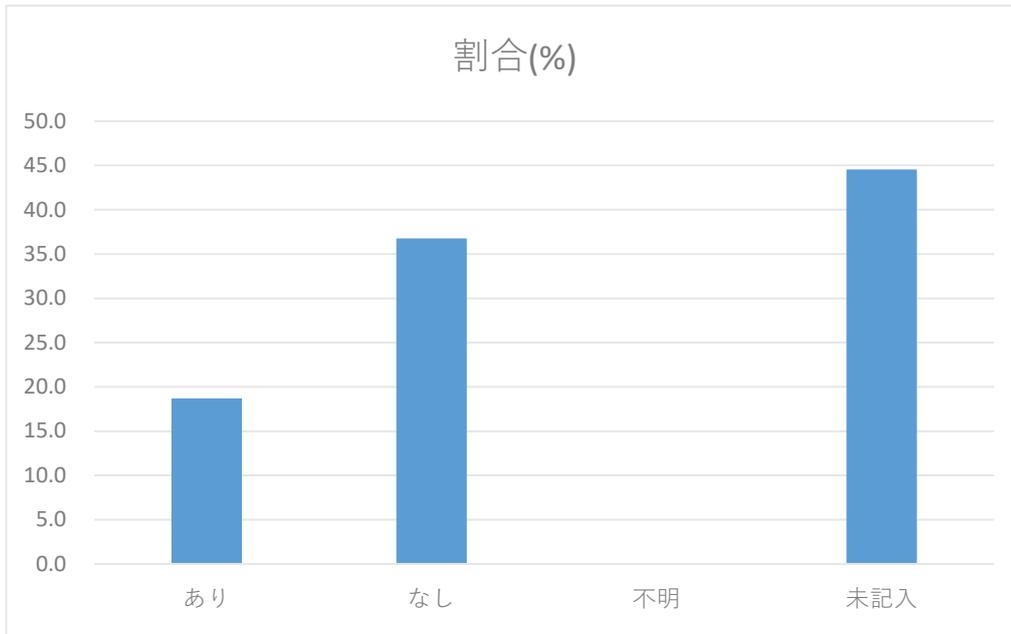
満足度	件数	割合(%)
さっきから	269	53.5
昼頃から	40	8.0
朝から	20	4.0
それ以前から	124	24.7
未記入	50	9.9
計	503	100



11.相談前の受診の有無

【富山県】

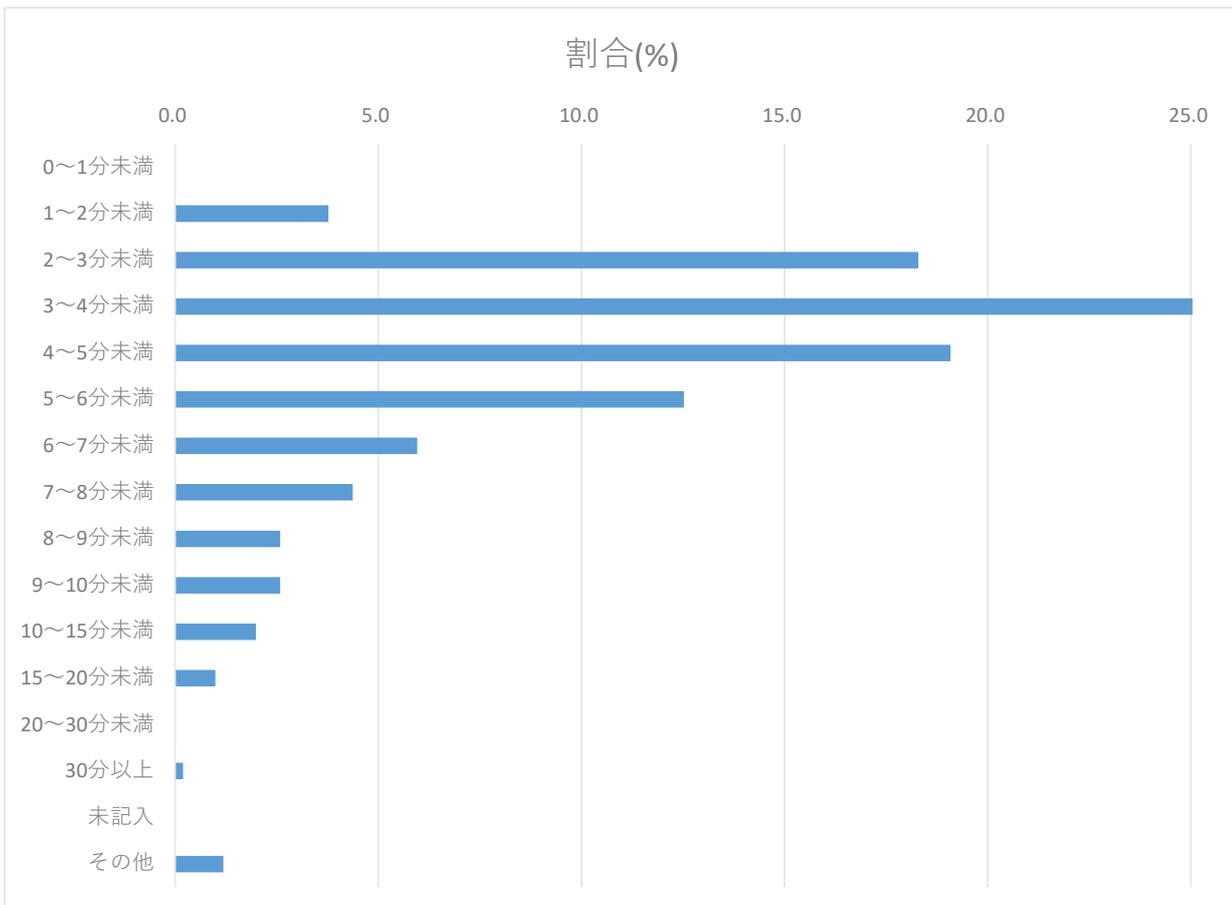
相談前の受診の有無	件数	割合(%)
あり	94	18.7
なし	185	36.8
不明	0	0.0
未記入	224	44.5
計	503	100



12.相談対応時間

【富山県】

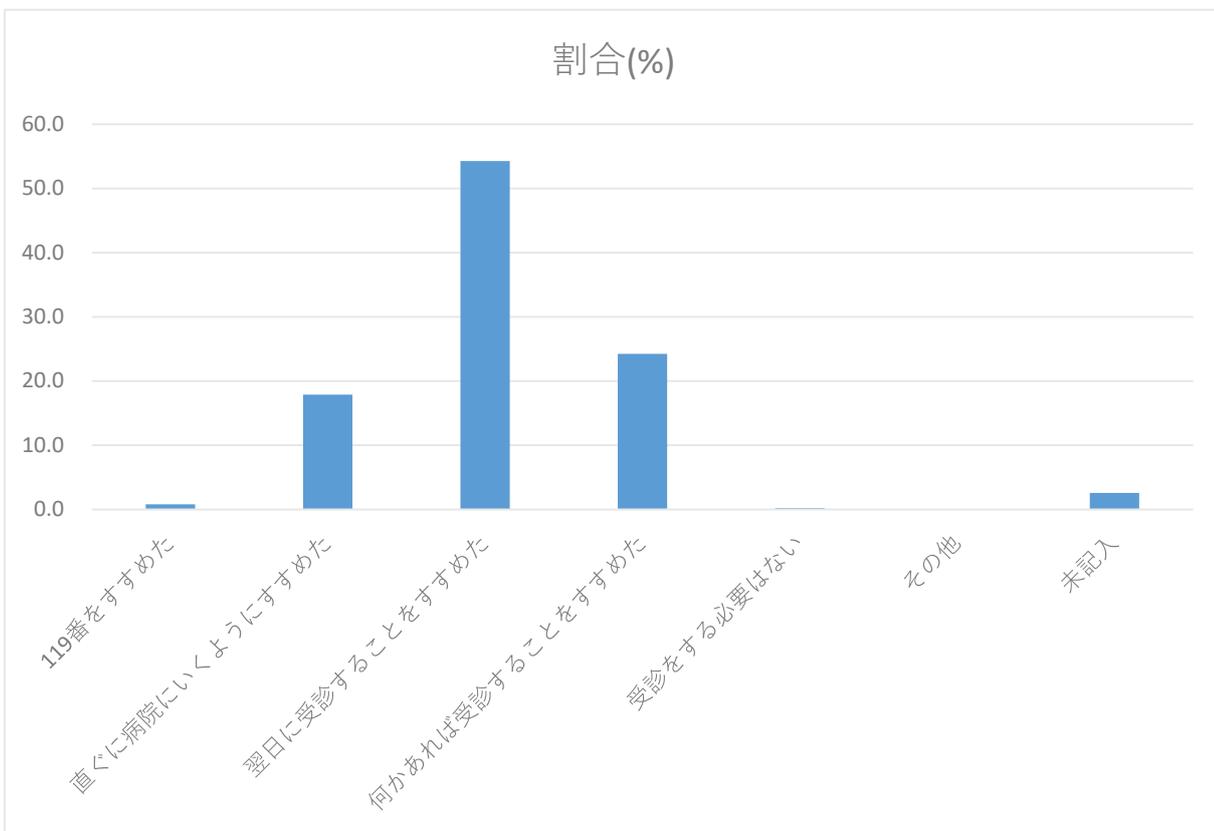
相談対応時間	件数	割合(%)
0～1分未満	0	0.0
1～2分未満	19	3.8
2～3分未満	92	18.3
3～4分未満	133	26.4
4～5分未満	96	19.1
5～6分未満	63	12.5
6～7分未満	30	6.0
7～8分未満	22	4.4
8～9分未満	13	2.6
9～10分未満	13	2.6
10～15分未満	10	2.0
15～20分未満	5	1.0
20～30分未満	0	0.0
30分以上	1	0.2
未記入	0	0.0
その他	6	1.2
計	503	100



13.相談対応者（看護師）による緊急度判定

【富山県】

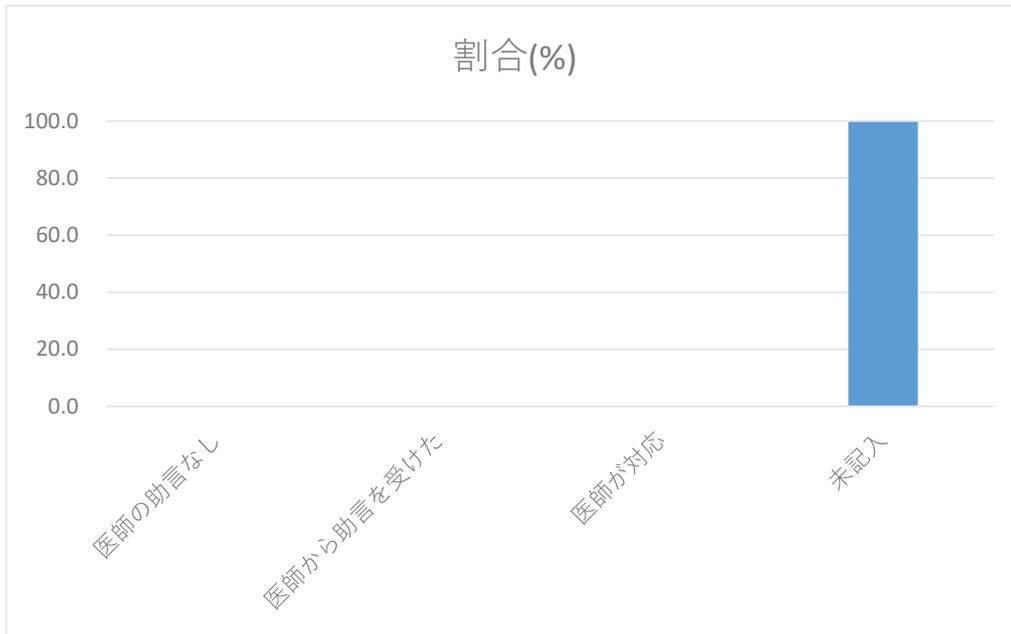
看護師による緊急度判定	件数	割合(%)
119番をすすめた	4	0.8
直ぐに病院にいこうにすすめた	90	17.9
翌日に受診することをすすめた	273	54.3
何かあれば受診することをすすめた	122	24.3
受診をする必要はない	1	0.2
その他	0	0.0
未記入	13	2.6
計	503	100



14. 医師の対応

【富山県】

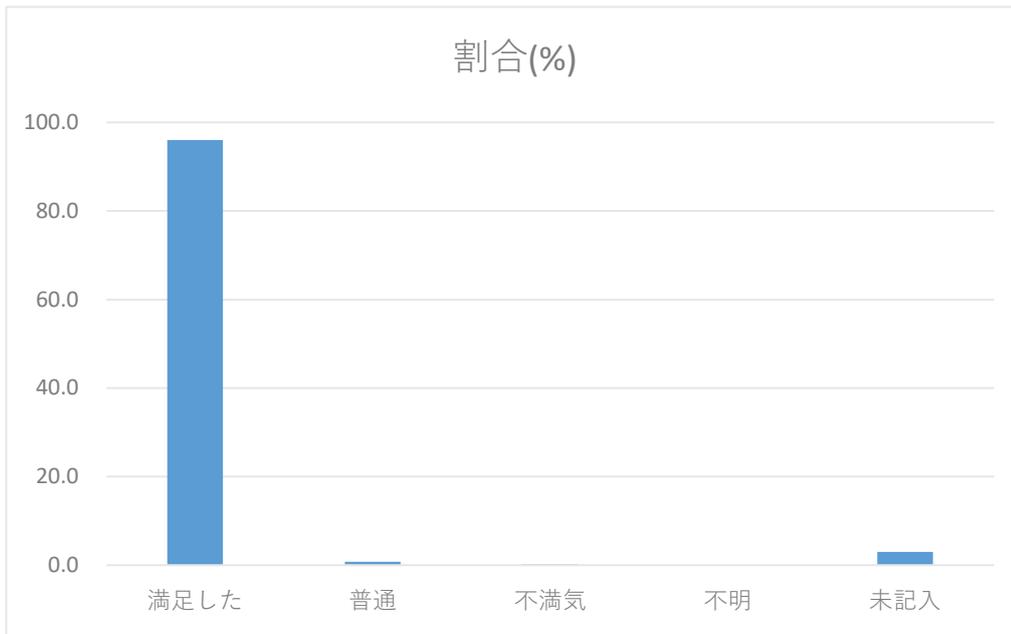
看護師による緊急度判定	件数	割合(%)
医師の助言なし	1	0.2
医師から助言を受けた	0	0.0
医師が対応	0	0.0
未記入	502	99.8
計	503	100



15.満足度（相談対応者からの印象）

【富山県】

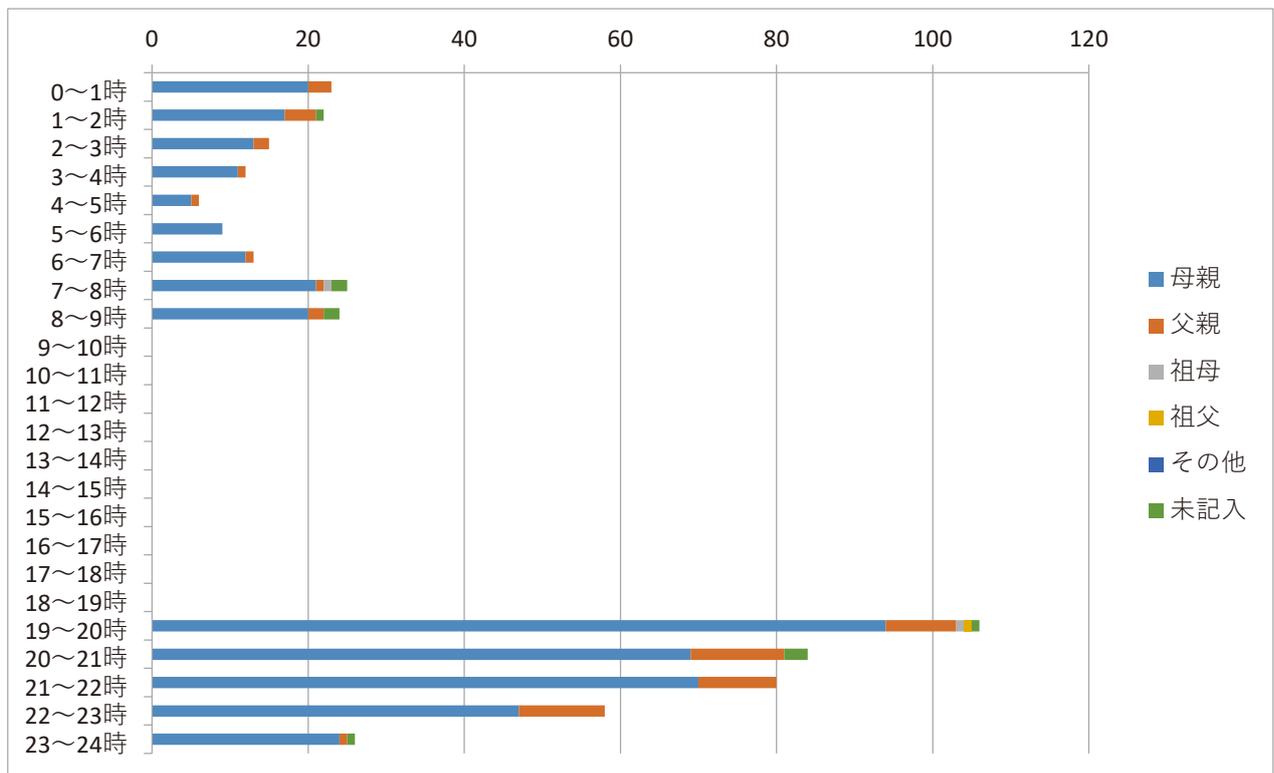
満足度	件数	割合(%)
満足した	483	96.0
普通	4	0.8
不満気	1	0.2
不明	0	0.0
未記入	15	3.0
計	503	100



16.相談時間帯別相談者続柄

【富山県】

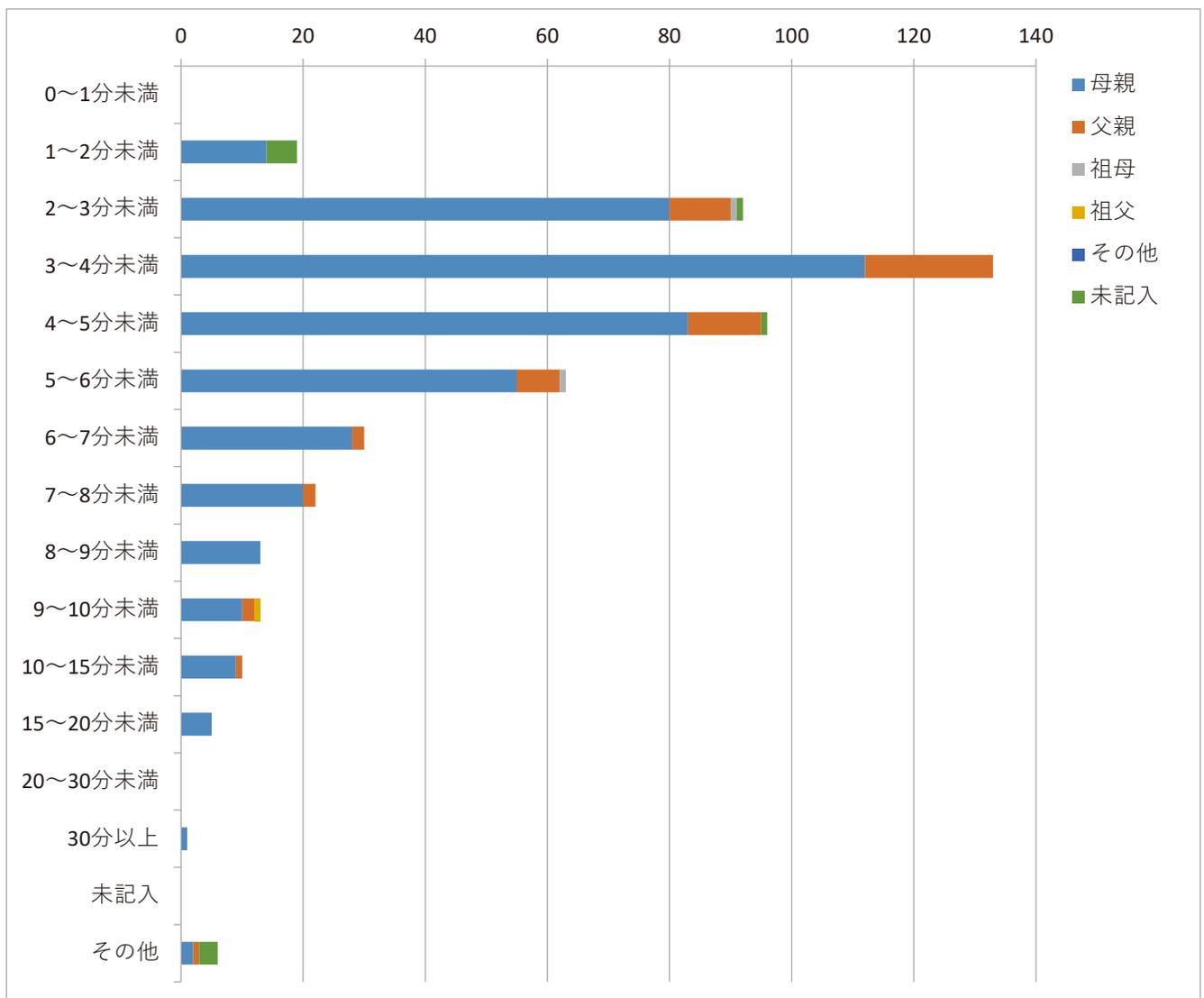
時間帯	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1時	20	3	0	0	0	0	23	4.6
1～2時	17	4	0	0	0	1	22	4.4
2～3時	13	2	0	0	0	0	15	3.0
3～4時	11	1	0	0	0	0	12	2.4
4～5時	5	1	0	0	0	0	6	1.2
5～6時	9	0	0	0	0	0	9	1.8
6～7時	12	1	0	0	0	0	13	2.6
7～8時	21	1	1	0	0	2	25	5.0
8～9時	20	2	0	0	0	2	24	4.8
9～10時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
10～11時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
11～12時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
12～13時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
13～14時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
14～15時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
15～16時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
16～17時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
17～18時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
18～19時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
19～20時	94	9	1	1	0	1	106	21.1
20～21時	69	12	0	0	0	3	84	16.7
21～22時	70	10	0	0	0	0	80	15.9
22～23時	47	11	0	0	0	0	58	11.5
23～24時	24	1	0	0	0	1	26	5.2
計	432	58	2	1	0	10	503	100



17.相談対応時間別相談者続柄

【富山県】

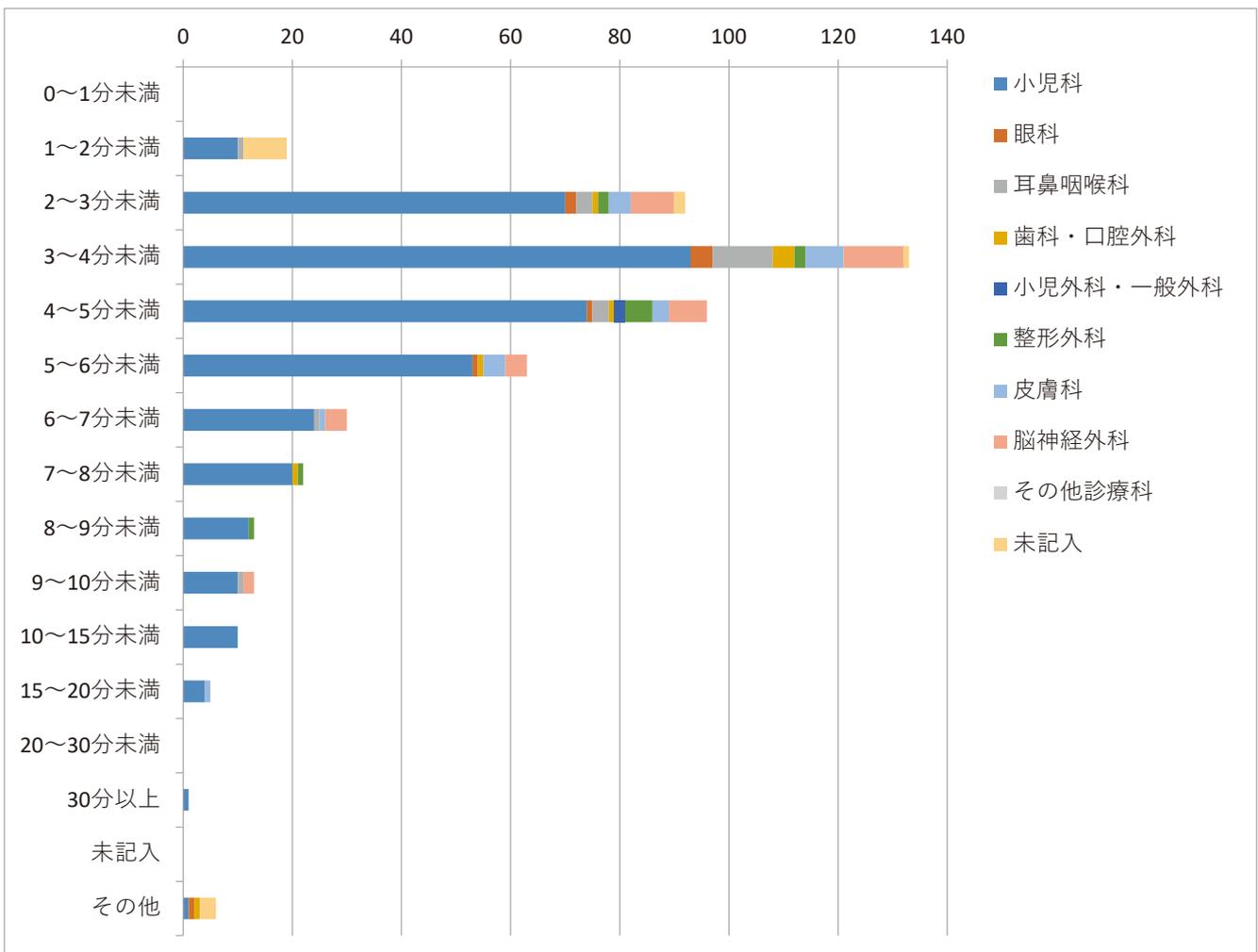
相談対応時間	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1分未満	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2分未満	14	0	0	0	0	5	19	3.8
2～3分未満	80	10	1	0	0	1	92	18.3
3～4分未満	112	21	0	0	0	0	133	26.4
4～5分未満	83	12	0	0	0	1	96	19.1
5～6分未満	55	7	1	0	0	0	63	12.5
6～7分未満	28	2	0	0	0	0	30	6.0
7～8分未満	20	2	0	0	0	0	22	4.4
8～9分未満	13	0	0	0	0	0	13	2.6
9～10分未満	10	2	0	1	0	0	13	2.6
10～15分未満	9	1	0	0	0	0	10	2.0
15～20分未満	5	0	0	0	0	0	5	1.0
20～30分未満	0	0	0	0	0	0	0	0.0
30分以上	1	0	0	0	0	0	1	0.2
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	2	1	0	0	0	3	6	1.2
計	432	58	2	1	0	10	503	100



18.相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）

【富山県】

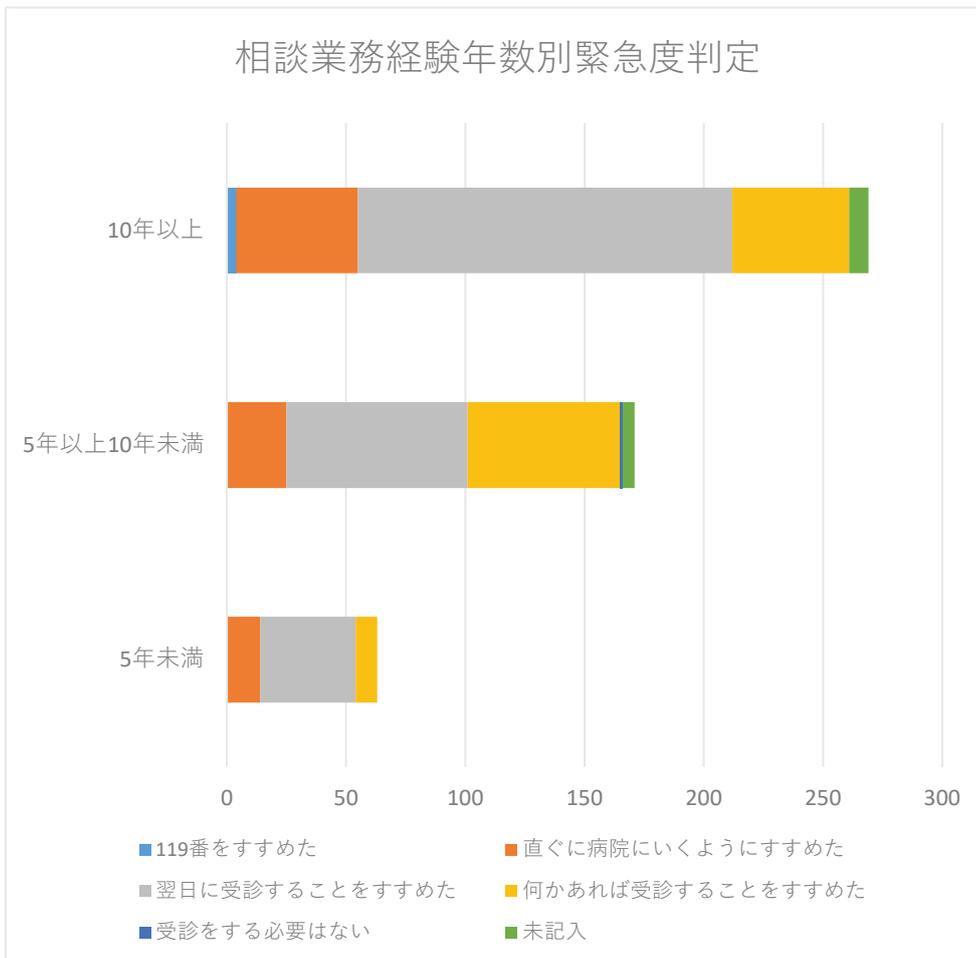
相談対応時間	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科・口腔外科	小児外科・一般外科	整形外科	皮膚科	脳神経外科	その他診療科	未記入	計	割合 (%)
0～1分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2分未満	10	0	1	0	0	0	0	0	0	8	19	3.8
2～3分未満	70	2	3	1	0	2	4	8	0	2	92	18.3
3～4分未満	93	4	11	4	0	2	7	11	0	1	133	26.4
4～5分未満	74	1	3	1	2	5	3	7	0	0	96	19.1
5～6分未満	53	1	0	1	0	0	4	4	0	0	63	12.5
6～7分未満	24	0	1	0	0	0	1	4	0	0	30	6.0
7～8分未満	20	0	0	1	0	1	0	0	0	0	22	4.4
8～9分未満	12	0	0	0	0	1	0	0	0	0	13	2.6
9～10分未満	10	0	1	0	0	0	0	2	0	0	13	2.6
10～15分未満	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	2.0
15～20分未満	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	1.0
20～30分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
30分以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.2
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	6	1.2
計	382	9	20	9	2	11	20	36	0	14	503	100



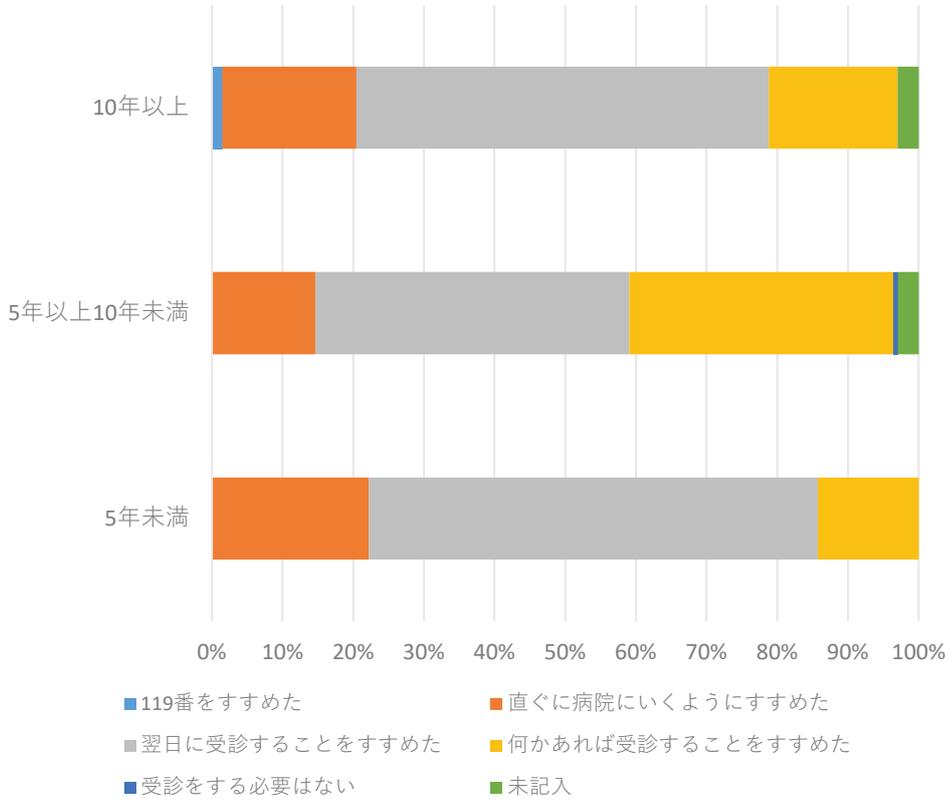
19.相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定

【富山県】

緊急度分類	相談業務経験年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上	計
		件数	0	0	
119番をすすめた	割合(%)	0.0	0.0	1.5	0.8
	件数	14	25	51	90
直ぐに病院に行くようにすすめた	割合(%)	22.2	14.6	19.0	17.9
	件数	40	76	157	273
翌日に受診することをすすめた	割合(%)	63.5	44.4	58.4	54.3
	件数	9	64	49	122
何かあれば受診することをすすめた	割合(%)	14.3	37.4	18.2	24.3
	件数	0	1	0	1
受診をする必要はない	割合(%)	0.0	0.6	0.0	0.2
	件数	0	5	8	13
未記入	割合(%)	0.0	2.9	3.0	2.6
	件数	63	171	269	503
計	割合(%)	100	100	100	100



相談業務経験年数別緊急度判定



20. 相談対応者（看護師）の対応感想

【富山県】

看護師の対応感想	件数	割合(%)
自信をもって対応できた	0	0.0
対応に不安が残った	5	1.0
どちらともいえない	0	0.0
医師の判断に従った	0	0.0
その他	0	0.0
未記入	498	99.0
計	503	100

Ⅲ-4. 岐阜県

(1) 基本情報

1. 二次医療圏別年少人口（15歳未満）¹⁾、小児科医師・小児外科医師数²⁾

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	小児科医師数 (人)	小児外科医師数 (人)	2科合計医師数 (人)	年少人口 (人)
岐阜県	2101	岐阜	137	4	141	107,243
	2102	西濃	41	1	42	49,469
	2103	中濃	27	1	28	49,770
	2104	東濃	33	0	33	42,163
	2105	飛騨	11	0	11	18,899
		計		249	6	255

表 5. 岐阜県の二次医療圏別年少人口（15歳未満）、小児科医師・小児外科医師数

2. #8000 事業実施体制

岐阜県の委託を受けて、民間事業者が月曜日から金曜日の 18 時～翌朝 8 時まで 1 回線、土曜日・休日は 8 時～翌朝 8 時まで（24 時間）1 回線で実施している。

調査実施期間における、民間事業者の相談対応者数は調査できなかった。

看護師の相談業務経験年数および看護師経験年数は聴取できなかった（民間事業者の規定によって）。

相談内容の記録は、民間事業者独自の電子入力システムに入力し、この情報を後日、民間事業者が NDS-8000 に入力することにより情報収集を行った。

(2) 結果

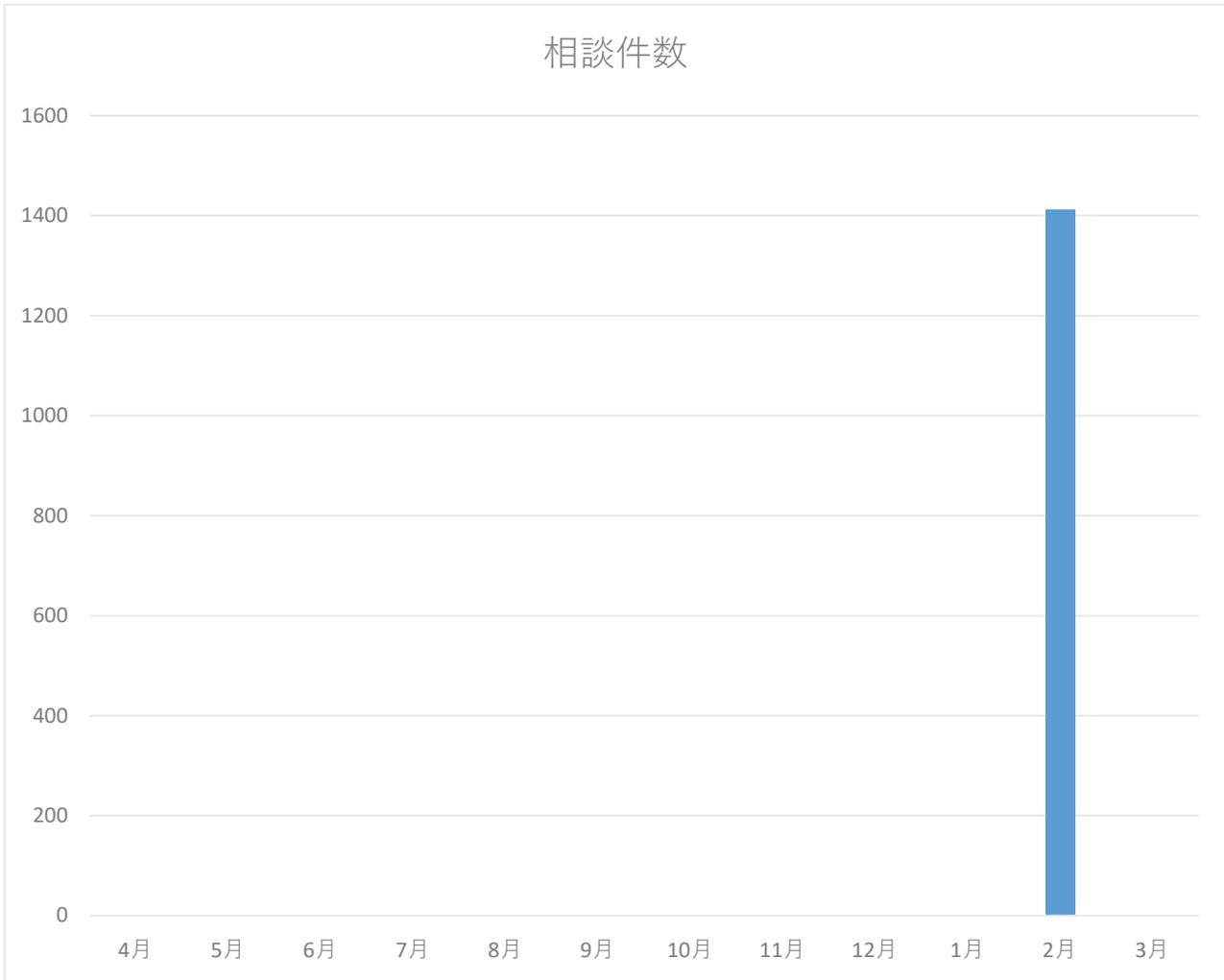
1. 全相談件数：1,412 件
2. 二次医療圏毎の相談件数：岐阜が最多で 664 件（47.0%）
3. 曜日・相談時間帯別相談件数：19～20 時と 20～21 時が最多で 186 件（13.2%）
4. 相談対象児数（男女・年齢別）：男児：女児＝1,012 件（34.9%）：846 件（29.2%）
年齢は未記入のみ
5. 主訴別相談件数：最も多い主訴は発熱 527 件（37.3%）で、次いで嘔気・嘔吐 131 件（9.3%）、頭部以外の外傷 95 件（6.7%）、咳 59 件（4.2%）であった。
6. 相談の分類：未記入のみ
7. 相談者（続柄）：母親 1,235（87.5%）、父親 148 件（10.5%）
8. 相談者（年齢）：30 代が 940 件（66.6%）
9. 兄弟の有無：未記入のみ
10. 発症時期：未記入のみ
11. 相談前の受診の有無：「受診なし」1,040 件（73.7%）、「受診あり」372 件（26.3%）

12. 相談対応時間：4～5分未満が最多で245件（17.4%）
13. 相談対応者（看護師）による緊急度判定：「何かあれば受診することをすすめた」が最多で563件（39.9%）
14. 医師の対応：「助言を受けた」が6件（0.4%）、「医師が対応」が1件あった。
15. 満足度（相談対応者からの印象）：「満足した」が59件（4.2%）、「普通」が1,351件（95.7%）、「不満気」が2件（0.1%）
16. 相談時間帯別相談者続柄：時間が遅くなるにつれて父親からの相談割合が増加していた。19～20時では父親が6.5%で、23～24時では父親が18.3%であった。
17. 相談対応時間別相談者続柄：母親・父親ともに4～5分未満が最多であった。
18. 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）：受診科での違いはなかった。多くの科で4～5分が最多であった。
19. 相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定：「何かあれば受診することをすすめた」が39.9%、「受診する必要はない」が18.3%、「直ぐに病院に行くようにすすめた」が18.2%であった。
20. 相談対応者（看護師）による対応感想：未記入のみ。

1.相談件数

【岐阜県】

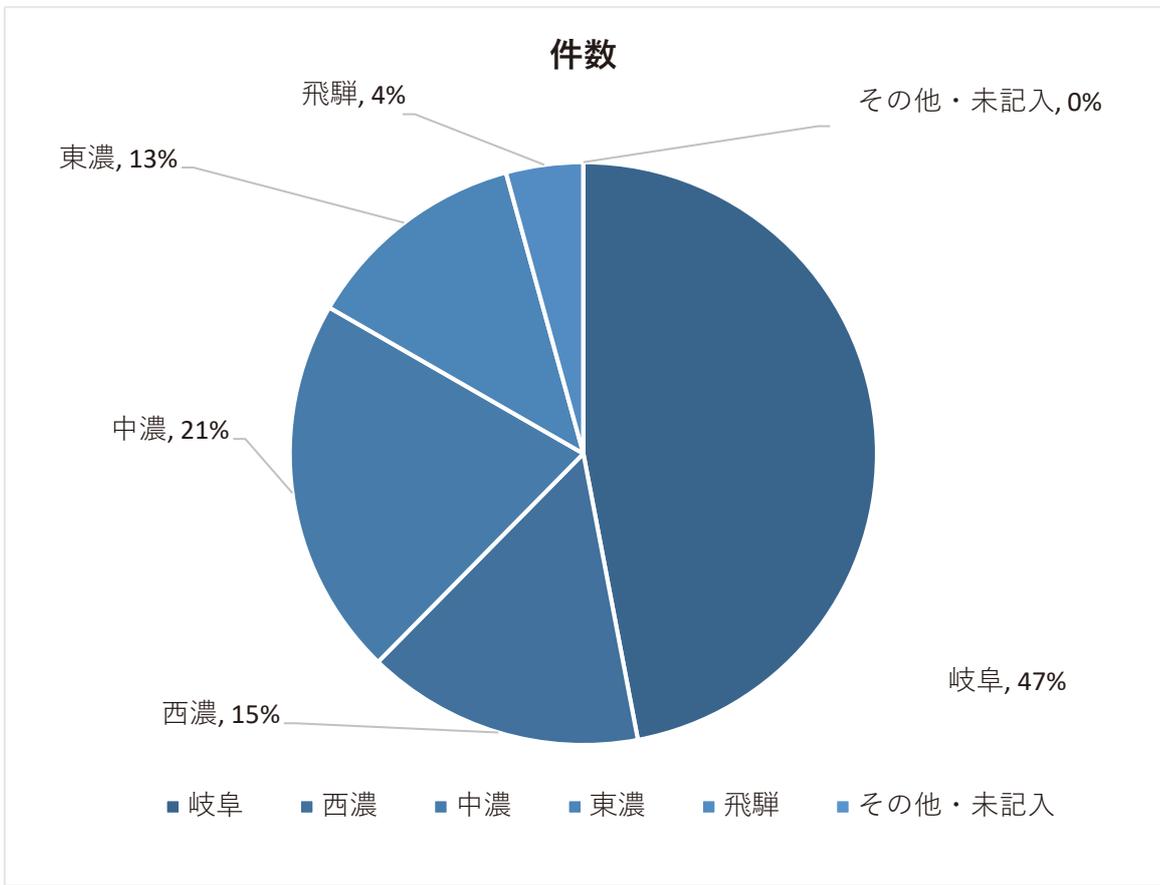
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,412	0	1,412



2.二次医療圏

【岐阜県】

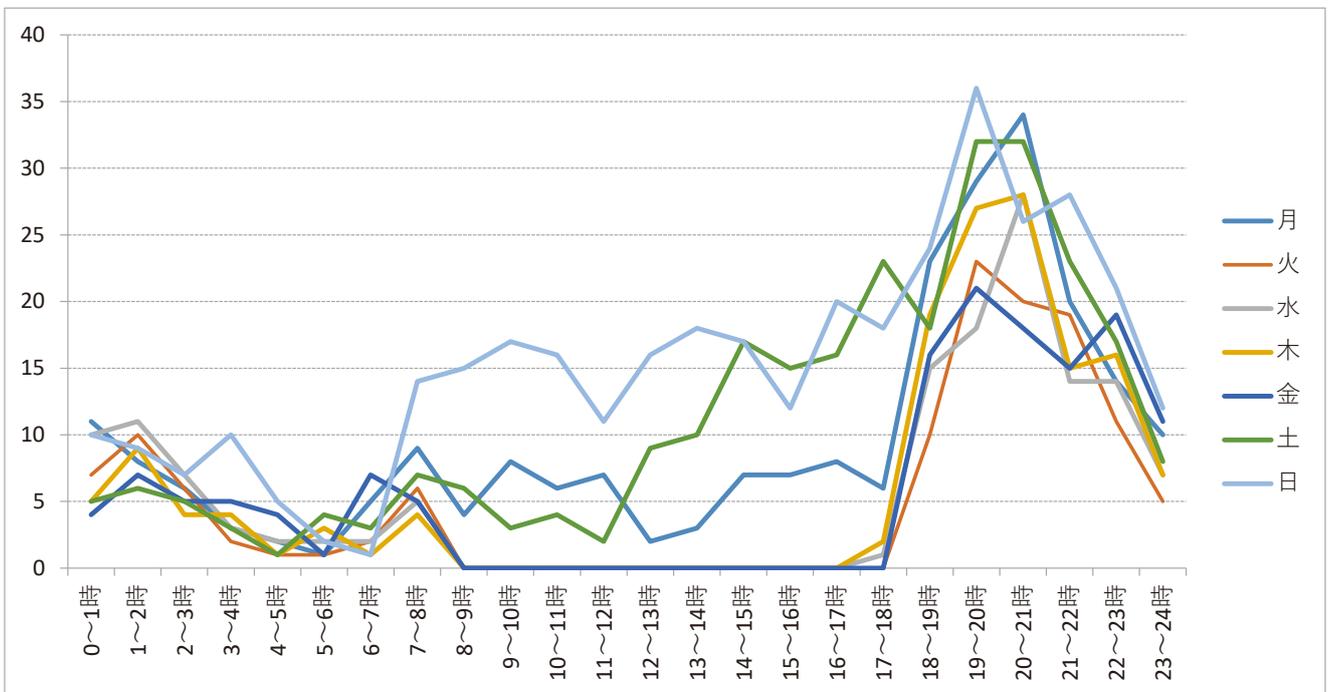
二次医療圏	件数	割合(%)
岐阜	664	47.0
西濃	216	15.3
中濃	297	21.0
東濃	175	12.4
飛騨	60	4.2
その他・未記入	0	0.0
計	1,412	100



3.曜日別相談時間帯

【岐阜県】

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合(%)
0～1時	11	7	10	5	4	5	10	52	3.7
1～2時	8	10	11	9	7	6	9	60	4.2
2～3時	6	6	7	4	5	5	7	40	2.8
3～4時	3	2	3	4	5	3	10	30	2.1
4～5時	2	1	2	1	4	1	5	16	1.1
5～6時	1	1	2	3	1	4	2	14	1.0
6～7時	5	2	2	1	7	3	1	21	1.5
7～8時	9	6	5	4	5	7	14	50	3.5
8～9時	4	0	0	0	0	6	15	25	1.8
9～10時	8	0	0	0	0	3	17	28	2.0
10～11時	6	0	0	0	0	4	16	26	1.8
11～12時	7	0	0	0	0	2	11	20	1.4
12～13時	2	0	0	0	0	9	16	27	1.9
13～14時	3	0	0	0	0	10	18	31	2.2
14～15時	7	0	0	0	0	17	17	41	2.9
15～16時	7	0	0	0	0	15	12	34	2.4
16～17時	8	0	0	0	0	16	20	44	3.1
17～18時	6	0	1	2	0	23	18	50	3.5
18～19時	23	10	15	19	16	18	24	125	8.9
19～20時	29	23	18	27	21	32	36	186	13.2
20～21時	34	20	28	28	18	32	26	186	13.2
21～22時	20	19	14	15	15	23	28	134	9.5
22～23時	14	11	14	16	19	17	21	112	7.9
23～24時	10	5	7	7	11	8	12	60	4.2
計	233	123	139	145	138	269	365	1,412	100



4.相談対象児（男女・年齢別）

【岐阜県】

相談対象児年齢	男	女	不明	未入力	計	割合(%)
1ヶ月未満	0	0	0	0	0	0.0
1～3ヶ月未満	0	0	0	0	0	0.0
3～6ヶ月未満	0	0	0	0	0	0.0
6ヶ月～1歳未満	0	0	0	0	0	0.0
1～2歳未満	0	0	0	0	0	0.0
2～3歳未満	0	0	0	0	0	0.0
3～4歳未満	0	0	0	0	0	0.0
4～5歳未満	0	0	0	0	0	0.0
5～6歳未満	0	0	0	0	0	0.0
6～7歳未満	0	0	0	0	0	0.0
7～8歳未満	0	0	0	0	0	0.0
8～9歳未満	0	0	0	0	0	0.0
9～10歳未満	0	0	0	0	0	0.0
10～11歳未満	0	0	0	0	0	0.0
11～12歳未満	0	0	0	0	0	0.0
12～13歳未満	0	0	0	0	0	0.0
13～14歳未満	0	0	0	0	0	0.0
14～15歳未満	0	0	0	0	0	0.0
15～16歳未満	0	0	0	0	0	0.0
それ以上	0	0	0	0	0	0.0
未記入	0	0	0	1,412	1,412	100
計（件数）	0	0	0	1,412	1,412	—
計（割合(%)）	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—	100

4.相談対象児（男女・年齢別）

【岐阜県】



5.主訴別相談件数

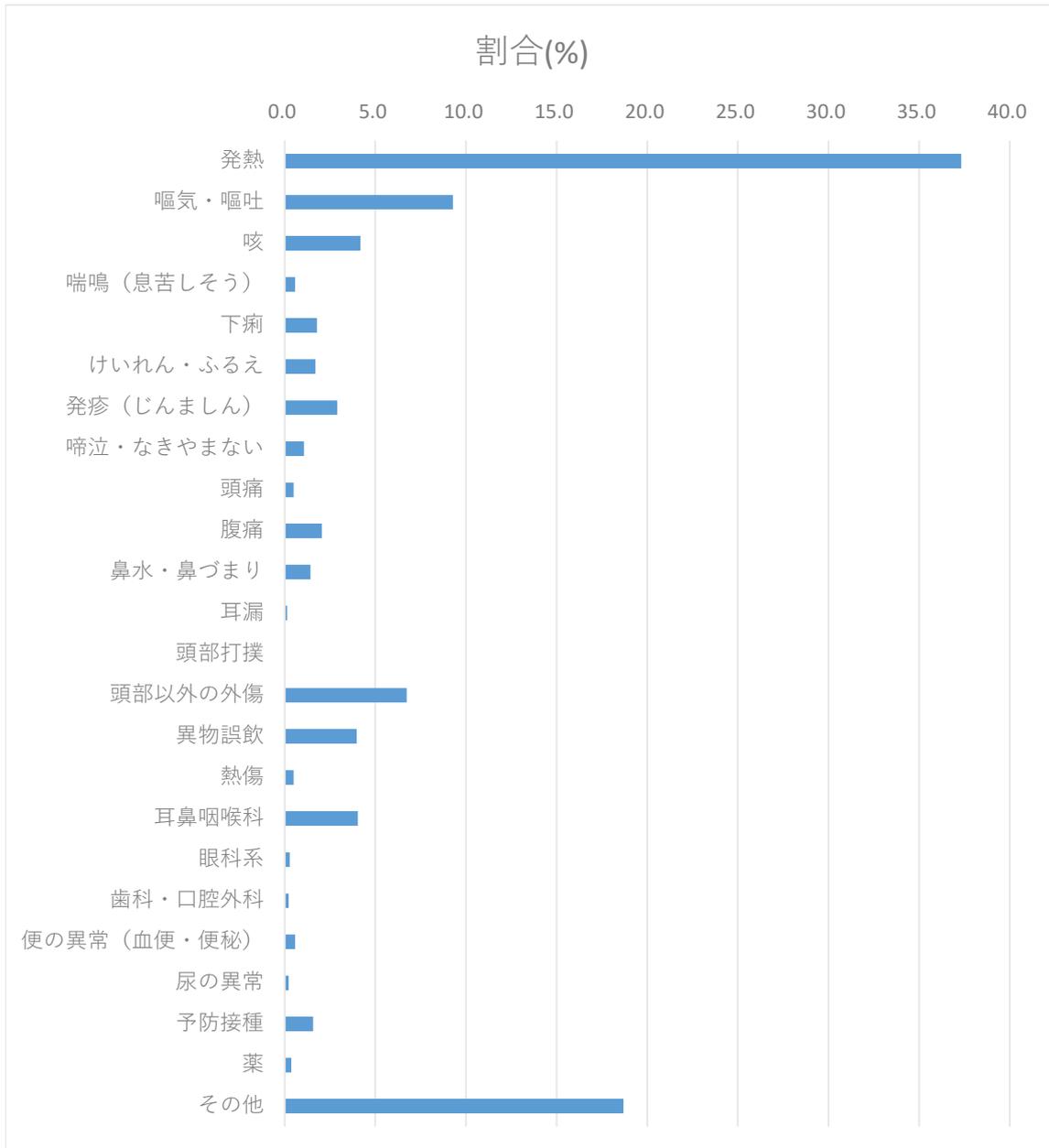
【岐阜県】

主訴	回答数	相談件数	割合(%)
発熱	527		37.3
嘔気・嘔吐	131		9.3
咳	59		4.2
喘鳴（息苦しう）	8		0.6
下痢	25		1.8
けいれん・ふるえ	24		1.7
発疹（じんましん）	41		2.9
啼泣・なきやまない	15		1.1
頭痛	7		0.5
腹痛	29		2.1
鼻水・鼻づまり	20		1.4
耳漏	2		0.1
頭部打撲	0		0.0
頭部以外の外傷	95		6.7
異物誤飲	56		4.0
熱傷	7		0.5
耳鼻咽喉科	57		4.0
眼科系	4		0.3
歯科・口腔外科	3		0.2
便の異常（血便・便秘）	8		0.6
尿の異常	3		0.2
予防接種	22		1.6
薬	5		0.4
その他	264		18.7
計	1,412	1,412	100

※複数回答可

5.主訴別相談件数

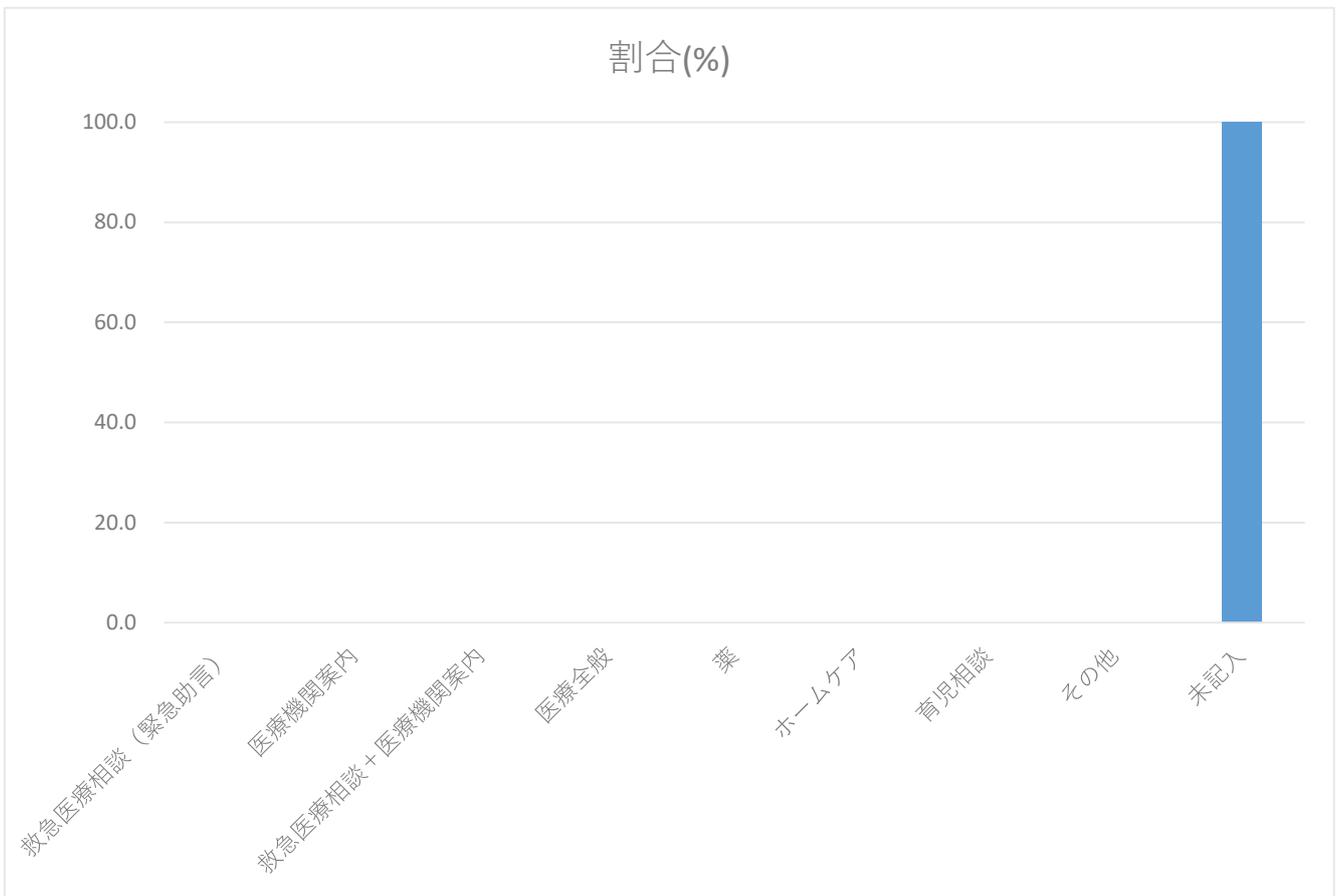
【岐阜県】



6.相談の分類

【岐阜県】

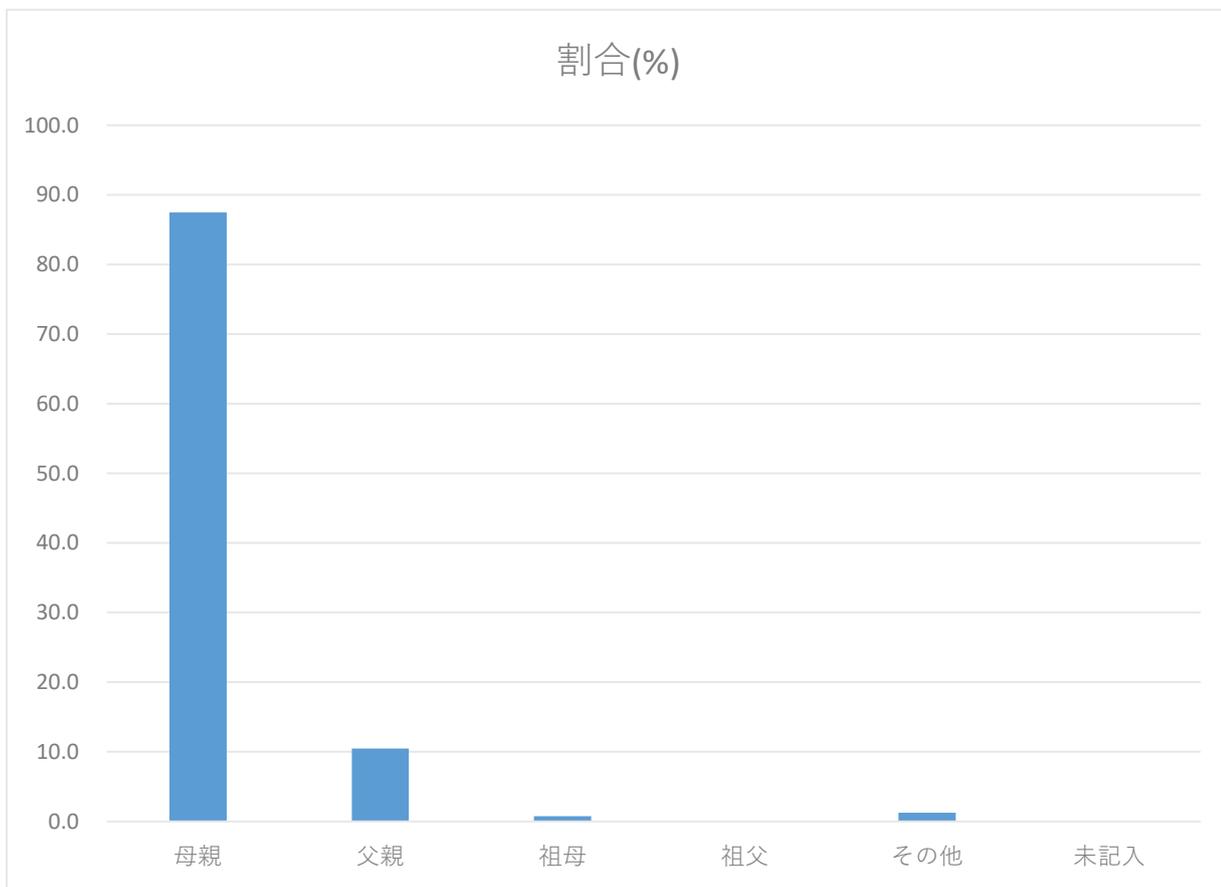
相談の分類	件数	割合(%)
救急医療相談（緊急助言）	0	0.0
医療機関案内	0	0.0
救急医療相談 + 医療機関案内	0	0.0
医療全般	0	0.0
薬	0	0.0
ホームケア	0	0.0
育児相談	0	0.0
その他	0	0.0
未記入	1,412	100.0
計	1,412	100



7.相談者（続柄）

【岐阜県】

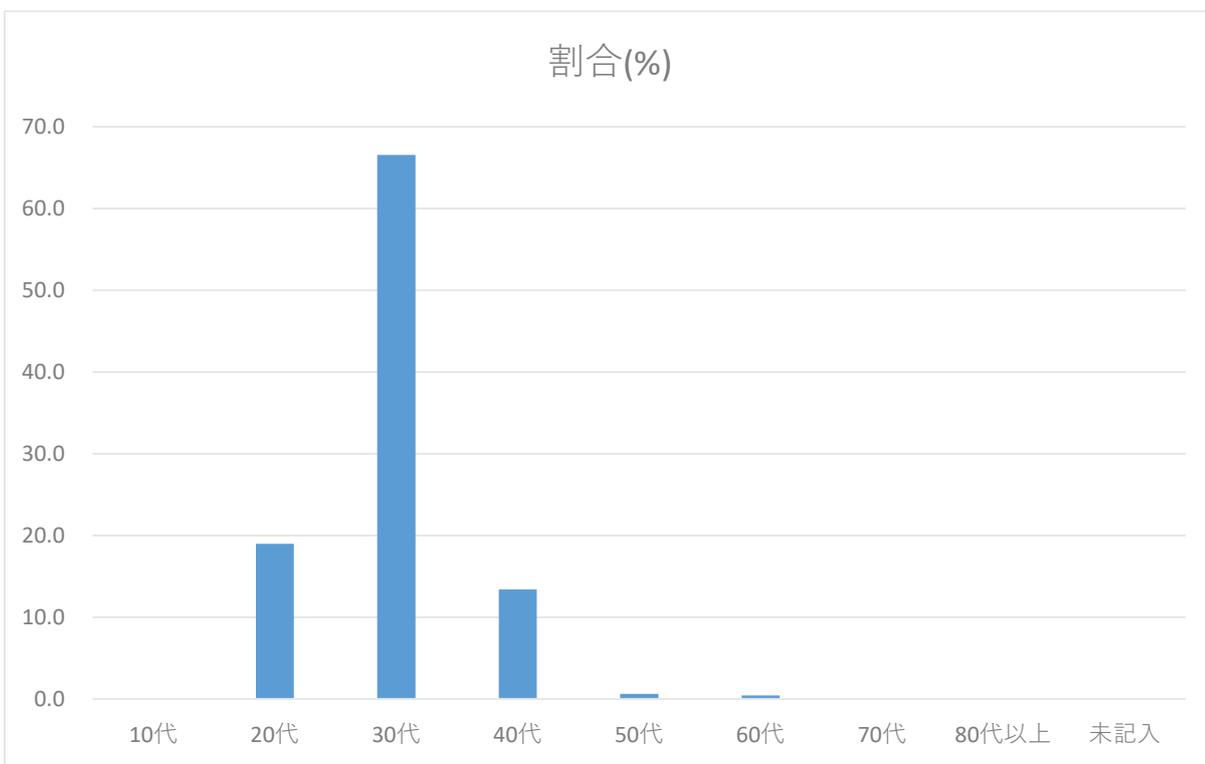
続柄	件数	割合(%)
母親	1,235	87.5
父親	148	10.5
祖母	11	0.8
祖父	0	0.0
その他	18	1.3
未記入	0	0.0
計	1,412	100



8.相談者（年齢）

【岐阜県】

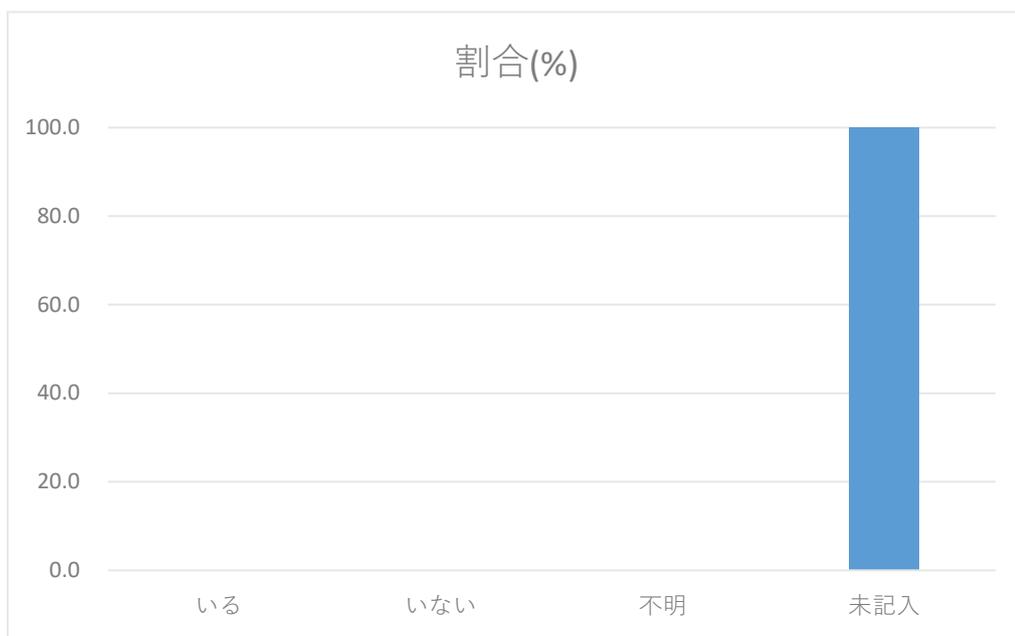
年齢	件数	割合(%)
10代	0	0.0
20代	268	19.0
30代	940	66.6
40代	189	13.4
50代	9	0.6
60代	6	0.4
70代	0	0.0
80代以上	0	0.0
未記入	0	0.0
計	1,412	100



9.兄弟の有無

【岐阜県】

兄弟の有無	件数	割合(%)
いる	0	0.0
いない	0	0.0
不明	0	0.0
未記入	1,412	100.0
計	1,412	100



10.発症時期

【岐阜県】

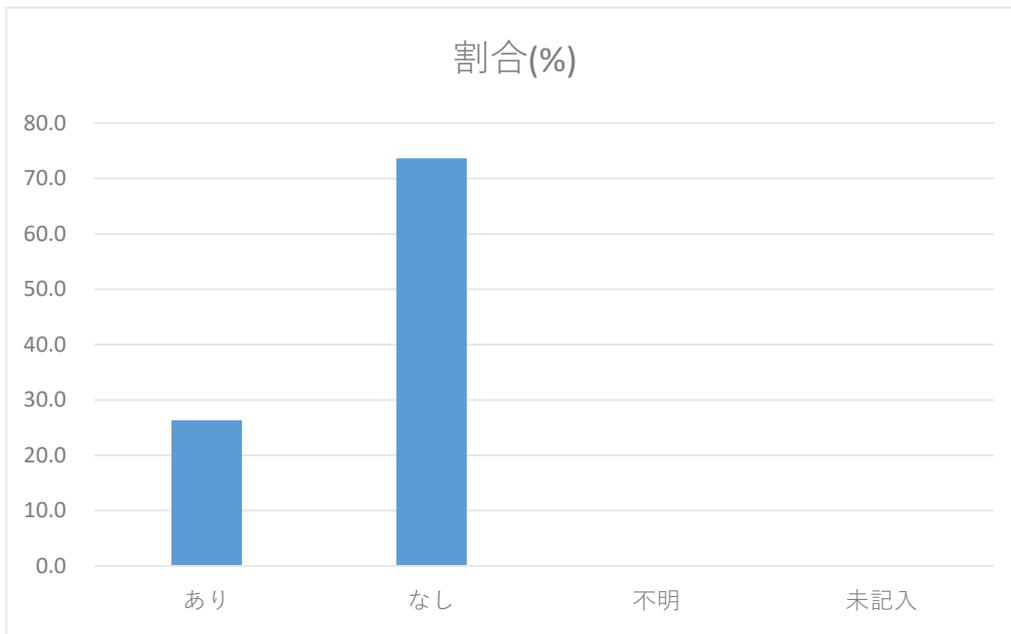
満足度	件数	割合(%)
さっきから	0	0.0
昼頃から	0	0.0
朝から	0	0.0
それ以前から	0	0.0
未記入	1,412	100.0
計	1,412	100



11.相談前の受診の有無

【岐阜県】

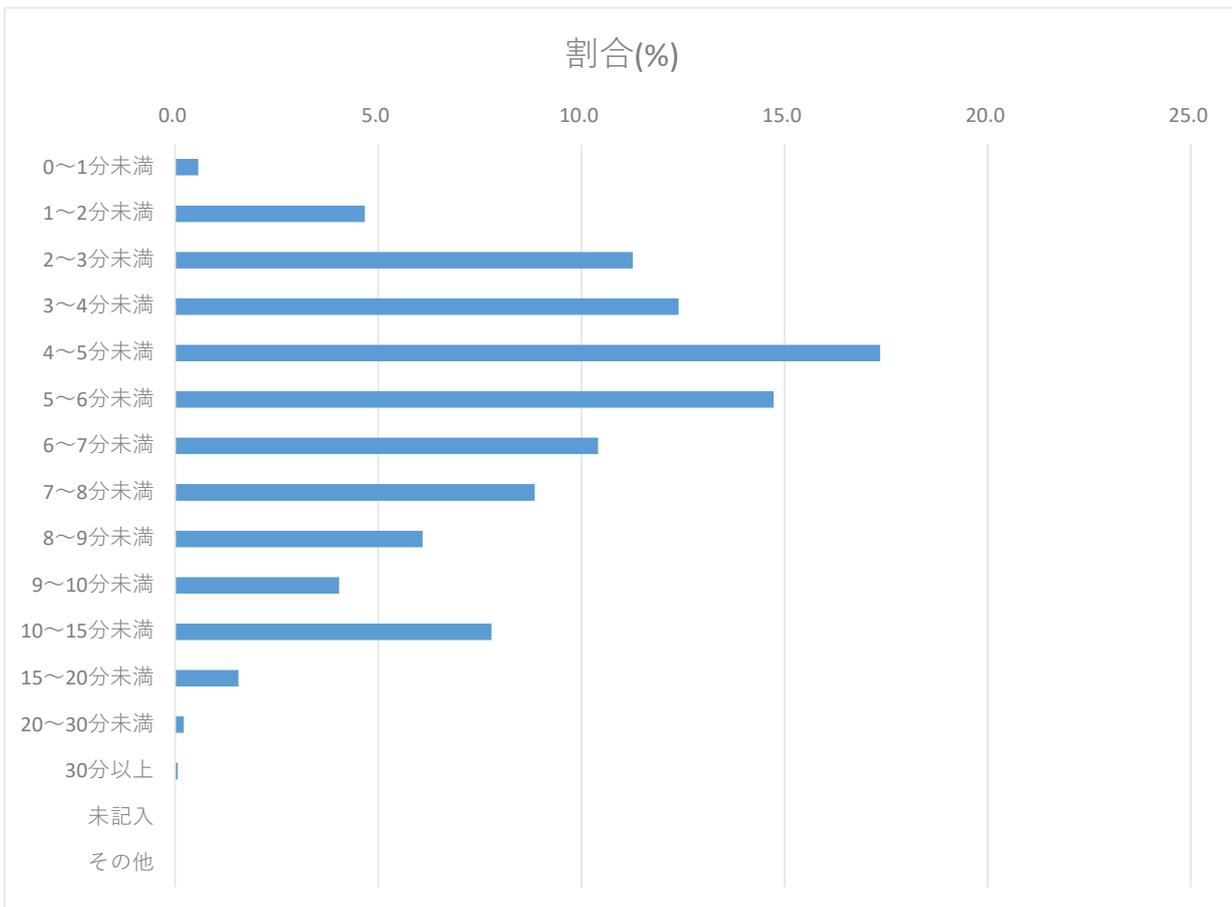
相談前の受診の有無	件数	割合(%)
あり	372	26.3
なし	1,040	73.7
不明	0	0.0
未記入	0	0.0
計	1,412	100



12.相談対応時間

【岐阜県】

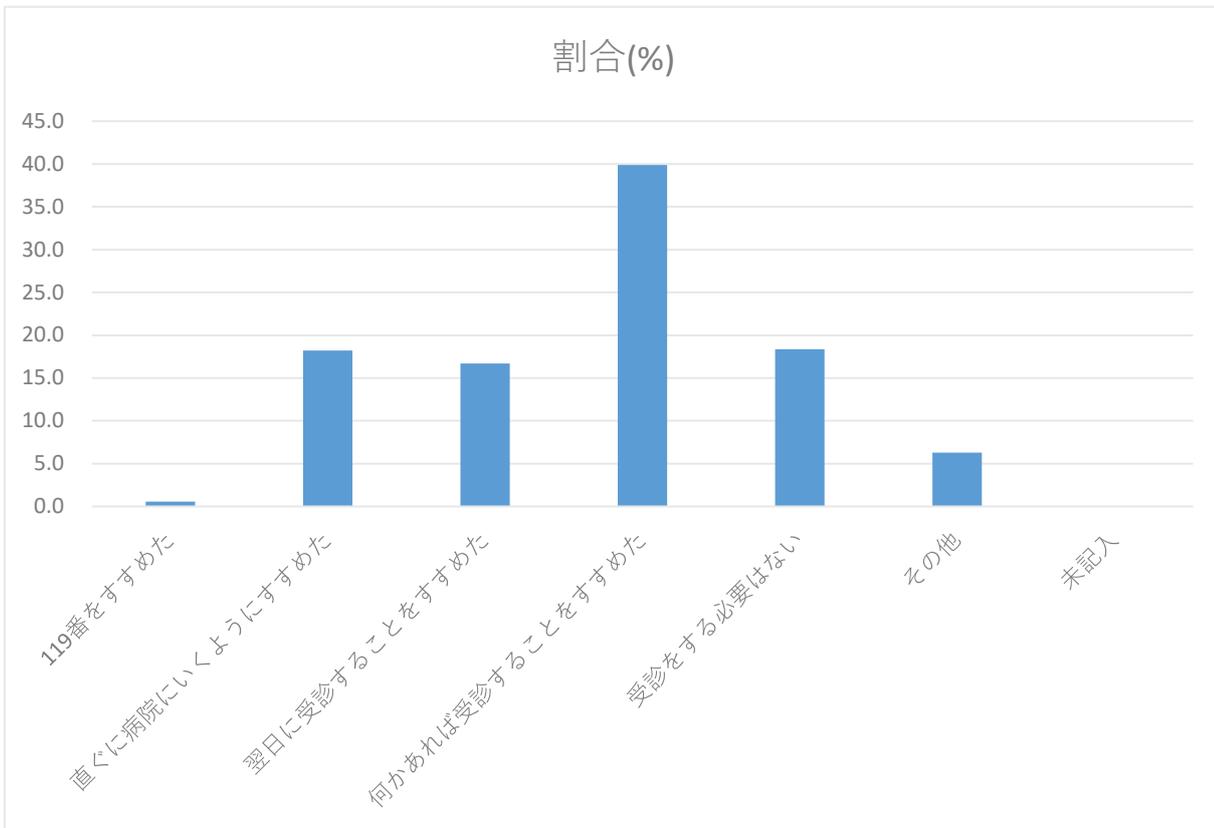
相談対応時間	件数	割合(%)
0～1分未満	8	0.6
1～2分未満	66	4.7
2～3分未満	159	11.3
3～4分未満	175	12.4
4～5分未満	245	17.4
5～6分未満	208	14.7
6～7分未満	147	10.4
7～8分未満	125	8.9
8～9分未満	86	6.1
9～10分未満	57	4.0
10～15分未満	110	7.8
15～20分未満	22	1.6
20～30分未満	3	0.2
30分以上	1	0.1
未記入	0	0.0
その他	0	0.0
計	1,412	100



13.相談対応者（看護師）による緊急度判定

【岐阜県】

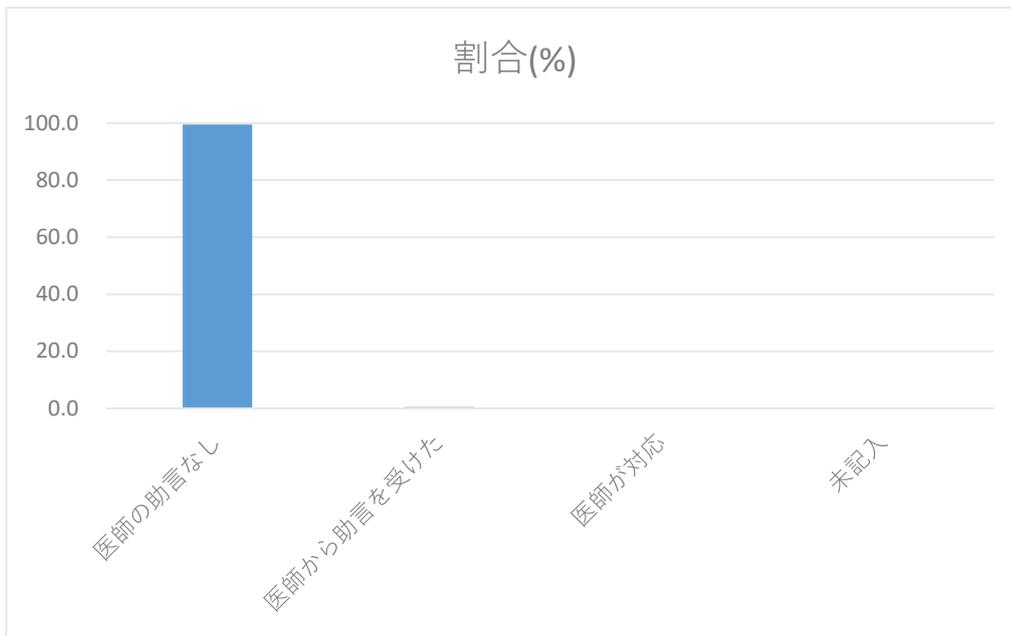
看護師による緊急度判定	件数	割合(%)
119番をすすめた	8	0.6
直ぐに病院に行くようにすすめた	257	18.2
翌日に受診することをすすめた	236	16.7
何かあれば受診することをすすめた	563	39.9
受診をする必要はない	259	18.3
その他	89	6.3
未記入	0	0.0
計	1,412	100



14. 医師の対応

【岐阜県】

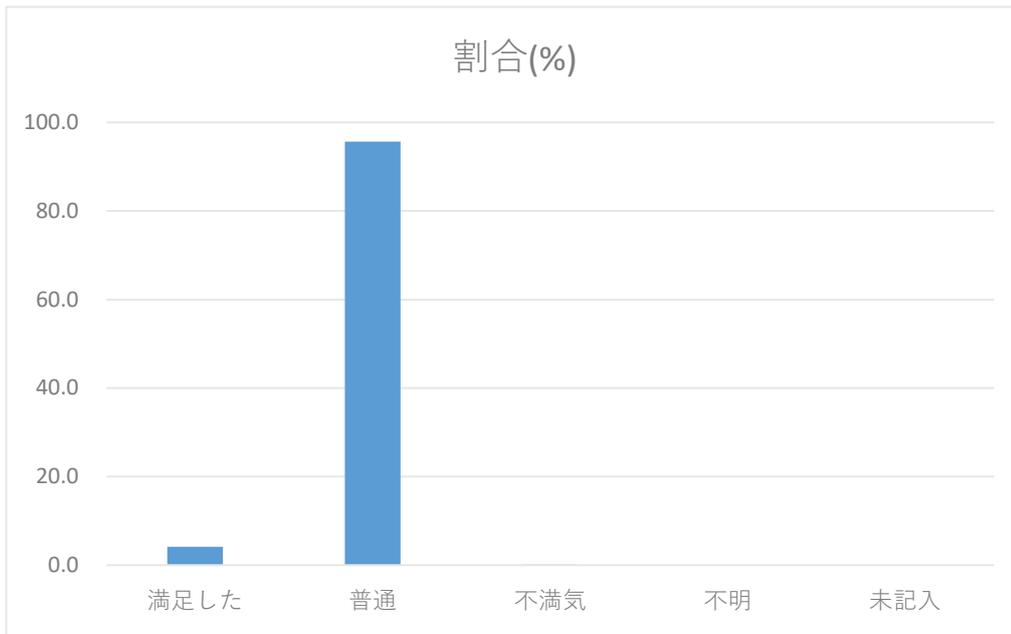
看護師による緊急度判定	件数	割合(%)
医師の助言なし	1,405	99.5
医師から助言を受けた	6	0.4
医師が対応	1	0.1
未記入	0	0.0
計	1,412	100



15.満足度（相談対応者からの印象）

【岐阜県】

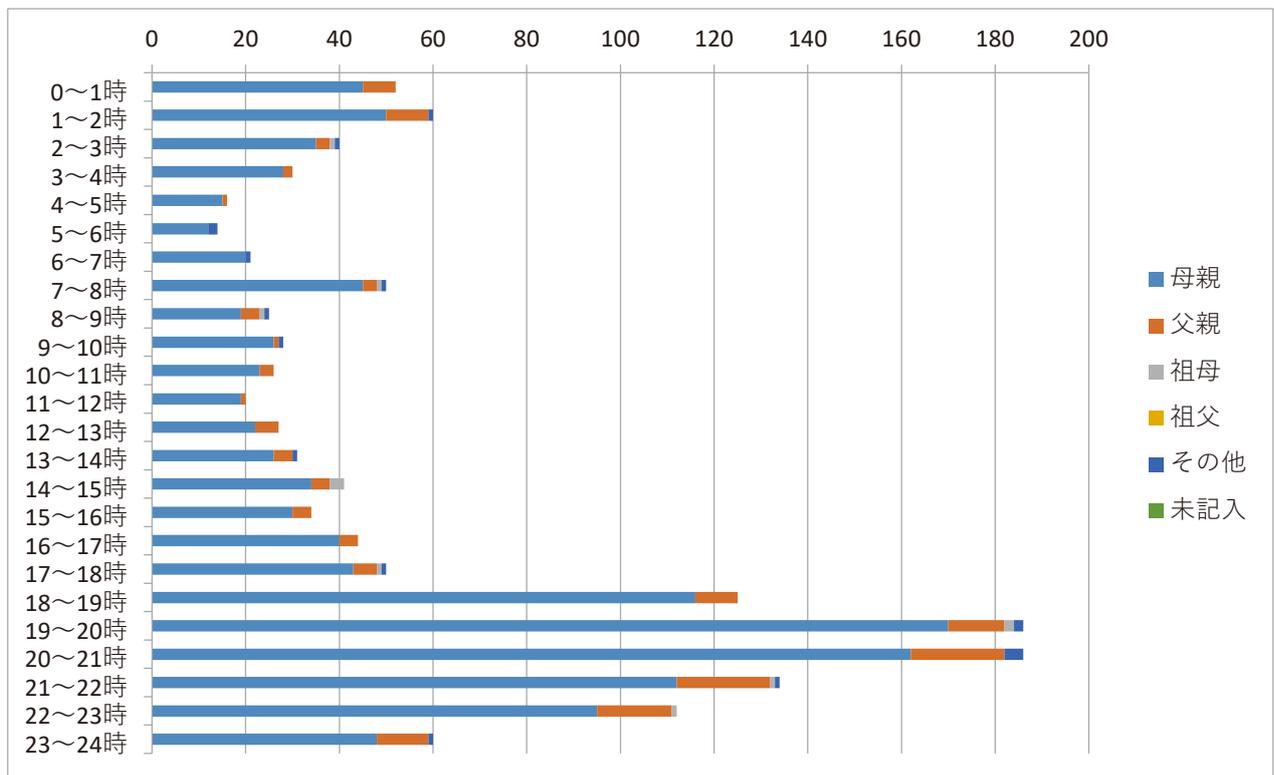
満足度	件数	割合(%)
満足した	59	4.2
普通	1,351	95.7
不満気	2	0.1
不明	0	0.0
未記入	0	0.0
計	1,412	100



16.相談時間帯別相談者続柄

【岐阜県】

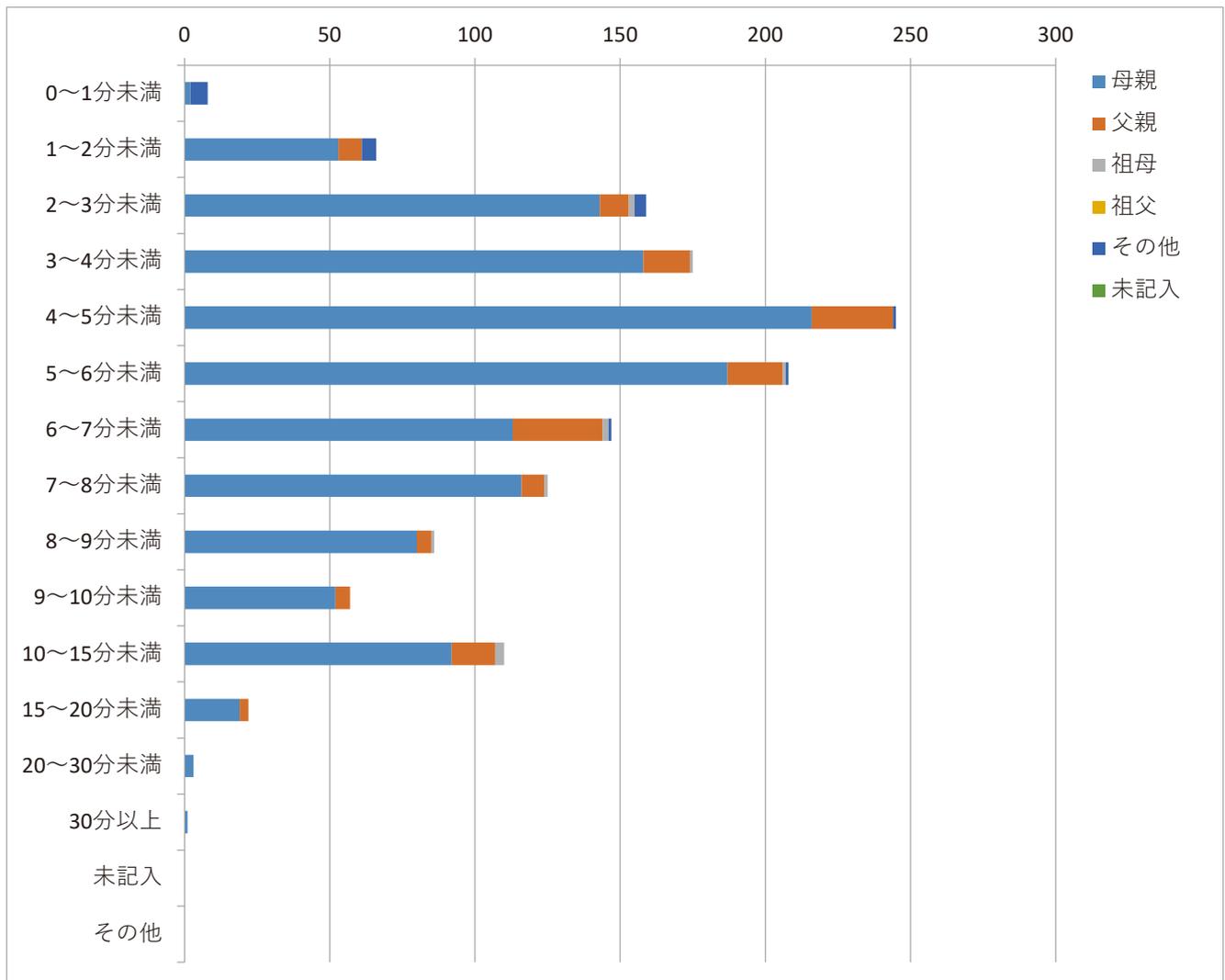
時間帯	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1時	45	7	0	0	0	0	52	3.7
1～2時	50	9	0	0	1	0	60	4.2
2～3時	35	3	1	0	1	0	40	2.8
3～4時	28	2	0	0	0	0	30	2.1
4～5時	15	1	0	0	0	0	16	1.1
5～6時	12	0	0	0	2	0	14	1.0
6～7時	20	0	0	0	1	0	21	1.5
7～8時	45	3	1	0	1	0	50	3.5
8～9時	19	4	1	0	1	0	25	1.8
9～10時	26	1	0	0	1	0	28	2.0
10～11時	23	3	0	0	0	0	26	1.8
11～12時	19	1	0	0	0	0	20	1.4
12～13時	22	5	0	0	0	0	27	1.9
13～14時	26	4	0	0	1	0	31	2.2
14～15時	34	4	3	0	0	0	41	2.9
15～16時	30	4	0	0	0	0	34	2.4
16～17時	40	4	0	0	0	0	44	3.1
17～18時	43	5	1	0	1	0	50	3.5
18～19時	116	9	0	0	0	0	125	8.9
19～20時	170	12	2	0	2	0	186	13.2
20～21時	162	20	0	0	4	0	186	13.2
21～22時	112	20	1	0	1	0	134	9.5
22～23時	95	16	1	0	0	0	112	7.9
23～24時	48	11	0	0	1	0	60	4.2
計	1,235	148	11	0	18	0	1,412	100



17.相談対応時間別相談者続柄

【岐阜県】

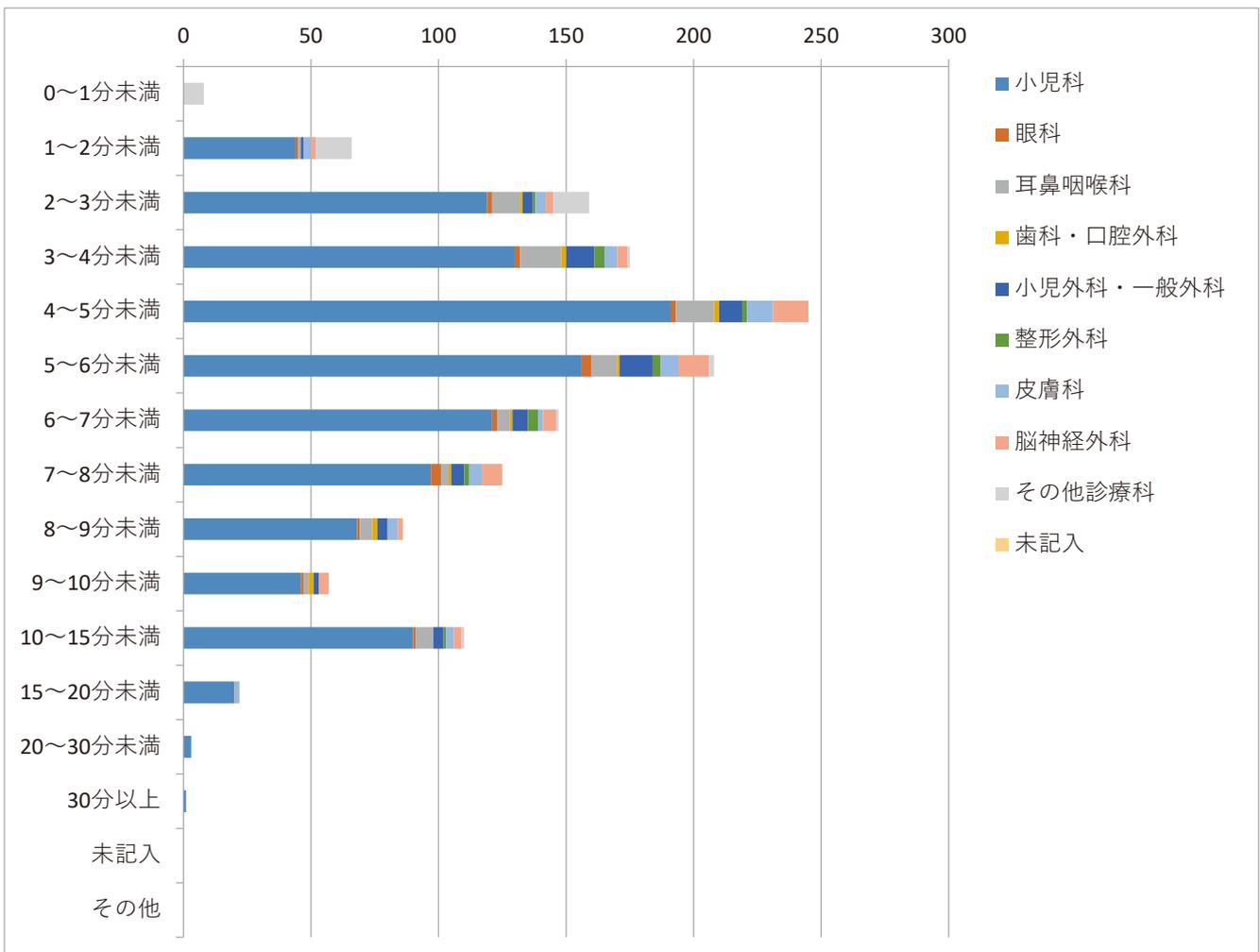
相談対応時間	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1分未満	2	0	0	0	6	0	8	0.6
1～2分未満	53	8	0	0	5	0	66	4.7
2～3分未満	143	10	2	0	4	0	159	11.3
3～4分未満	158	16	1	0	0	0	175	12.4
4～5分未満	216	28	0	0	1	0	245	17.4
5～6分未満	187	19	1	0	1	0	208	14.7
6～7分未満	113	31	2	0	1	0	147	10.4
7～8分未満	116	8	1	0	0	0	125	8.9
8～9分未満	80	5	1	0	0	0	86	6.1
9～10分未満	52	5	0	0	0	0	57	4.0
10～15分未満	92	15	3	0	0	0	110	7.8
15～20分未満	19	3	0	0	0	0	22	1.6
20～30分未満	3	0	0	0	0	0	3	0.2
30分以上	1	0	0	0	0	0	1	0.1
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	1,235	148	11	0	18	0	1,412	100



18.相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）

【岐阜県】

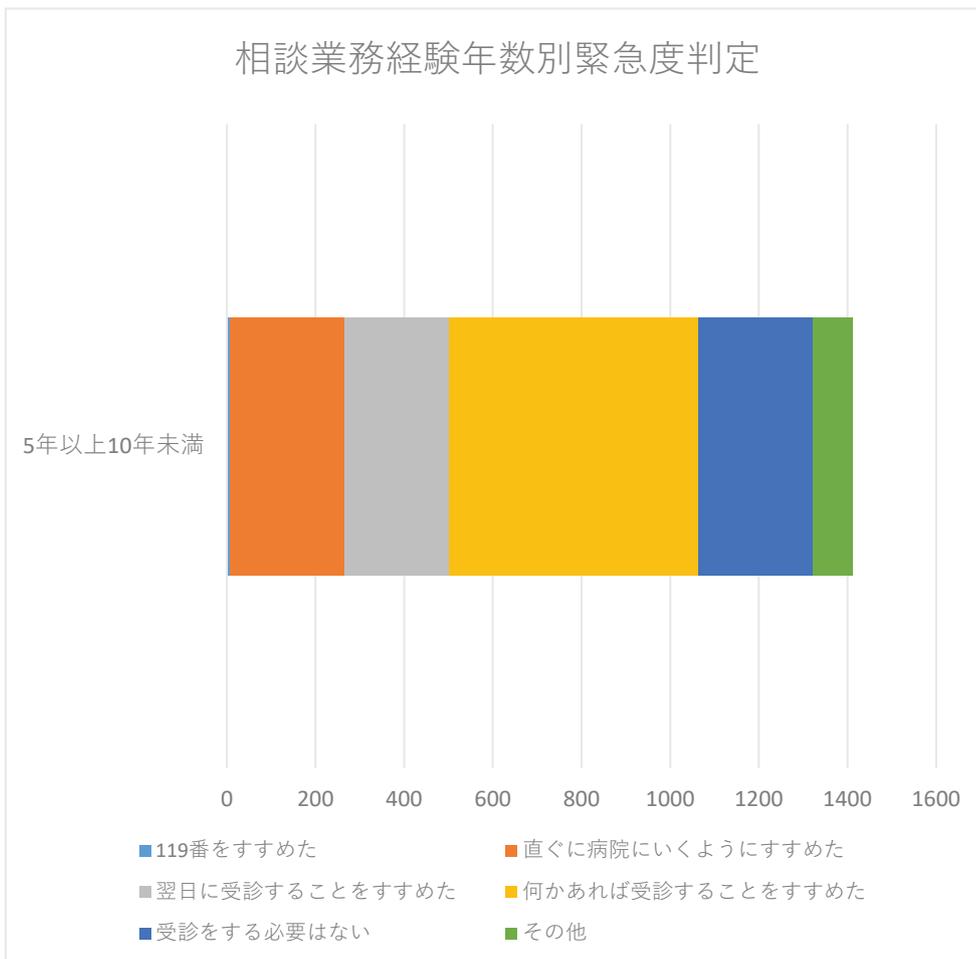
相談対応時間	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科・口腔外科	小児外科・一般外科	整形外科	皮膚科	脳神経外科	その他診療科	未記入	計	割合(%)
0～1分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	0.6
1～2分未満	44	1	1	0	1	0	3	2	14	0	66	4.7
2～3分未満	119	2	11	1	4	1	4	3	14	0	159	11.3
3～4分未満	130	2	16	2	11	4	5	4	1	0	175	12.4
4～5分未満	191	2	15	2	9	2	10	14	0	0	245	17.4
5～6分未満	156	4	10	1	13	3	7	12	2	0	208	14.7
6～7分未満	121	2	5	1	6	4	2	5	1	0	147	10.4
7～8分未満	97	4	3	1	5	2	5	8	0	0	125	8.9
8～9分未満	68	1	5	2	4	0	4	2	0	0	86	6.1
9～10分未満	46	1	2	2	2	0	0	4	0	0	57	4.0
10～15分未満	90	1	7	0	4	1	3	3	1	0	110	7.8
15～20分未満	20	0	1	0	0	0	1	0	0	0	22	1.6
20～30分未満	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.2
30分以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	1,086	20	76	12	59	17	44	57	41	0	1,412	100



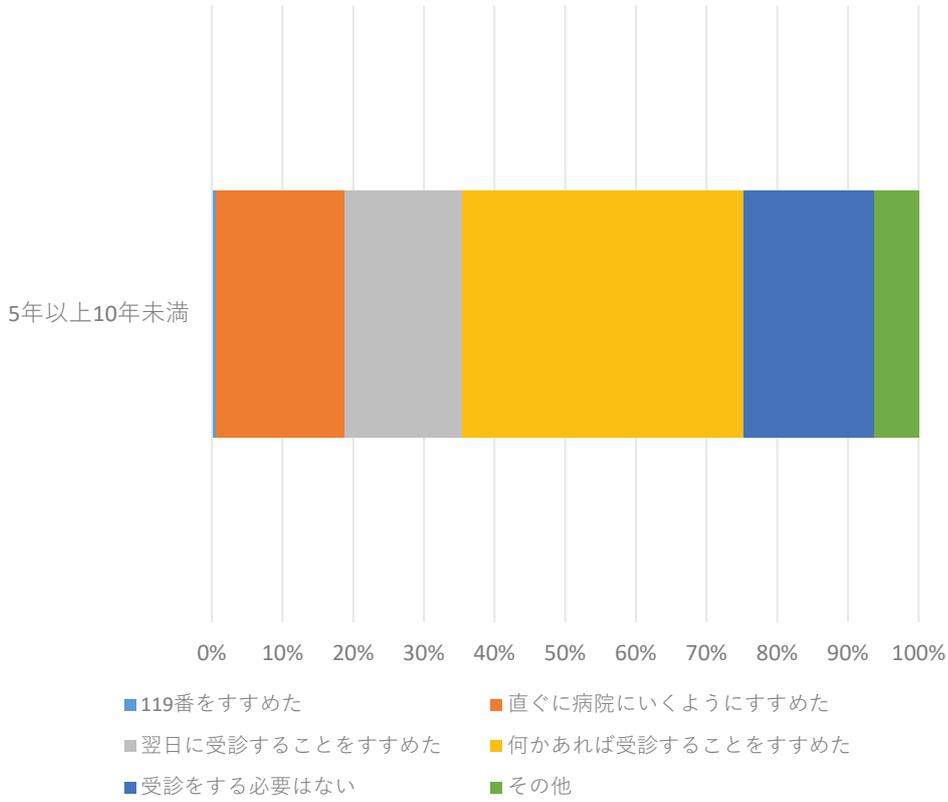
19.相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定

【岐阜県】

緊急度分類	相談業務経験年数	5年以上10年未満	計
119番をすすめた	件数	8	8
	割合(%)	0.6	0.6
直ぐに病院に行くようにすすめた	件数	257	257
	割合(%)	18.2	18.2
翌日に受診することをすすめた	件数	236	236
	割合(%)	16.7	16.7
何かあれば受診することをすすめた	件数	563	563
	割合(%)	39.9	39.9
受診をする必要はない	件数	259	259
	割合(%)	18.3	18.3
その他	件数	89	89
	割合(%)	6.3	6.3
計	件数	1,412	1,412
	割合(%)	100	100



相談業務経験年数別緊急度判定



20. 相談対応者（看護師）の対応感想

【岐阜県】

看護師の対応感想	件数	割合 (%)
自信をもって対応できた	0	0.0
対応に不安が残った	0	0.0
どちらともいえない	0	0.0
医師の判断に従った	0	0.0
その他	0	0.0
未記入	0	0.0
計	1,412	100

Ⅲ-5. 広島県

(1) 基本情報：

1. 二次医療圏別年少人口（15歳未満）¹⁾、小児科医師・小児外科医師数²⁾

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	小児科医師数 (人)	小児外科医師数 (人)	2科合計医師数 (人)	年少人口 (人)
広島県	3401	広島	196	16	212	189,266
	3402	広島西	25	0	25	18,214
	3403	呉	34	1	35	28,037
	3404	広島中央	24	0	24	30,817
	3405	尾三	28	0	28	29,485
	3406	福山・府中	49	3	52	70,034
	3407	備北	9	0	9	10,641
		計	365	20	385	376,494

表 6. 広島県の二次医療圏別年少人口（15歳未満）、小児科医師・小児外科医師数

2. #8000 事業実施体制

広島県からの委託を受けて、広島県看護協会が19～23時まで2回線、および民間事業者が23時～翌朝8時まで1回線で実施している。

調査実施期間における、広島県看護協会の相談対応者は8名であった。2名一組で、相談業務を実施した。

相談内容の記録は、広島県独自で作成した記録システムに入力すると同時に、NDS-8000にもパッド入力することにより情報収集を行った。

今年度は、広島県看護協会の協力を得て、19～23時の情報を収集した。

(2) 結果

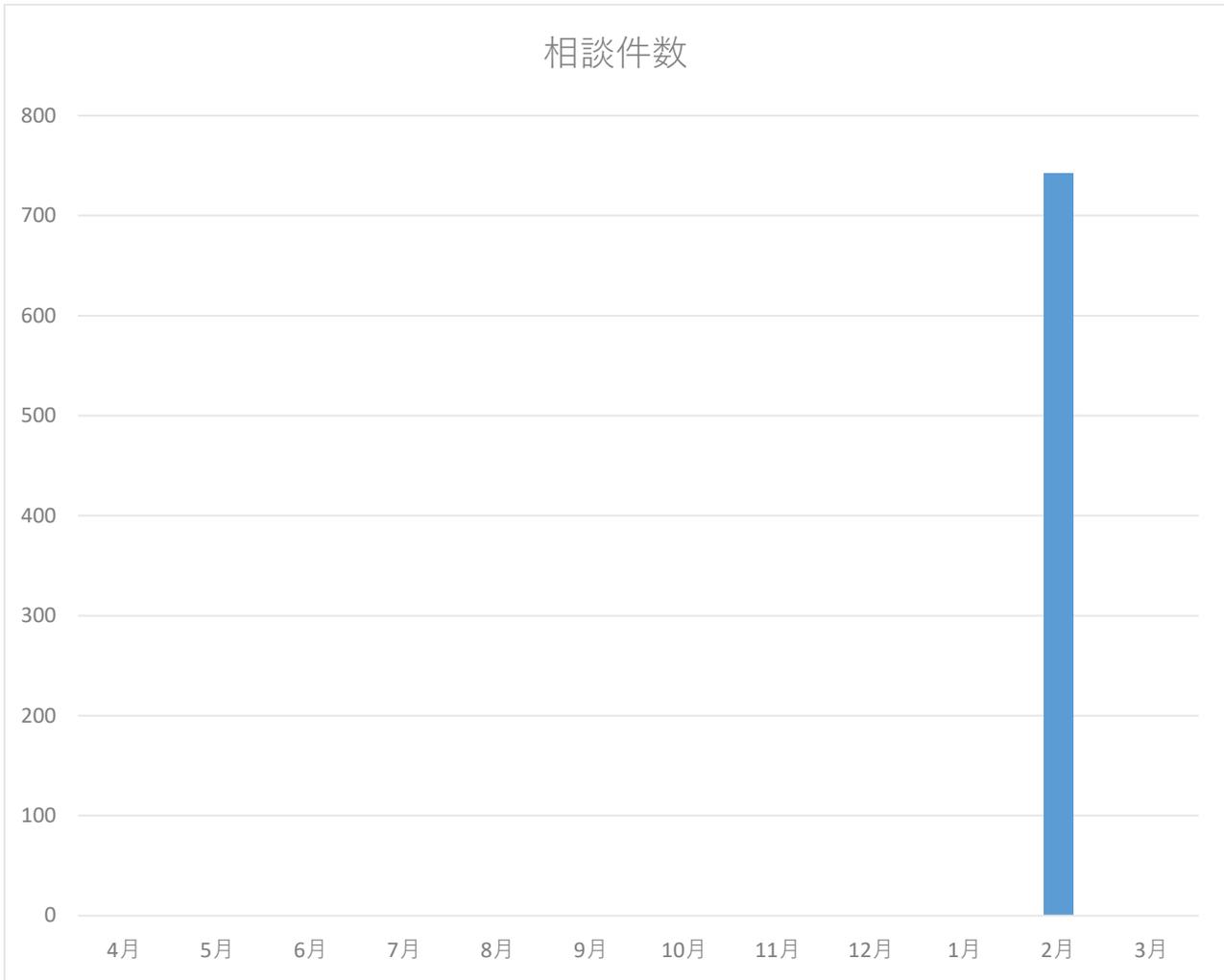
1. 全相談件数：742件
2. 二次医療圏毎の相談件数：広島が最多で409件（55.1%）
3. 曜日・相談時間帯別相談件数：19～20時が最多で271件（36.5%）
4. 相談対象児数（男女・年齢別）：男児：女児＝395件（53.2%）：299件（40.3%）
1～2歳未満が最多で173件（23.3%）、1歳未満は162件（21.8%）
5. 主訴別相談件数：最も多い主訴は発熱282件（38.0%）で、次いで嘔気・嘔吐115件（15.5%）、薬80件（10.8%）、頭部以外の外傷60件（8.1%）であった。
6. 相談の分類：「医療全般」が最多で296件（39.9%）であった。救急医療相談が162件（21.8%）、救急医療相談+医療機関案内が103件（13.9%）
7. 相談者（続柄）：母親606（81.7%）、父親96件（12.9%）
8. 相談者（年齢）：30代が262件（35.3%）
9. 兄弟の有無：未記入のみ

10. 発症時期：「さっきから」が427件（57.5%）で最多、次いで「それ以前から」が170件（22.9%）
11. 相談前の受診の有無：「受診なし」294件（39.6%）、「受診あり」228件（30.7%）
12. 相談対応時間：3～4分未満が最多で149件（20.1%）
13. 相談対応者（看護師）による緊急度判定：「翌日に受診することをすすめた」と「何かあれば受診することをすすめた」が、ともに266件（35.8%）であった。
14. 医師の対応：未記入のみ
15. 満足度（相談対応者からの印象）：「満足した」が239件（32.2%）、「普通」が457件（61.6%）、「不満気」が7件（0.9%）
16. 相談時間帯別相談者続柄：時間が遅くなるにつれて父親からの相談割合が増加していた。19～20時では父親が7.7%で、20～21時では15.3%、21～22時では父親が17.1%であった。
17. 相談対応時間帯別相談者続柄：続柄で大きな違いはなかった。
18. 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間帯別）：脳神経外科は4～5分が最も多く、他科より長かった。
19. 相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定：5年未満では「何かあれば受診することをすすめた」の割合が46.9%と最も高く、5年以上10年未満と10年以上では、「翌日に受診することをすすめた」の割合がそれぞれ39.7%、34.2%と最も高かった。
20. 相談対応者（看護師）による対応感想：「自信を持って対応できた」が393件（53.0%）、「どちらとも言えない」が270件（36.4%）、「対応に不安が残った」が49件（6.6%）であった。

1.相談件数

【広島県】

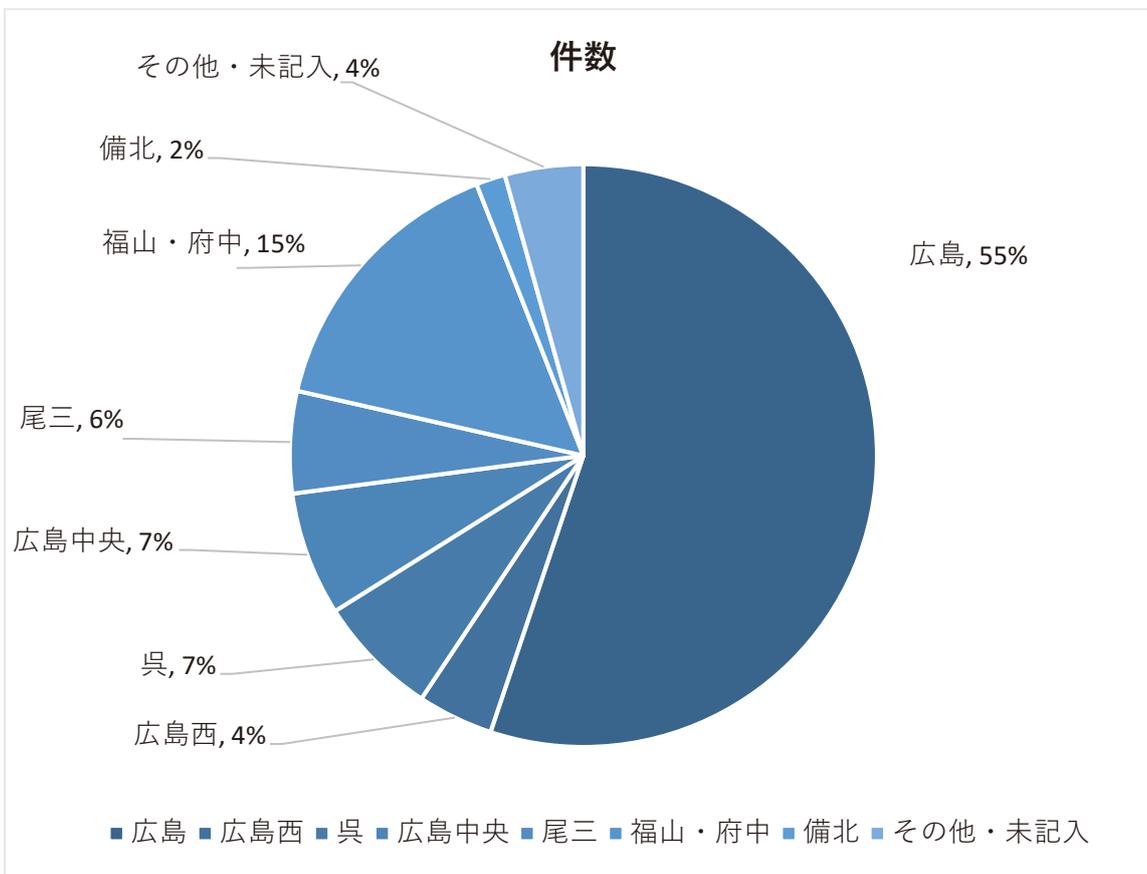
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	742	0	742



2.二次医療圏

【広島県】

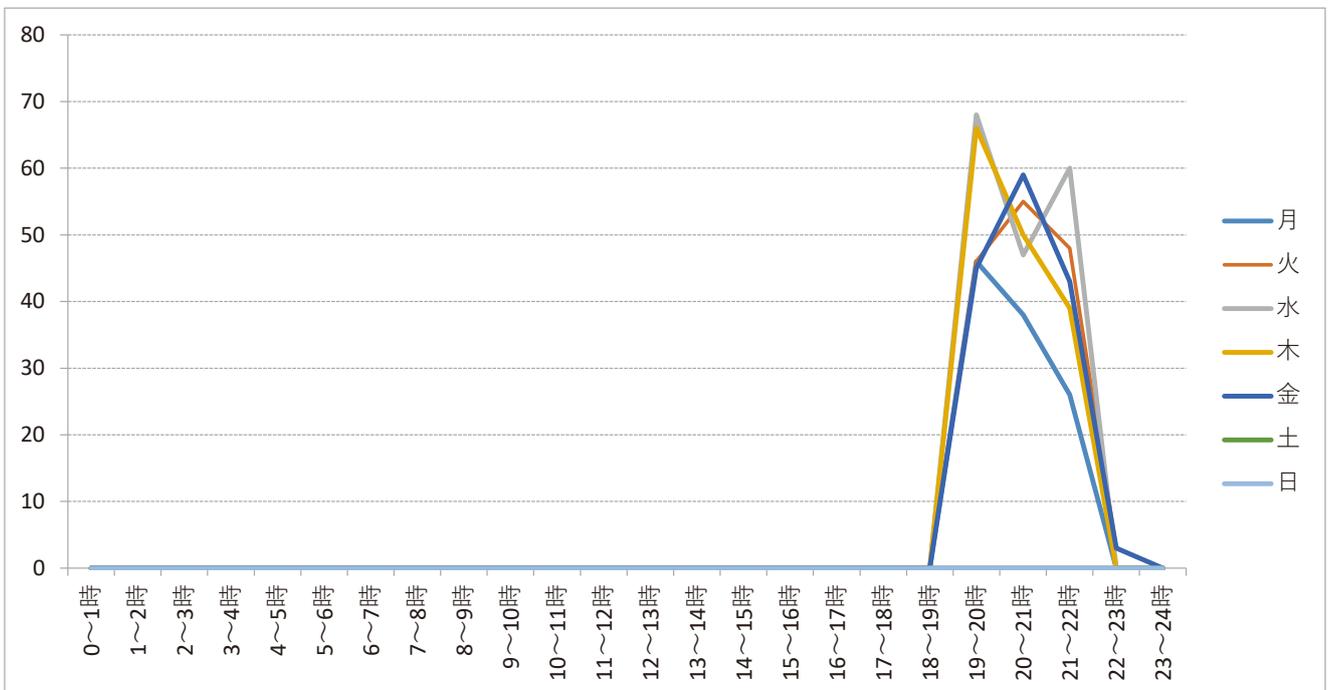
二次医療圏	件数	割合(%)
広島	409	55.1
広島西	31	4.2
呉	50	6.7
広島中央	51	6.9
尾三	42	5.7
福山・府中	115	15.5
備北	12	1.6
その他・未記入	32	4.3
計	742	100



3.曜日別相談時間帯

【広島県】

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合(%)
0～1時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2～3時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
3～4時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
4～5時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
5～6時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6～7時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
7～8時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
8～9時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
9～10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
10～11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
11～12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
12～13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
13～14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
14～15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
15～16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
16～17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
17～18時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
18～19時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
19～20時	46	46	68	66	45	0	0	271	36.5
20～21時	38	55	47	50	59	0	0	249	33.6
21～22時	26	48	60	39	43	0	0	216	29.1
22～23時	0	3	0	0	3	0	0	6	0.8
23～24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	110	152	175	155	150	0	0	742	100



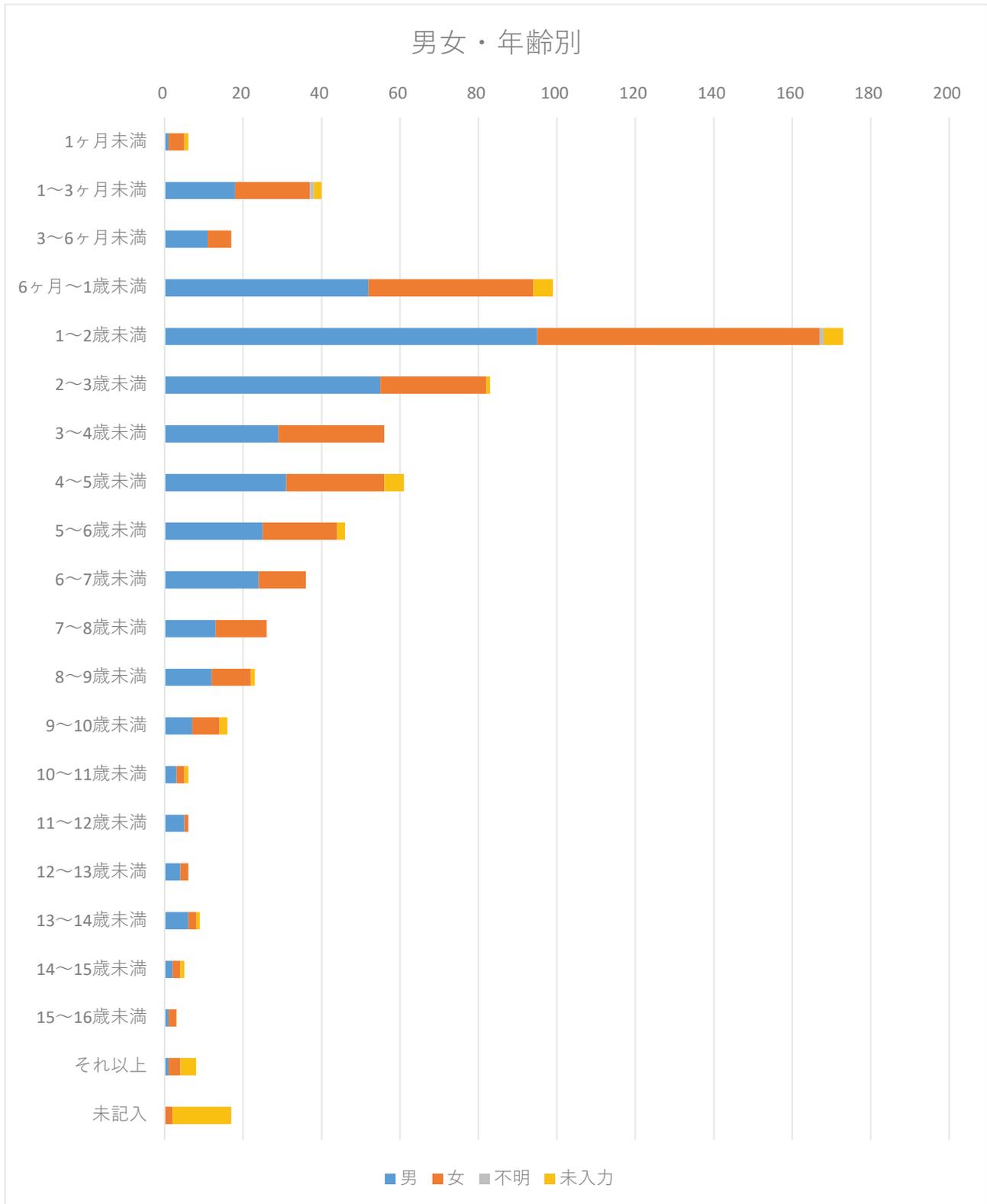
4.相談対象児（男女・年齢別）

【広島県】

相談対象児年齢	男	女	不明	未入力	計	割合(%)
1ヶ月未満	1	4	0	1	6	0.8
1～3ヶ月未満	18	19	1	2	40	5.4
3～6ヶ月未満	11	6	0	0	17	2.3
6ヶ月～1歳未満	52	42	0	5	99	13.3
1～2歳未満	95	72	1	5	173	23.3
2～3歳未満	55	27	0	1	83	11.2
3～4歳未満	29	27	0	0	56	7.5
4～5歳未満	31	25	0	5	61	8.2
5～6歳未満	25	19	0	2	46	6.2
6～7歳未満	24	12	0	0	36	4.9
7～8歳未満	13	13	0	0	26	3.5
8～9歳未満	12	10	0	1	23	3.1
9～10歳未満	7	7	0	2	16	2.2
10～11歳未満	3	2	0	1	6	0.8
11～12歳未満	5	1	0	0	6	0.8
12～13歳未満	4	2	0	0	6	0.8
13～14歳未満	6	2	0	1	9	1.2
14～15歳未満	2	2	0	1	5	0.7
15～16歳未満	1	2	0	0	3	0.4
それ以上	1	3	0	4	8	1.1
未記入	0	2	0	15	17	2.3
計（件数）	395	299	2	46	742	—
計（割合(%)）	53.2%	40.3%	0.3%	6.2%	—	100

4.相談対象児（男女・年齢別）

【広島県】



5.主訴別相談件数

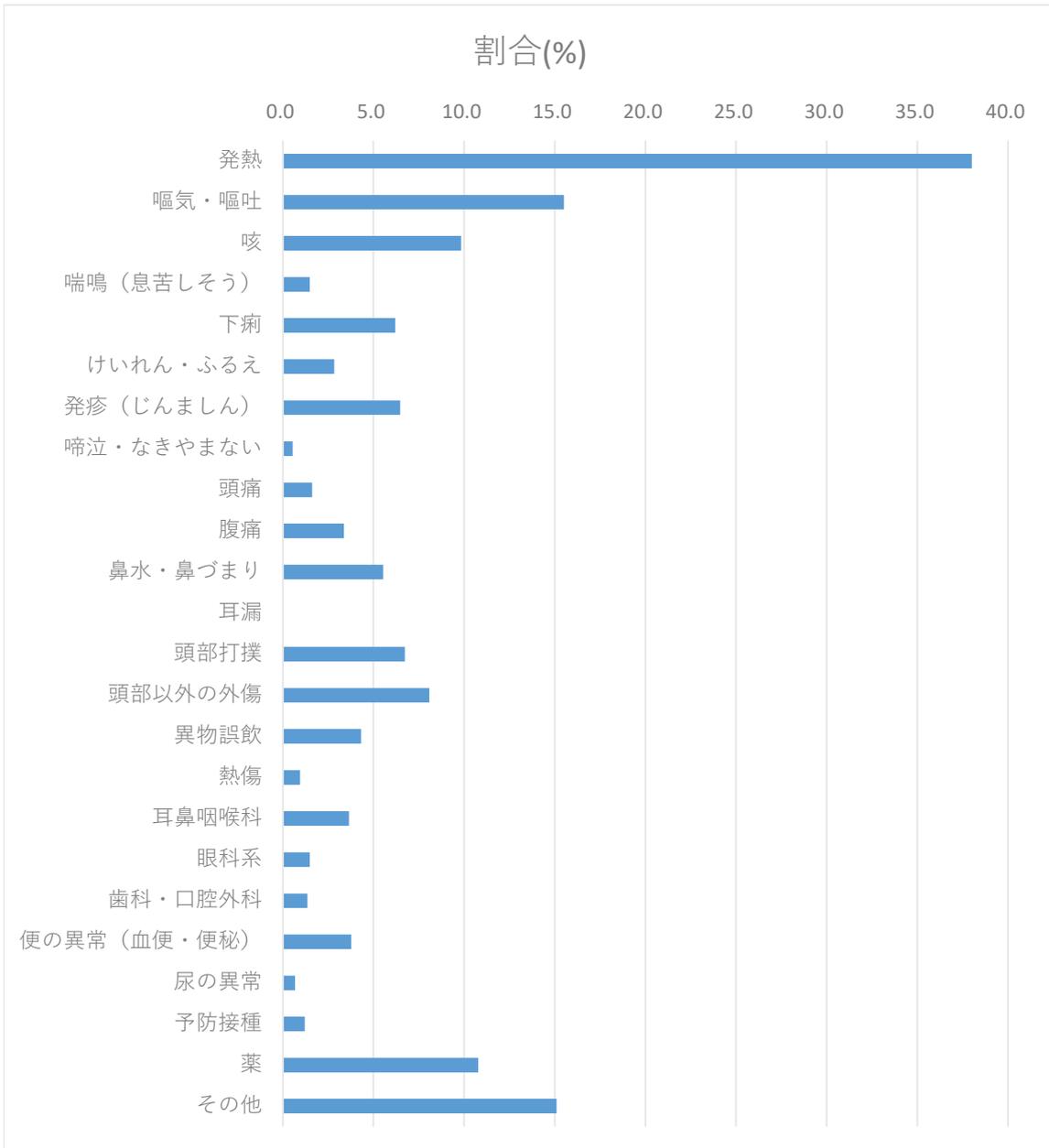
【広島県】

主訴	回答数	相談件数	割合(%)
発熱	282		38.0
嘔気・嘔吐	115		15.5
咳	73		9.8
喘鳴（息苦しう）	11		1.5
下痢	46		6.2
けいれん・ふるえ	21		2.8
発疹（じんましん）	48		6.5
啼泣・なきやまない	4		0.5
頭痛	12		1.6
腹痛	25		3.4
鼻水・鼻づまり	41		5.5
耳漏	0		0.0
頭部打撲	50		6.7
頭部以外の外傷	60		8.1
異物誤飲	32		4.3
熱傷	7		0.9
耳鼻咽喉科	27		3.6
眼科系	11		1.5
歯科・口腔外科	10		1.3
便の異常（血便・便秘）	28		3.8
尿の異常	5		0.7
予防接種	9		1.2
薬	80		10.8
その他	112		15.1
計	1,109	742	149.5

※複数回答可

5.主訴別相談件数

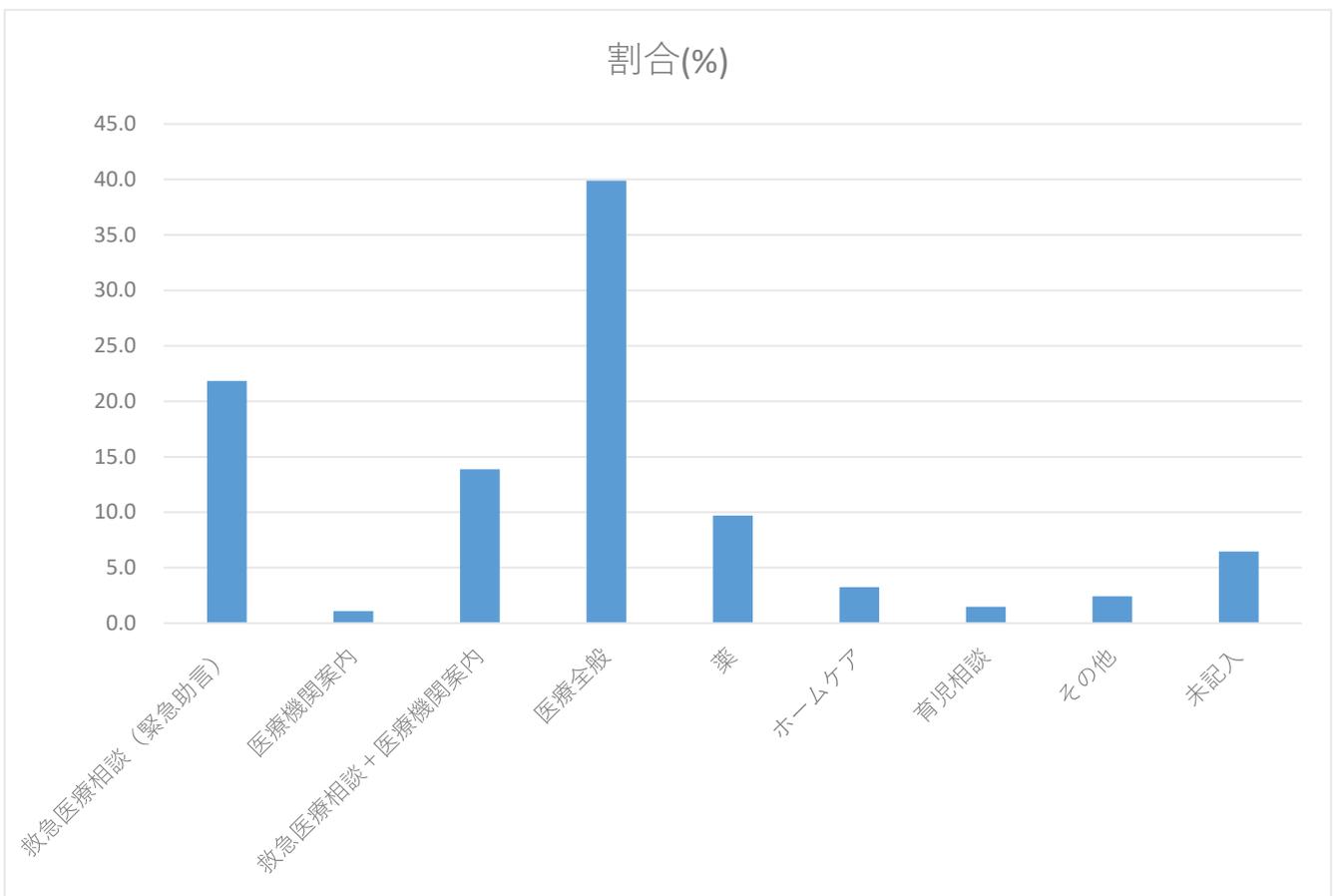
【広島県】



6.相談の分類

【広島県】

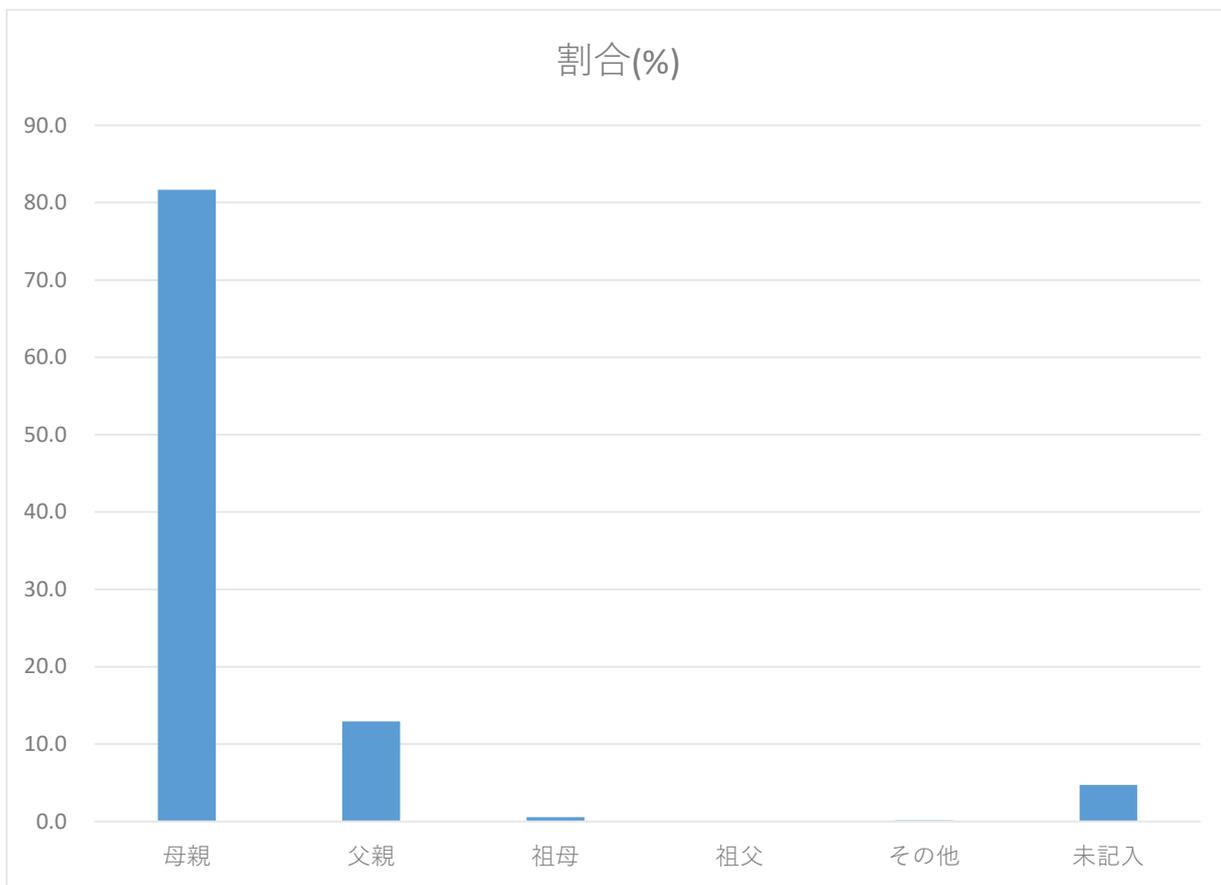
相談の分類	件数	割合(%)
救急医療相談（緊急助言）	162	21.8
医療機関案内	8	1.1
救急医療相談＋医療機関案内	103	13.9
医療全般	296	39.9
薬	72	9.7
ホームケア	24	3.2
育児相談	11	1.5
その他	18	2.4
未記入	48	6.5
計	742	100



7.相談者（続柄）

【広島県】

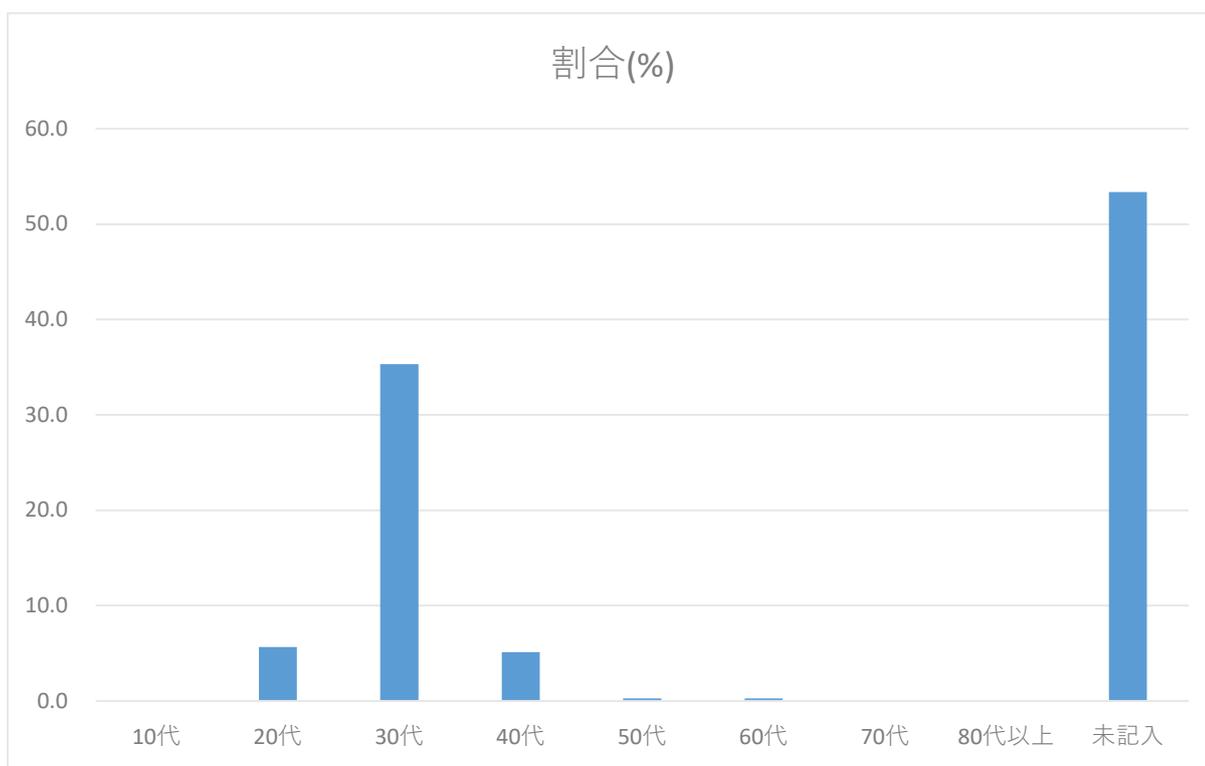
続柄	件数	割合(%)
母親	606	81.7
父親	96	12.9
祖母	4	0.5
祖父	0	0.0
その他	1	0.1
未記入	35	4.7
計	742	100



8.相談者（年齢）

【広島県】

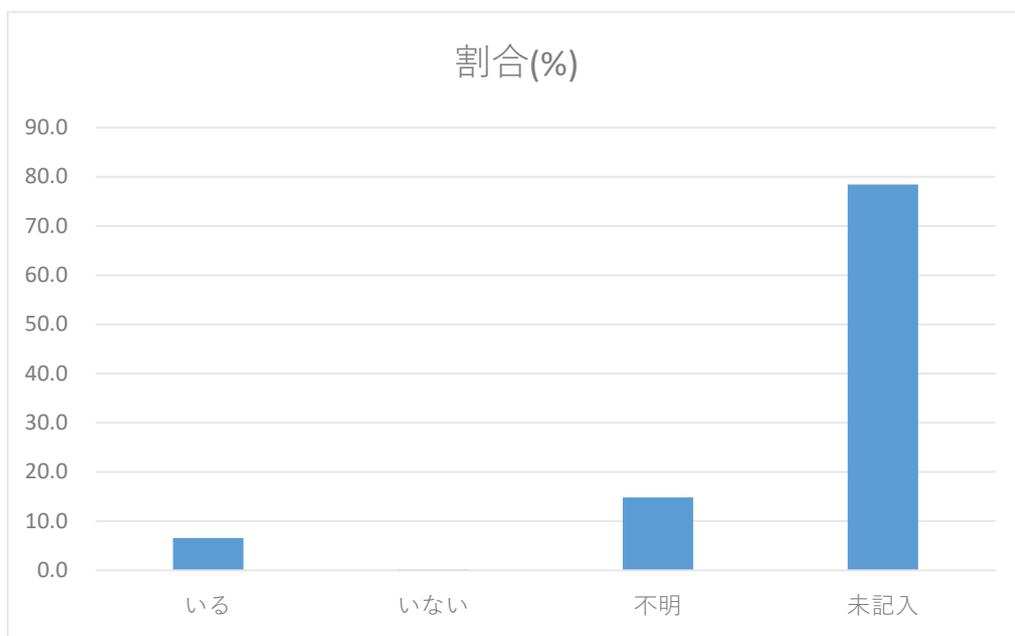
年齢	件数	割合(%)
10代	0	0.0
20代	42	5.7
30代	262	35.3
40代	38	5.1
50代	2	0.3
60代	2	0.3
70代	0	0.0
80代以上	0	0.0
未記入	396	53.4
計	742	100



9.兄弟の有無

【広島県】

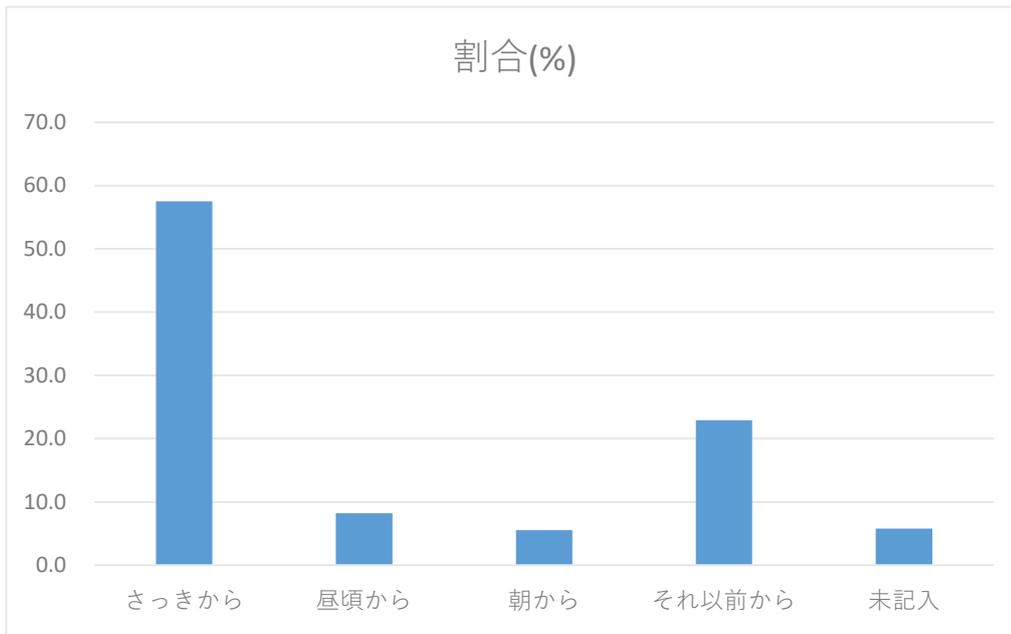
兄弟の有無	件数	割合(%)
いる	49	6.6
いない	1	0.1
不明	110	14.8
未記入	582	78.4
計	742	100



10.発症時期

【広島県】

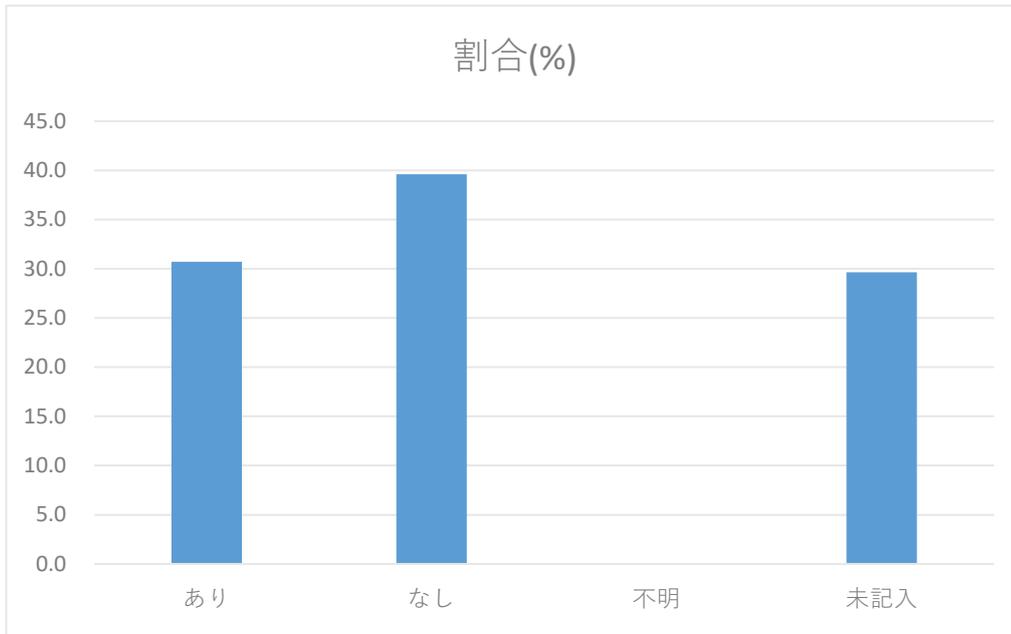
満足度	件数	割合(%)
さっきから	427	57.5
昼頃から	61	8.2
朝から	41	5.5
それ以前から	170	22.9
未記入	43	5.8
計	742	100



11.相談前の受診の有無

【広島県】

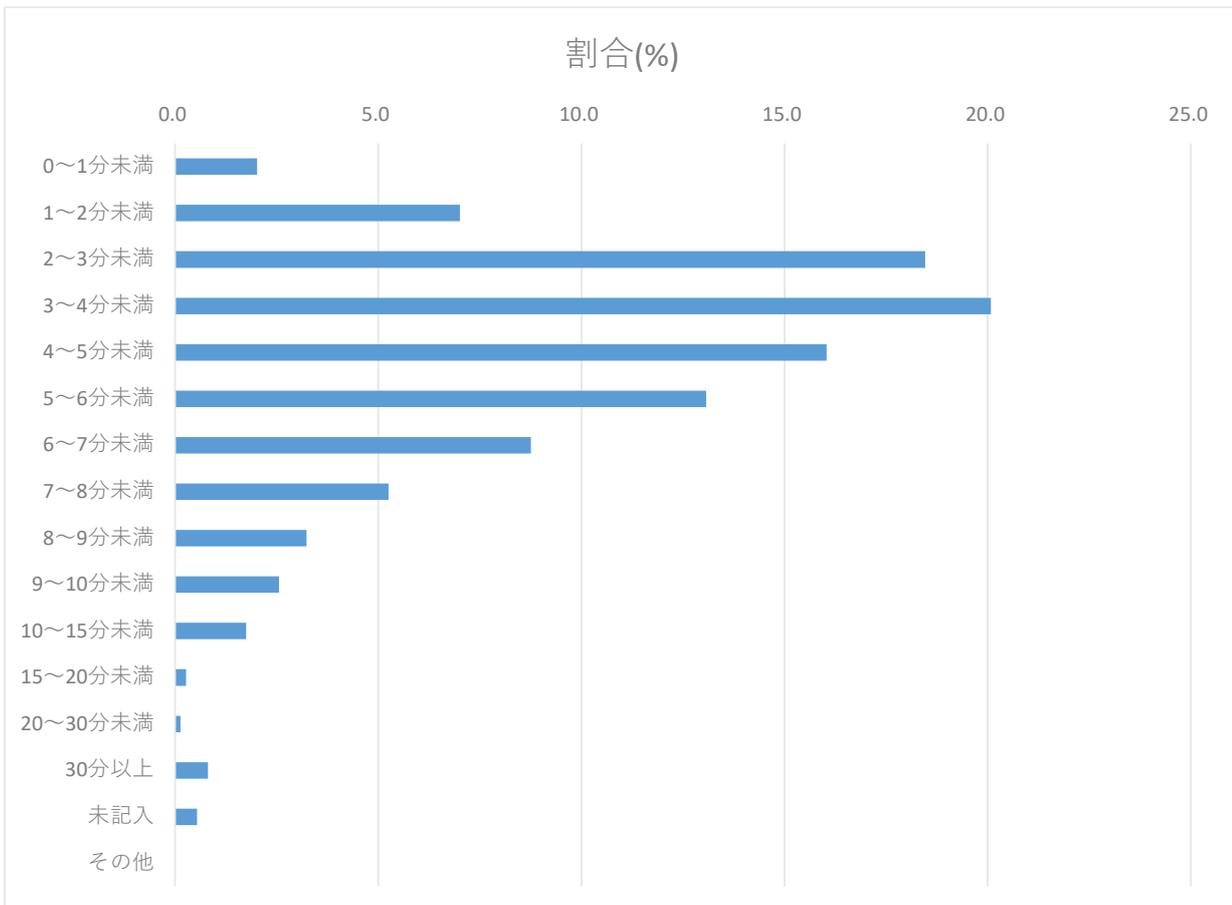
相談前の受診の有無	件数	割合(%)
あり	228	30.7
なし	294	39.6
不明	0	0.0
未記入	220	29.6
計	742	100



12.相談対応時間

【広島県】

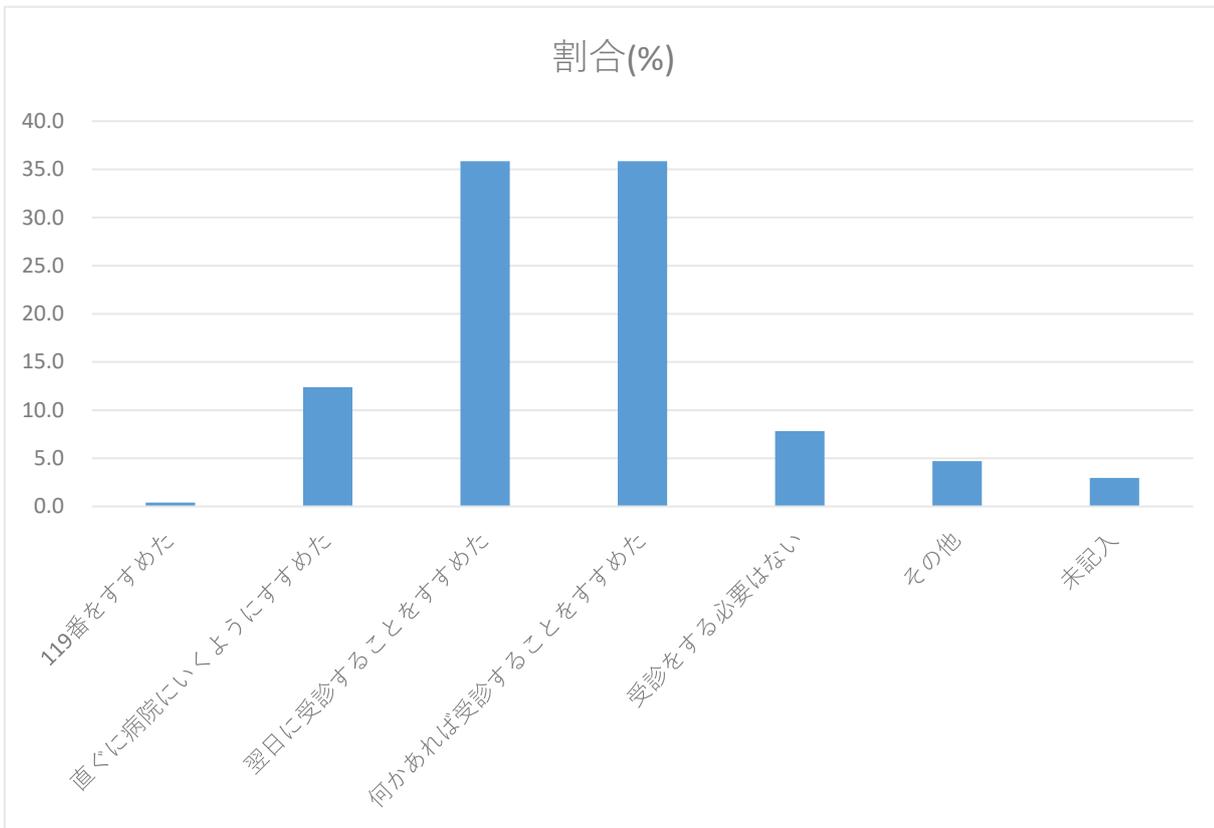
相談対応時間	件数	割合(%)
0～1分未満	15	2.0
1～2分未満	52	7.0
2～3分未満	137	18.5
3～4分未満	149	20.1
4～5分未満	119	16.0
5～6分未満	97	13.1
6～7分未満	65	8.8
7～8分未満	39	5.3
8～9分未満	24	3.2
9～10分未満	19	2.6
10～15分未満	13	1.8
15～20分未満	2	0.3
20～30分未満	1	0.1
30分以上	6	0.8
未記入	4	0.5
その他	0	0.0
計	742	100



13.相談対応者（看護師）による緊急度判定

【広島県】

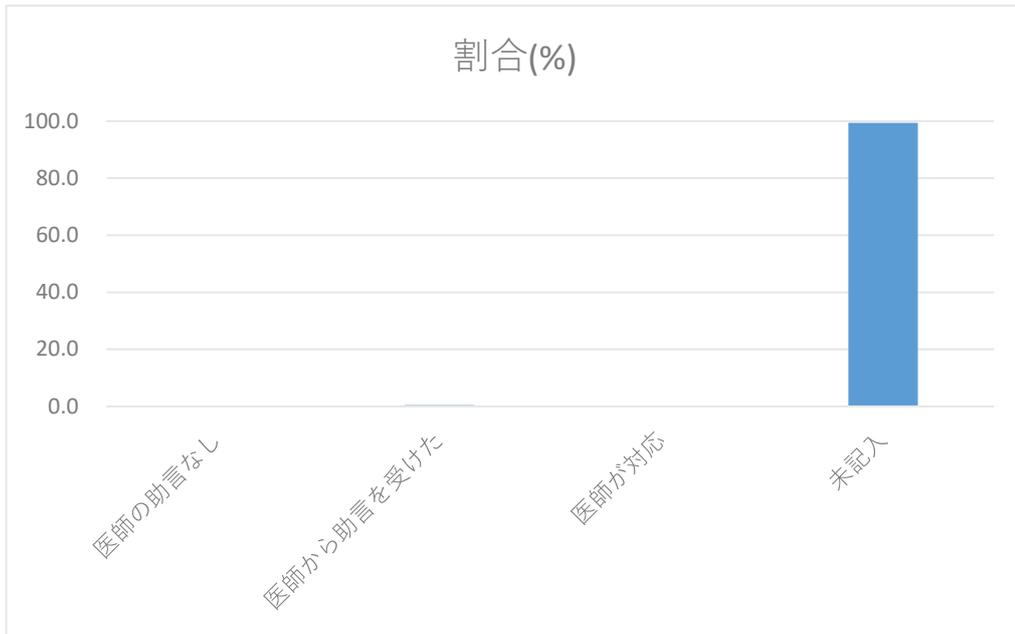
看護師による緊急度判定	件数	割合(%)
119番をすすめた	3	0.4
直ぐに病院に行くようにすすめた	92	12.4
翌日に受診することをすすめた	266	35.8
何かあれば受診することをすすめた	266	35.8
受診をする必要はない	58	7.8
その他	35	4.7
未記入	22	3.0
計	742	100



14. 医師の対応

【広島県】

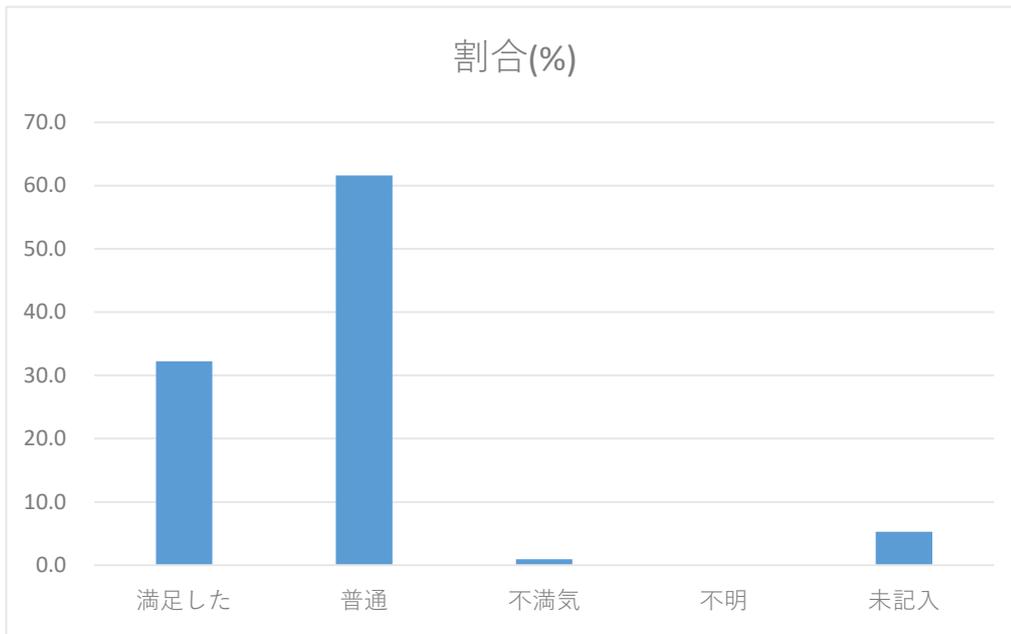
医師の助言	件数	割合(%)
医師の助言なし	1	0.1
医師から助言を受けた	3	0.4
医師が対応	0	0.0
未記入	738	99.5
計	742	100



15.満足度（相談対応者からの印象）

【広島県】

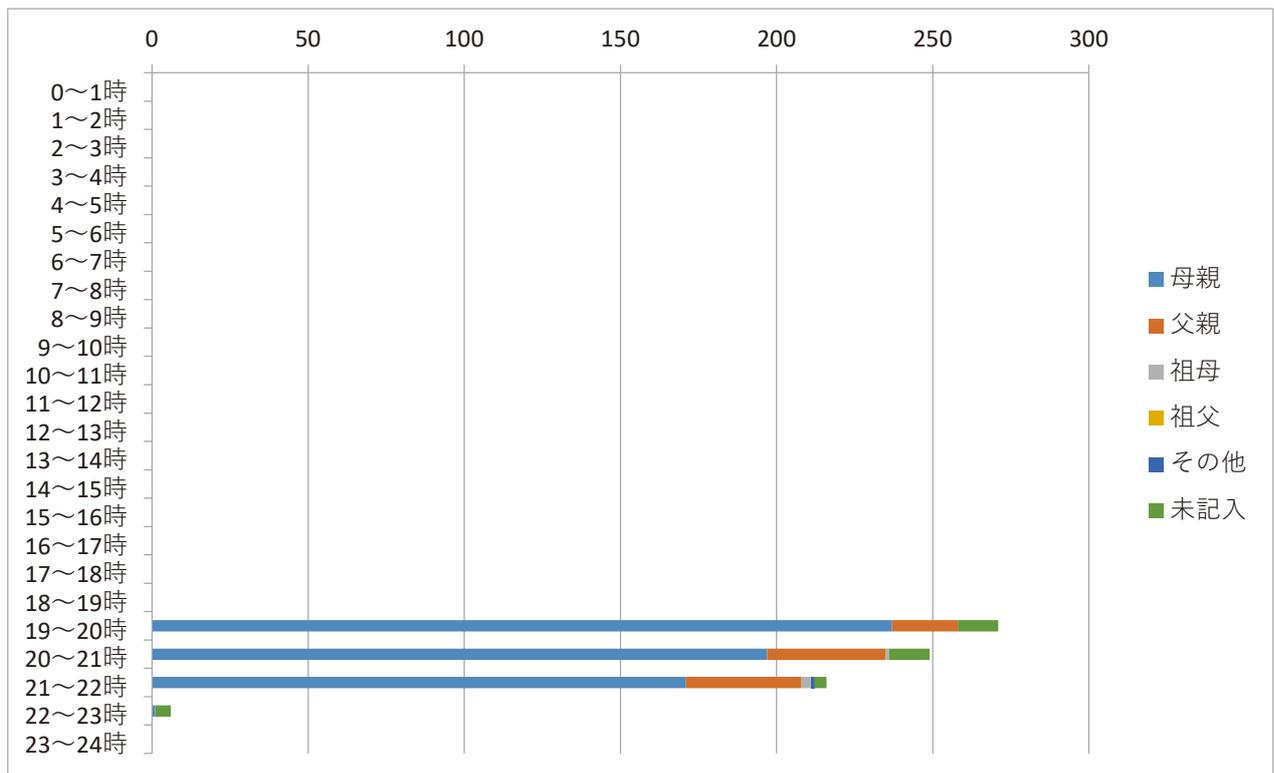
満足度	件数	割合(%)
満足した	239	32.2
普通	457	61.6
不満気	7	0.9
不明	0	0.0
未記入	39	5.3
計	742	100



16.相談時間帯別相談者続柄

【広島県】

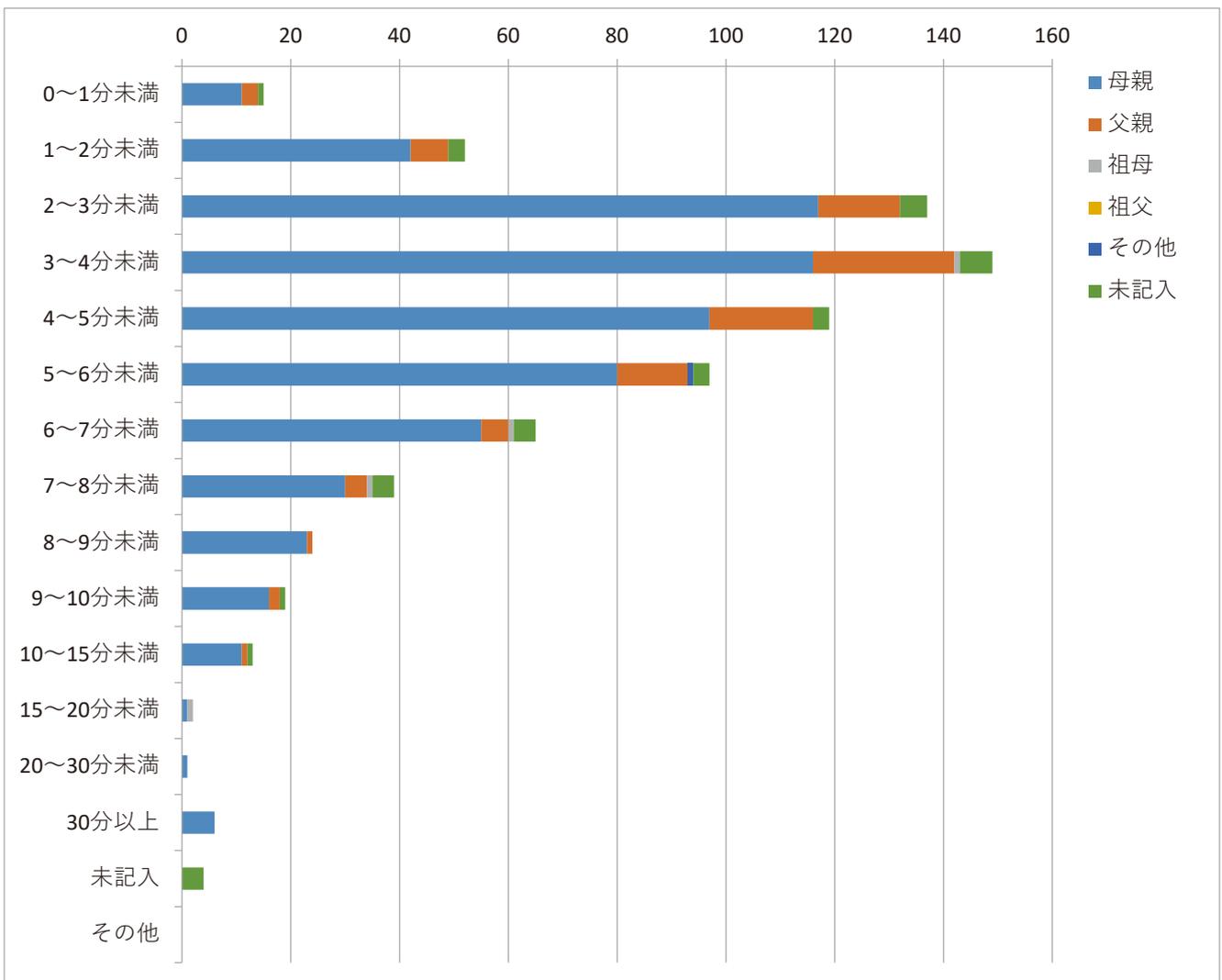
時間帯	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1～2時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2～3時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
3～4時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
4～5時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
5～6時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6～7時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
7～8時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
8～9時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
9～10時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
10～11時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
11～12時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
12～13時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
13～14時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
14～15時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
15～16時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
16～17時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
17～18時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
18～19時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
19～20時	237	21	0	0	0	13	271	36.5
20～21時	197	38	1	0	0	13	249	33.6
21～22時	171	37	3	0	1	4	216	29.1
22～23時	1	0	0	0	0	5	6	0.8
23～24時	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	606	96	4	0	1	35	742	100



17.相談対応時間別相談者続柄

【広島県】

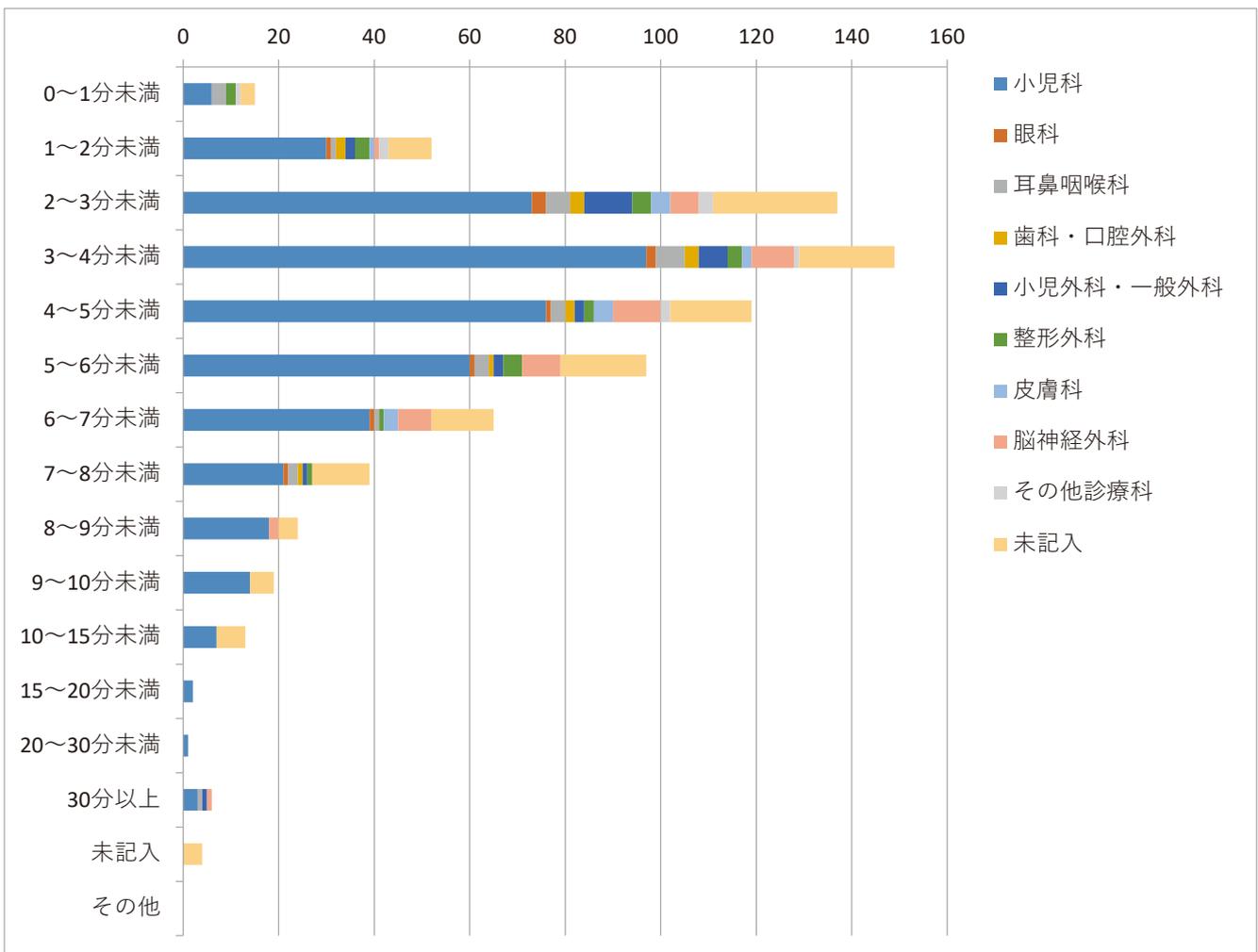
相談対応時間	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1分未満	11	3	0	0	0	1	15	2.0
1～2分未満	42	7	0	0	0	3	52	7.0
2～3分未満	117	15	0	0	0	5	137	18.5
3～4分未満	116	26	1	0	0	6	149	20.1
4～5分未満	97	19	0	0	0	3	119	16.0
5～6分未満	80	13	0	0	1	3	97	13.1
6～7分未満	55	5	1	0	0	4	65	8.8
7～8分未満	30	4	1	0	0	4	39	5.3
8～9分未満	23	1	0	0	0	0	24	3.2
9～10分未満	16	2	0	0	0	1	19	2.6
10～15分未満	11	1	0	0	0	1	13	1.8
15～20分未満	1	0	1	0	0	0	2	0.3
20～30分未満	1	0	0	0	0	0	1	0.1
30分以上	6	0	0	0	0	0	6	0.8
未記入	0	0	0	0	0	4	4	0.5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	606	96	4	0	1	35	742	100



18. 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）

【広島県】

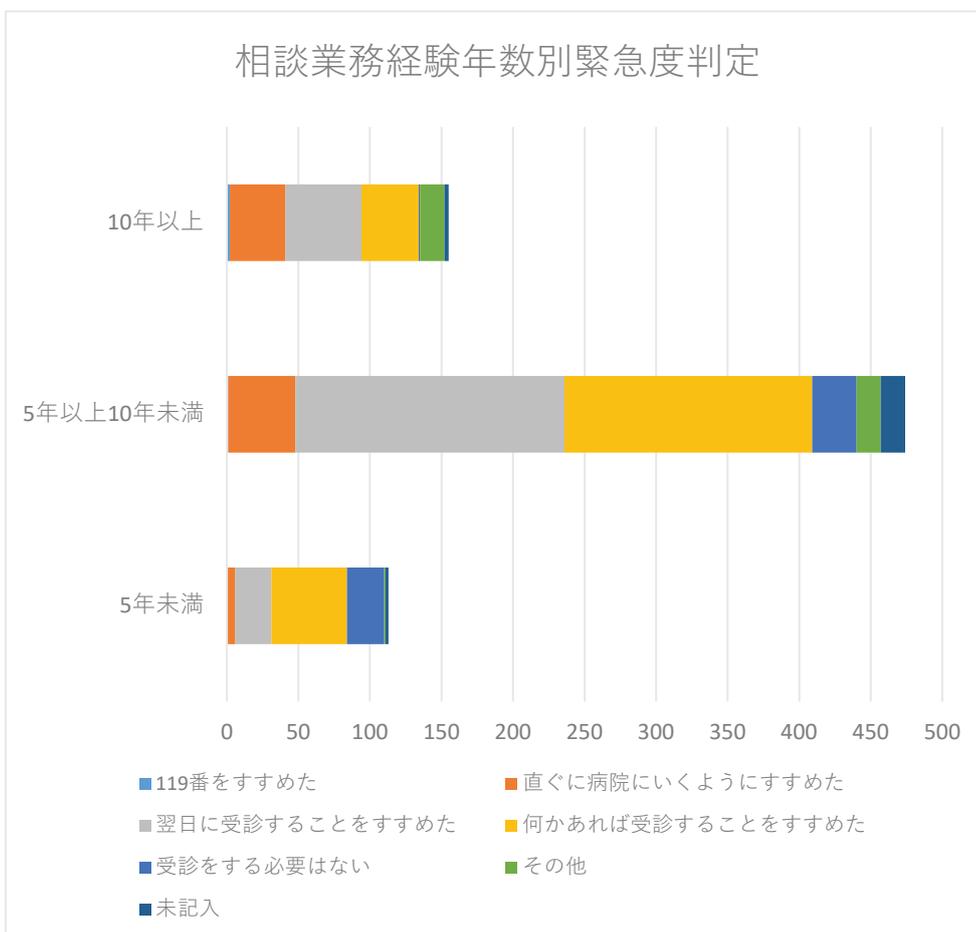
相談対応時間	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科・ 口腔外科	小児外 科・一 般外科	整形外 科	皮膚科	脳神経 外科	その他 診療科	未記入	計	割合 (%)
0～1分未満	6	0	3	0	0	2	0	0	1	3	15	2.0
1～2分未満	30	1	1	2	2	3	1	1	2	9	52	7.0
2～3分未満	73	3	5	3	10	4	4	6	3	26	137	18.5
3～4分未満	97	2	6	3	6	3	2	9	1	20	149	20.1
4～5分未満	76	1	3	2	2	2	4	10	2	17	119	16.0
5～6分未満	60	1	3	1	2	4	0	8	0	18	97	13.1
6～7分未満	39	1	1	0	0	1	3	7	0	13	65	8.8
7～8分未満	21	1	2	1	1	1	0	0	0	12	39	5.3
8～9分未満	18	0	0	0	0	0	0	2	0	4	24	3.2
9～10分未満	14	0	0	0	0	0	0	0	0	5	19	2.6
10～15分未満	7	0	0	0	0	0	0	0	0	6	13	1.8
15～20分未満	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.3
20～30分未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
30分以上	3	0	1	0	1	0	0	1	0	0	6	0.8
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0.5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	447	10	25	12	24	20	14	44	9	137	742	100



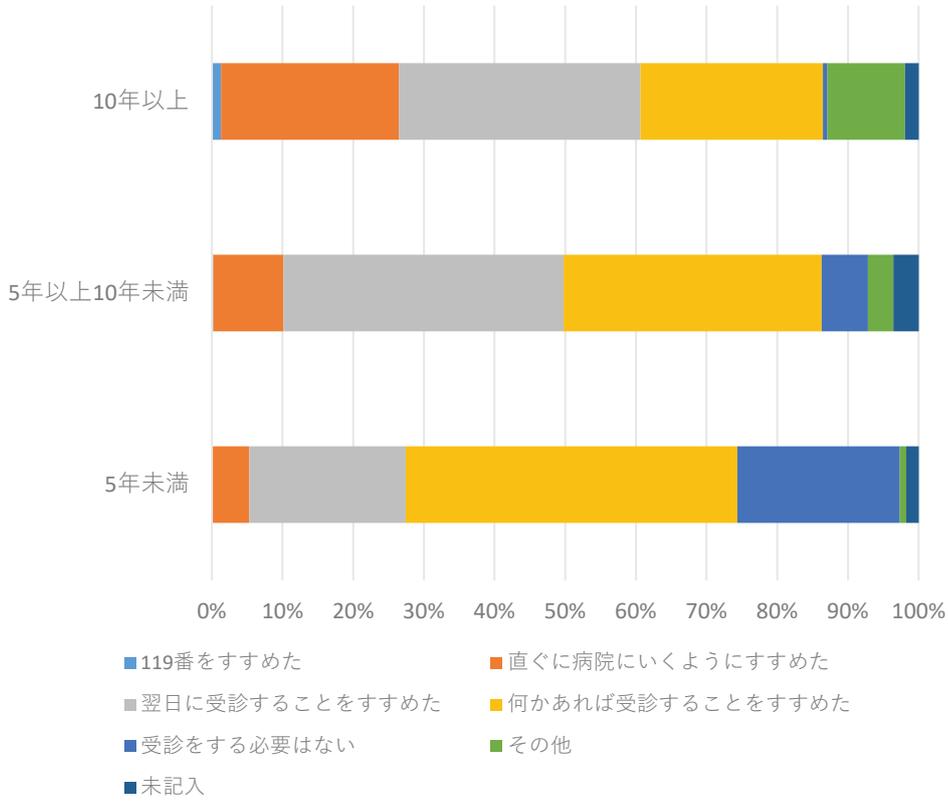
19. 相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定

【広島県】

緊急度分類	相談業務経験年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上	小計
		件数	割合(%)	割合(%)	
119番をすすめた	件数	0	1	2	3
	割合(%)	0.0	0.2	1.3	0.4
直ぐに病院に行くようにすすめた	件数	6	47	39	92
	割合(%)	5.3	9.9	25.2	12.4
翌日に受診することをすすめた	件数	25	188	53	266
	割合(%)	22.1	39.7	34.2	35.8
何かあれば受診することをすすめた	件数	53	173	40	266
	割合(%)	46.9	36.5	25.8	35.8
受診をする必要はない	件数	26	31	1	58
	割合(%)	23.0	6.5	0.6	7.8
その他	件数	1	17	17	35
	割合(%)	0.9	3.6	11.0	4.7
未記入	件数	2	17	3	22
	割合(%)	1.8	3.6	1.9	3.0
合計	件数	113	474	155	742
	割合(%)	100	100	100	100



相談業務経験年数別緊急度判定



20. 相談対応者（看護師）の対応感想

【広島県】

看護師の対応感想	件数	割合(%)
自信をもって対応できた	393	53.0
対応に不安が残った	49	6.6
どちらともいえない	270	36.4
医師の判断に従った	4	0.5
その他	0	0.0
未記入	26	3.5
計	742	100

Ⅲ-6. 1道4県のまとめ

(1) 結果

1. 相談件数

北海道 761 件、埼玉県 2,898 件、富山県 503 件、岐阜県 1,412 件、広島県 742 件、他県からの相談 11 件、以上を合計して、全相談件数は 6,327 件となった。

2. 二次医療圏別年少人口（15歳未満）に対する相談件数（15歳未満）、小児科医師又は小児外科医師 1 人に対する相談件数は、各道県で下記のようになった。

北海道：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数
北海道	101	南渡島	59	33	1	34	40,777	14.5	1.8	1.7
	102	南檜山	0	2	0	2	2,402	0.0	0.0	0.0
	103	北渡島檜山	1	4	0	4	3,789	2.6	0.3	0.3
	104	札幌	305	327	13	340	274,307	11.1	0.9	0.9
	105	後志	24	20	0	20	21,606	11.1	1.2	1.2
	106	南空知	13	14	0	14	16,138	8.1	0.9	0.9
	107	中空知	6	9	0	9	10,391	5.8	0.7	0.7
	108	北空知	1	1	0	1	2,958	3.4	1.0	1.0
	109	西胆振	17	19	0	19	20,072	8.5	0.9	0.9
	110	東胆振	21	22	0	22	26,142	8.0	1.0	1.0
	111	日高	2	4	0	4	8,294	2.4	0.5	0.5
	112	上川中部	49	81	2	83	44,087	11.1	0.6	0.6
	113	上川北部	4	7	0	7	7,195	5.6	0.6	0.6
	114	富良野	4	4	0	4	5,153	7.8	1.0	1.0
	115	留萌	4	3	0	3	4,914	8.1	1.3	1.3
	116	宗谷	5	6	0	6	7,907	6.3	0.8	0.8
	117	北網	17	22	0	22	25,331	6.7	0.8	0.8
	118	遠紋	5	4	1	5	7,654	6.5	1.3	1.0
	119	十勝	43	29	0	29	43,179	10.0	1.5	1.5
	120	釧路	30	22	0	22	26,624	11.3	1.4	1.4
	121	根室	4	6	0	6	10,261	3.9	0.7	0.7
			医療圏未記入	146						
		合計	760	639	17	656	609,181	12.5	1.2	1.2

* 相談件数 761 件から 15 歳以上の 1 件を除いた 760 件

表 7. 北海道の二次医療圏別年少人口（15歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数

埼玉県：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数	
埼玉県	1101	南部	391	93	1	94	102,826	38.0	4.2	4.2	
	1102	南西部	334	69	2	71	95,694	34.9	4.8	4.7	
	1103	東部	485	94	10	104	145,424	33.4	5.2	4.7	
	1104	さいたま	447	198	13	211	165,298	27.0	2.3	2.1	
	1105	県央	211	24	1	25	66,843	31.6	8.8	8.4	
	1106	川越比企	214	128	9	137	95,765	22.3	1.7	1.6	
	1107	西部	217	55	2	57	91,832	23.6	3.9	3.8	
	1108	利根	205	44	0	44	75,531	27.1	4.7	4.7	
	1109	北部	151	31	2	33	62,444	24.2	4.9	4.6	
	1110	秩父	10	7	1	8	12,000	8.3	1.4	1.3	
			医療圏未記入	204							
			その他	3							
		合計	2,872	743	41	784	913,657	31.4	3.9	3.7	

* 相談件数 2,898 件から 15 歳以上の 26 件を除いた 2,872 件

表 8. 埼玉県の二次医療圏別年少人口（15歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数

富山県：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数	
富山県	1601	新川	44	8	0	8	13,881	31.7	5.5	5.5	
	1602	富山	257	103	3	106	63,055	40.8	2.5	2.4	
	1603	高岡	145	39	0	39	36,843	39.4	3.7	3.7	
	1604	砺波	38	12	0	12	15,674	24.2	3.2	3.2	
		医療圏未記入	18								
		合計	502	162	3	165	129,453	38.8	3.1	3.0	

* 相談件数 503 件から 15 歳以上の 1 件を除いた 502 件

表 9. 富山県の二次医療圏別年少人口（15 歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数

岐阜県：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数
岐阜県	2101	岐阜	664	137	4	141	107,243	61.9	4.8	4.7
	2102	西濃	216	41	1	42	49,469	43.7	5.3	5.1
	2103	中濃	297	27	1	28	49,770	59.7	11.0	10.6
	2104	東濃	175	33	0	33	42,163	41.5	5.3	5.3
	2105	飛騨	60	11	0	11	18,899	31.7	5.5	5.5
		合計	1,412	249	6	255	267,544	52.8	5.7	5.5

表 10. 岐阜県の二次医療圏別年少人口（15 歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数（年齢不明のために全年齢を対象とした。）

広島県：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数	
広島県	3401	広島	401	196	16	212	189,266	21.2	2.0	1.9	
	3402	広島西	31	25	0	25	18,214	17.0	1.2	1.2	
	3403	呉	50	34	1	35	28,037	17.8	1.5	1.4	
	3404	広島中央	50	24	0	24	30,817	16.2	2.1	2.1	
	3405	尾三	41	28	0	28	29,485	13.9	1.5	1.5	
	3406	福山・府中	114	49	3	52	70,034	16.3	2.3	2.2	
	3407	備北	12	9	0	9	10,641	11.3	1.3	1.3	
		医療圏未記入	31								
		その他	1								
		合計	731	365	20	385	376,494	19.4	2.0	1.9	

* 相談件数 742 件から 15 歳以上の 11 件を除いた 731 件

表 11. 広島県の二次医療圏別年少人口（15 歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数

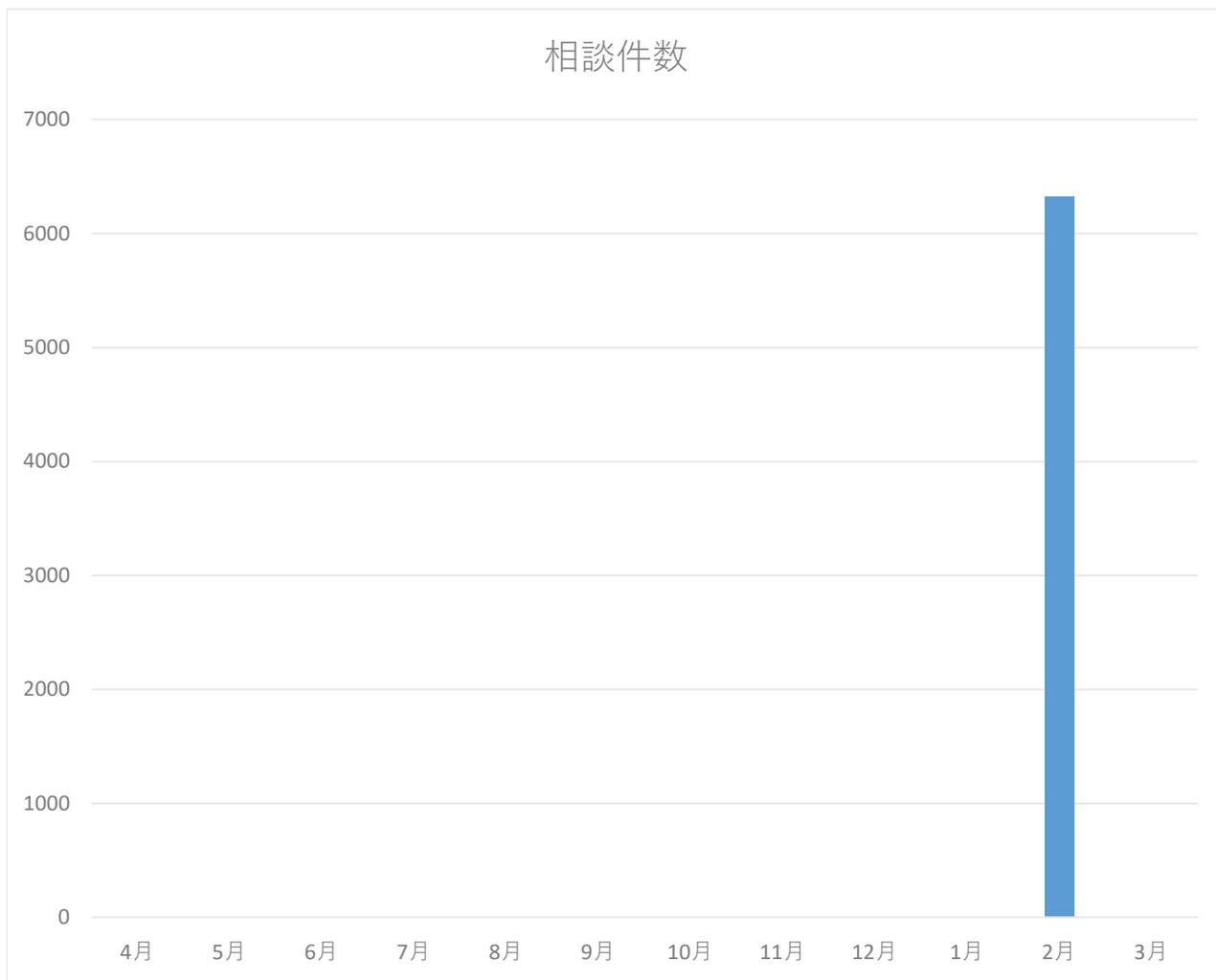
3. 曜日・相談時間帯別相談：19～20時が最多で1,402件（22.2%）
4. 相談対象児数（男女・年齢別）：男児：女児＝2,051件（32.4%）：1,689件（26.7%）
1歳未満が873件（13.8%）、1～2歳未満が782件（12.4%）
5. 主訴別相談件数：最も多い主訴は発熱で2,479件（39.2%）、次いで嘔気嘔吐11.0%、頭部以外の外傷8.0%、咳7.9%、頭部打撲5.4%、発疹4.9%であった。頭部打撲、頭部以外の打撲、異物誤飲、熱傷、耳鼻科、眼科、歯科口腔外科の外科系は合わせて25.5%であった。
6. 相談の分類：「救急医療相談」1,210件（19.1%）、「医療機関案内」506件（8.0%）、「救急医療相談+医療機関案内」1,004件（15.9%）、「医療全般」544件（8.6%）、「薬」133件（2.1%）、「ホームケア」362件（5.7%）、「育児相談」24件（0.4%）
7. 相談者（続柄）：母親4,672件（73.8%）、父親771件（11.2%）、祖母33件（0.5%）
8. 相談者（年齢）：30代が最も多く1,799件（28.4%）、次いで20代554件（8.8%）、40代417件（6.6%）
9. 兄弟の有無：「いる」790件（12.5%）、「いない」805件（12.7%）、未記入4,000件（63.2%）
10. 発症時期：「さつきから」が2,486件（39.3%）で最多、次いで「それ以前から」が1,255件（19.8%）
11. 相談前の受診の有無：「受診なし」3,068件（48.5%）、「受診あり」1,505件（23.8%）
12. 相談対応時間：3～4分未満が1,264件（20.0%）、次いで4～5分未満1,164件（18.4%）、2～3分未満888件（14.0%）、5～6分未満884件（14.0%）
13. 相談対応者（看護師）による緊急度判定：「119番をすすめた」40件（0.6%）、「直ぐ病院へ行くようにすすめた」1,262件（19.9%）、「翌日に受診をすることをすすめた」1,607件（25.4%）、「何かあれば受診することをすすめた」2,054件（32.5%）、「受診する必要はない」799件（12.6%）
14. 医師の対応：「助言なし」1,588件（25.1%）、「助言あり」17件（0.3%）
15. 満足度（相談対応者からの印象）：「満足した」が3,817件（60.3%）、「普通」が2,292件（36.2%）、「不満気」が35件（0.6%）
16. 相談時間帯別相談者続柄：時間が遅くなるにつれて父親からの相談割合が増加した。19～20時では父親が119件（8.5%）、20～21時では149件（11.3%）、21～22時では130件（13.0%）、22～23時では105件（15.0%）、23～24時では14件（15.2%）であった。
17. 相談対応時間別相談者続柄：母親・父親ともに3～4分未満が最多であった。
18. 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）：多くの診療科で3～4分未満が最多であった。脳神経外科では4～5分未満が最多であった。

19. 相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定：5年未満と5年以上10年未満では「何かあれば受診することをすすめた」の割合が、それぞれ28.6%、37.8%と最も多く、10年以上では、「翌日に受診することをすすめた」の割合が33.1%と最も多かった。また、10年以上では、「直ぐに病院に行くようにすすめた」の割合が二番目に多く25.0%であった。
20. 相談対応者（看護師）による対応感想：「自信をもって対応できた」が3,492件（55.2%）、「対応に不安が残った」が132件（2.1%）、「どちらともいえない」が472件（7.5%）であった。

1.相談件数

【全国】

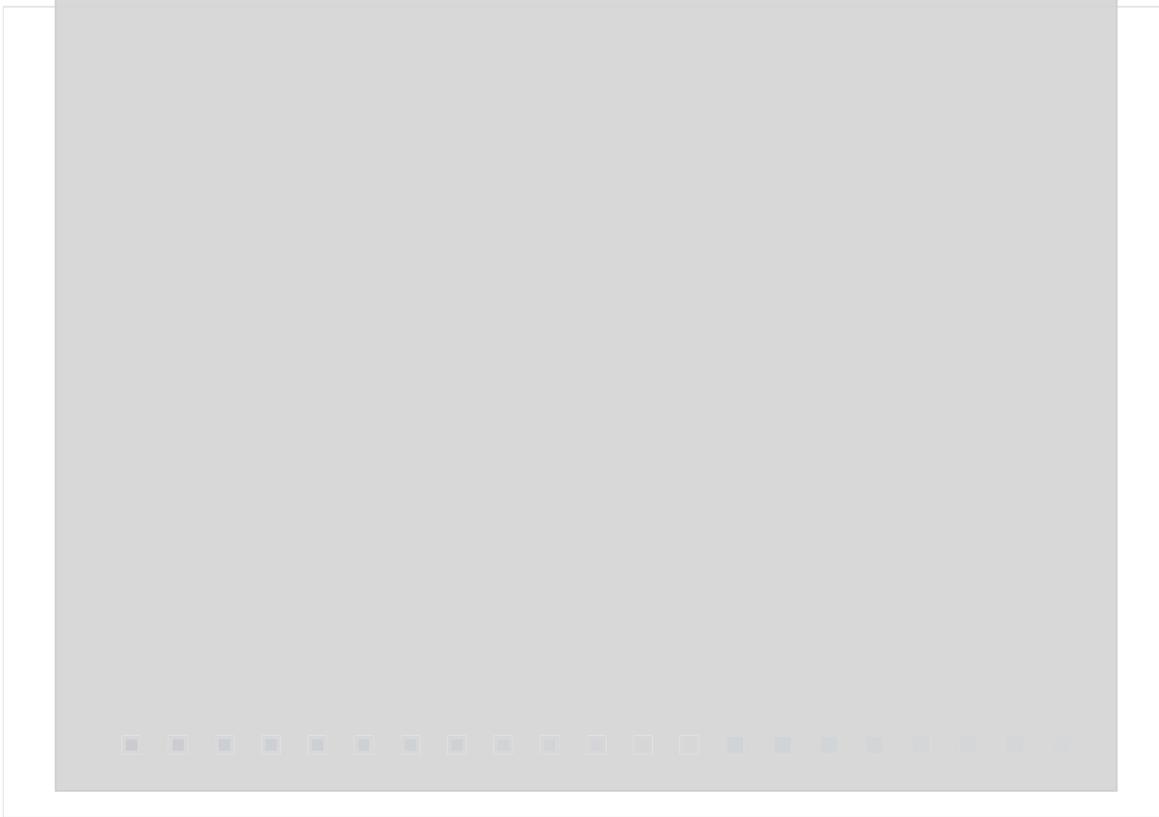
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,327	0	6,327



2.二次医療圏

【全国】

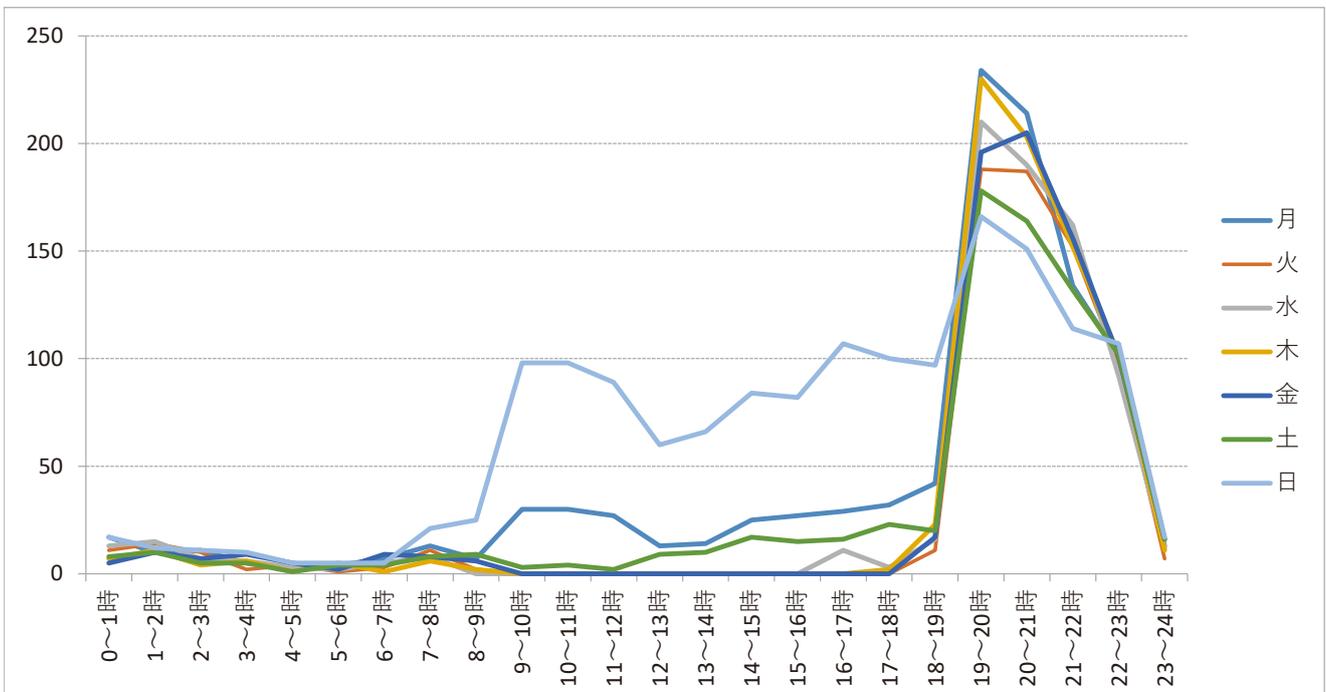
一次医療圏		割合(%)
全国版では対象外となります。		
総計		



3.曜日別相談時間帯

【全国】

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合(%)
0～1時	17	11	13	7	5	8	17	78	1.2
1～2時	10	14	15	11	10	10	12	82	1.3
2～3時	11	10	7	4	7	5	11	55	0.9
3～4時	5	2	6	6	9	5	10	43	0.7
4～5時	3	4	3	1	5	1	5	22	0.3
5～6時	4	1	2	5	2	4	5	23	0.4
6～7時	7	3	5	1	9	4	5	34	0.5
7～8時	13	11	8	6	8	8	21	75	1.2
8～9時	7	2	0	2	6	9	25	51	0.8
9～10時	30	0	0	0	0	3	98	131	2.1
10～11時	30	0	0	0	0	4	98	132	2.1
11～12時	27	0	0	0	0	2	89	118	1.9
12～13時	13	0	0	0	0	9	60	82	1.3
13～14時	14	0	0	0	0	10	66	90	1.4
14～15時	25	0	0	0	0	17	84	126	2.0
15～16時	27	0	0	0	0	15	82	124	2.0
16～17時	29	0	11	0	0	16	107	163	2.6
17～18時	32	0	3	2	0	23	100	160	2.5
18～19時	42	11	16	23	17	20	97	226	3.6
19～20時	234	188	210	230	196	178	166	1,402	22.2
20～21時	214	187	190	203	205	164	151	1,314	20.8
21～22時	134	152	162	152	156	132	114	1,002	15.8
22～23時	101	97	92	102	101	102	107	702	11.1
23～24時	13	7	12	11	16	16	17	92	1.5
計	1,042	700	755	766	752	765	1,547	6,327	100



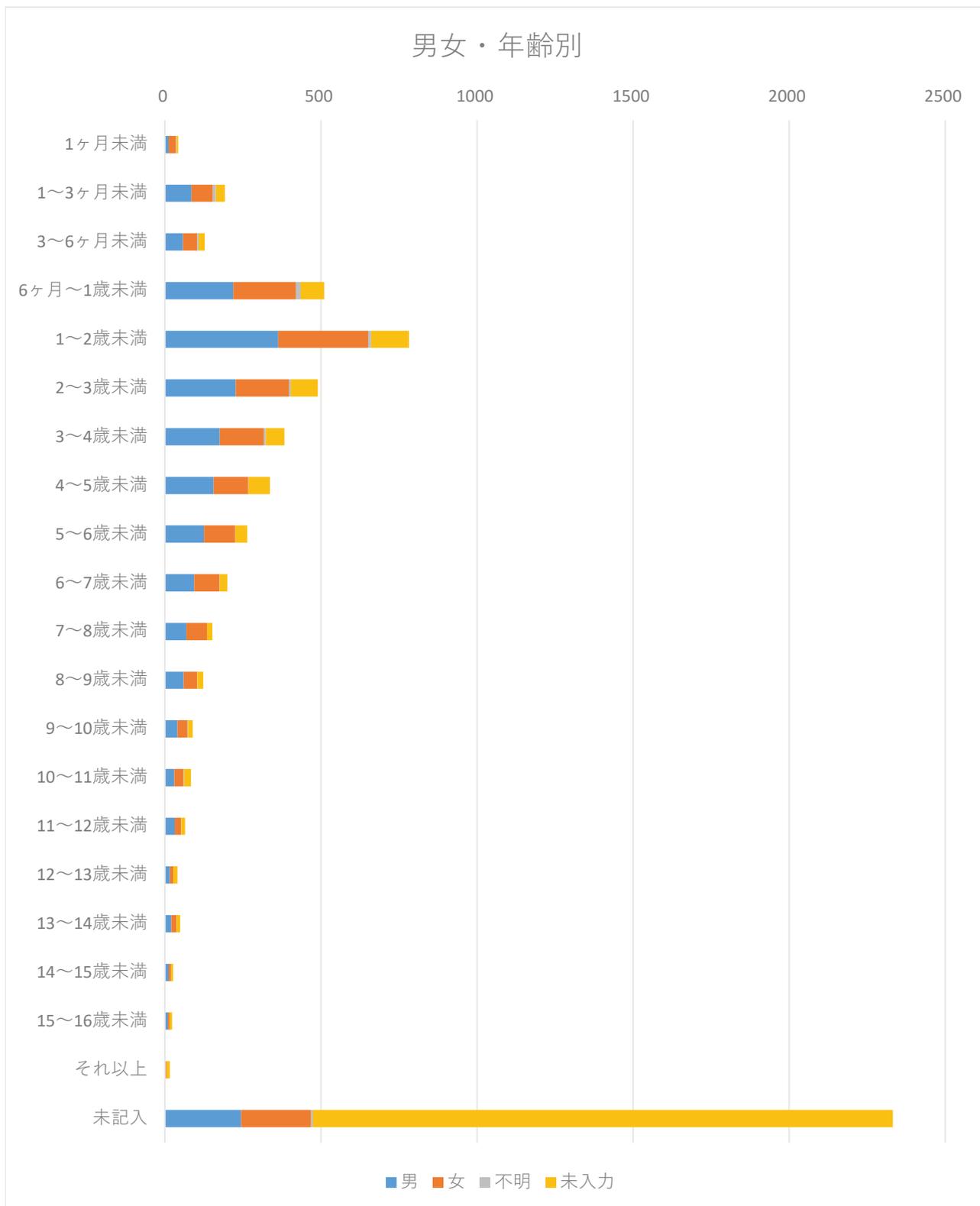
4.相談対象児（男女・年齢別）

【全国】

相談対象児年齢	男	女	不明	未入力	計	割合(%)
1ヶ月未満	12	24	1	6	43	0.7
1～3ヶ月未満	85	69	9	29	192	3.0
3～6ヶ月未満	58	45	5	20	128	2.0
6ヶ月～1歳未満	219	201	15	75	510	8.1
1～2歳未満	363	288	10	121	782	12.4
2～3歳未満	227	171	5	87	490	7.7
3～4歳未満	176	141	6	60	383	6.1
4～5歳未満	156	111	1	68	336	5.3
5～6歳未満	125	100	1	38	264	4.2
6～7歳未満	94	81	1	24	200	3.2
7～8歳未満	69	66	0	17	152	2.4
8～9歳未満	60	43	1	19	123	1.9
9～10歳未満	40	33	1	15	89	1.4
10～11歳未満	30	30	2	22	84	1.3
11～12歳未満	32	19	1	13	65	1.0
12～13歳未満	16	11	0	13	40	0.6
13～14歳未満	21	16	0	12	49	0.8
14～15歳未満	12	7	0	7	26	0.4
15～16歳未満	10	4	0	9	23	0.4
それ以上	2	4	0	10	16	0.3
未記入	244	225	5	1,858	2,332	36.9
計（件数）	2,051	1,689	64	2,523	6,327	—
計（割合(%)）	32.4%	26.7%	1.0%	39.9%	—	100

4.相談対象児（男女・年齢別）

【全国】



5.主訴別相談件数

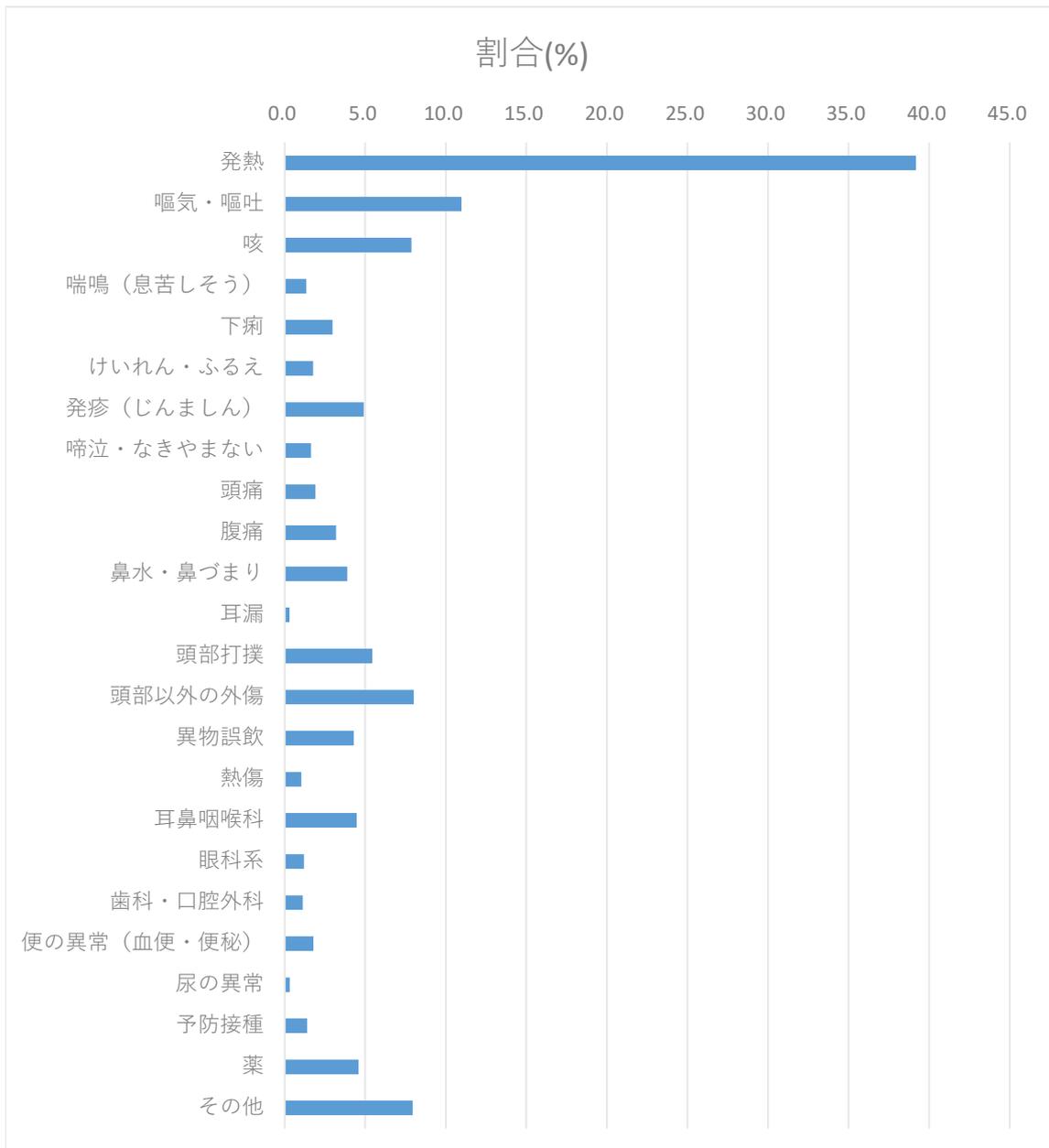
【全国】

主訴	回答数	相談件数	割合(%)
発熱	2,479		39.2
嘔気・嘔吐	694		11.0
咳	498		7.9
喘鳴（息苦しそう）	85		1.3
下痢	188		3.0
けいれん・ふるえ	111		1.8
発疹（じんましん）	310		4.9
啼泣・なきやまない	103		1.6
頭痛	120		1.9
腹痛	201		3.2
鼻水・鼻づまり	246		3.9
耳漏	19		0.3
頭部打撲	344		5.4
頭部以外の外傷	507		8.0
異物誤飲	271		4.3
熱傷	65		1.0
耳鼻咽喉科	282		4.5
眼科系	75		1.2
歯科・口腔外科	71		1.1
便の異常（血便・便秘）	112		1.8
尿の異常	20		0.3
予防接種	88		1.4
薬	290		4.6
その他	502		7.9
計	7,681	6,327	121.4

※複数回答可

5.主訴別相談件数

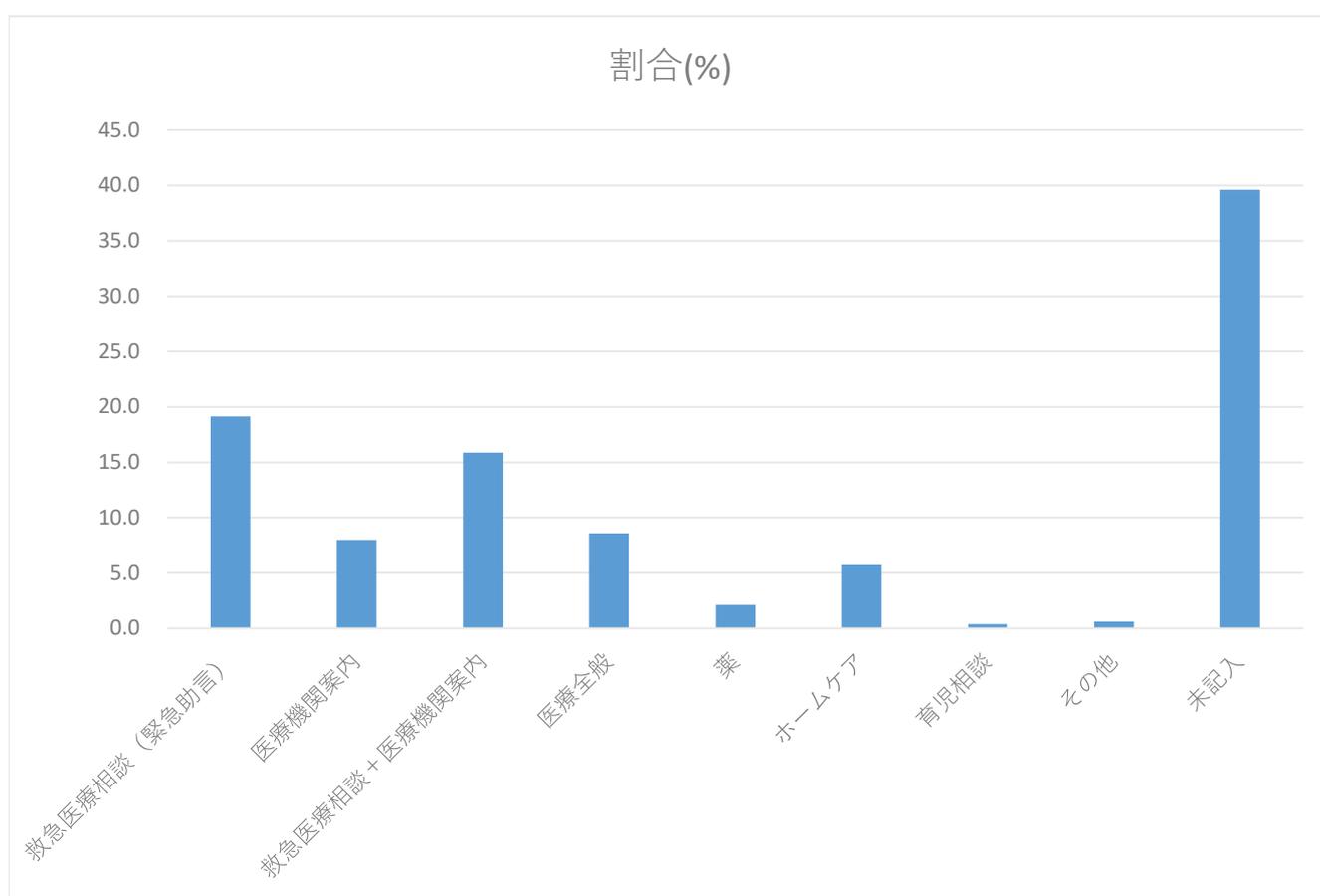
【全国】



6.相談の分類

【全国】

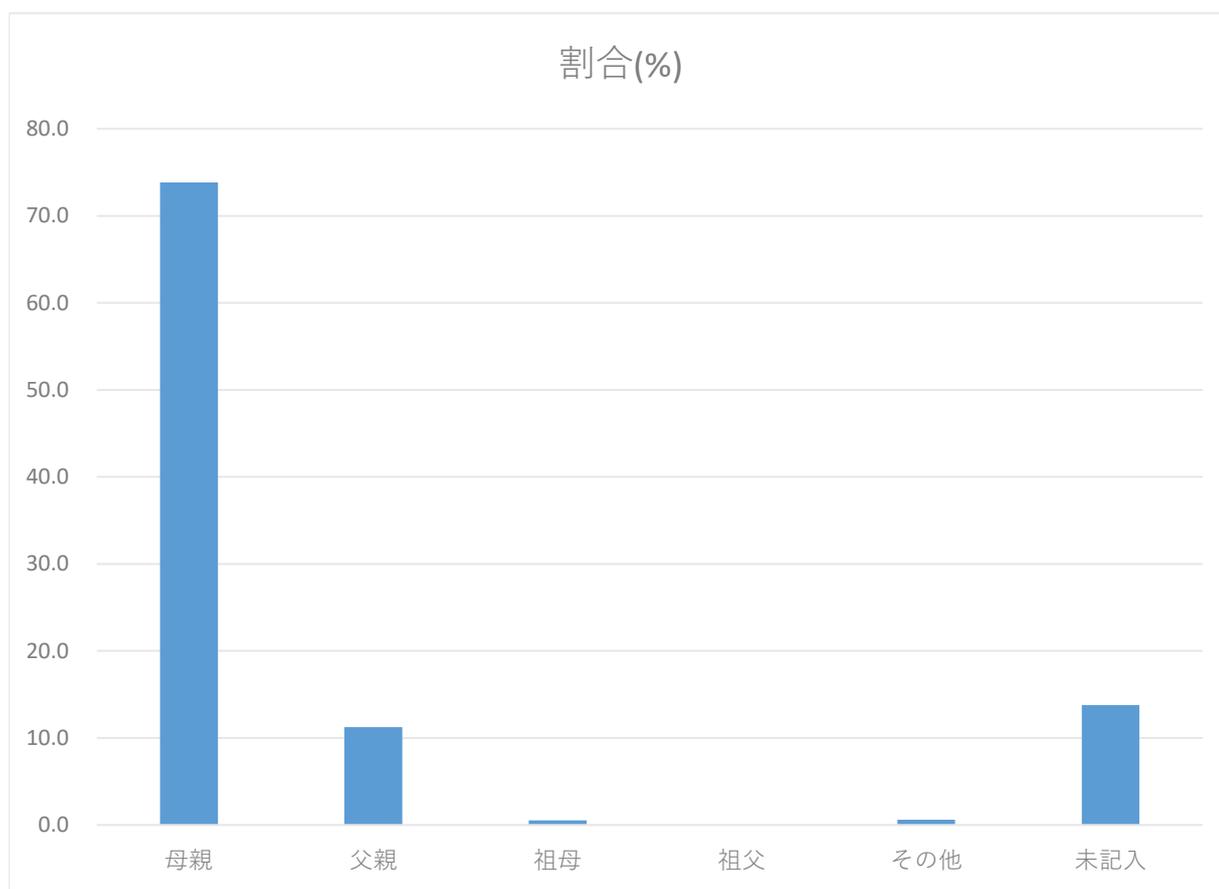
相談の分類	件数	割合(%)
救急医療相談（緊急助言）	1,210	19.1
医療機関案内	506	8.0
救急医療相談＋医療機関案内	1,004	15.9
医療全般	544	8.6
薬	133	2.1
ホームケア	362	5.7
育児相談	24	0.4
その他	39	0.6
未記入	2,505	39.6
計	6,327	100



7.相談者（続柄）

【全国】

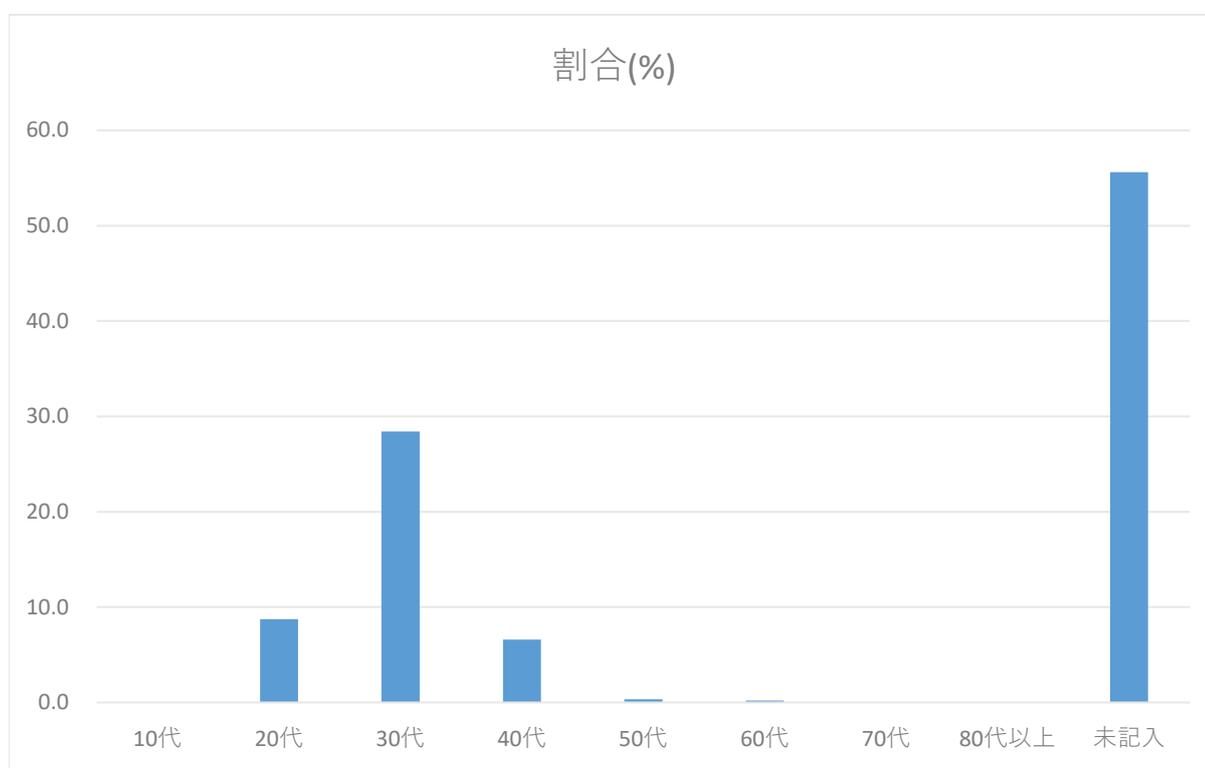
続柄	件数	割合(%)
母親	4,672	73.8
父親	711	11.2
祖母	33	0.5
祖父	1	0.0
その他	39	0.6
未記入	871	13.8
計	6,327	100



8.相談者（年齢）

【全国】

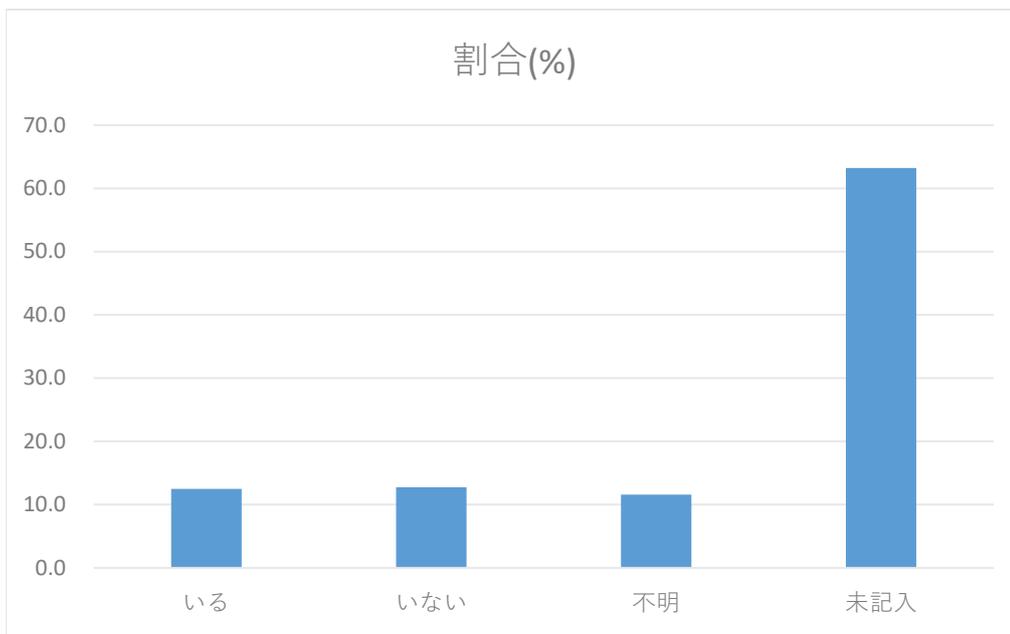
年齢	件数	割合(%)
10代	3	0.0
20代	554	8.8
30代	1,799	28.4
40代	417	6.6
50代	22	0.3
60代	13	0.2
70代	0	0.0
80代以上	0	0.0
未記入	3519	55.6
計	6,327	100



9.兄弟の有無

【全国】

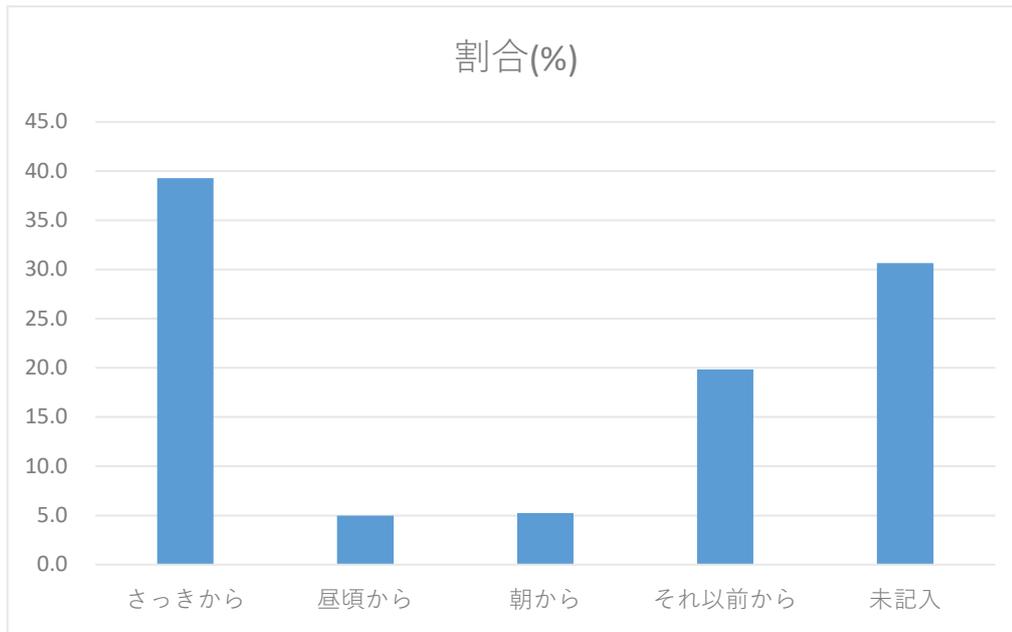
兄弟の有無	件数	割合(%)
いる	790	12.5
いない	805	12.7
不明	732	11.6
未記入	4,000	63.2
計	6,327	100



10.発症時期

【全国】

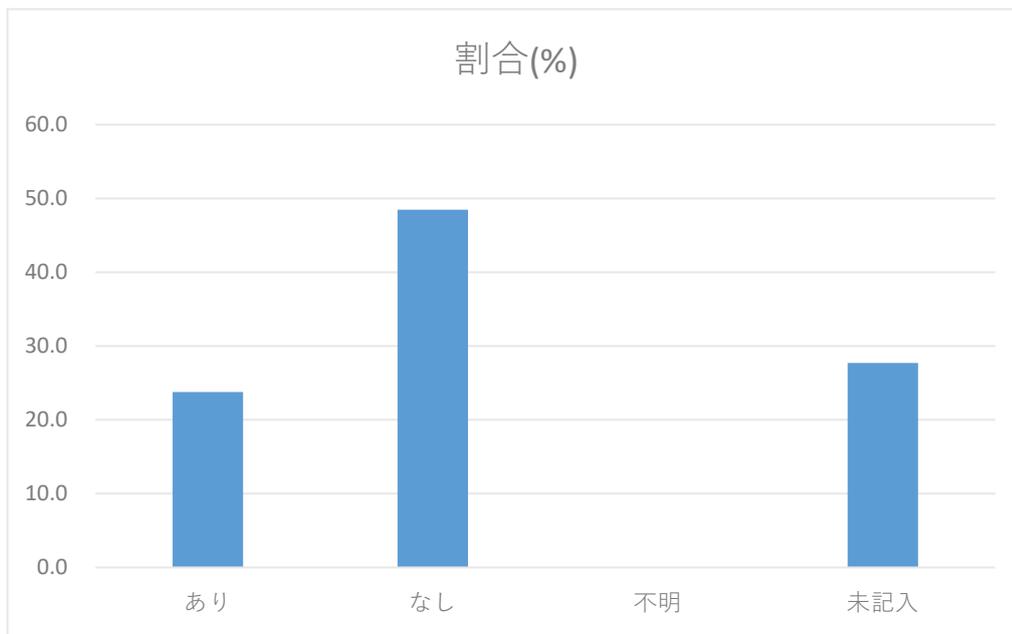
満足度	件数	割合(%)
さっきから	2,486	39.3
昼頃から	315	5.0
朝から	331	5.2
それ以前から	1,255	19.8
未記入	1,940	30.7
計	6,327	100



11.相談前の受診の有無

【全国】

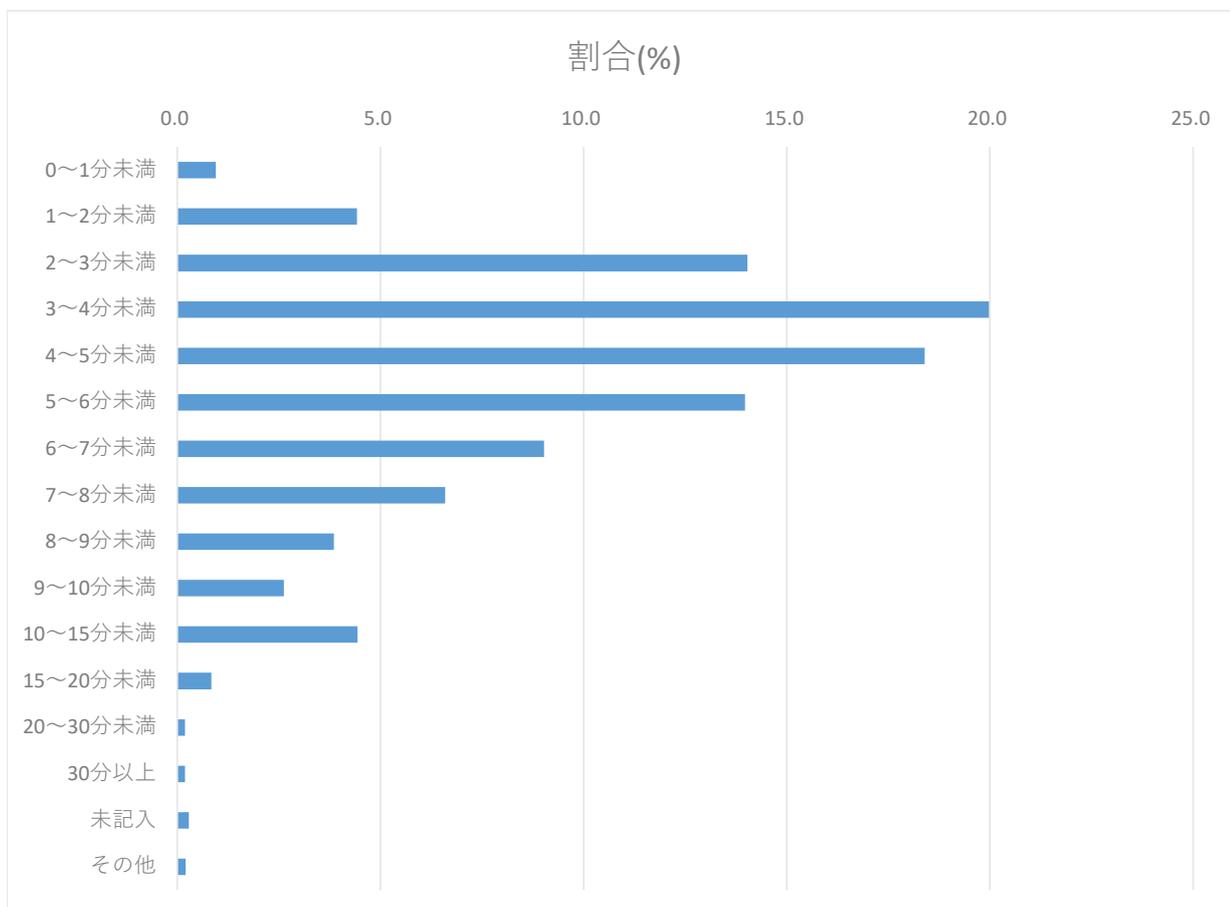
相談前の受診の有無	件数	割合(%)
あり	1,505	23.8
なし	3,068	48.5
不明	0	0.0
未記入	1,754	27.7
計	6,327	100



12.相談対応時間

【全国】

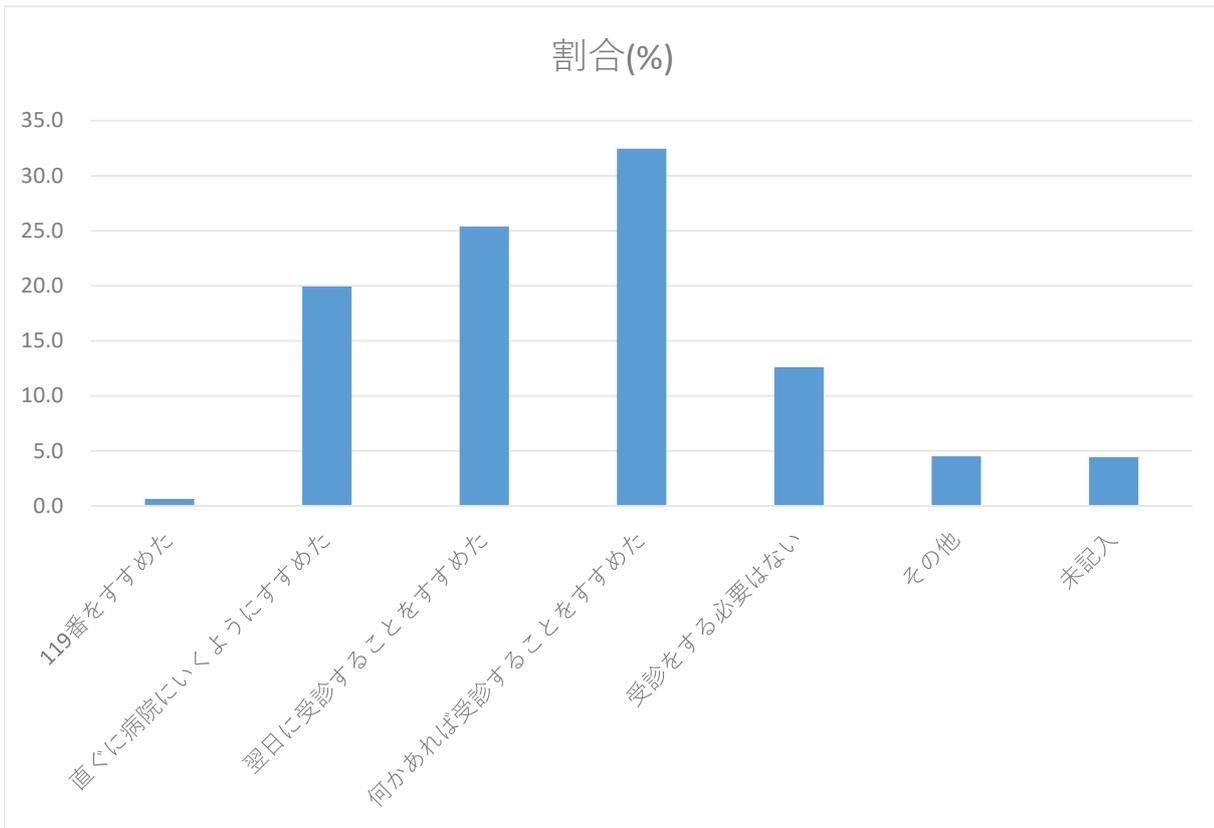
相談対応時間	件数	割合(%)
0～1分未満	60	0.9
1～2分未満	280	4.4
2～3分未満	888	14.0
3～4分未満	1,264	20.0
4～5分未満	1,164	18.4
5～6分未満	884	14.0
6～7分未満	571	9.0
7～8分未満	417	6.6
8～9分未満	244	3.9
9～10分未満	166	2.6
10～15分未満	281	4.4
15～20分未満	53	0.8
20～30分未満	12	0.2
30分以上	12	0.2
未記入	18	0.3
その他	13	0.2
計	6,327	100



13.相談対応者（看護師）による緊急度判定

【全国】

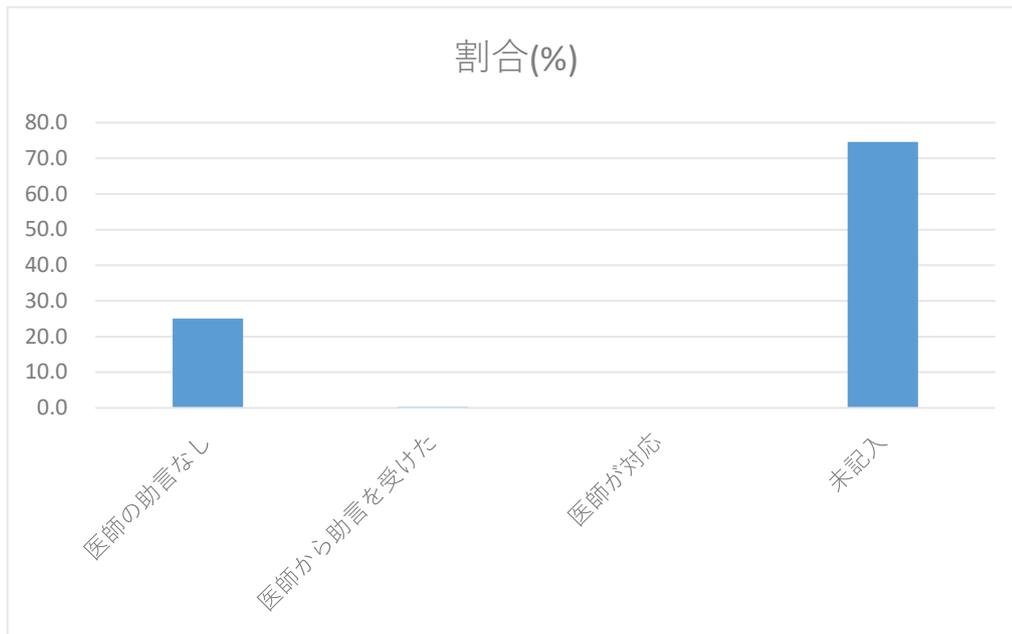
看護師による緊急度判定	件数	割合(%)
119番をすすめた	40	0.6
直ぐに病院に行くようにすすめた	1,262	19.9
翌日に受診することをすすめた	1,607	25.4
何かあれば受診することをすすめた	2,054	32.5
受診をする必要はない	799	12.6
その他	285	4.5
未記入	280	4.4
計	6,327	100



14. 医師の対応

【全国】

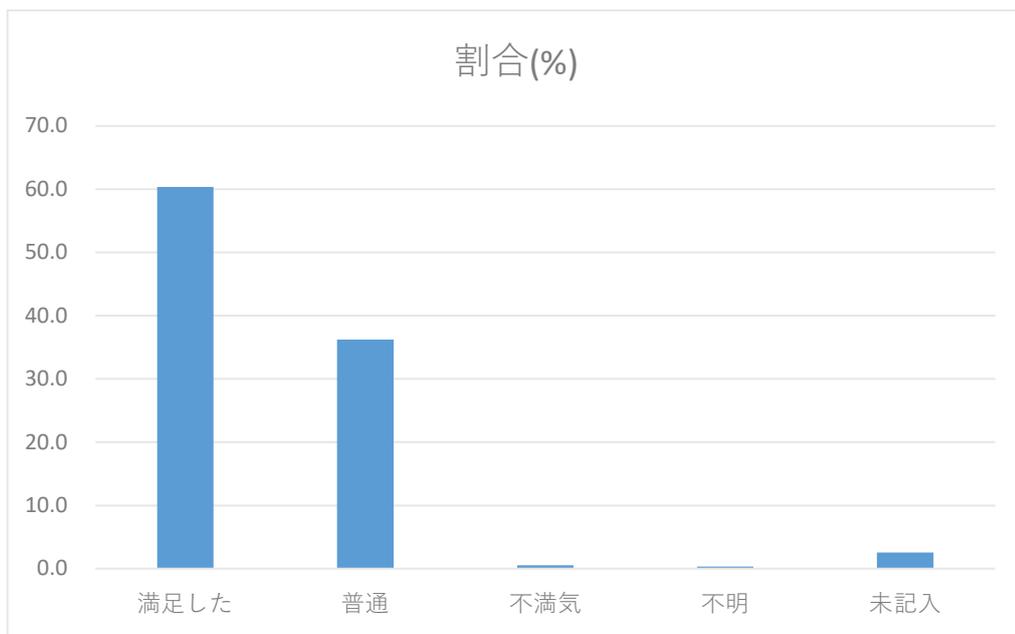
医師の助言	件数	割合(%)
医師の助言なし	1,588	25.1
医師から助言を受けた	17	0.3
医師が対応	1	0.0
未記入	4,721	74.6
計	6,327	100



15.満足度（相談対応者からの印象）

【全国】

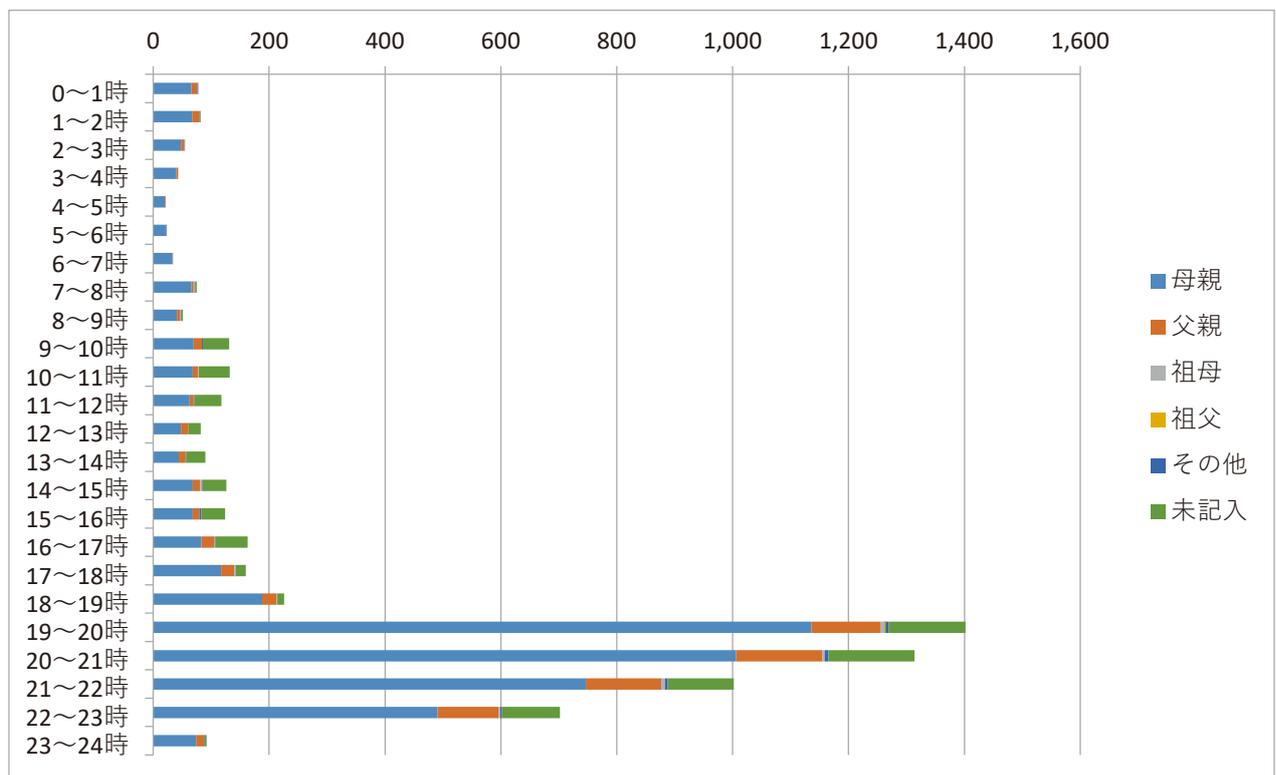
満足度	件数	割合(%)
満足した	3,817	60.3
普通	2,292	36.2
不満気	35	0.6
不明	20	0.3
未記入	163	2.6
計	6,327	100



16.相談時間帯別相談者続柄

【全国】

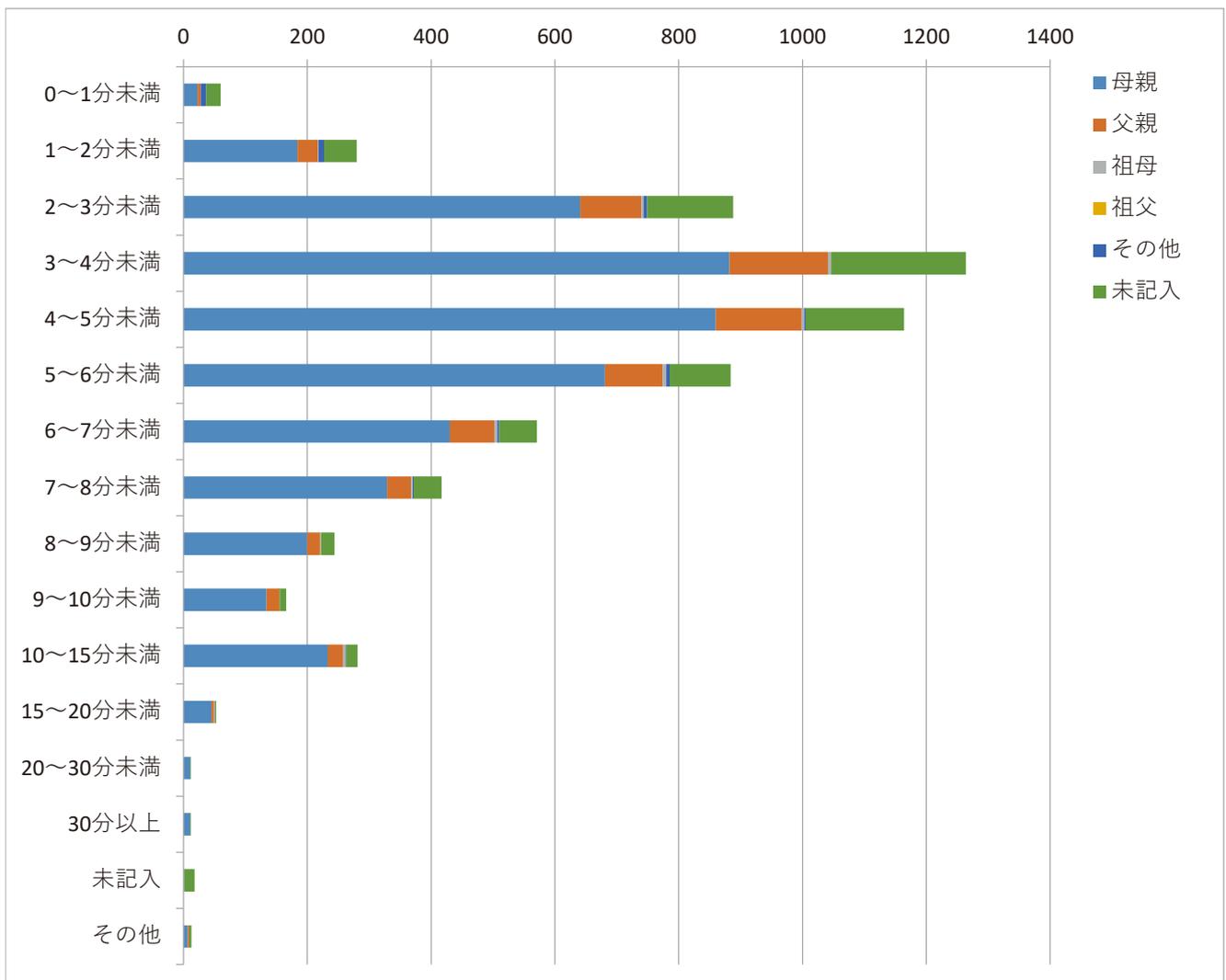
時間帯	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1時	66	10	0	0	2	0	78	1.2
1～2時	67	13	0	0	1	1	82	1.3
2～3時	48	5	1	0	1	0	55	0.9
3～4時	40	3	0	0	0	0	43	0.7
4～5時	20	2	0	0	0	0	22	0.3
5～6時	21	0	0	0	2	0	23	0.4
6～7時	32	1	0	0	1	0	34	0.5
7～8時	66	4	2	0	1	2	75	1.2
8～9時	41	6	1	0	1	2	51	0.8
9～10時	70	14	0	0	2	45	131	2.1
10～11時	68	10	1	0	0	53	132	2.1
11～12時	63	7	0	0	1	47	118	1.9
12～13時	48	12	0	0	0	22	82	1.3
13～14時	44	12	0	0	1	33	90	1.4
14～15時	68	13	3	0	1	41	126	2.0
15～16時	68	12	0	0	3	41	124	2.0
16～17時	83	22	1	0	1	56	163	2.6
17～18時	117	23	2	0	1	17	160	2.5
18～19時	188	25	1	0	0	12	226	3.6
19～20時	1,136	119	8	1	5	133	1,402	22.2
20～21時	1,006	149	4	0	6	149	1,314	20.8
21～22時	747	130	6	0	5	114	1,002	15.8
22～23時	491	105	3	0	3	100	702	11.1
23～24時	74	14	0	0	1	3	92	1.5
計	4,672	711	33	1	39	871	6,327	100



17.相談対応時間別相談者続柄

【全国】

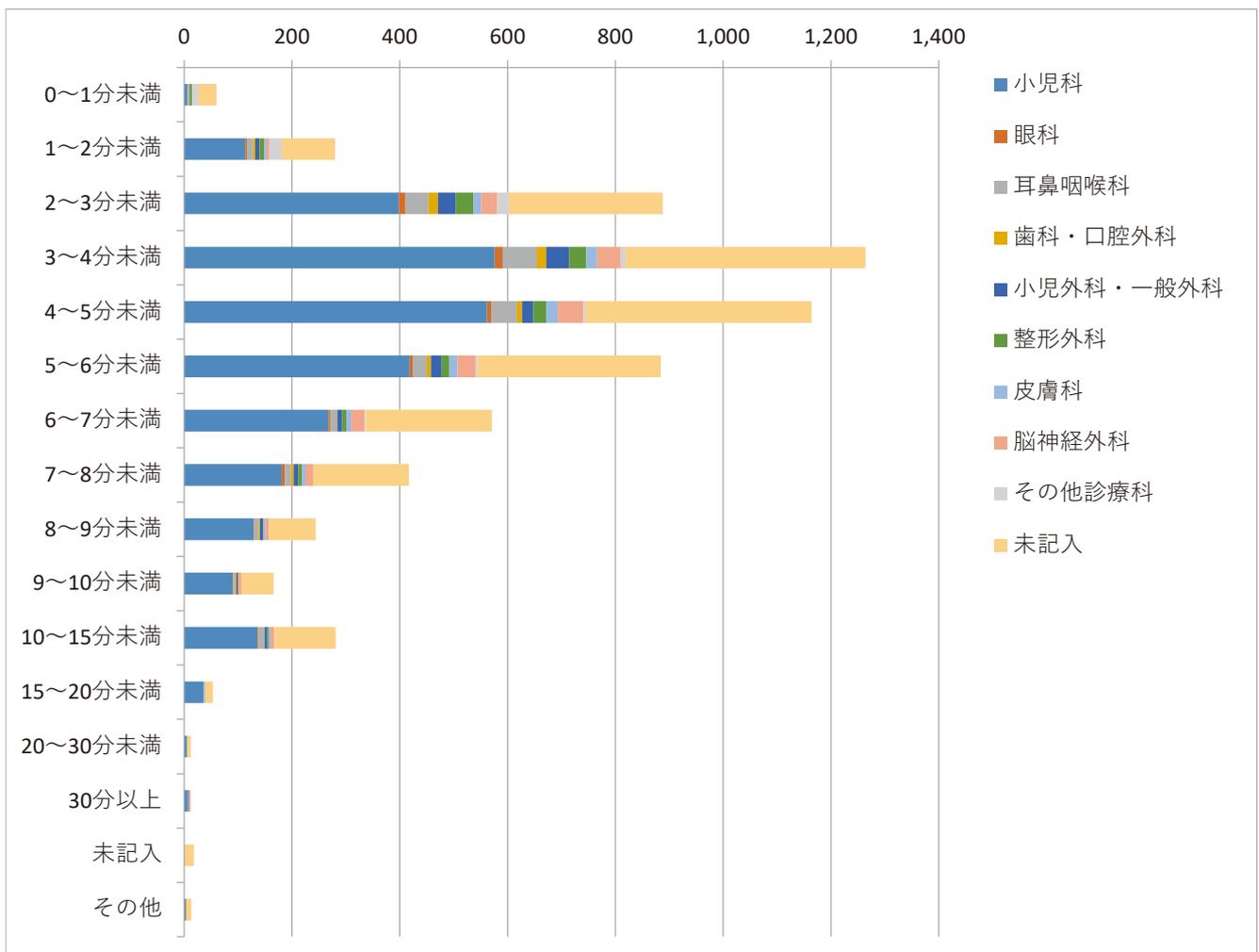
相談対応時間	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合(%)
0～1分未満	23	5	0	0	9	23	60	0.9
1～2分未満	184	33	1	0	9	53	280	4.4
2～3分未満	641	99	3	0	6	139	888	14.0
3～4分未満	882	159	5	0	0	218	1,264	20.0
4～5分未満	860	139	4	0	2	159	1,164	18.4
5～6分未満	681	93	6	0	6	98	884	14.0
6～7分未満	430	72	5	0	3	61	571	9.0
7～8分未満	329	39	2	0	2	45	417	6.6
8～9分未満	200	21	1	0	0	22	244	3.9
9～10分未満	134	20	0	1	1	10	166	2.6
10～15分未満	233	25	4	0	1	18	281	4.4
15～20分未満	45	4	2	0	0	2	53	0.8
20～30分未満	11	0	0	0	0	1	12	0.2
30分以上	11	0	0	0	0	1	12	0.2
未記入	1	0	0	0	0	17	18	0.3
その他	7	2	0	0	0	4	13	0.2
計	4,672	711	33	1	39	871	6,327	100



18.相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）

【全国】

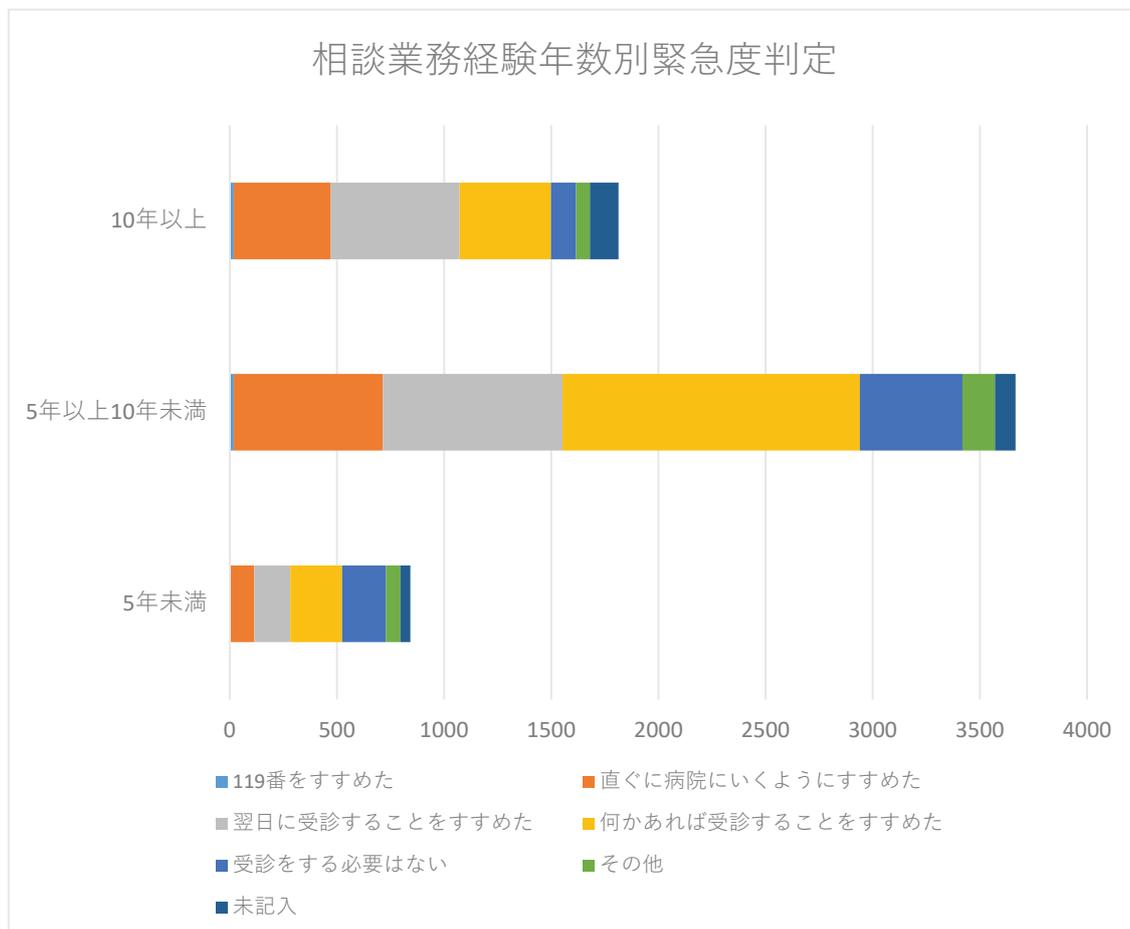
相談対応時間	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科・口腔外科	小児外科・一般外科	整形外科	皮膚科	脳神経外科	その他診療科	未記入	計	割合 (%)
0～1分未満	6	0	3	1	1	4	0	0	12	33	60	0.9
1～2分未満	113	3	12	4	8	8	5	5	23	99	280	4.4
2～3分未満	398	13	42	18	33	33	14	30	22	285	888	14.0
3～4分未満	576	15	63	18	42	32	20	44	9	445	1,264	20.0
4～5分未満	562	8	47	10	21	24	21	48	4	419	1,164	18.4
5～6分未満	418	6	26	8	20	14	15	34	3	340	884	14.0
6～7分未満	268	3	12	1	9	8	9	25	2	234	571	9.0
7～8分未満	181	6	11	5	9	7	6	15	0	177	417	6.6
8～9分未満	129	1	9	2	5	1	4	6	0	87	244	3.9
9～10分未満	90	1	4	2	3	0	0	7	0	59	166	2.6
10～15分未満	136	2	11	0	5	3	3	7	1	113	281	4.4
15～20分未満	36	0	1	0	0	0	2	0	0	14	53	0.8
20～30分未満	5	0	0	0	0	1	0	0	0	6	12	0.2
30分以上	7	0	1	0	1	0	0	2	0	1	12	0.2
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18	0.3
その他	3	1	0	1	0	0	0	0	0	8	13	0.2
計	2,928	59	242	70	157	135	99	223	76	2,338	6,327	100



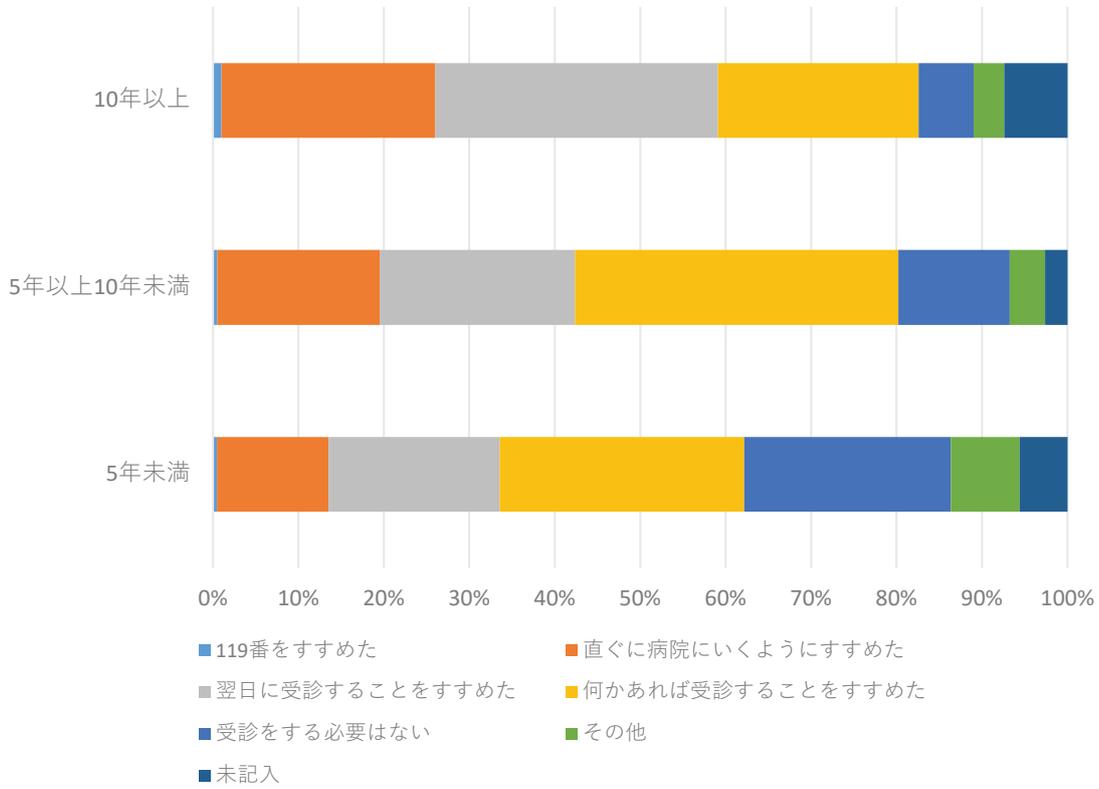
19.相談業務経験年数別の相談対応者（看護師）による緊急度判定

【全国】

緊急度分類	相談業務経験年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上	その他	計
		件数	4	18	18	
119番をすすめた	割合(%)	0.5	0.5	1.0	0.0	0.6
	件数	110	697	454	1	1,262
直ぐに病院に行くようにすすめた	割合(%)	13.0	19.0	25.0	25.0	19.9
	件数	169	838	600	0	1,607
翌日に受診することをすすめた	割合(%)	20.0	22.9	33.1	0.0	25.4
	件数	241	1,387	426	0	2,054
何かあれば受診することをすすめた	割合(%)	28.6	37.8	23.5	0.0	32.5
	件数	204	478	117	0	799
受診をする必要はない	割合(%)	24.2	13.0	6.4	0.0	12.6
	件数	68	152	65	0	285
その他	割合(%)	8.1	4.1	3.6	0.0	4.5
	件数	47	96	134	3	280
未記入	割合(%)	5.6	2.6	7.4	75.0	4.4
	件数	843	3,666	1,814	4	6,327
計	割合(%)	100	100	100	100	100



相談業務経験年数別緊急度判定



20. 相談対応者（看護師）の対応感想

【全国】

看護師の対応感想		都道府県							計
		岐阜県	広島県	埼玉県	富山県	北海道	その他	未記入	
自信をもって対応できた	件数	0	393	2,425	0	671	0	3	3,492
	割合(%)	0.0	53.0	83.7	0.0	88.2	0.0	100.0	55.2
対応に不安が残った	件数	0	49	51	5	27	0	0	132
	割合(%)	0.0	6.6	1.8	1.0	3.5	0.0	0.0	2.1
どちらともいえない	件数	0	270	202	0	0	0	0	472
	割合(%)	0.0	36.4	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5
医師の判断に従った	件数	0	4	1	0	3	0	0	8
	割合(%)	0.0	0.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1
その他	件数	0	0	14	0	57	0	0	71
	割合(%)	0.0	0.0	0.5	0.0	7.5	0.0	0.0	1.1
未記入	件数	1,412	26	205	498	3	8	0	2,152
	割合(%)	100.0	3.5	7.1	99.0	0.4	100.0	0.0	34.0
計	件数	1,412	742	2,898	503	761	8	3	6,327

IV. 全データの分析結果と考察

IV-1. 相談内容に関する分析および考察

(1) 相談件数、#8000 の利用率

北海道 761 件、埼玉県 2,898 件、富山県 503 件、岐阜県 1,412 件、広島県 742 件、他県からの相談 11 件で、全相談件数は 6,327 件となった。二次医療圏別年少人口（15 歳未満）1 万人に対する相談件数、二次医療圏別小児科医師または小児外科医師 1 人に対する相談件数を検討した（表 7-11）。

二次医療圏別年少人口（15 歳未満）1 万人に対する相談件数は、北海道は 0~14.5、中央値 7.8、埼玉県は 8.3~38.0、中央値 27.1、富山県は 24.2~40.8、中央値 35.6、岐阜県は 31.7~61.9、中央値 43.7、広島県は 11.3~21.2、中央値 16.3 であった。

二次医療圏別小児科医師または小児外科医師 1 人に対する相談件数は、北海道は 0~1.7、中央値 0.9、埼玉県は 1.3~8.4、中央値 4.4、富山県は 2.4~5.5、中央値 3.5、岐阜県は 4.7~10.6、中央値 5.3、広島県は 1.2~2.2、中央値 1.5 であった。

二次医療圏別年少人口（15 歳未満）1 万人に対する相談件数の最大/最小比率は、富山県、岐阜県、広島県が 2 倍程度であるのに比べて、北海道、埼玉県は格差が大きい。これは、システムあるいは広報に原因があるかも知れないが、今後さらに検討する。二次医療圏別小児科医師または小児外科医師 1 人に対する相談件数は、多くの二次医療圏は、小児科医師または小児外科医師が少ないほど #8000 相談件数が少ない傾向にある。ただし、岐阜県中濃医療圏は比較的多く、小児科医師または小児外科医師の少なさをうまくカバーしている。

今回の調査が岐阜県が準夜帯+深夜帯+日勤帯、埼玉県が準夜帯+日勤帯、富山県が準夜帯+深夜帯、北海道と広島県が準夜帯のデータの収集となっていて、これ以上の検討は難しく、次年度以降の対象県拡大、データ集積により改善をめざす。

北海道：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数
北海道	101	南渡島	59	33	1	34	40,777	14.5	1.8	1.7
	102	南檜山	0	2	0	2	2,402	0.0	0.0	0.0
	103	北渡島檜山	1	4	0	4	3,789	2.6	0.3	0.3
	104	札幌	305	327	13	340	274,307	11.1	0.9	0.9
	105	後志	24	20	0	20	21,606	11.1	1.2	1.2
	106	南空知	13	14	0	14	16,138	8.1	0.9	0.9
	107	中空知	6	9	0	9	10,391	5.8	0.7	0.7
	108	北空知	1	1	0	1	2,958	3.4	1.0	1.0
	109	西胆振	17	19	0	19	20,072	8.5	0.9	0.9
	110	東胆振	21	22	0	22	26,142	8.0	1.0	1.0
	111	日高	2	4	0	4	8,294	2.4	0.5	0.5
	112	上川中部	49	81	2	83	44,087	11.1	0.6	0.6
	113	上川北部	4	7	0	7	7,195	5.6	0.6	0.6
	114	富良野	4	4	0	4	5,153	7.8	1.0	1.0
	115	留萌	4	3	0	3	4,914	8.1	1.3	1.3
	116	宗谷	5	6	0	6	7,907	6.3	0.8	0.8
	117	北網	17	22	0	22	25,331	6.7	0.8	0.8
	118	遠紋	5	4	1	5	7,654	6.5	1.3	1.0
	119	十勝	43	29	0	29	43,179	10.0	1.5	1.5
	120	釧路	30	22	0	22	26,624	11.3	1.4	1.4
	121	根室	4	6	0	6	10,261	3.9	0.7	0.7
	医療圏未記入		146							
	合計		760	639	17	656	609,181	12.5	1.2	1.2

* 相談件数 761 件から 15 歳以上の 1 件を除いた 760 件

表 7. 北海道の二次医療圏別年少人口（15 歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数

埼玉県：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数
埼玉県	1101	南部	391	93	1	94	102,826	38.0	4.2	4.2
	1102	南西部	334	69	2	71	95,694	34.9	4.8	4.7
	1103	東部	485	94	10	104	145,424	33.4	5.2	4.7
	1104	さいたま	447	198	13	211	165,298	27.0	2.3	2.1
	1105	県央	211	24	1	25	66,843	31.6	8.8	8.4
	1106	川越比企	214	128	9	137	95,765	22.3	1.7	1.6
	1107	西部	217	55	2	57	91,832	23.6	3.9	3.8
	1108	利根	205	44	0	44	75,531	27.1	4.7	4.7
	1109	北部	151	31	2	33	62,444	24.2	4.9	4.6
	1110	秩父	10	7	1	8	12,000	8.3	1.4	1.3
		医療圏未記入		204						
	その他		3							
	合計		2,872	743	41	784	913,657	31.4	3.9	3.7

* 相談件数 2,898 件から 15 歳以上の 26 件を除いた 2,872 件

表 8. 埼玉県の二次医療圏別年少人口（15 歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数

富山県：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数
富山県	1601	新川	44	8	0	8	13,881	31.7	5.5	5.5
	1602	富山	257	103	3	106	63,055	40.8	2.5	2.4
	1603	高岡	145	39	0	39	36,843	39.4	3.7	3.7
	1604	砺波	38	12	0	12	15,674	24.2	3.2	3.2
		医療圏未記入	18							
		合計	502	162	3	165	129,453	38.8	3.1	3.0

* 相談件数 503 件から 15 歳以上の 1 件を除いた 502 件

表 9. 富山県の二次医療圏別年少人口（15 歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数

岐阜県：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数
岐阜県	2101	岐阜	664	137	4	141	107,243	61.9	4.8	4.7
	2102	西濃	216	41	1	42	49,469	43.7	5.3	5.1
	2103	中濃	297	27	1	28	49,770	59.7	11.0	10.6
	2104	東濃	175	33	0	33	42,163	41.5	5.3	5.3
	2105	飛騨	60	11	0	11	18,899	31.7	5.5	5.5
		合計	1,412	249	6	255	267,544	52.8	5.7	5.5

表 10. 岐阜県の二次医療圏別年少人口（15 歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数（年齢不明のために全年齢を対象とした。）

広島県：

都道府県名	二次医療圏番号	二次医療圏名	相談件数(件)	小児科医師数(人)	小児外科医師数(人)	2科合計医師数(人)	年少人口(人)	年少人口10,000人に対する相談件数	小児科医師1人に対する相談件数	小児科または小児外科医師1人に対する相談件数
広島県	3401	広島	401	196	16	212	189,266	21.2	2.0	1.9
	3402	広島西	31	25	0	25	18,214	17.0	1.2	1.2
	3403	呉	50	34	1	35	28,037	17.8	1.5	1.4
	3404	広島中央	50	24	0	24	30,817	16.2	2.1	2.1
	3405	尾三	41	28	0	28	29,485	13.9	1.5	1.5
	3406	福山・府中	114	49	3	52	70,034	16.3	2.3	2.2
	3407	備北	12	9	0	9	10,641	11.3	1.3	1.3
		医療圏未記入	31							
		その他	1							
	合計	731	365	20	385	376,494	19.4	2.0	1.9	

* 相談件数 742 件から 15 歳以上の 11 件を除いた 731 件

表 11. 広島県の二次医療圏別年少人口（15 歳未満）、小児科医師・小児外科医師数と電話相談件数

(2) 相談時間帯 (表 12、13)

準夜帯 (17-0 時) に 4,898 件 (77.4%)、とくに 18-23 時に 4,646 件 (73.4%) が集中した。5 道県では実施時間帯がそれぞれ異なるので、時間外全時間帯のデータを収集できた岐阜県のデータを検討する。岐阜県の時間帯別相談件数は、準夜帯 (17-0 時) は 856 件 (60.3%)、深夜帯 (0-8 時) は 287 件 (20.2%)、日勤帯は (8-17 時) は 277 件 (19.6%) で、準夜帯 18-23 時は 50% を越えた (52.5%)。

今後、話中 (不応需) も把握することで、時間帯別に必要な相談員数を推定していく。

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合(%)
0~1時	17	11	13	7	5	8	17	78	1.2
1~2時	10	14	15	11	10	10	12	82	1.3
2~3時	11	10	7	4	7	5	11	55	0.9
3~4時	5	2	6	6	9	5	10	43	0.7
4~5時	3	4	3	1	5	1	5	22	0.3
5~6時	4	1	2	5	2	4	5	23	0.4
6~7時	7	3	5	1	9	4	5	34	0.5
7~8時	13	11	8	6	8	8	21	75	1.2
8~9時	7	2	0	2	6	9	25	51	0.8
9~10時	30	0	0	0	0	3	98	131	2.1
10~11時	30	0	0	0	0	4	98	132	2.1
11~12時	27	0	0	0	0	2	89	118	1.9
12~13時	13	0	0	0	0	9	60	82	1.3
13~14時	14	0	0	0	0	10	66	90	1.4
14~15時	25	0	0	0	0	17	84	126	2.0
15~16時	27	0	0	0	0	15	82	124	2.0
16~17時	29	0	11	0	0	16	107	163	2.6
17~18時	32	0	3	2	0	23	100	160	2.5
18~19時	42	11	16	23	17	20	97	226	3.6
19~20時	234	188	210	230	196	178	166	1,402	22.2
20~21時	214	187	190	203	205	164	151	1,314	20.8
21~22時	134	152	162	152	156	132	114	1,002	15.8
22~23時	101	97	92	102	101	102	107	702	11.1
23~24時	13	7	12	11	16	16	17	92	1.5
計	1,042	700	755	766	752	765	1,547	6,327	100

表 12. 全道県の相談時間帯

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合(%)
0~1時	11	7	10	5	4	5	10	52	3.7
1~2時	8	10	11	9	7	6	9	60	4.2
2~3時	6	6	7	4	5	5	7	40	2.8
3~4時	3	2	3	4	5	3	10	30	2.1
4~5時	2	1	2	1	4	1	5	16	1.1
5~6時	1	1	2	3	1	4	2	14	1.0
6~7時	5	2	2	1	7	3	1	21	1.5
7~8時	9	6	5	4	5	7	14	50	3.5
8~9時	4	0	0	0	0	6	15	25	1.8
9~10時	8	0	0	0	0	3	17	28	2.0
10~11時	6	0	0	0	0	4	16	26	1.8
11~12時	7	0	0	0	0	2	11	20	1.4
12~13時	2	0	0	0	0	9	16	27	1.9
13~14時	3	0	0	0	0	10	18	31	2.2
14~15時	7	0	0	0	0	17	17	41	2.9
15~16時	7	0	0	0	0	15	12	34	2.4
16~17時	8	0	0	0	0	16	20	44	3.1
17~18時	6	0	1	2	0	23	18	50	3.5
18~19時	23	10	15	19	16	18	24	125	8.9
19~20時	29	23	18	27	21	32	36	186	13.2
20~21時	34	20	28	28	18	32	26	186	13.2
21~22時	20	19	14	15	15	23	28	134	9.5
22~23時	14	11	14	16	19	17	21	112	7.9
23~24時	10	5	7	7	11	8	12	60	4.2
計	233	123	139	145	138	269	365	1,412	100

表 13. 岐阜県の相談時間帯

(3) 相談対象児の年齢と男女比 (表 14)

相談対象児の年齢は、未記入を除くと、3歳未満が2,984件(55.2%)、6歳未満4327件(80.0%)であった。小児救急外来受診患者の調査では³⁾、3歳未満41.0%、6歳未満68.2%であるので、#8000は救急外来受診よりも低年齢の子どもたちが対象になっている。#8000の相談対象児がより低年齢であることは重要で、共働きの保護者の子育て支援の意義が大きい。

男女比は2,821/2,331=1.21であった。総務省統計局データ⁴⁾では同年齢の男女比は1.05であるので、#8000では男子の比率が高い。性差が、主訴その他にどのように関連するかは、次年度以降に分析する予定である。

相談対象児年齢	男	女	不明	未入力	計	割合(%)
1ヶ月未満	12	24	1	6	43	0.7
1~3ヶ月未満	85	69	9	29	192	3.0
3~6ヶ月未満	58	45	5	20	128	2.0
6ヶ月~1歳未満	219	201	15	75	510	8.1
1~2歳未満	363	288	10	121	782	12.4
2~3歳未満	227	171	5	87	490	7.7
3~4歳未満	176	141	6	60	383	6.1
4~5歳未満	156	111	1	68	336	5.3
5~6歳未満	125	100	1	38	264	4.2
6~7歳未満	94	81	1	24	200	3.2
7~8歳未満	69	66	0	17	152	2.4
8~9歳未満	60	43	1	19	123	1.9
9~10歳未満	40	33	1	15	89	1.4
10~11歳未満	30	30	2	22	84	1.3
11~12歳未満	32	19	1	13	65	1.0
12~13歳未満	16	11	0	13	40	0.6
13~14歳未満	21	16	0	12	49	0.8
14~15歳未満	12	7	0	7	26	0.4
15~16歳未満	10	4	0	9	23	0.4
それ以上	2	4	0	10	16	0.3
未記入	244	225	5	1,858	2,332	36.9
計(件数)	2,051	1,689	64	2,523	6,327	—
計(割合(%))	32.4%	26.7%	1.0%	39.9%	—	100

表 14. 全相談対象児の年齢と男女比

(4) 兄弟の有無 (表 15)

兄弟が居る家庭は 50.5%、いない家庭は 49.5%であった (未記入を除いた割合)。回答率が低く (全件の 25.2%)、かつ、兄弟の有無とは異なるデータになるので、何らかの見解を導くのは難しい。次年度は設問の変更を検討する。

兄弟の有無	件数	割合(%)
いる	790	12.5
いない	805	12.7
不明	732	11.6
未記入	4,000	63.2
計	6,327	100

表 15. 兄弟の有無

(5) 相談者の年齢続柄 (表 16)

相談者の年齢は 20 歳代 554 件 (19.7%)、30 歳代 1,799 件 (64.1%)、40 歳代 417 件 (14.9%) であった (未記入を除いた比率)。近年の母親の年齢階級別出生率は、30~34 歳、25~29 歳、35~39 歳の順に高く、30 歳代の母親の増加が影響している。また、父親が 13.0%あることは、父親の子育て参加がうかがわれる。

相談者	相談者の年代							計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	未記入	
母親	1	508	1,583	351	9	0	2,220	4,672
父親	0	40	193	57	5	2	414	711
祖母	0	0	1	0	7	10	15	33
祖父	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	2	16	8	1	1	11	39
未記入	2	4	6	1	0	0	858	871
計	3	554	1,799	417	22	13	3,519	6,327

表 16. 相談者の年齢と続柄

(6) 相談対応時間 (表 17、18)

相談対応時間は、2~3 分未満 888 件 (14.0%)、3~4 分未満 (20.0%)、4~5 分未満 (18.4%)、5~6 分未満 884 件 (14.0%) であり、3~5 分未満が多い。相談者続柄では差はなかった。20 分以上を要した 24 例 (0.4%) の相談者はすべて母親であったが、まだ分析件数が少なく、今後データ数を増やして検討する。

相談対応時間	件数	割合(%)
0～1分未満	60	0.9
1～2分未満	280	4.4
2～3分未満	888	14.0
3～4分未満	1,264	20.0
4～5分未満	1,164	18.4
5～6分未満	884	14.0
6～7分未満	571	9.0
7～8分未満	417	6.6
8～9分未満	244	3.9
9～10分未満	166	2.6
10～15分未満	281	4.4
15～20分未満	53	0.8
20～30分未満	12	0.2
30分以上	12	0.2
未記入	18	0.3
その他	13	0.2
計	6,327	100

表 17. 相談対応時間

相談時間帯	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	割合 (%)
0～1時	66	10	0	0	2	0	78	1.2
1～2時	67	13	0	0	1	1	82	1.3
2～3時	48	5	1	0	1	0	55	0.9
3～4時	40	3	0	0	0	0	43	0.7
4～5時	20	2	0	0	0	0	22	0.3
5～6時	21	0	0	0	2	0	23	0.4
6～7時	32	1	0	0	1	0	34	0.5
7～8時	66	4	2	0	1	2	75	1.2
8～9時	41	6	1	0	1	2	51	0.8
9～10時	70	14	0	0	2	45	131	2.1
10～11時	68	10	1	0	0	53	132	2.1
11～12時	63	7	0	0	1	47	118	1.9
12～13時	48	12	0	0	0	22	82	1.3
13～14時	44	12	0	0	1	33	90	1.4
14～15時	68	13	3	0	1	41	126	2.0
15～16時	68	12	0	0	3	41	124	2.0
16～17時	83	22	1	0	1	56	163	2.6
17～18時	117	23	2	0	1	17	160	2.5
18～19時	188	25	1	0	0	12	226	3.6
19～20時	1,136	119	8	1	5	133	1,402	22.2
20～21時	1,006	149	4	0	6	149	1,314	20.8
21～22時	747	130	6	0	5	114	1,002	15.8
22～23時	491	105	3	0	3	100	702	11.1
23～24時	74	14	0	0	1	3	92	1.5
計	4,672	711	33	1	39	871	6,327	100

表 18. 相談者続柄と相談対応時間

(7) 相談の分類 (表 19)

救急医療相談 31.7%、医療機関案内 13.2%、救急医療相談＋医療機関案内 26.3%、医療全般 14.2%、ホームケア 9.5%、薬 3.5%、育児相談 0.6%であった。医療機関案内と救急医療相談＋医療機関案内を合わせて 39.5%で、医療機関案内のニーズは高い。

この医療機関情報は、その地区のその時間に小児の診療が可能な医療機関があるかの情報であり、小児救急医療体制の整備状況と密接に関係する。診療時間の細かな情報を提供することと、また、#8000 だけでなく、救急医療情報システム (Web) やこども救急ガイドブック (冊子、pdf) など他の小児救急医療情報提供手段も用いて、保護者が情報を得やすい体制にしていく必要がある。

相談の分類	件数	割合(%)
救急医療相談 (緊急助言)	1,210	19.1
医療機関案内	506	8.0
救急医療相談＋医療機関案内	1,004	15.9
医療全般	544	8.6
薬	133	2.1
ホームケア	362	5.7
育児相談	24	0.4
その他	39	0.6
未記入	2,505	39.6
計	6,327	100

表 19. 相談の分類

(8) 主訴 (表 20)

最も多い主訴は発熱で 2,479 件 (39.2%) であった。続いて、嘔気・嘔吐 (11.0%)、頭部以外の外傷 (8.0%)、咳 (7.9%)、頭部打撲 (5.4%)、発疹 (4.9%) の順であった。

嘔気・嘔吐が 2 番目に多い (11.0%) こと、頭部打撲、頭部以外の打撲、異物誤飲、熱傷、耳鼻科、眼科、歯科口腔外科等の外科系疾患が 25.5%あることは、注目される。嘔気・嘔吐は、重症例・緊急例・外科症例が含まれることがあり鑑別診断が難しい。小児外科系疾患は、小児科のみでは完結せず、多くの診療科の関わりが必要である。嘔気・嘔吐と外科系疾患は、診療マニュアル・電話相談マニュアルの整備と時間外医療体制の課題があり、今後のテーマである。

主訴	119番をすすめた		直ぐに病院に行くようにすすめた		翌日に受診することをすすめた		何かあれば受診することをすすめた		受診をする必要はない		その他		未記入		計
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	
発熱	9	0.4	435	17.5	865	34.9	724	29.2	279	11.3	94	3.8	73	2.9	2,479
嘔気・嘔吐	3	0.4	166	23.9	141	20.3	266	38.3	74	10.7	20	2.9	24	3.5	694
頭部以外の外傷	5	1.0	143	28.2	124	24.5	156	30.8	48	9.5	8	1.6	23	4.5	507
その他	5	1.0	120	23.9	123	24.5	129	25.7	84	16.7	29	5.8	12	2.4	502
咳	4	0.8	122	24.5	167	33.5	116	23.3	52	10.4	15	3.0	22	4.4	498
頭部打撲	6	1.7	57	16.6	41	11.9	184	53.5	36	10.5	6	1.7	14	4.1	344
発疹 (じんましん)	2	0.6	73	23.5	84	27.1	111	35.8	26	8.4	6	1.9	8	2.6	310
薬	0	0.0	16	5.5	68	23.4	84	29.0	69	23.8	46	15.9	7	2.4	290
耳鼻咽喉科	2	0.7	55	19.5	114	40.4	72	25.5	23	8.2	5	1.8	11	3.9	282
異物誤飲	1	0.4	45	16.6	11	4.1	116	42.8	72	26.6	17	6.3	9	3.3	271
鼻水・鼻づまり	0	0.0	34	13.8	115	46.7	56	22.8	23	9.3	7	2.8	11	4.5	246
腹痛	0	0.0	71	35.3	35	17.4	60	29.9	13	6.5	7	3.5	15	7.5	201
下痢	0	0.0	32	17.0	61	32.4	62	33.0	20	10.6	4	2.1	9	4.8	188
頭痛	0	0.0	30	25.0	31	25.8	37	30.8	8	6.7	5	4.2	9	7.5	120
便の異常 (血便・便秘)	0	0.0	16	14.3	30	26.8	40	35.7	20	17.9	2	1.8	4	3.6	112
けいれん・ふるえ	7	6.3	42	37.8	20	18.0	25	22.5	11	9.9	4	3.6	2	1.8	111
啼泣・なきやまない	1	1.0	25	24.3	20	19.4	37	35.9	14	13.6	3	2.9	3	2.9	103
予防接種	0	0.0	11	12.5	26	29.5	31	35.2	14	15.9	4	4.5	2	2.3	88
喘鳴 (息苦しそう)	3	3.5	41	48.2	12	14.1	16	18.8	7	8.2	2	2.4	4	4.7	85
眼科系	0	0.0	11	14.7	36	48.0	16	21.3	4	5.3	3	4.0	5	6.7	75
歯科・口腔外科	1	1.4	14	19.7	25	35.2	18	25.4	10	14.1	2	2.8	1	1.4	71
熱傷	2	3.1	27	41.5	15	23.1	12	18.5	4	6.2	3	4.6	2	3.1	65
尿の異常	0	0.0	4	20.0	6	30.0	6	30.0	3	15.0	0	0.0	1	5.0	20
耳漏	0	0.0	3	15.8	8	42.1	5	26.3	2	10.5	1	5.3	0	0.0	19
計	51	0.7	1,593	20.7	2,178	28.4	2,379	31.0	916	11.9	293	3.8	271	3.5	7,681

表 20. 主訴と緊急度判定 (主訴は複数回答可とした)

(9) 相談対応者（看護師）による緊急度判定（表 21）

緊急度判定は道県間に差違が認められた。北海道は、「直ぐに病院に行くようにすすめた」が少なく、「受診をする必要はない」が多い。埼玉県は「直ぐに病院に行くようすすめた」が多い。富山県は「翌日に受診することをすすめた」が多い。

各道県が使用しているマニュアル・プロトコール、医療機関までのアクセス、診療体制の充実度などの因子が影響していると思われるが、今後更なる分析が必要である。そして、この結果は、#8000 の均てん化の必要性を示唆している。参考に、厚生労働省が公表している対応結果別割合を図 2 に示した。

都道府県	看護師による緊急度判定															
	119番をすすめた		直ぐに病院に行くようにすすめた		翌日に受診することをすすめた		何かあれば受診することをすすめた		受診をする必要はない		その他		未記入		計	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
北海道	4	0.5	52	6.8	151	19.8	221	29.0	257	33.8	71	9.3	5	0.7	761	100
埼玉県	21	0.7	770	26.6	681	23.5	881	30.4	224	7.7	82	2.8	239	8.2	2,898	100
富山県	4	0.8	90	17.9	273	54.3	122	24.3	1	0.2	0	0.0	13	2.6	503	100
岐阜県	8	0.6	257	18.2	236	16.7	563	39.9	259	18.3	89	6.3	0	0.0	1,412	100
広島県	3	0.4	92	12.4	266	35.8	266	35.8	58	7.8	35	4.7	22	3.0	742	100
未記入	0	0.0	1	9.1	0	0.0	1	9.1	0	0.0	8	72.7	1	9.1	11	100
計	40	0.6	1,262	19.9	1,607	25.4	2,054	32.5	799	12.6	285	4.5	280	4.4	6,327	100

表 21. 看護師による緊急度判定

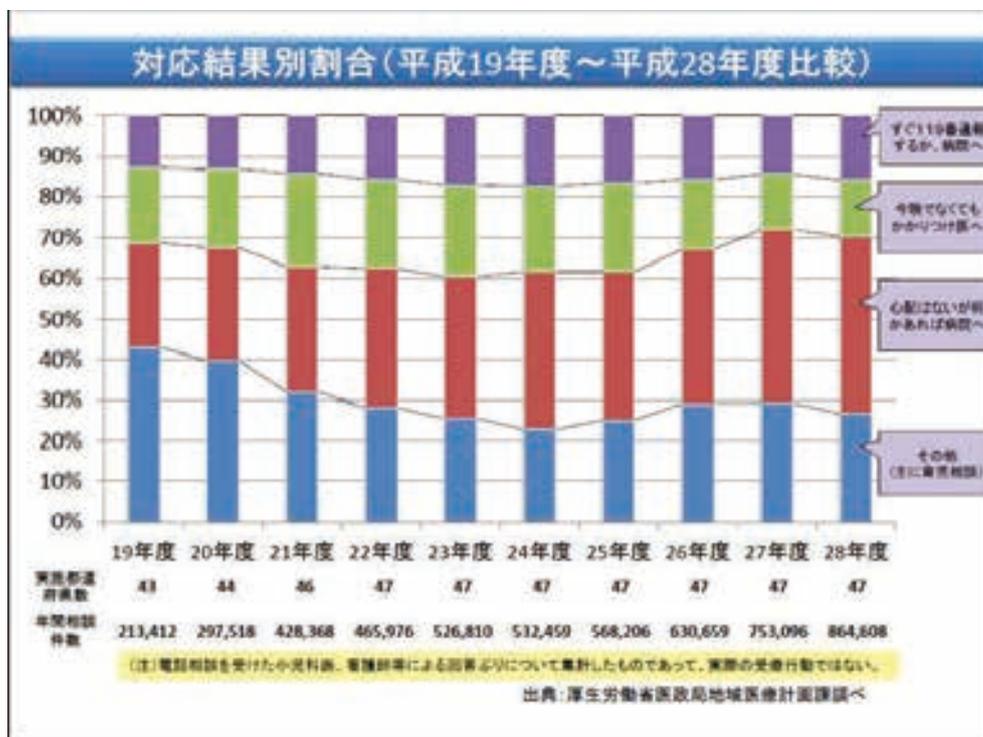


図 2. 対応結果別割合（平成 19～28 年度比較、厚生労働省医政局地域医療計画課調べ）

(10) 発症時期 (表 22)

発症時期は、「さっきから」2,486 件 (56.7%)、昼頃から 315 件 (7.2%)、朝から 331 件 (7.5%)、それ以前から 1,940 件 (28.6%) であった (不明を除いた)。それぞれの発症時期で、看護師による緊急度判定の比率は、「何かあれば受診することをすすめた」と「翌日に受診することをすすめた」がそれぞれ 3 割前後で、発症時期による違いはあまりなかった。

今回は発症時期のカテゴリーを分けたが、今後、経過時間を聴くことも検討する。

看護師による緊急度判定	さっきから		昼頃から		朝から		それ以前から		不明		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
119番をすすめた	17	0.7	3	1.0	1	0.3	5	0.4	14	0.7	40	0.6
直ぐに病院にいくようにすすめた	518	20.8	75	23.8	55	16.6	268	21.4	346	17.8	1,262	19.9
翌日に受診することをすすめた	652	26.2	106	33.7	101	30.5	386	30.8	362	18.7	1,607	25.4
何かあれば受診することをすすめた	846	34.0	89	28.3	103	31.1	346	27.6	670	34.5	2,054	32.5
受診をする必要はない	292	11.7	30	9.5	37	11.2	151	12.0	289	14.9	799	12.6
不明	78	3.1	6	1.9	15	4.5	54	4.3	127	6.5	280	4.4
その他	83	3.3	6	1.9	19	5.7	45	3.6	132	6.8	285	4.5
計	2,486	100	315	100	331	100	1,255	100	1,940	100	6,327	100

表 22. 発症時期と看護師による緊急度判定

(11) 相談前の受診の有無 (表 23、24)

#8000 利用前に受診あり 1,505 件 (32.9%)、受診なし 3,068 件 (67.1%) で (不明を除いた比率)、1/3 は#8000 利用前に受診している。主訴について (表 24)、#8000 相談前の「受診あり」が、「受診なし」よりも多い主訴は、発熱、咳、喘鳴、下痢、薬であった。これらは、医療機関において、時間経過とともに予想される状況やその対応について十分な説明を行うこと、また、小児の病気やケガへの対応に関する情報や医療機関情報が掲載された冊子や Web サイトなどについて、情報提供する必要があることを示唆している。

看護師による緊急度判定	相談前の受診の有無							
	あり		なし		不明		計	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
119番をすすめた	6	0.4	16	0.5	18	1.0	40	0.6
直ぐに病院に行くようにすすめた	212	14.1	689	22.5	361	20.6	1,262	19.9
翌日に受診することをすすめた	378	25.1	711	23.2	518	29.5	1,607	25.4
何かあれば受診することをすすめた	515	34.2	1,101	35.9	438	25.0	2,054	32.5
受診をする必要はない	283	18.8	381	12.4	135	7.7	799	12.6
不明	35	2.3	39	1.3	206	11.7	280	4.4
その他	76	5.0	131	4.3	78	4.4	285	4.5
計	1,505	100	3,068	100	1,754	100	6,327	100

表 23. 看護師による緊急度判定と相談前の受診の有無

主訴	相談前の受診の有無						
	あり		なし		未記入		計
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数
発熱	1,022	41.2	894	36.1	563	22.7	2,479
嘔気・嘔吐	189	27.2	332	47.8	173	24.9	694
頭部以外の外傷	14	2.8	354	69.8	139	27.4	507
その他	110	21.9	188	37.5	204	40.6	502
咳	228	45.8	149	29.9	121	24.3	498
頭部打撲	7	2.0	188	54.7	149	43.3	344
発疹 (じんましん)	60	19.4	169	54.5	81	26.1	310
薬	157	54.1	58	20.0	75	25.9	290
耳鼻咽喉科	36	12.8	154	54.6	92	32.6	282
異物誤飲	8	3.0	185	68.3	78	28.8	271
鼻水・鼻づまり	96	39.0	97	39.4	53	21.5	246
腹痛	35	17.4	97	48.3	69	34.3	201
下痢	77	41.0	67	35.6	44	23.4	188
頭痛	32	26.7	50	41.7	38	31.7	120
便の異常 (血便・便秘)	14	12.5	68	60.7	30	26.8	112
けいれん・ふるえ	38	34.2	47	42.3	26	23.4	111
啼泣・なきやまない	11	10.7	64	62.1	28	27.2	103
予防接種	24	27.3	43	48.9	21	23.9	88
喘鳴 (息苦しそう)	36	42.4	33	38.8	16	18.8	85
眼科系	10	13.3	33	44.0	32	42.7	75
歯科・口腔外科	8	11.3	31	43.7	32	45.1	71
熱傷	1	1.5	37	56.9	27	41.5	65
尿の異常	4	20.0	11	55.0	5	25.0	20
耳漏	5	26.3	13	68.4	1	5.3	19
計	2,222	28.9	3,362	43.8	2,097	27.3	7,681

表 24. 主訴と相談前の受診の有無 (主訴は複数回答あり)

(12) 医師の対応 (表 25)

緊急度判定時等に、待機している医師の助言を受けた事例は 17 件 (1.1%) に過ぎず、相談対応のほとんどは、看護師または保健師が相談対応マニュアルやプロトコールに従って判断することができていた。

医師から助言を受けた相談の主訴では、薬の相談が 7 件 (36.8%) であった。次いで異物誤飲と咳が 3 件 (15.6%) であった。咳は呼吸不全につながる危険性があるため、緊急度の判断に悩んだものと推察する。薬と異物は対象物の種類が多く、緊急度をマニュアル等からのみでは判断が難しかったものと推察する。

主訴	医師から助言を受けた	医師が対応	医師の助言なし	未記入	計
けいれん・ふるえ	0	0	27	84	111
その他	0	0	27	475	502
異物誤飲	3	0	61	207	271
下痢	0	0	31	157	188
咳	3	0	65	430	498
眼科系	1	0	4	70	75
歯科・口腔外科	0	0	8	63	71
耳鼻咽喉科	0	0	65	217	282
耳漏	1	0	2	16	19
頭痛	0	0	9	111	120
頭部以外の外傷	0	0	111	396	507
頭部打撲	0	0	15	329	344
尿の異常	0	0	3	17	20
熱傷	0	0	8	57	65
発疹 (じんましん)	0	0	60	250	310
発熱	2	1	584	1,892	2,479
鼻水・鼻づまり	1	0	20	225	246
腹痛	0	0	35	166	201
便の異常 (血便・便秘)	0	0	13	99	112
薬	7	0	16	267	290
予防接種	1	0	29	58	88
喘鳴 (息苦しそう)	0	0	8	77	85
啼泣・なきやまない	0	0	15	88	103
嘔気・嘔吐	0	0	152	542	694
計	19	1	1,368	6,293	7,681

表 25. 医師の対応

(13) 相談対応者（看護師）が受診すべきと考えた診療科（相談対応時間別）

相談対応者が、受診すべきと判断した診療科の記載があったのは3,989件で、小児科2,928件（73.4%）、耳鼻科242件（6.1%）、脳神経外科223件（5.6%）、小児外科・一般外科157件（3.9%）、整形外科135件（3.4%）、皮膚科99件（2.5%）、歯科口腔外科70件（1.8%）、眼科59件（1.5%）、その他76件（1.9%）であった。

小児の外科系診療に関係する相談が、相談件数の1/4あることが、今回はじめて明らかになった。今後、小児科と小児外科系診療科が協議して、小児時間外診療体制の整備を検討することが必要と考える。

(14) 相談対応者（看護師）による相談者の満足度の印象（表25、26）

電話の対応について、相談者が満足している様子であった件数は3,817件（60.3%）で概ね満足している。「満足した」は後日感謝の連絡があった場合、「不満気」は何らかのクレームがあった場合、その他は普通に記録する基準を設けている民間事業者があった。

「不満気」であったものでは、「直ぐに病院に行くようにすすめた」が11例（0.9%）、「翌日に受診することをすすめた」が10例（0.6%）であった。不満気であった理由までは分からないが、本事業が相談事業であることの限界を丁寧に説明する必要があると考えられる。

今回求めた満足度は、相談対象者からの印象であって、相談対応者の主観が影響するため、今後、均一な情報収集を行うために基準を統一していく必要がある。

看護師による緊急度判定	満足度（相談対応者からの印象）										
	満足した		普通		不満気		不明		未記入		計
	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	割合（%）	
119番をすすめた	26	65.0	14	35.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	40
直ぐに病院に行くようにすすめた	801	63.5	429	34.0	11	0.9	2	0.2	19	1.5	1,262
翌日に受診することをすすめた	1,091	67.9	491	30.6	10	0.6	2	0.1	13	0.8	1,607
何かあれば受診することをすすめた	1,114	54.2	911	44.4	7	0.3	5	0.2	17	0.8	2,054
受診をする必要はない	502	62.8	287	35.9	0	0.0	0	0.0	10	1.3	799
その他	118	41.4	148	51.9	4	1.4	10	3.5	5	1.8	285
未記入	165	58.9	12	4.3	3	1.1	1	0.4	99	35.4	280
計	3,817	60.3	2,292	36.2	35	0.6	20	0.3	163	2.6	6,327

表25. 看護師による緊急度判定と相談者の満足度（相談対応者からの印象）

相談者（続柄）	満足度（相談対応者からの印象）										
	満足した		普通		不満気		不明		未記入		計
	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	割合（%）	
母親	2,718	58.2	1,854	39.7	22	0.5	12	0.3	66	1.4	4,672
父親	440	61.9	251	35.3	7	1.0	4	0.6	9	1.3	711
祖母	18	54.5	15	45.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	33
祖父	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
その他	11	28.2	26	66.7	1	2.6	1	2.6	0	0.0	39
未記入	629	72.2	146	16.8	5	0.6	3	0.3	88	10.1	871
計	3,817	60.3	2,292	36.2	35	0.6	20	0.3	163	2.6	6,327

表26. 相談者の続柄と相談者の満足度（相談対応者からの印象）

IV-2. 相談対応者に関する分析および考察

相談経験年数を5年未満、5年～10年未満、10年以上で分類し、評価した。表27をみると、経験年数が高い相談対応者は「直ぐに病院に行くようにすすめた」「翌日に受診することをすすめた」の割合が多い傾向がある。その要因は明らかでないが、経験年数が高い相談対応者がマニュアルのみに拠らない、経験に即した緊急度判定を行っている可能性がある。この点については、次年度以降にデータを集積して、更に詳しい分析を行う。

富山県と岐阜県は各々異なる民間事業者が#8000事業を受託しているが、両者の緊急度判定に差違が認められた。マニュアルに違いがあるのか、今後検討を要する。

今後、評価する自治体数を増やすなどして、均てん化に必要な情報や対応策を見出す必要がある。

緊急度分類	相談業務経験年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上	その他	計
119番をすすめた	件数	4	18	18	0	40
	割合(%)	0.5	0.5	1.0	0.0	0.6
直ぐに病院に行くようにすすめた	件数	110	697	454	1	1,262
	割合(%)	13.0	19.0	25.0	25.0	19.9
翌日に受診することをすすめた	件数	169	838	600	0	1,607
	割合(%)	20.0	22.9	33.1	0.0	25.4
何かあれば受診することをすすめた	件数	241	1,387	426	0	2,054
	割合(%)	28.6	37.8	23.5	0.0	32.5
受診をする必要はない	件数	204	478	117	0	799
	割合(%)	24.2	13.0	6.4	0.0	12.6
その他	件数	68	152	65	0	285
	割合(%)	8.1	4.1	3.6	0.0	4.5
未記入	件数	47	96	134	3	280
	割合(%)	5.6	2.6	7.4	75.0	4.4
計	件数	843	3,666	1,814	4	6,327
	割合(%)	100	100	100	100	100

表 27. 相談対応者の経験年数と緊急度分類

V. 情報収集分析システムの検討

V-1. NDS-8000 を用いた情報入力：

NDS-8000 を用いることによって、相談対応者の手書き入力の負担軽減とともに、これまでには得られなかった#8000 事業の詳細な情報を収集することが可能であった。また、相談対応者の緊急度判定の均てん化に必要な情報収集が可能であった。これを踏まえて、今後は全都道府県に対して NDS-8000 の導入に関する情報提供が望まれる。特に手書きで情報を記録している自治体においては、今回手書き入力から NDS-8000 の電子入力に移行した埼玉県が参考になる。

これまで相談内容の記録を独自の電子入力システムで入力していた広島県、独自に作成した紙媒体に手書きで記録していた北海道と埼玉県については、本事業の実施に際して、相談対応看護師・保健師・行政担当者に対する NDS-8000 の説明会を実施した。また、民間事業者独自の電子入力システムに入力していた富山県と岐阜県については、当該事業者にも NDS-8000 の説明を実施した。以下、相談対応者、行政担当者、民間事業者の意見を紹介する。

V-2. 相談対応者の意見

- 1) 相談対応者は#8000 事業が若い保護者の支えとなっている重要な行政サービスであり、仕事の遣り甲斐を感じていて、#8000 事業の発展に役立つのであれば、不慣れな電子入力への移行に協力したい。
- 2) 現在手書き入力している相談対応者は、ほぼ全員が、将来電子入力へ移行する時期がくると感じている。
- 3) 手書き入力では、時間をかけて非常に細かな点まで記載していることが多い。一方でこれまでに詳細に記入された記録用紙は保存されているのみで、有効活用されことはほとんどない。これまで詳細に記録していた時間が削減できることで、より多くの相談に回答する時間が確保できる。
- 4) 9 割（説明会に参加した 30 名中 27 名）の相談対応者は、「電子入力（NSD-8000 を使用）することができるであろう。」との意見であった。一方で、全くスマートフォンやパソコンを使用することがない相談対応者（説明会に参加した 30 人中 3 名）においては、「手書き入力になれているので、電子入力することは難しい。」という意見があった。
- 5) NDS-8000 への電子入力の前に、マークシート入力のステップを加えると、2 度の入力方法の変換をすることになる。それよりも、一気に電子入力に切り替えることで、一度の入力方法変換で済ませる方が効率的である。

V-3. 行政担当者の意見

- 1) また、行政担当者はリアルタイムで相談状況を把握できるので、流行性の疾患の発生状況把握の一助ともなる。相談件数の分析結果から、相談対応看護師の効率的なシフト

作成が可能となる。他の自治体との比較により、担当自治体の特性を把握でき、医療圏毎の医療政策の資料となる。

- 2) 相談対応看護師・保健師が電子入力（NDS-8000 を使用）することによって、手入力されたものを電子入力する作業がなくなり、集計業務の効率化および人件費の縮減が図れるので導入したい。
- 3) 相談対応看護師・保健師の人材不足から、現在勤務している相談対応者の意見を重視したいので、手書き入力しかできないという相談対応者に合わせて対応することも現状ではやむを得ない。そのため、電子入力システムの利点は十分理解できるが、課題はありつつも大きな問題のない“現状”を変えたくない。
- 4) 現在、広島県では、成人と小児の両方で使用可能である県独自の電子入力システムが稼働している。そのため、新しいシステムを導入することは、現時点では難しい。次回、システムの改変を行う際には、入力項目を NDS-8000 と同一のものとし、情報の共有を可能としたい。
- 5) 相談件数の分析結果から、相談対応看護師の効率的なシフト作成が可能となる。

V-4. 民間事業者からの意見

- 1) 各都道府県が求める情報収集項目が異なることや、月間・年間報告書の書式が異なるために、入力システムや集計作業が均一化されない。このための、経費がかかってしまっているのが現状である。統一の様式でも必要な情報が得られれば差し支えないと各都道府県が判断すれば、NDS-8000 を用いて情報収集の作業効率を向上させることや経費の削減が可能である。
- 2) 手書き記録では情報の集計作業・報告書作成作業が必要であるが、NSD-8000 ではこれらの作業が必要ないので、この分の経費は縮減可能である。

V-5. 手書き入力から電子入力への移行例（埼玉県）

埼玉県看護協会の相談対応者はこれまで、相談対応を自宅において手書きで記録してきた。事前の説明会では、自宅でパソコンまたはタブレット端末を用いて NDS-8000 へ直接入力できそうだという意見が相談対応者の 9 割から得られ、1 割の相談対応者はマークシート入力を希望した。

手書き入力の読み取りやマークシート方式を併用しつつ、電子入力への移行を徐々に進めるように支援していく必要がある。

VI. 今後の課題

VI-1. NDS-8000 システムへの未入力、入力エラー

今回の調査では、未入力と入力エラーが多く、分析の際に問題となった。一方で、再入力や入力エラーの修正を行うと、統計数値の誤差が生じることが判明した。現在、システムの修正をすすめている。今後は、未入力を減らすために、相談対応者への周知を図るとともに、入力後一定の日数を修正可能期間として設けるなどの対応をとる。

VI-2. 対象自治体数の増加

#8000 事業の地域差を含めて、より詳細な分析を行うために、対象とする自治体数を増やす必要があり、情報提供に努める。

VI-3. 相談対応者の緊急度判定の均てん化

相談対応者の緊急度判定は、道県間、民間事業者間で差違が認められた。緊急度判定の均てん化はこの事業の重要課題である。

Ⅶ. 結語

2018年2月単月に、5道県において#8000情報収集分析事業を行い、全相談件数6,327件のデータを収集した。

18-23時に全相談件数の50%が集中すること、#8000相談対象児は3歳未満55%、6歳未満80%と低年齢児であること、相談者は30歳代の母親が主体であること、父親からの相談が13%あること、約1/3は医療機関受診後に#8000を利用していること、外科系疾患の相談が約1/4あること等がわかった。相談対応者の緊急度判定は、都道府県による差違、経験年数による差違があった。

今回用いたNDS-8000システムは、クラウド上にデータを蓄積して短時間で分析ができる。使用した相談対応者、行政担当者、民間事業者から、負担軽減、経費削減、均てん化の利点の意見を得た。入力法は、パソコン入力以外に、タブレットやマークシート方式を用い、自宅で電話相談を受けることができた。問題点は、他県からの相談、未入力データ、入力エラーへの対応で、再入力などのために分析データの不備が生じた。今後のシステムの改善を要する。

以上

VIII. 引用資料

- 1) 日本医師会 地域医療情報システム 地域別統計 国勢調査 15歳未満人口 (2015年)
<http://jmap.jp/cities/search>
情報入手元 総務省統計局 (2015年10月現在)
- 2) 政府統計の総合窓口 e-stat 平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450026&survey=医師数&result_page=1
厚生労働省 保健統計室
- 3) 渡部誠一, 中澤 誠, 衛藤義勝, 他. 小児救急外来受診における患者家族のニーズ
日本小児科学会雑誌 2006; 110(5): 696-702
- 4) 政府統計の総合窓口 e-stat 平成28年 全国年齢 (5歳階級) 男女別人口
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2016np/>
総務省 統計局統計調査部国勢統計課